

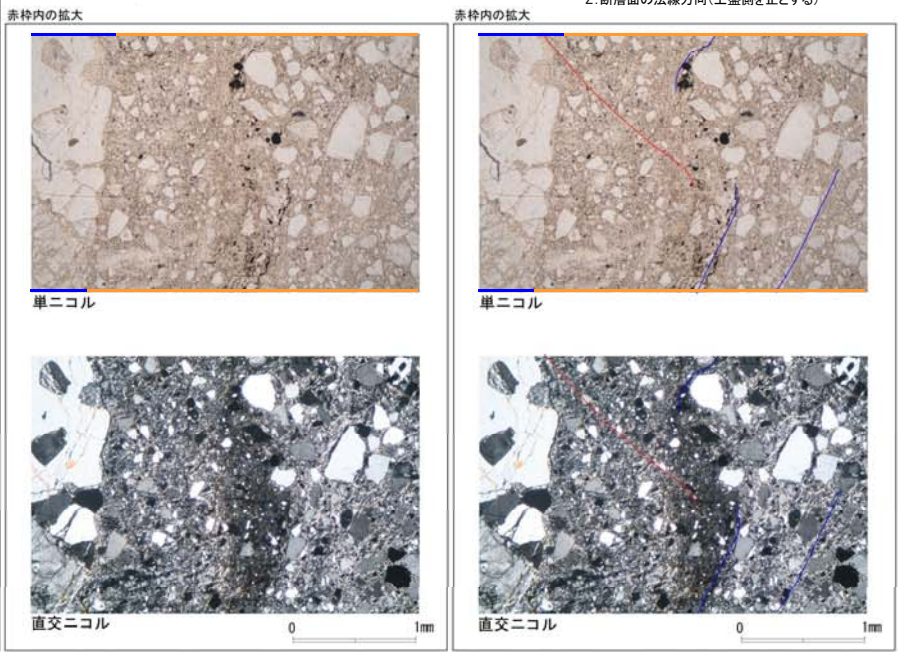
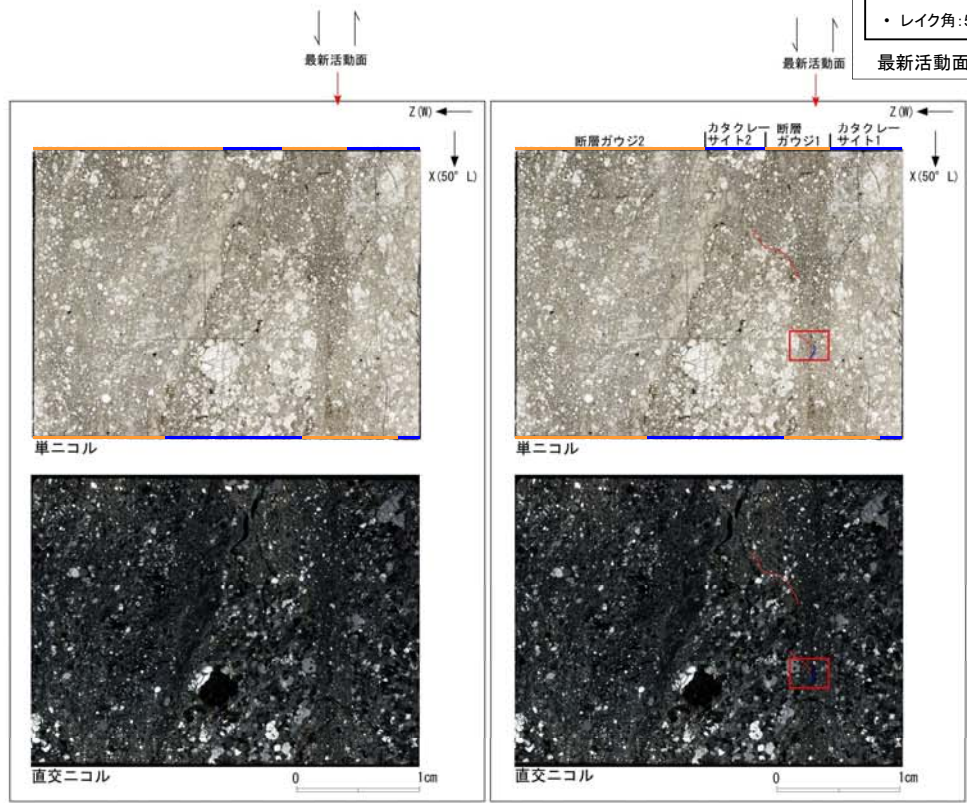
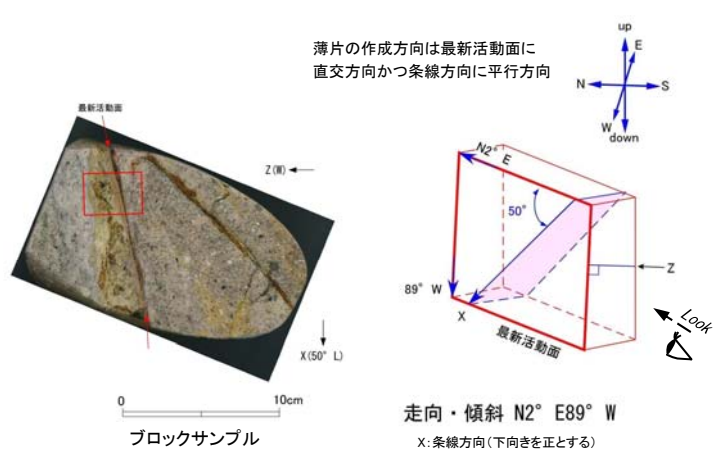
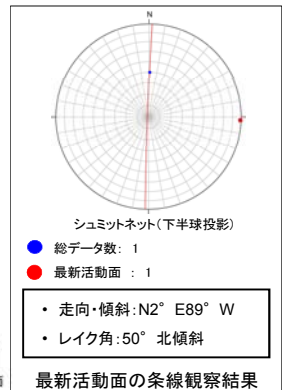
2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-3 深度57.20m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-3のボーリングコア(深度57.20m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

60(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



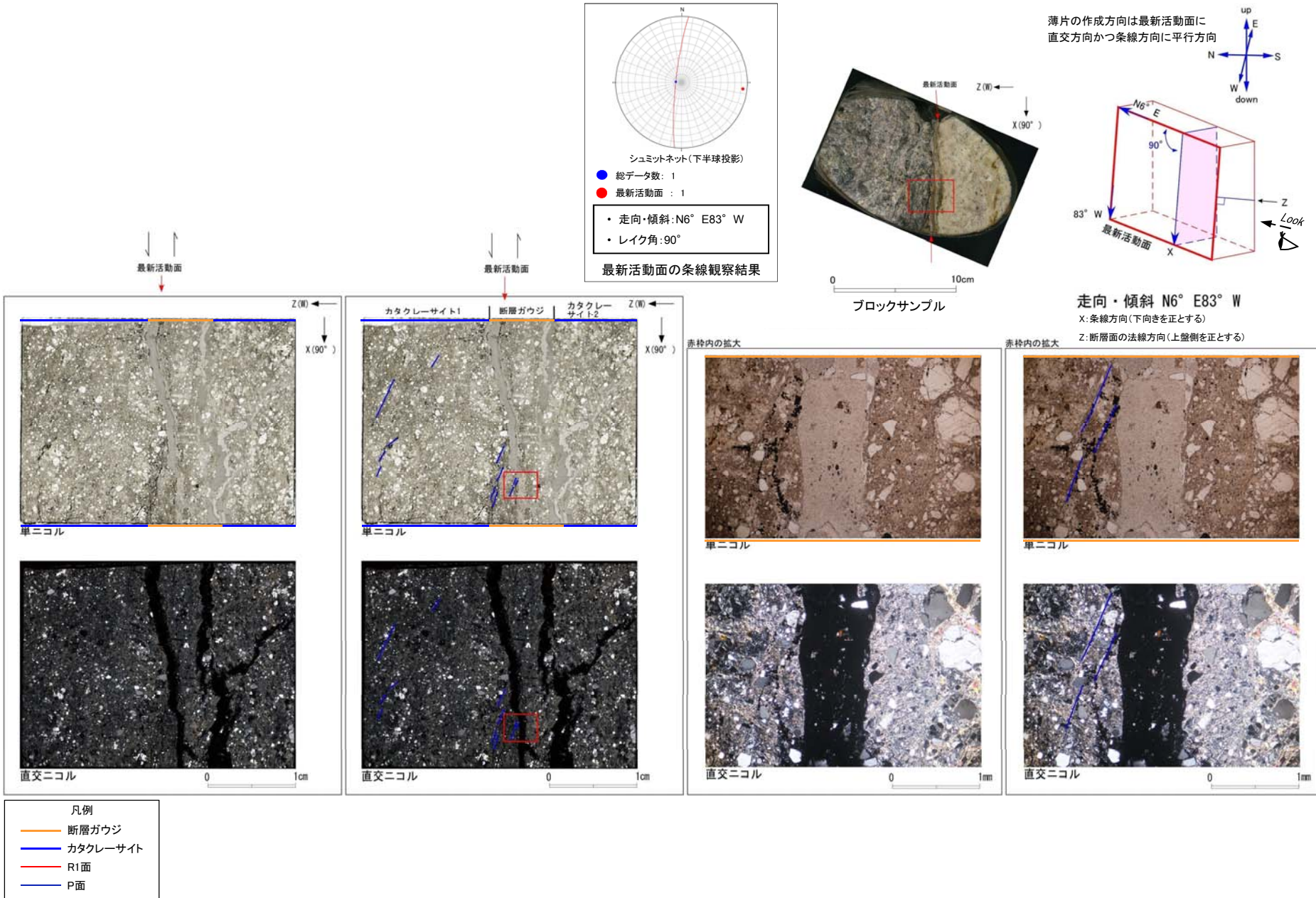
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-4 深度28.33m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度28.33m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



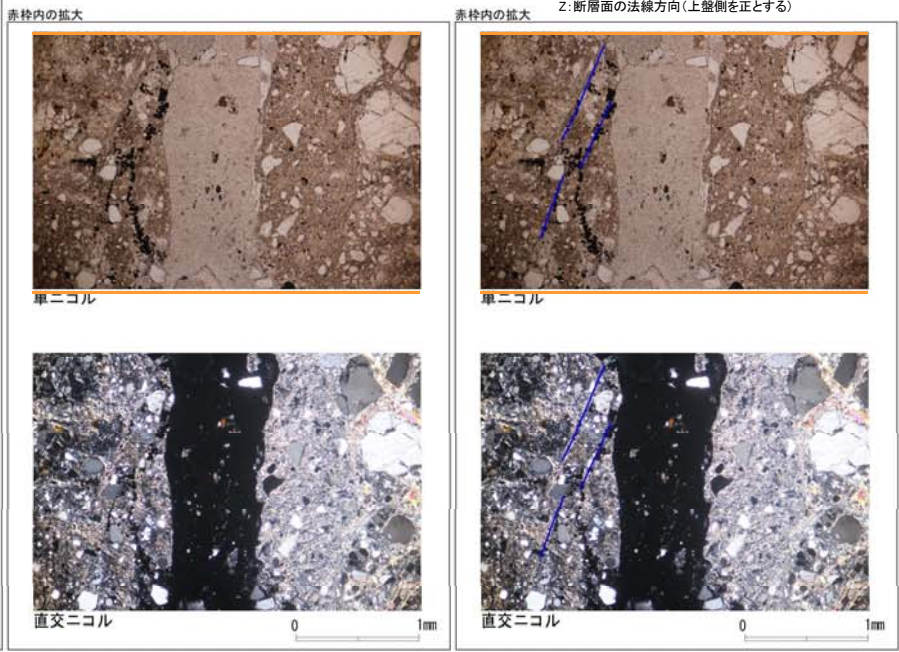
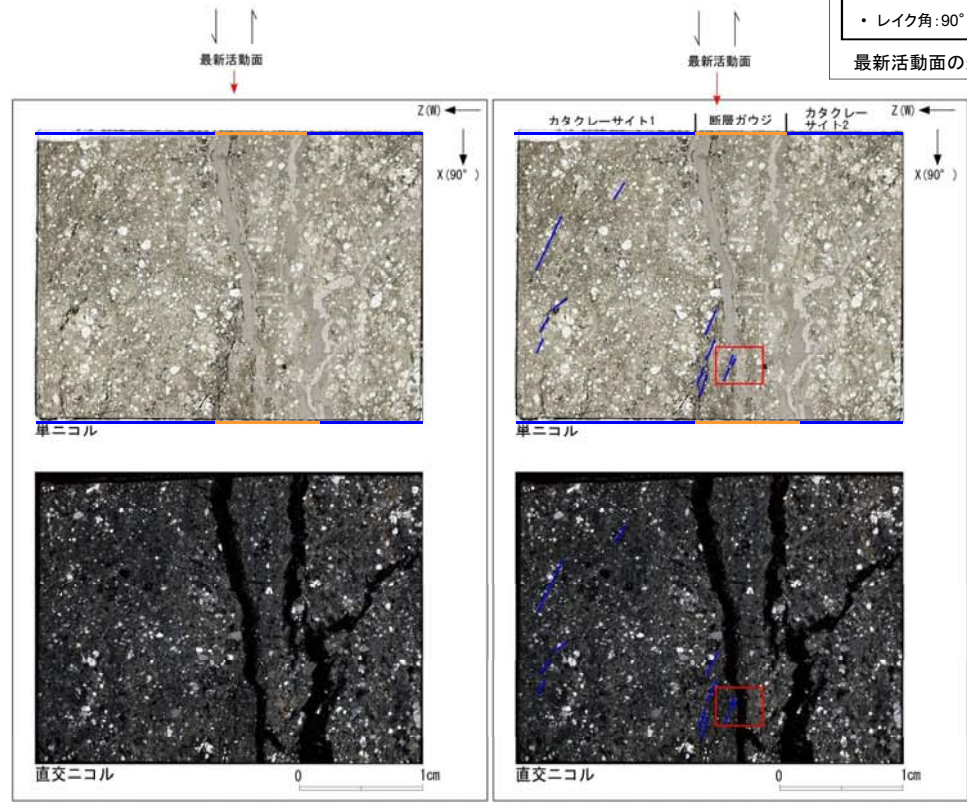
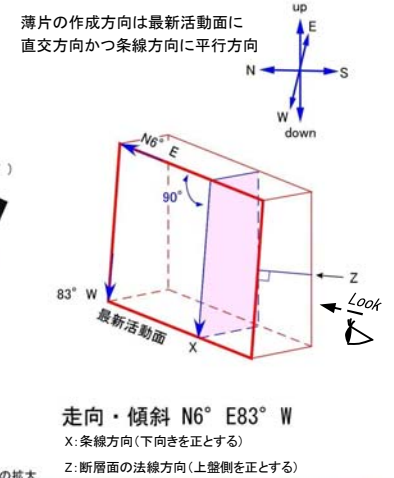
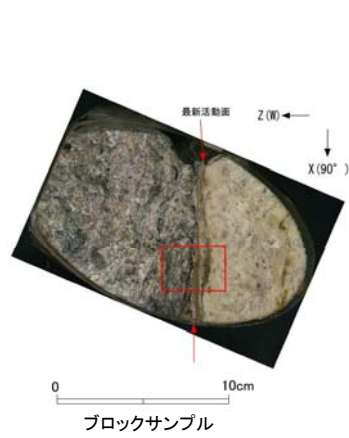
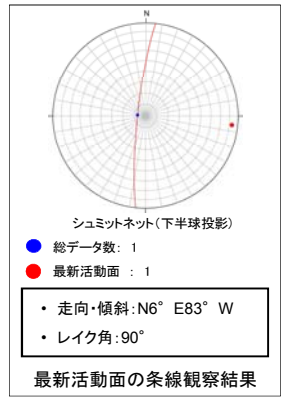
2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-4 深度28.33m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度28.33m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

61 (分類E) ①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2)K断層

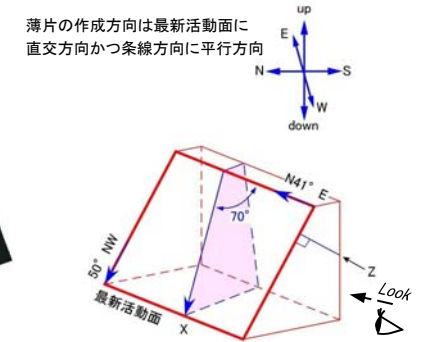
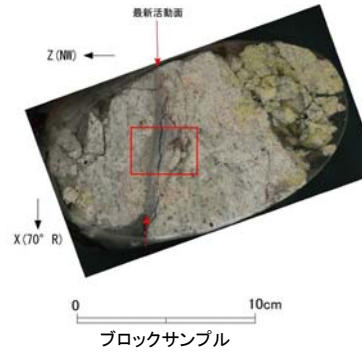
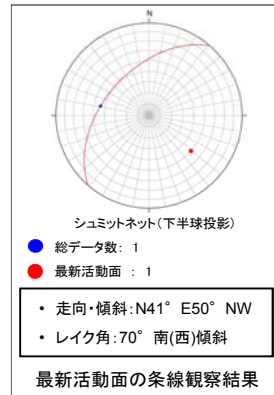
薄片試料観察(H24-D1-4 深度53.05m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度53.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

62(分類E)①

書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



走向・傾斜 N41° E50° NW

X: 条線方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

最新活動面

Z (NW)

X (70° R)

最新活動面

Z (NW)

X (70° R)

単ニコル

直交ニコル

0 1cm

単ニコル

直交ニコル

0 1cm

赤枠内の拡大

単ニコル

直交ニコル

0 1mm

赤枠内の拡大

単ニコル

直交ニコル

0 1mm

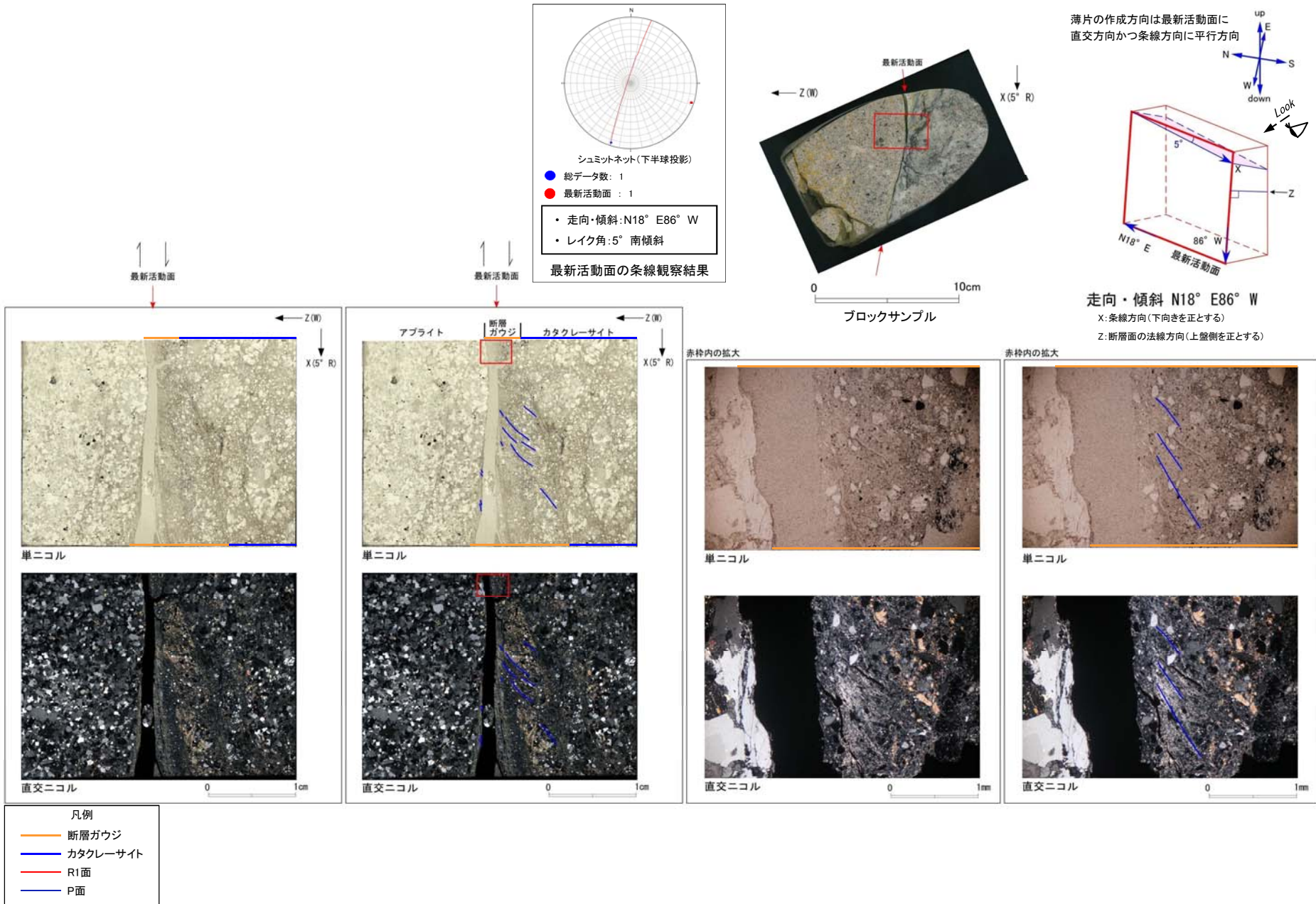
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-4 深度60.06m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度60.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。



2.2 (2)K断層

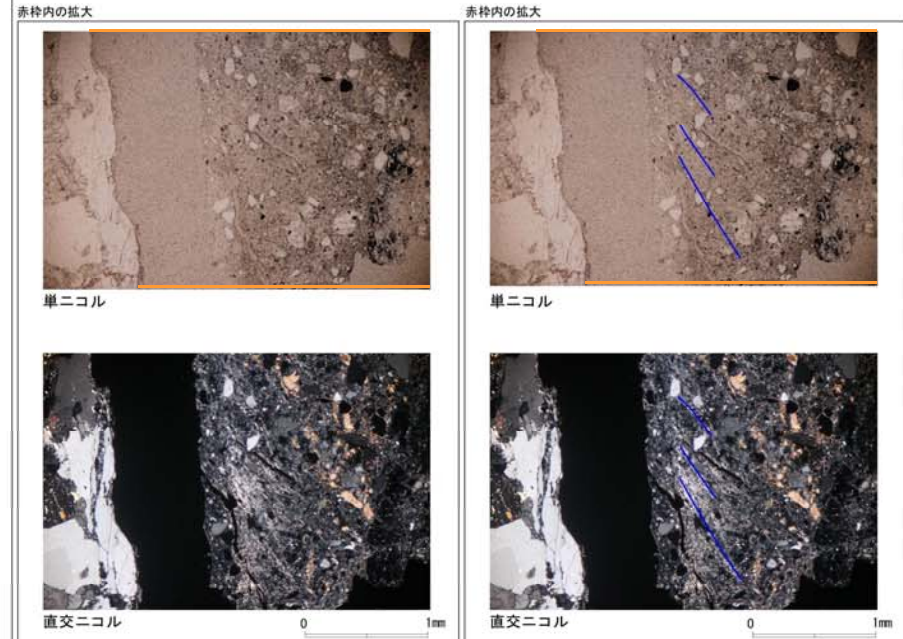
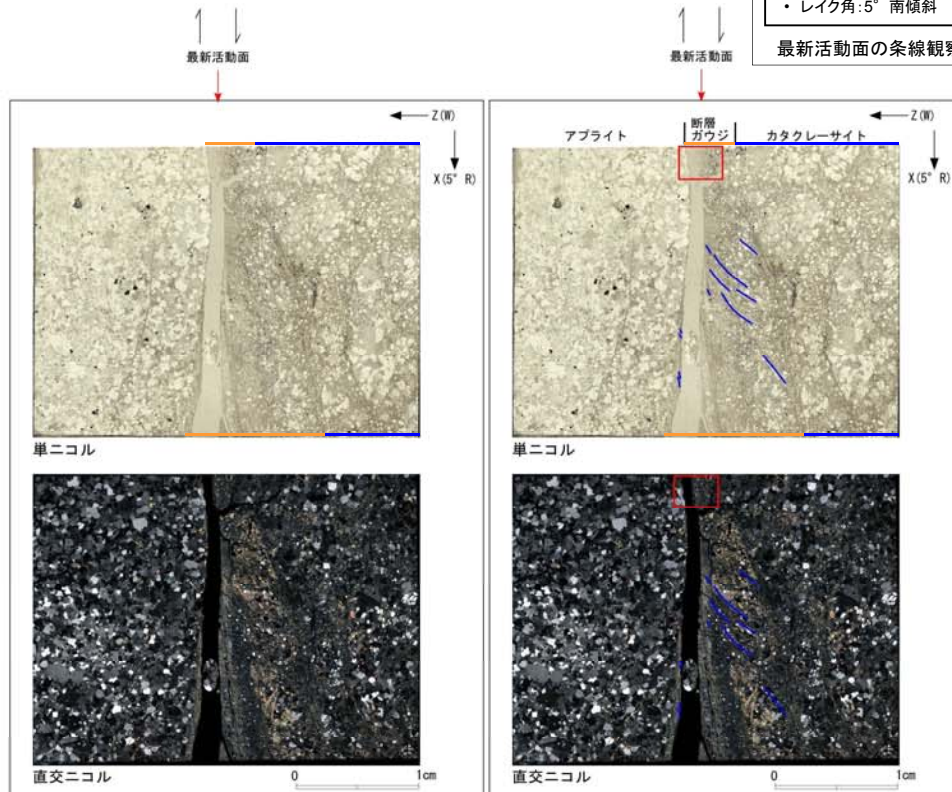
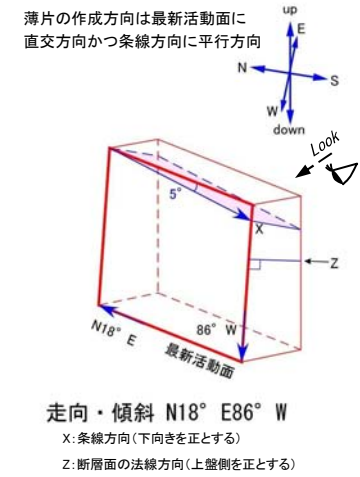
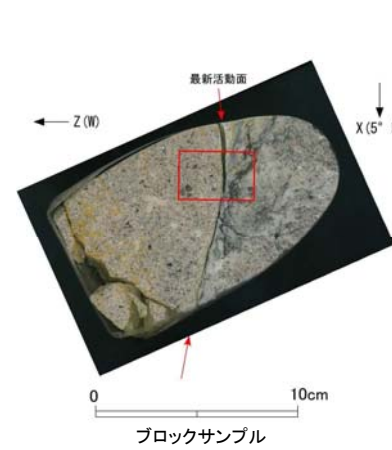
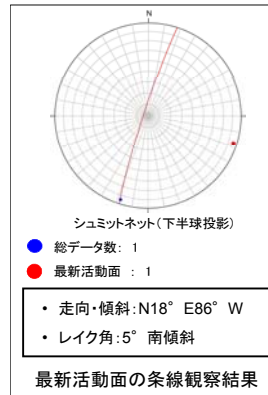
薄片試料観察(H24-D1-4 深度60.06m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度60.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

63(分類E)①

書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



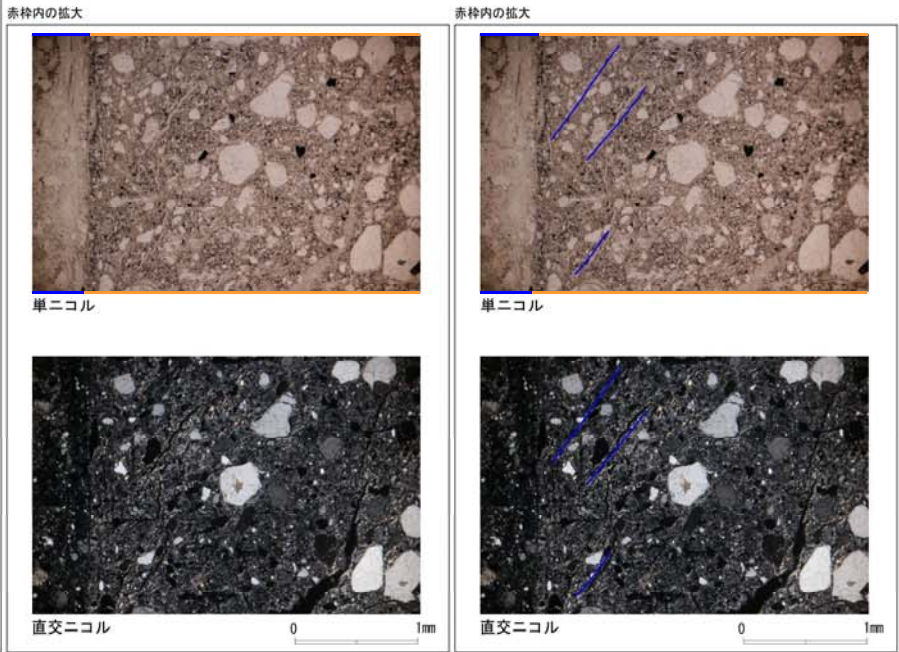
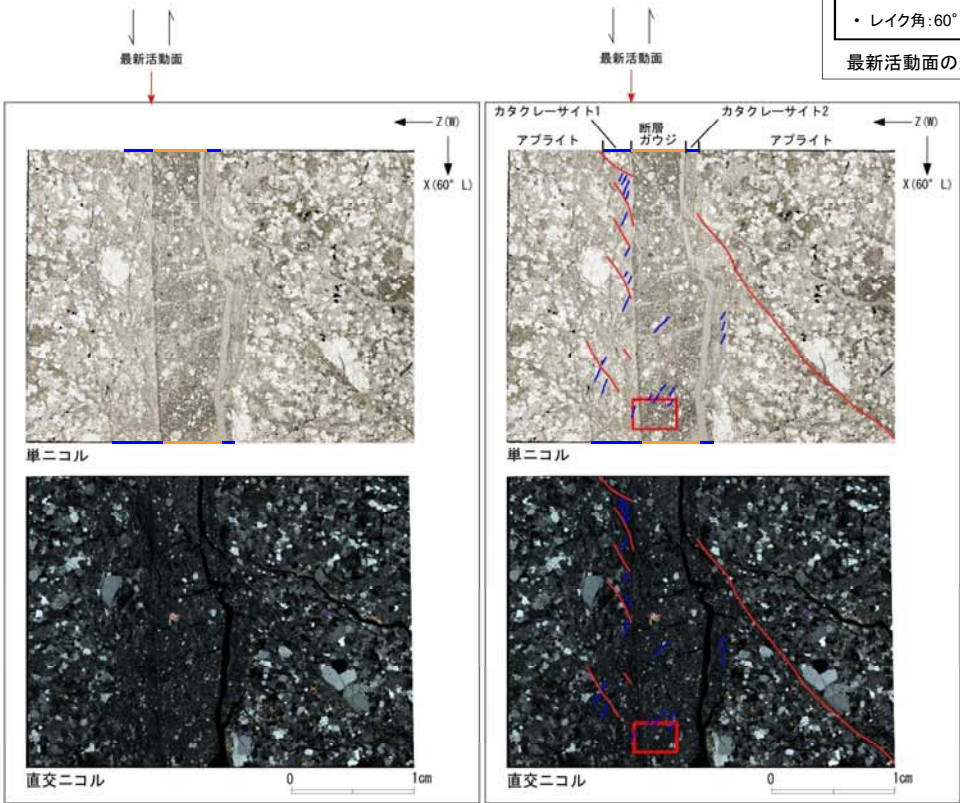
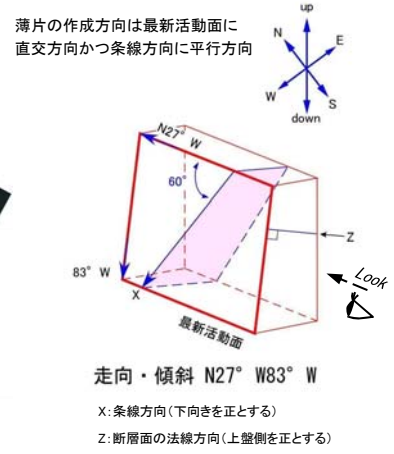
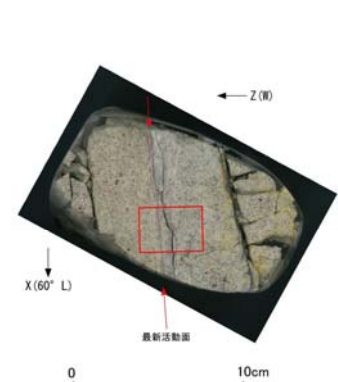
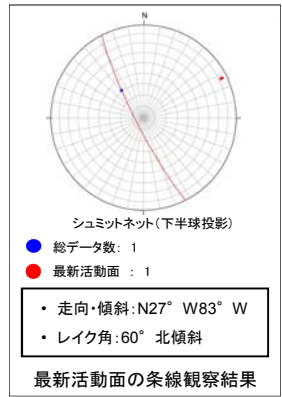
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-4 深度61.52m)(その1)

第536回審査会
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

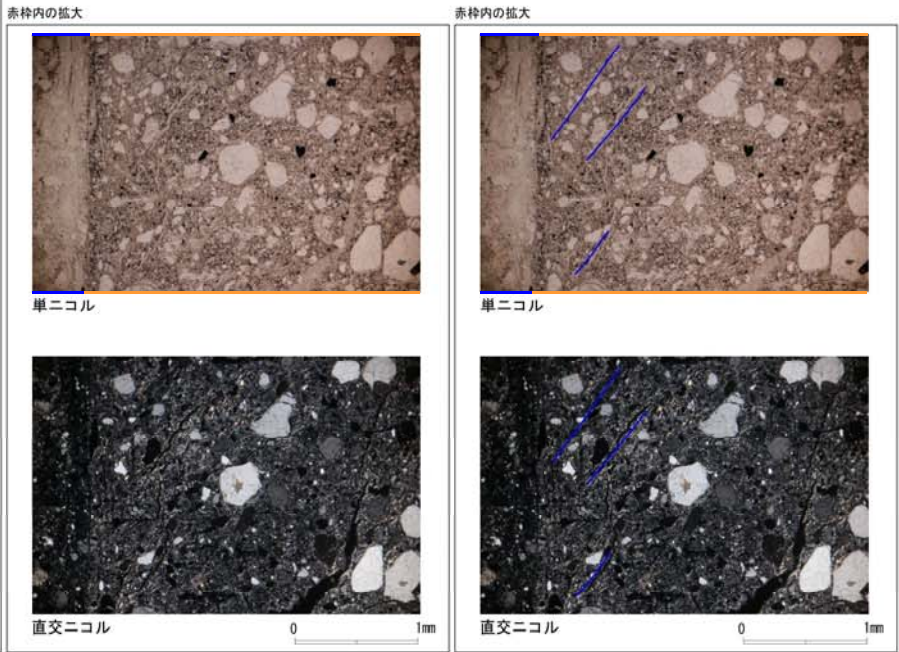
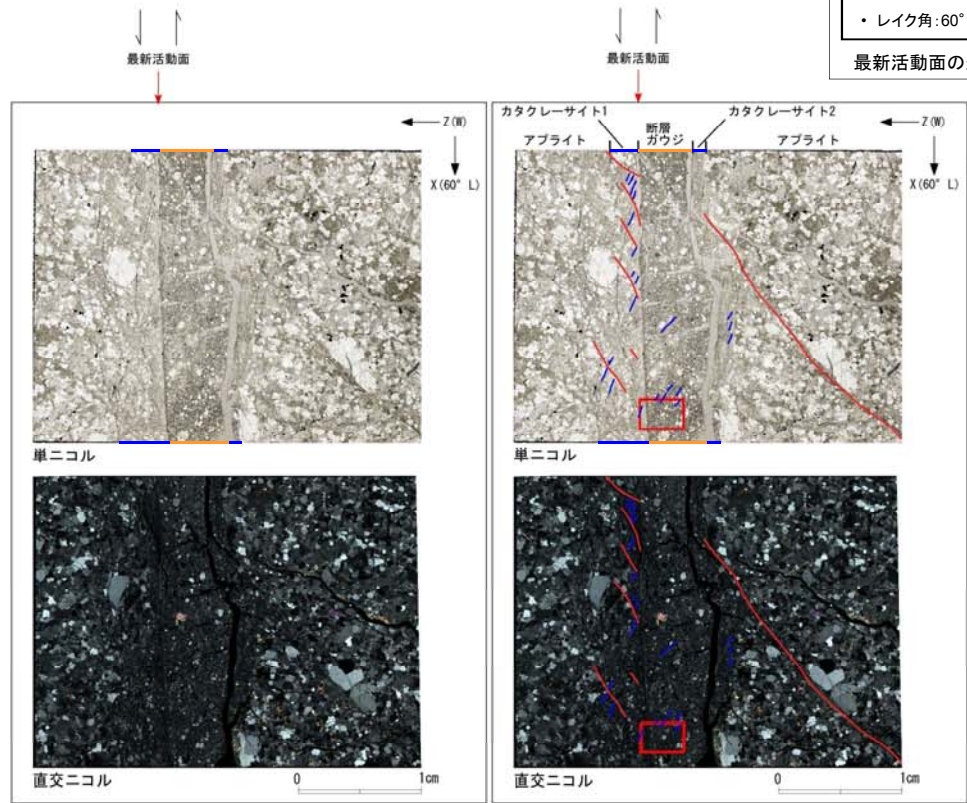
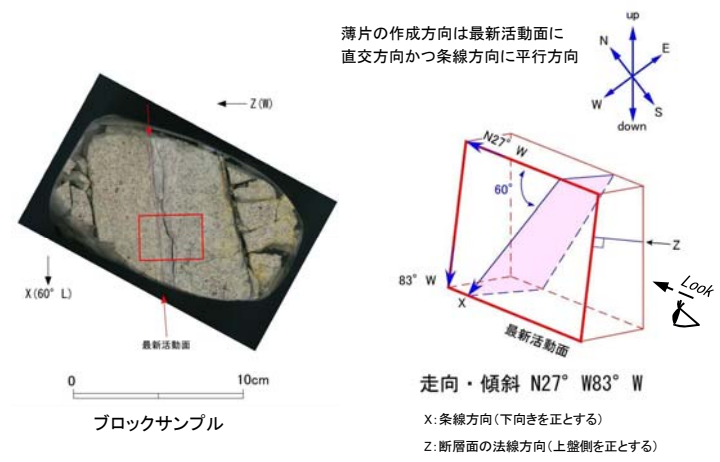
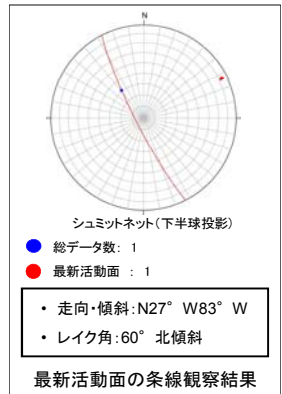
薄片試料観察(H24-D1-4 深度61.52m)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

64(分類E)①

書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



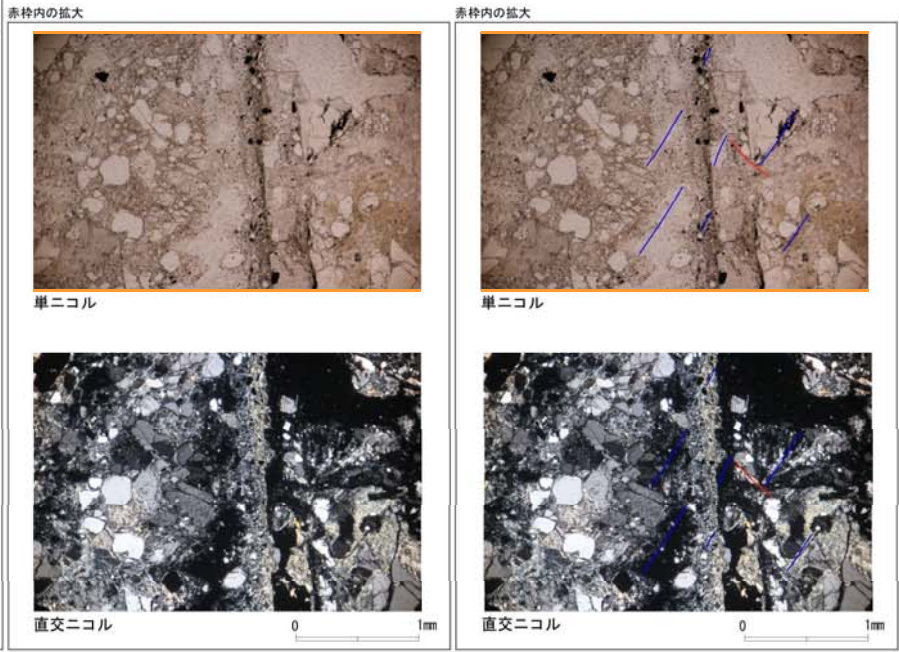
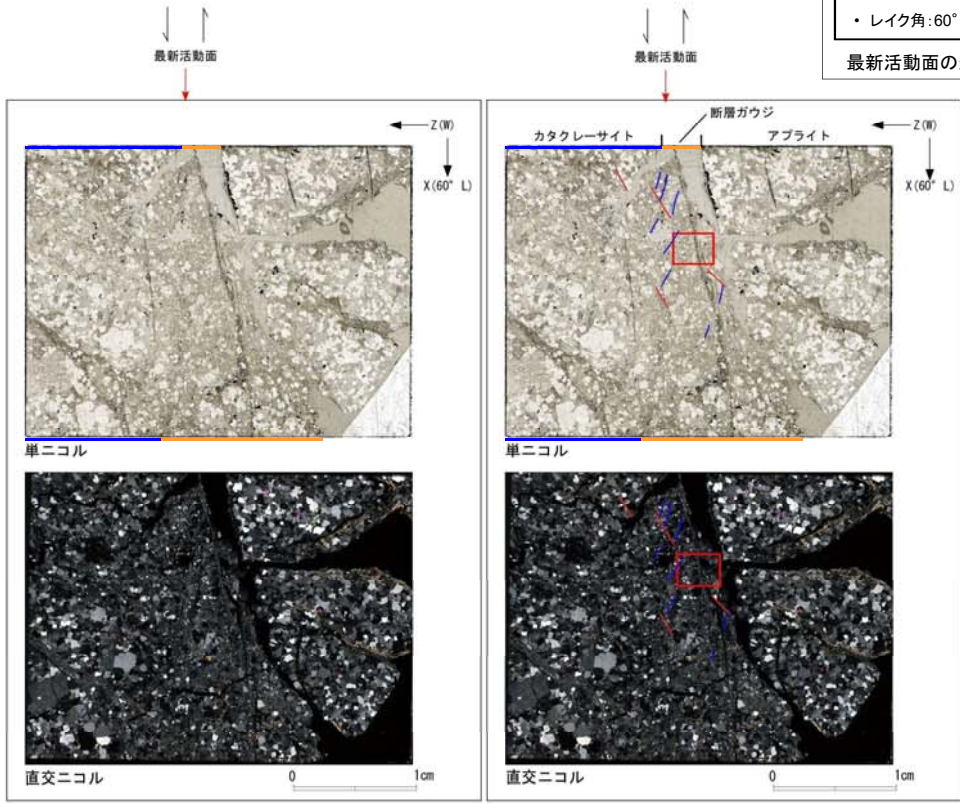
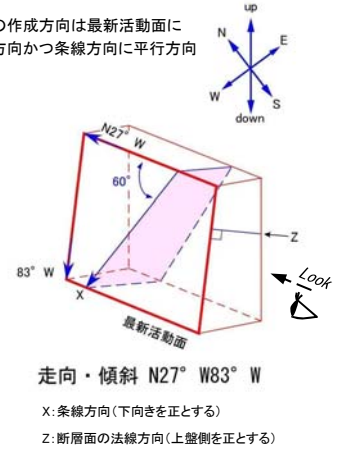
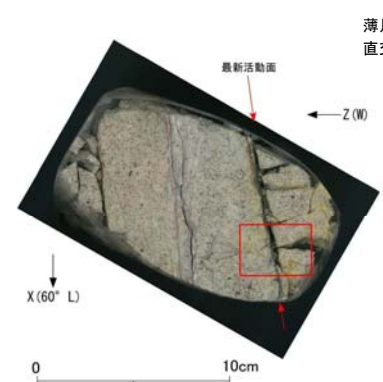
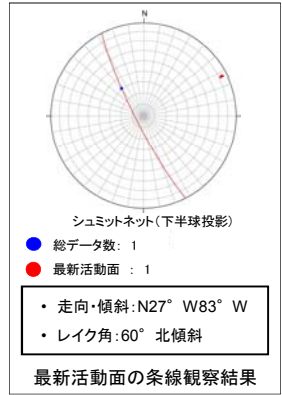
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-4 深度61.52m)(その2)

第536回審査会
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

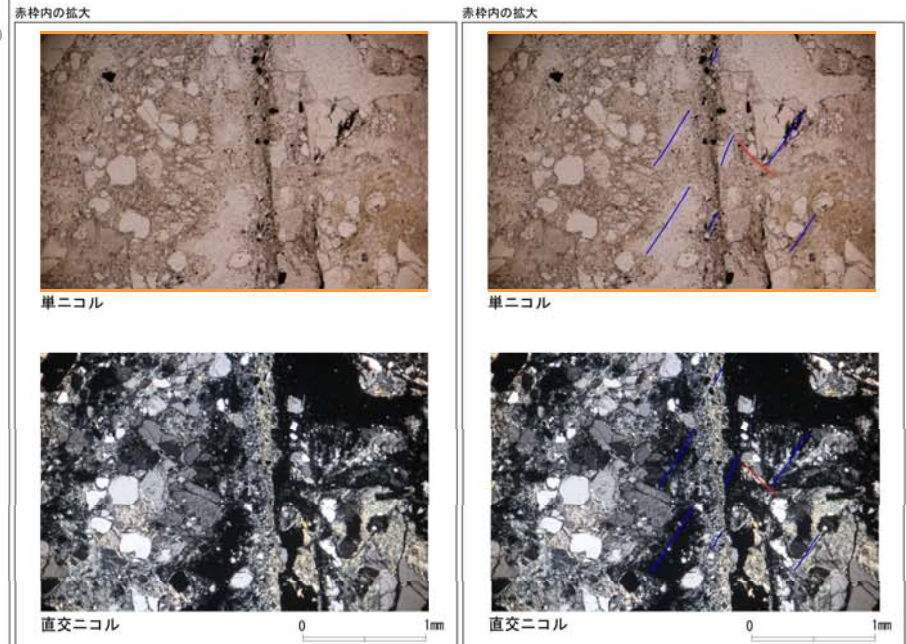
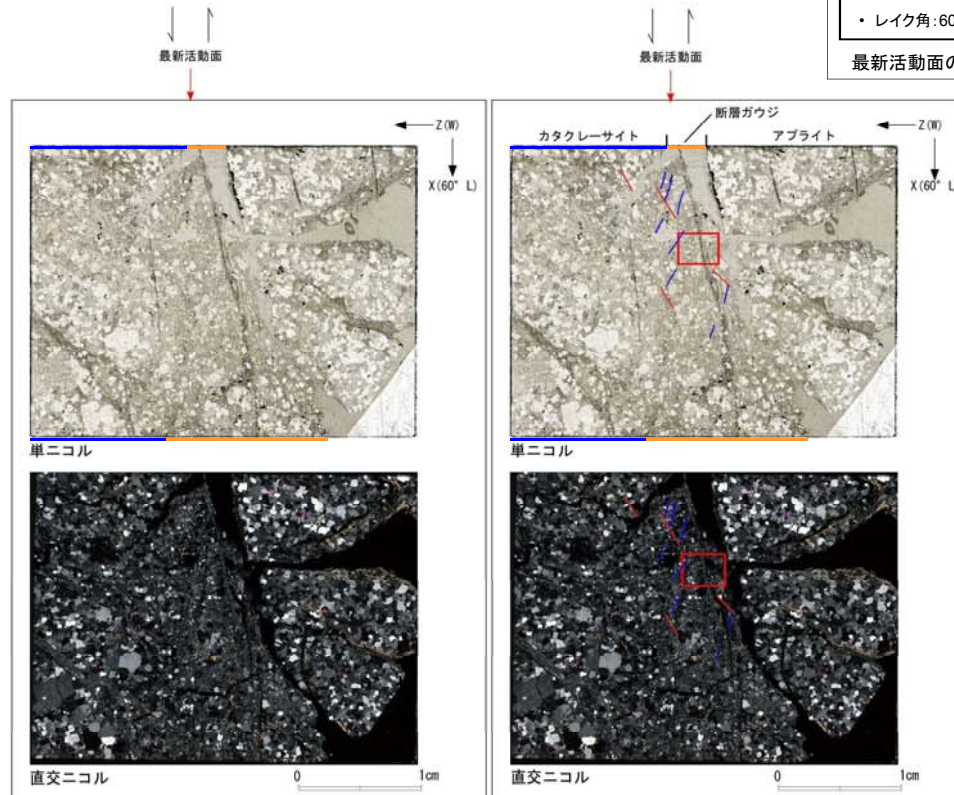
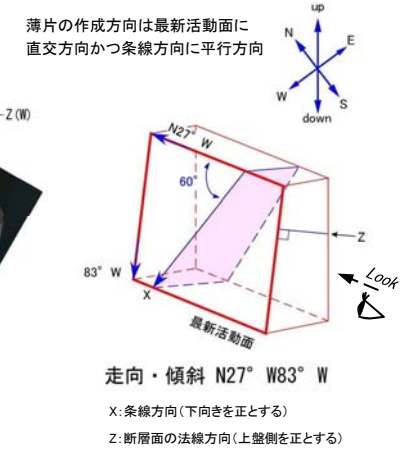
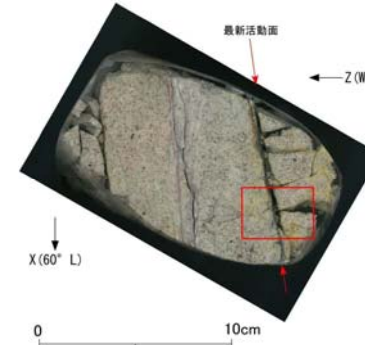
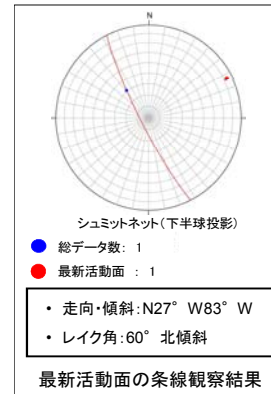
薄片試料観察(H24-D1-4 深度61.52m)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

65(分類E)①

書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



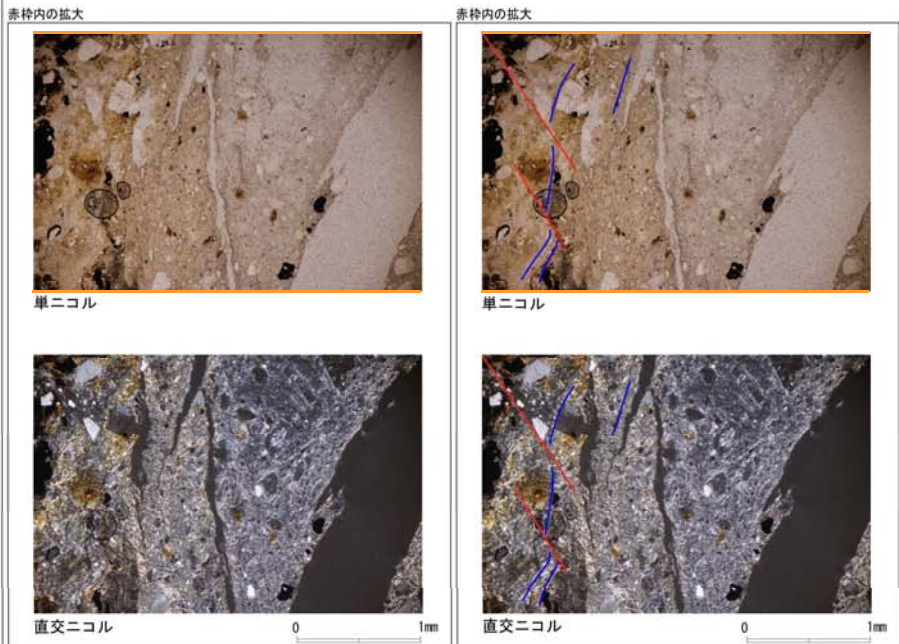
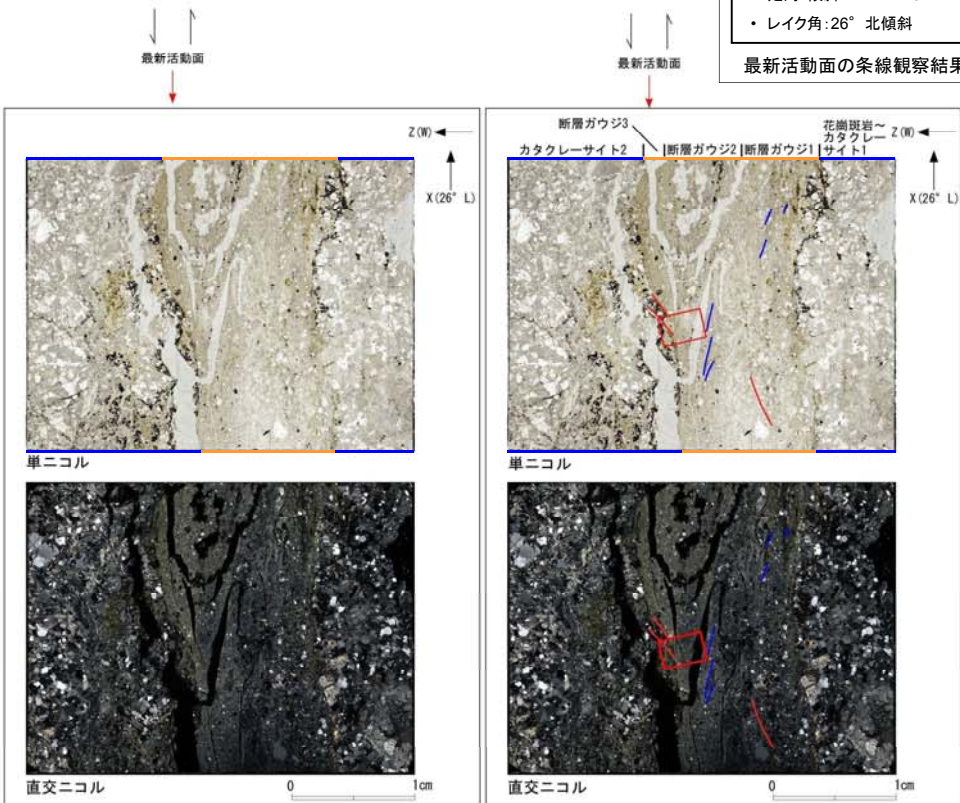
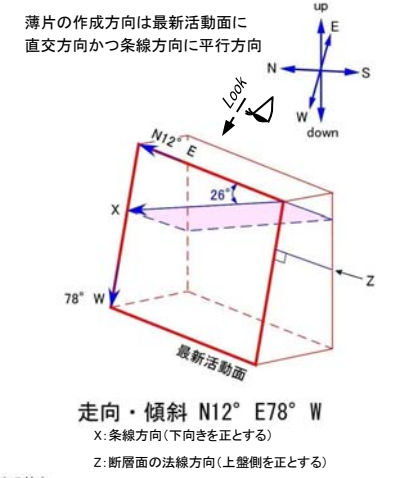
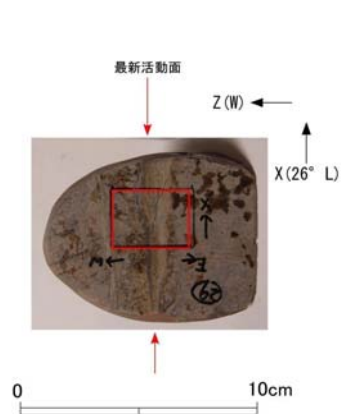
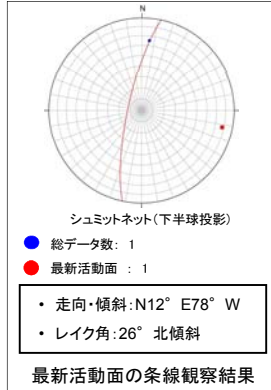
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-5 深度10.21m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-5のボーリングコア(深度10.21m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。



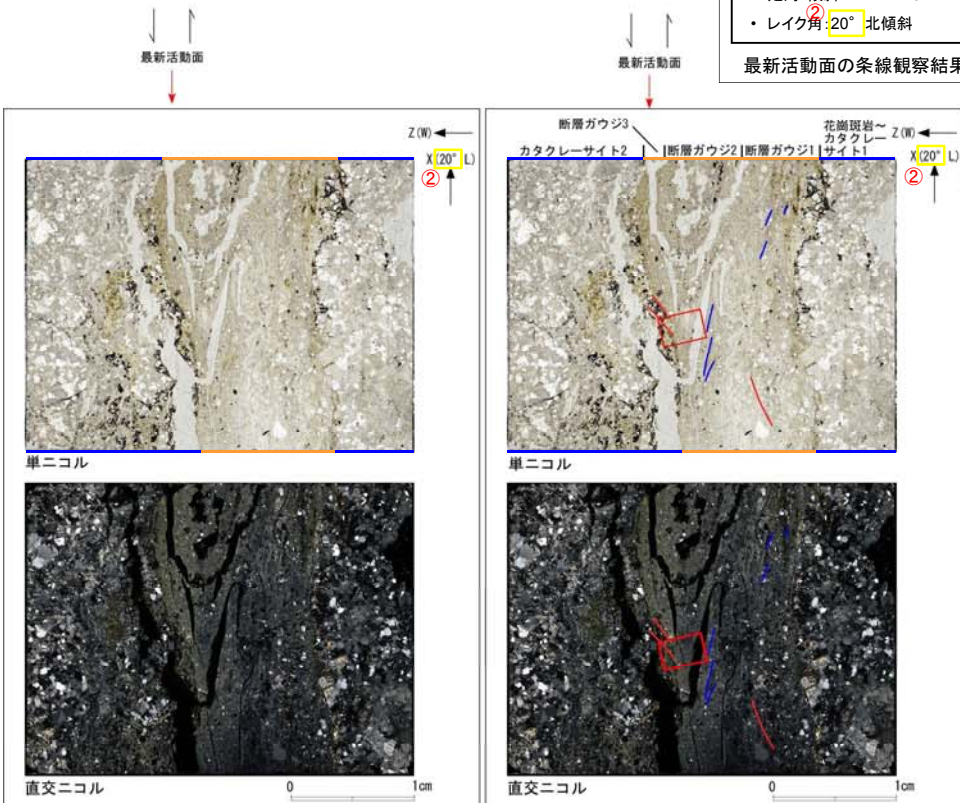
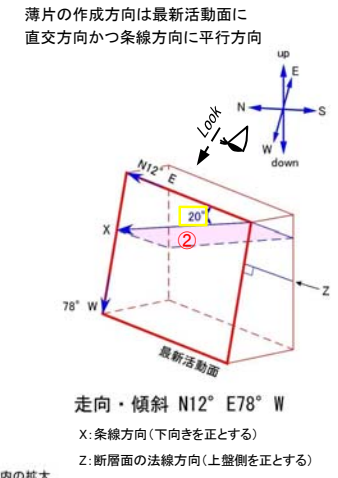
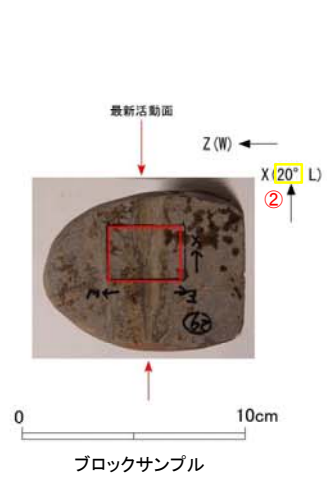
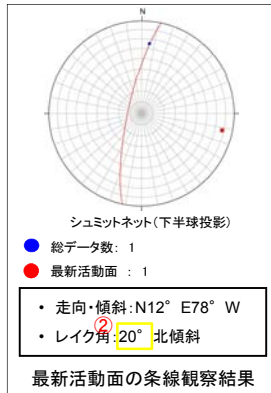
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (2) K断層

薄片試料観察(H24-D1-5 深度10.21m)

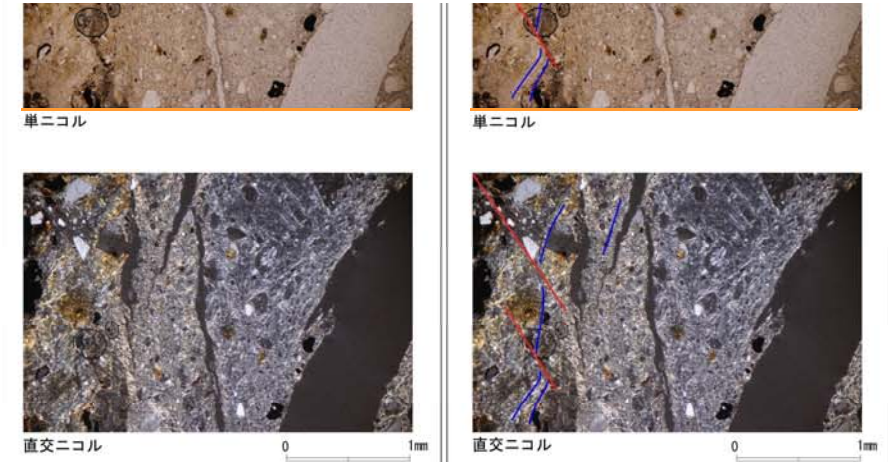
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-5のボーリングコア(深度10.21m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。



66(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

67~69(分類A)②
条線方向を示したものであるが、性状一覧表からの転記ミスによるもの。



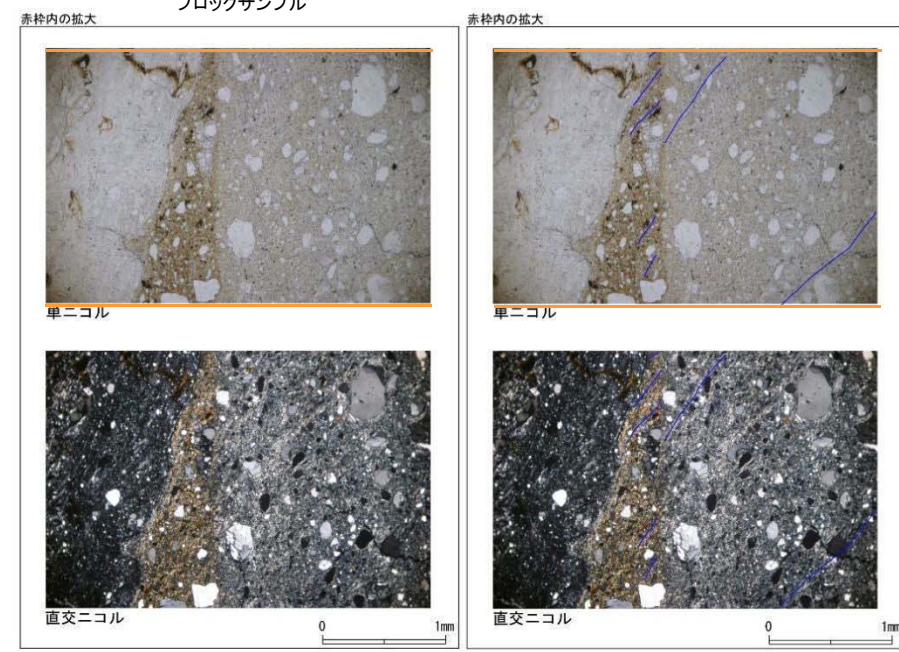
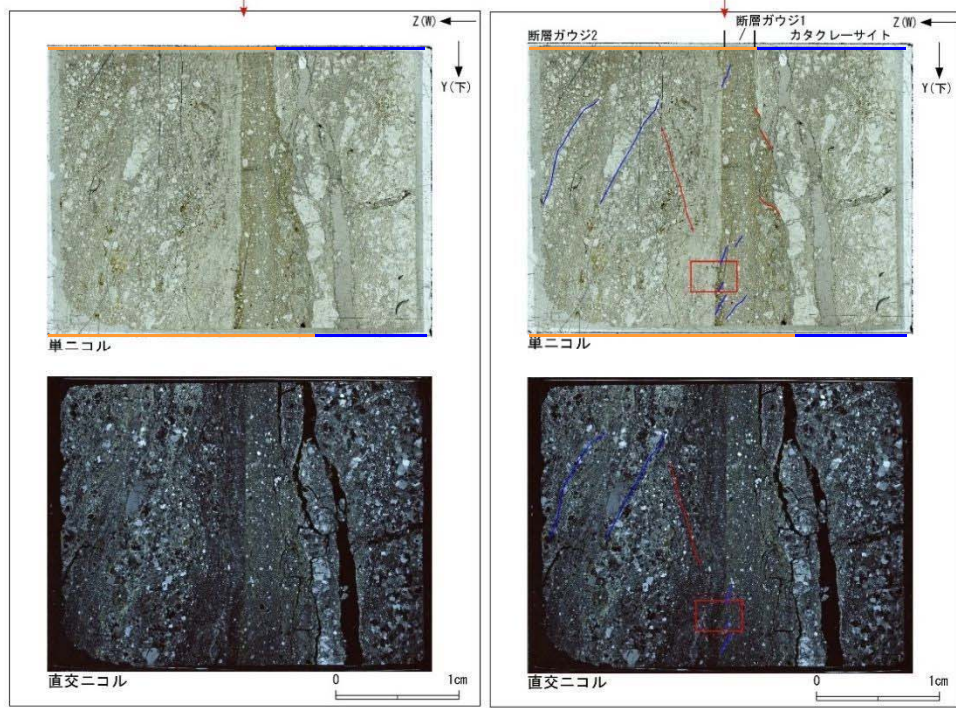
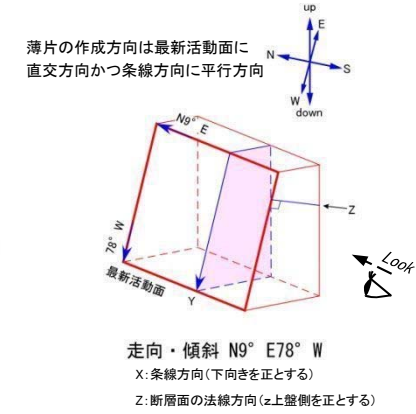
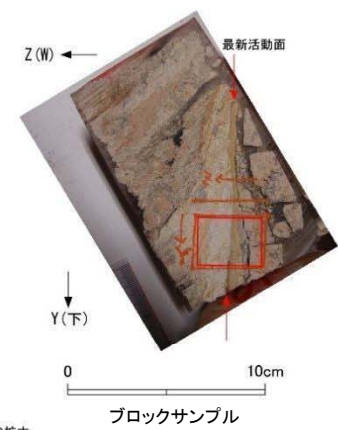
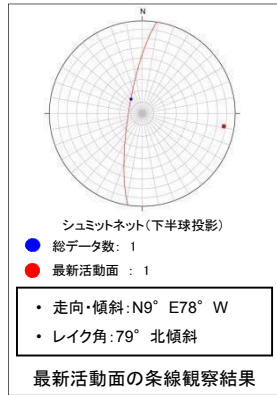
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2 (3) D-6 破碎帯

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

薄片試料観察結果(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その1)

H19-No.4のボーリングコア(深度171.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

鉛直断面: 最新活動面の变位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (3)D-6破碎帯

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

薄片試料観察結果(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その1)

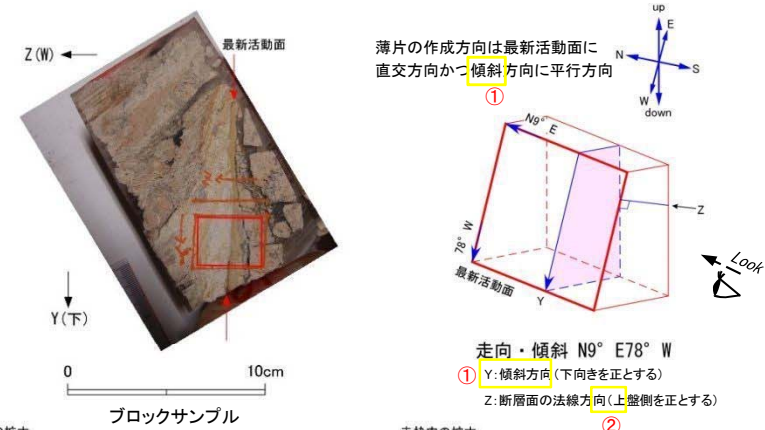
H19-No.4のボーリングコア(深度171.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

70, 71 (分類E) ①

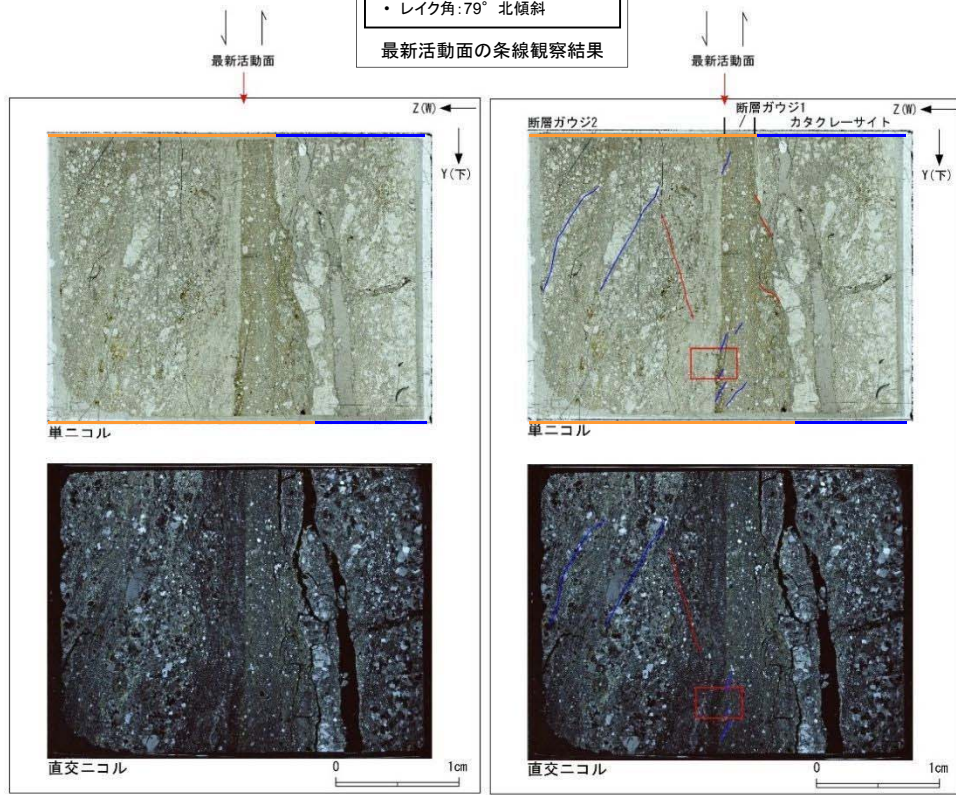
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

72 (分類E) ②

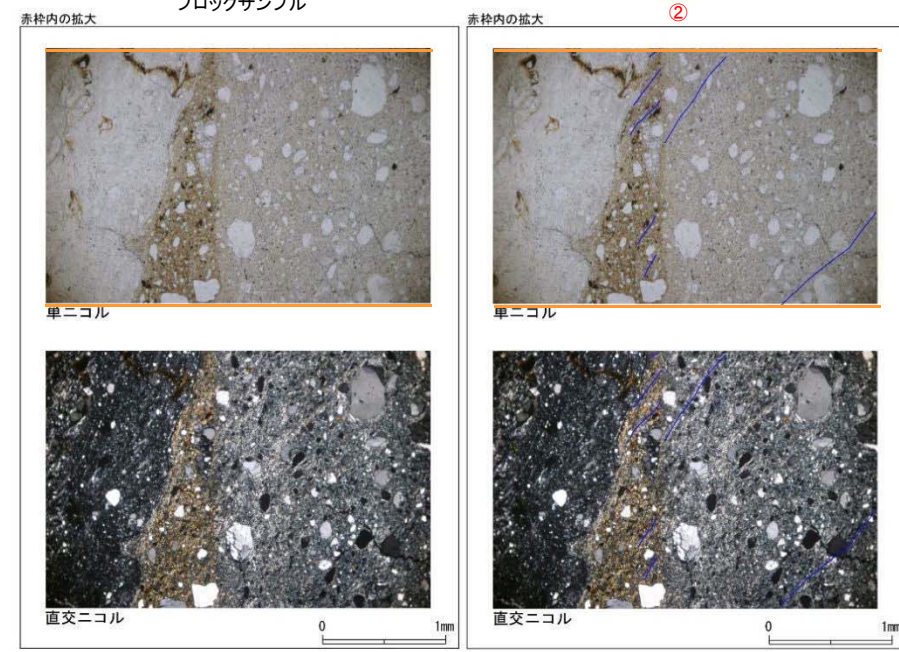
断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字
が残っていたため削除した。



シュミットネット(下半球投影)
● 総データ数: 1
● 最新活動面: 1
・ 走向・傾斜: N9° E78° W
・ レイク角: 79° 北傾斜
最新活動面の条線観察結果



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面



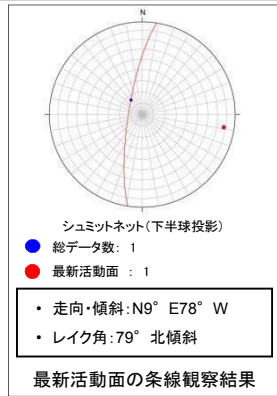
鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (3)D-6破碎帯

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

薄片試料観察結果(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その2)

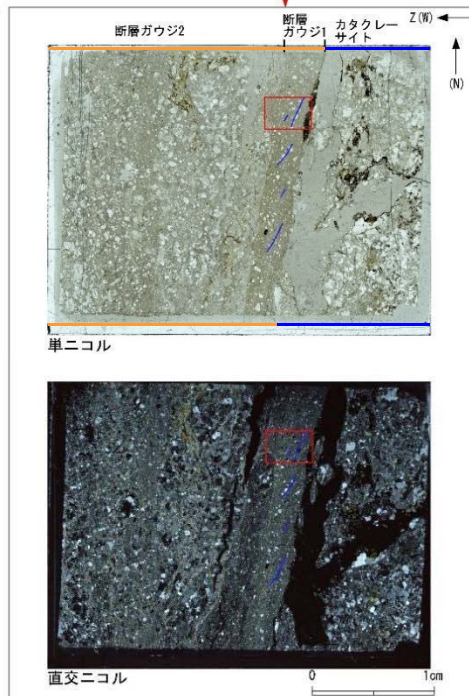
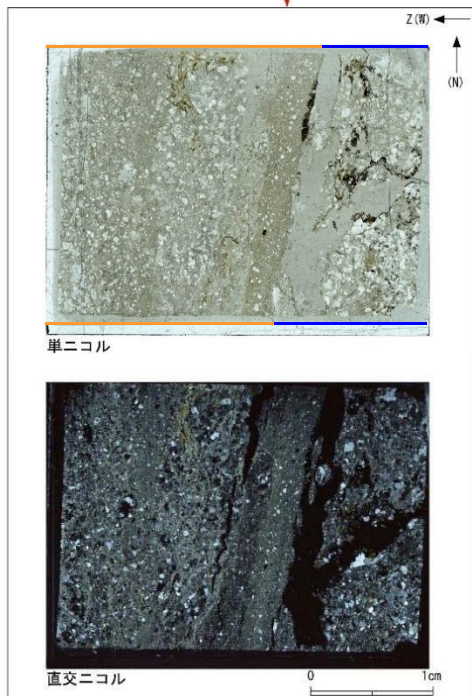
H19-No.4のボーリングコア(深度171.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



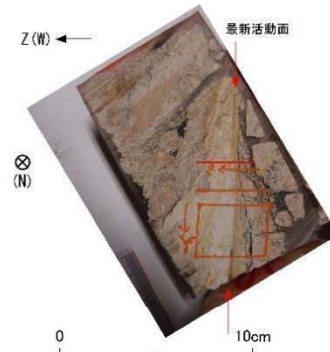
最新活動面

最新活動面

最新活動面の条線観察結果

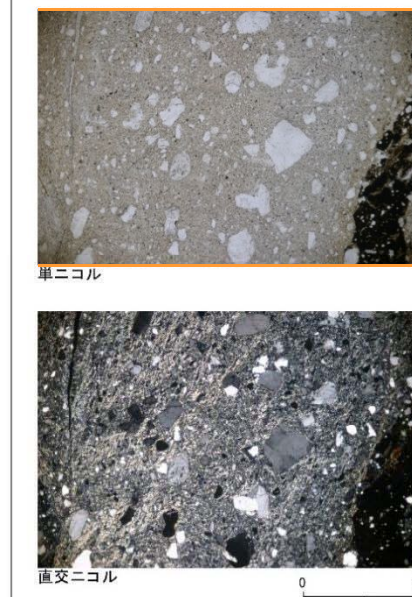


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

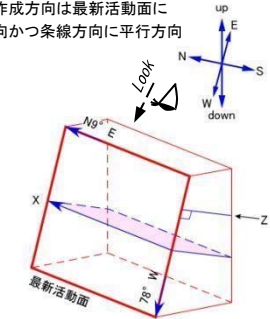


赤枠内の拡大

ブロックサンプル



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

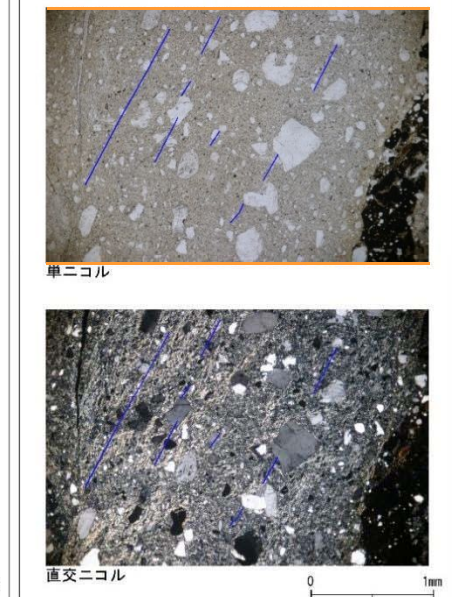


走向・傾斜 N9° E78° W

X: 条線方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(z上盤側を正とする)

赤枠内の拡大



水平断面:最新活動面の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。

2.2 (3)D-6破砕帯

薄片試料観察結果(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その2)

H19-No.4のボーリングコア(深度171.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

73(分類F)①

方位と薄片作成方向(X, Y, Z)を併記することとしていたが、方位のみ記載しており、他の資料と統一が図られていなかった。

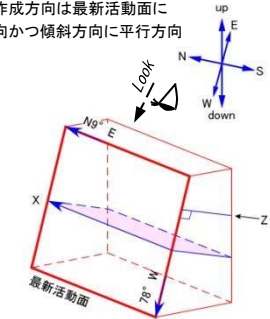
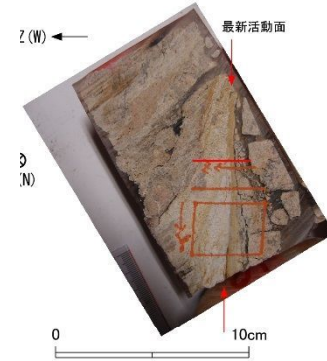
74(分類E)②

薄片作成方向を示したものを、
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

75(分類E)③

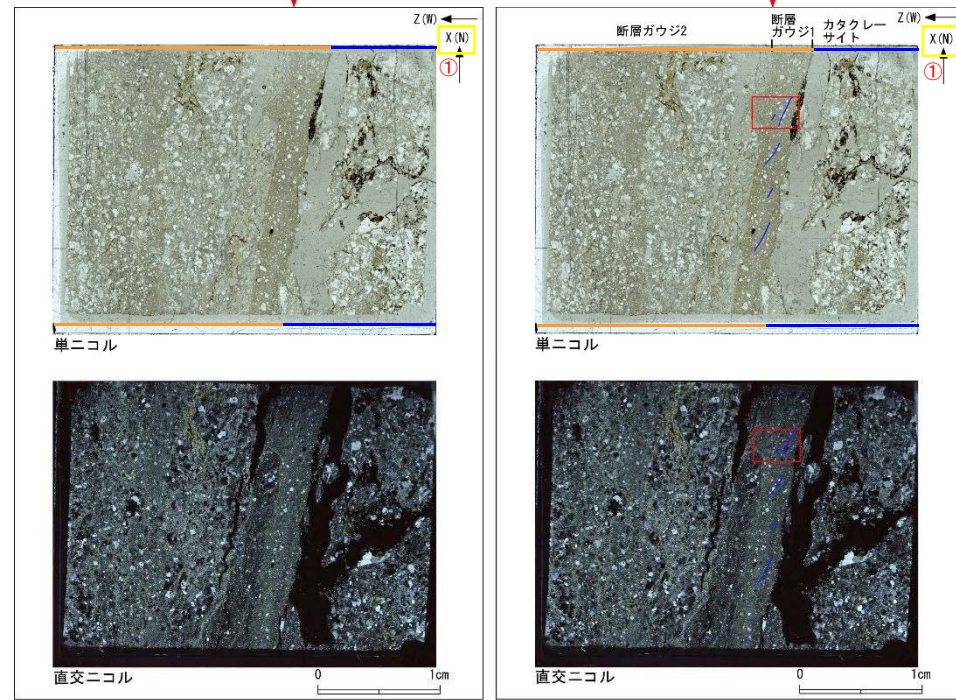
断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向

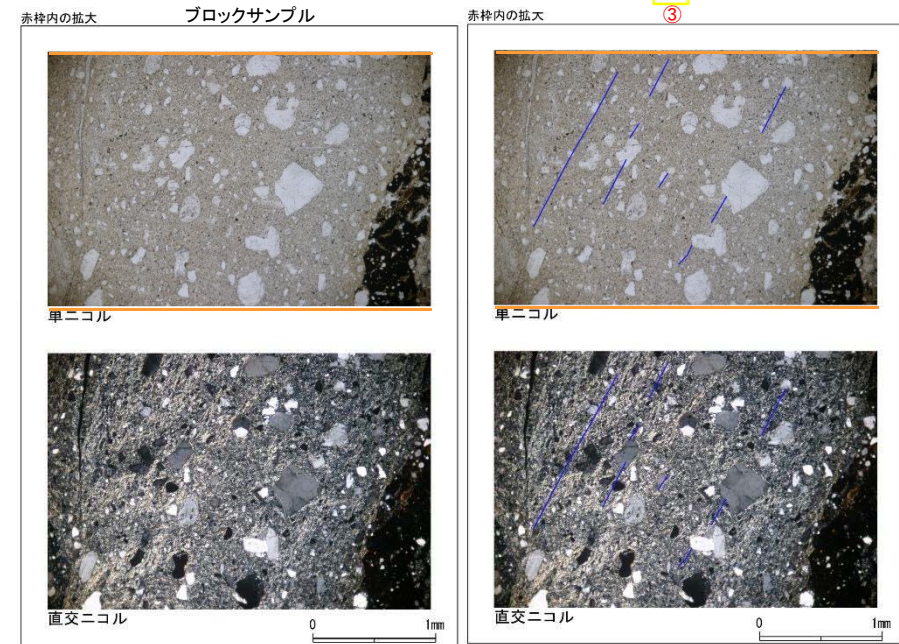


走向・傾斜 N9° E78° W
X: 走向方向(北向きを正とする) ②
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする) ③

最新活動面の条線観察結果
• 走向・傾斜: N9° E78° W
• レイク角: 79° 北傾斜



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



水平断面: 最新活動面の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。

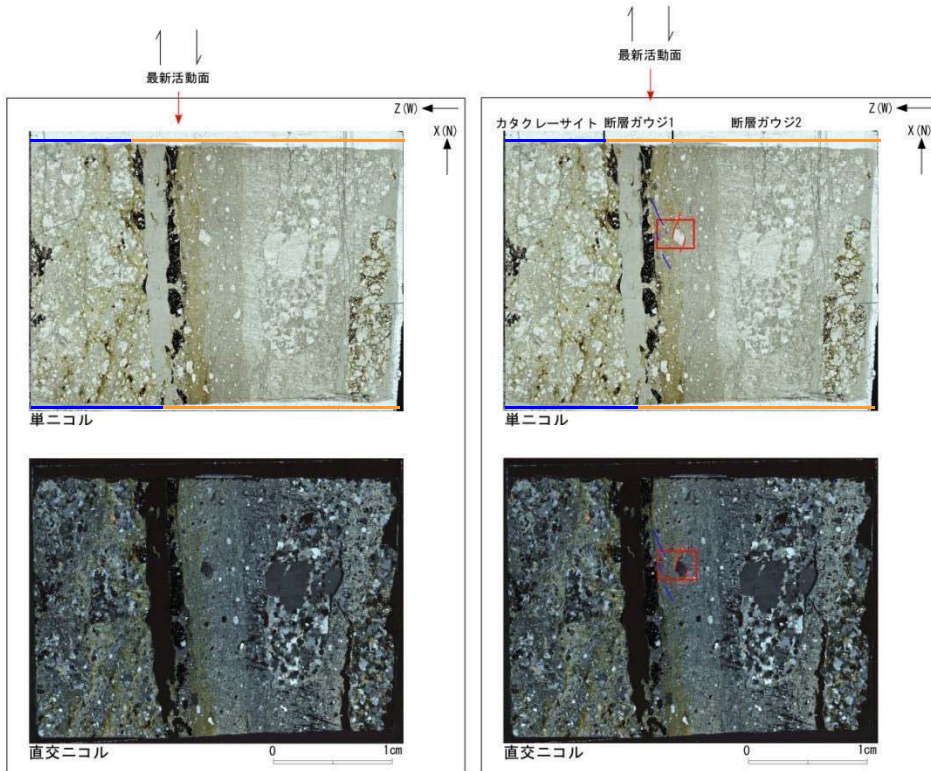
2.2 (3)D-6破碎帯

薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その1)

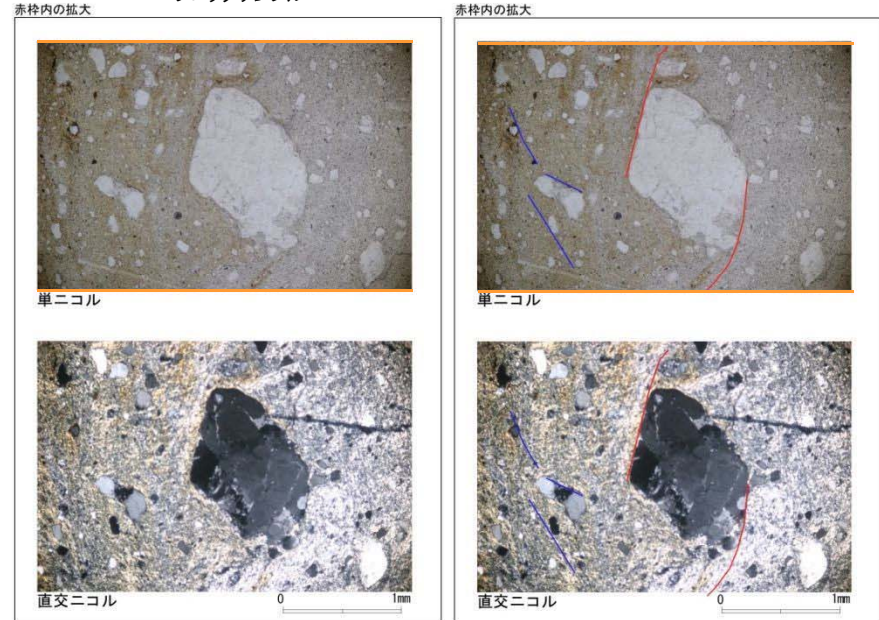
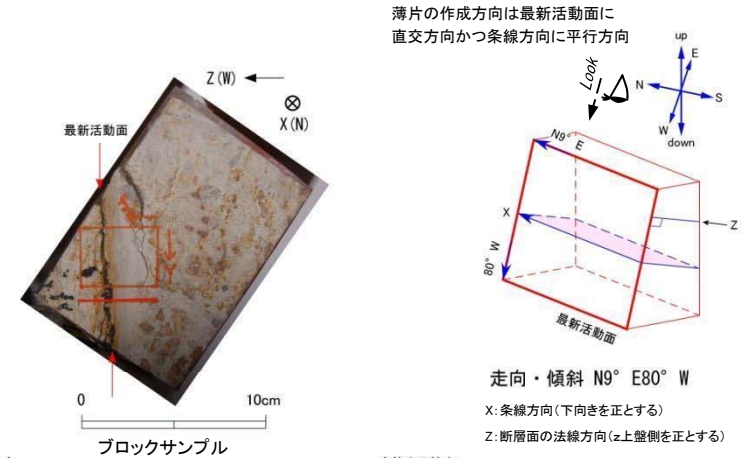
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



水平断面:最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

2.2 (3) D-6 破碎帯

薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

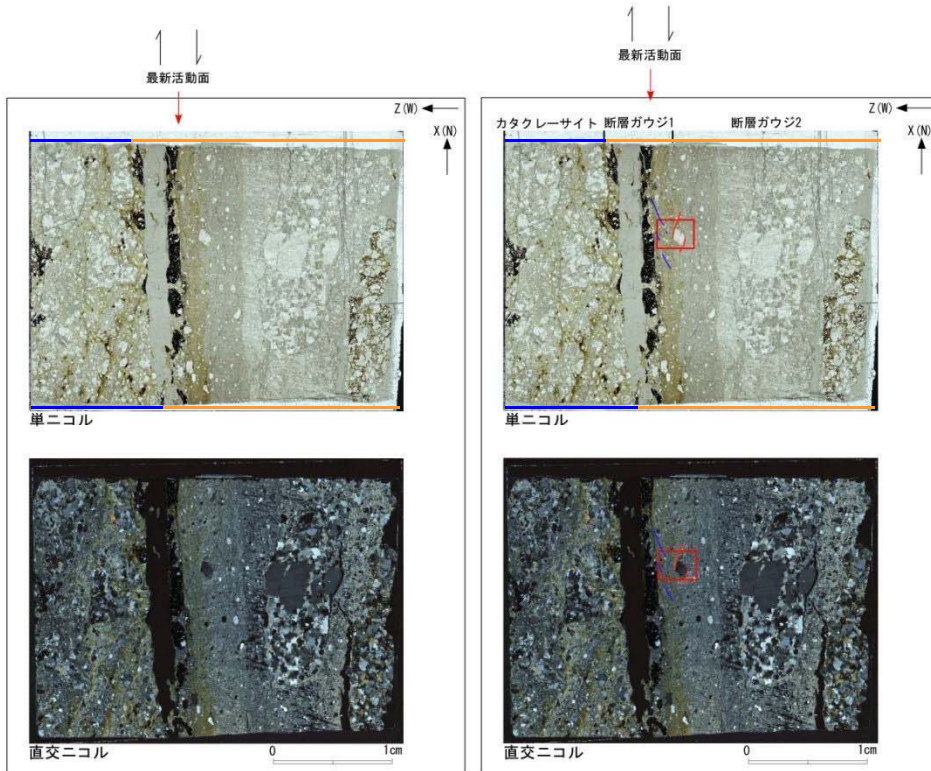
76, 77 (分類E) ①

薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

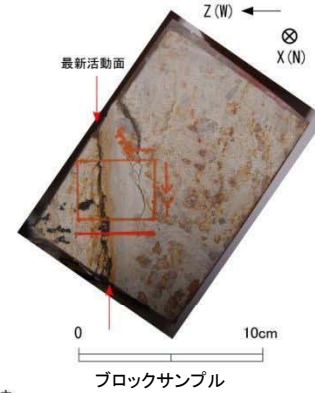
78 (分類E) ②

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

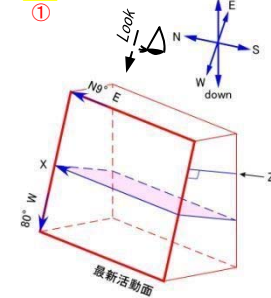
条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

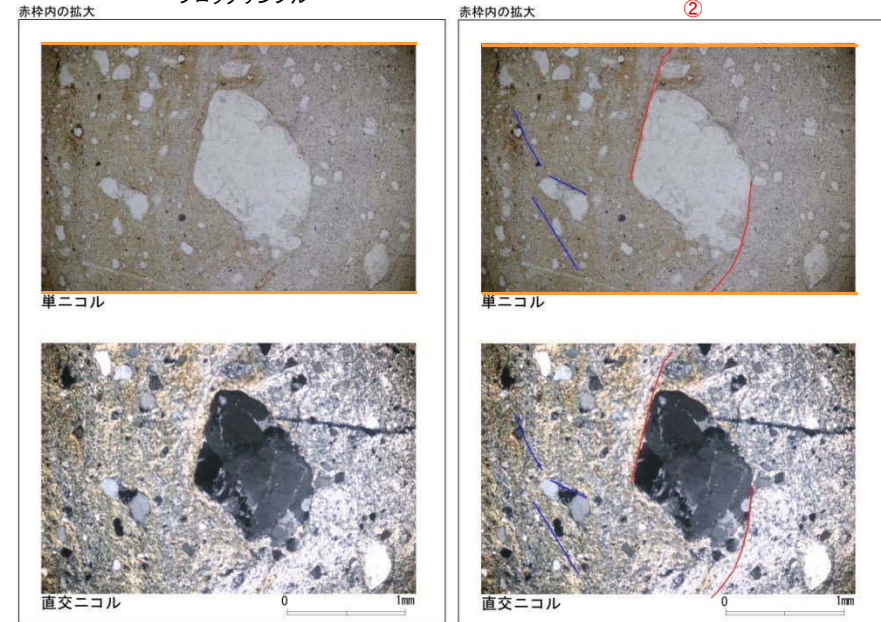


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ走向方向に平行方向



走向・傾斜 N9° E80° W

- ① X: 走向方向(北向きを正とする)
- Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



水平断面: 最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

2.2 (3)D-6破碎帯

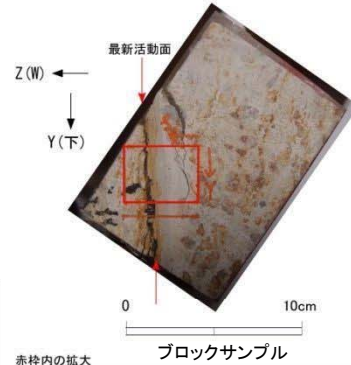
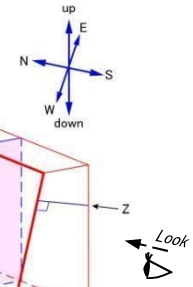
薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし

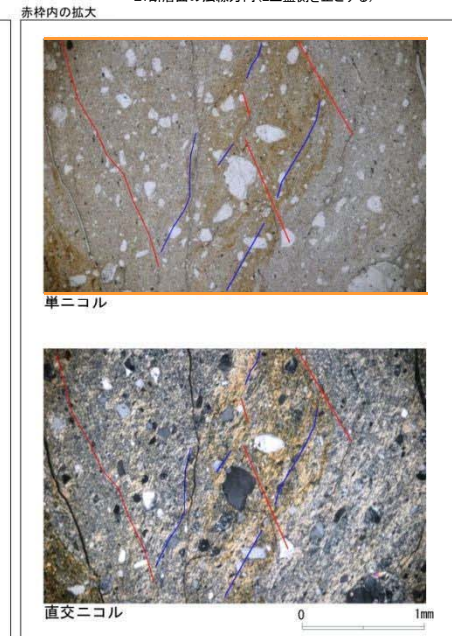
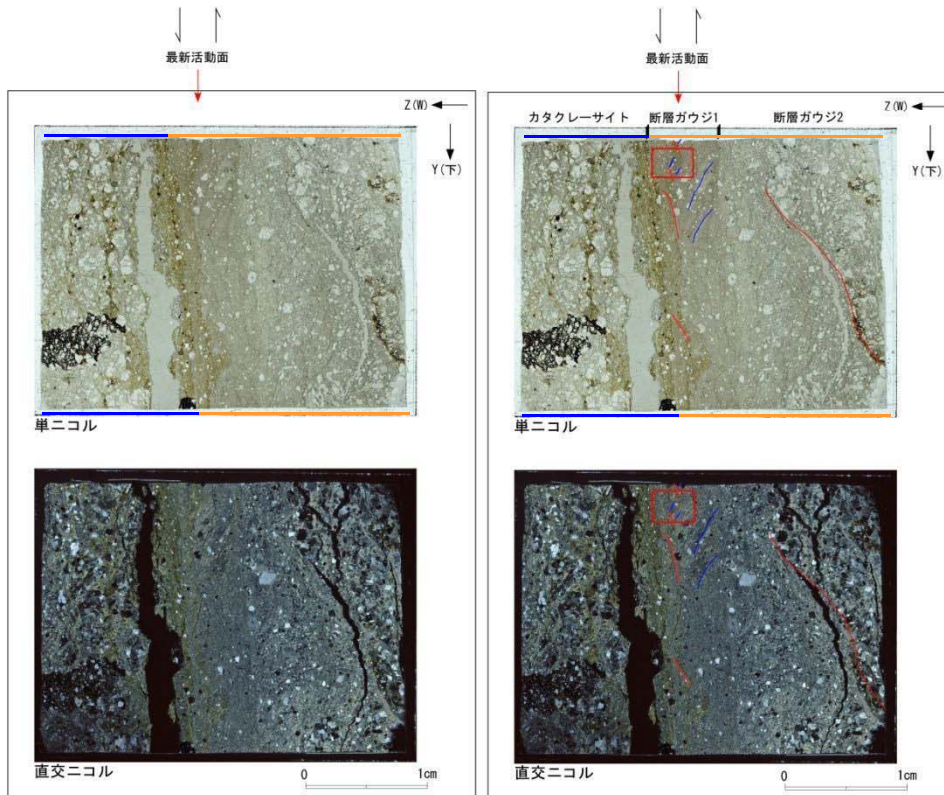
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 $N9^{\circ} E80^{\circ} W$

X: 条線方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(±上盤側を正とする)



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (3)D-6破碎帯

薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

79, 80(分類E)①

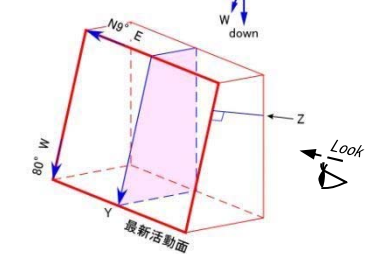
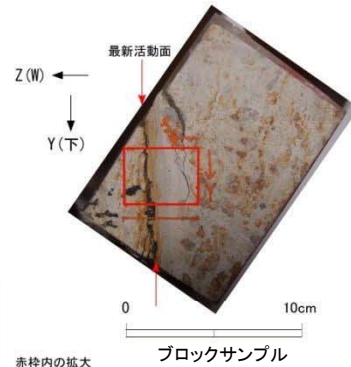
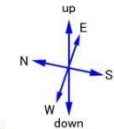
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

81(分類E)②

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向

①

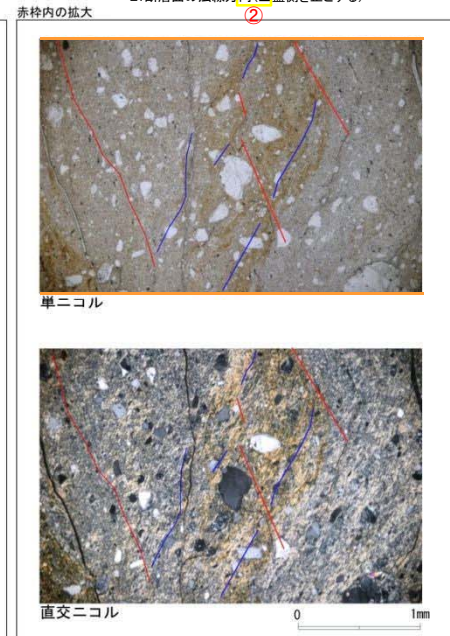
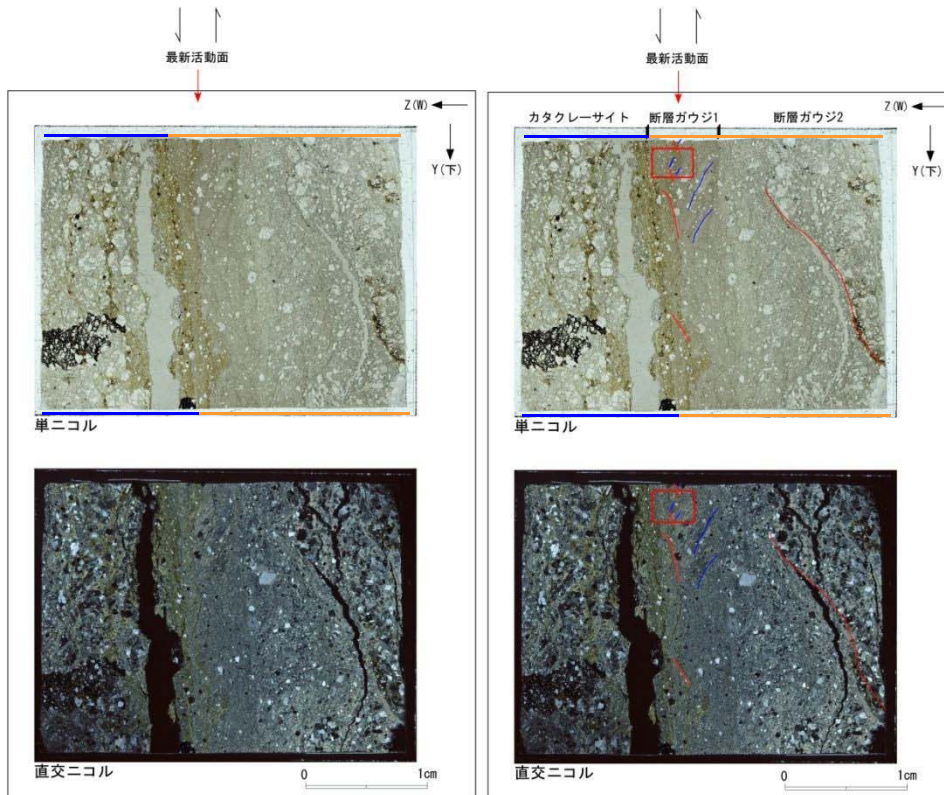


走向・傾斜 N9° E80° W

① Y: 傾斜方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

②



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

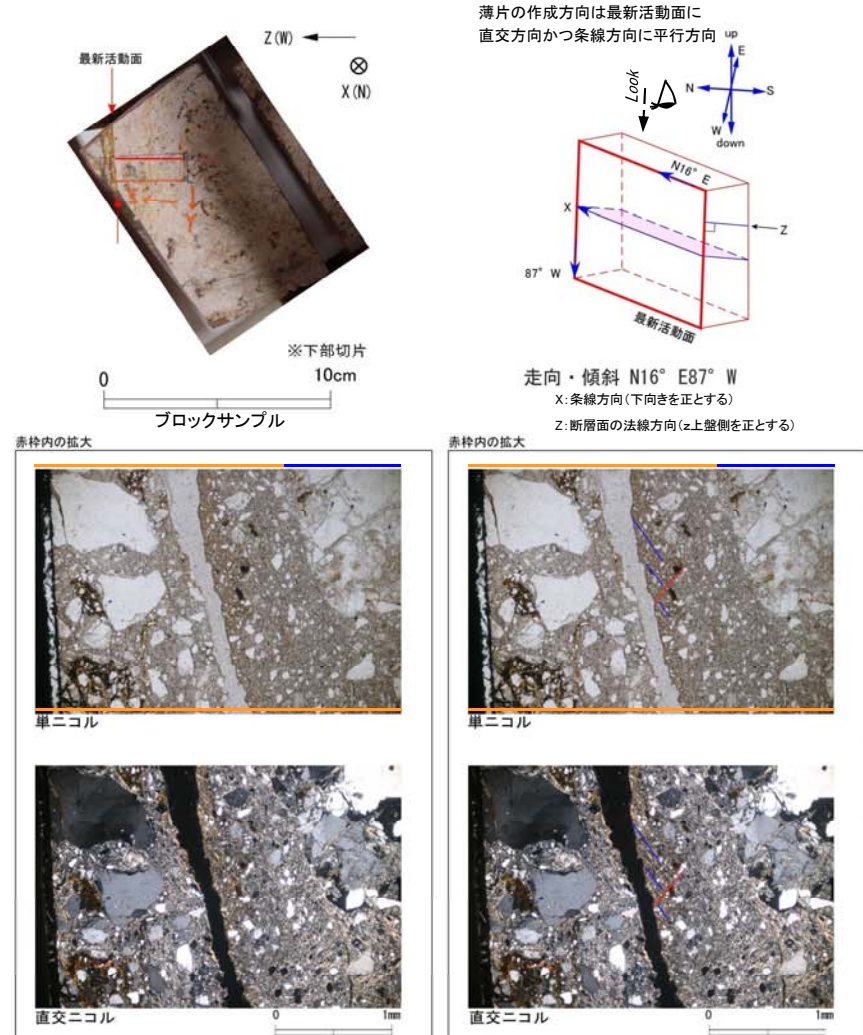
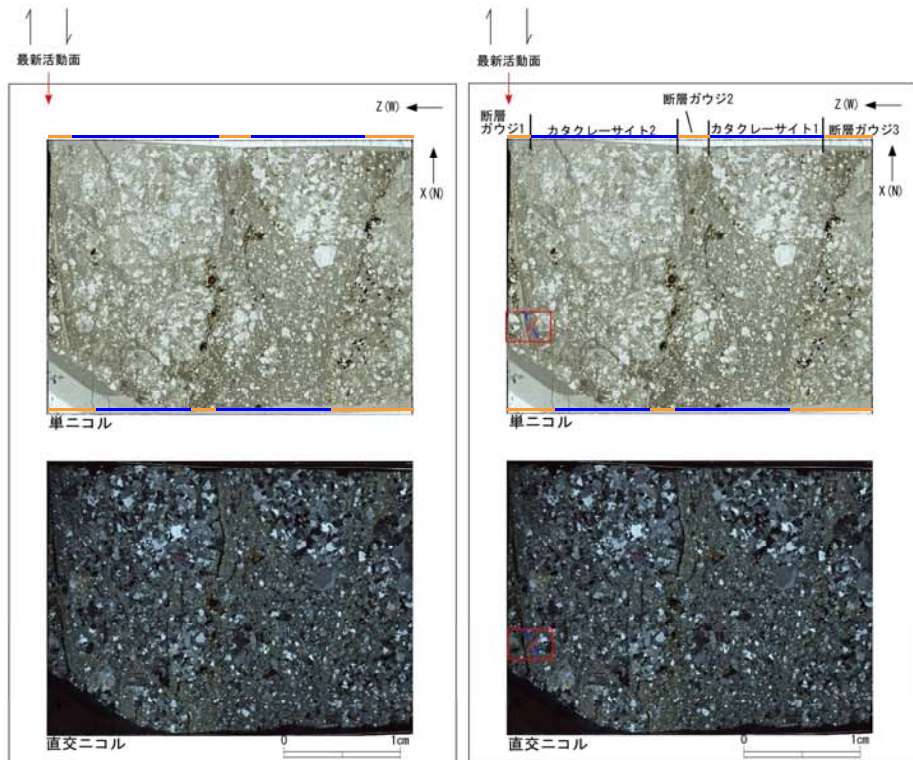
2.2 (5) その他破碎帯

D-5破碎帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H19-No.4のボーリングコア(深度107.55m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

水平断面: 最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.4のボーリングコア(深度107.55m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

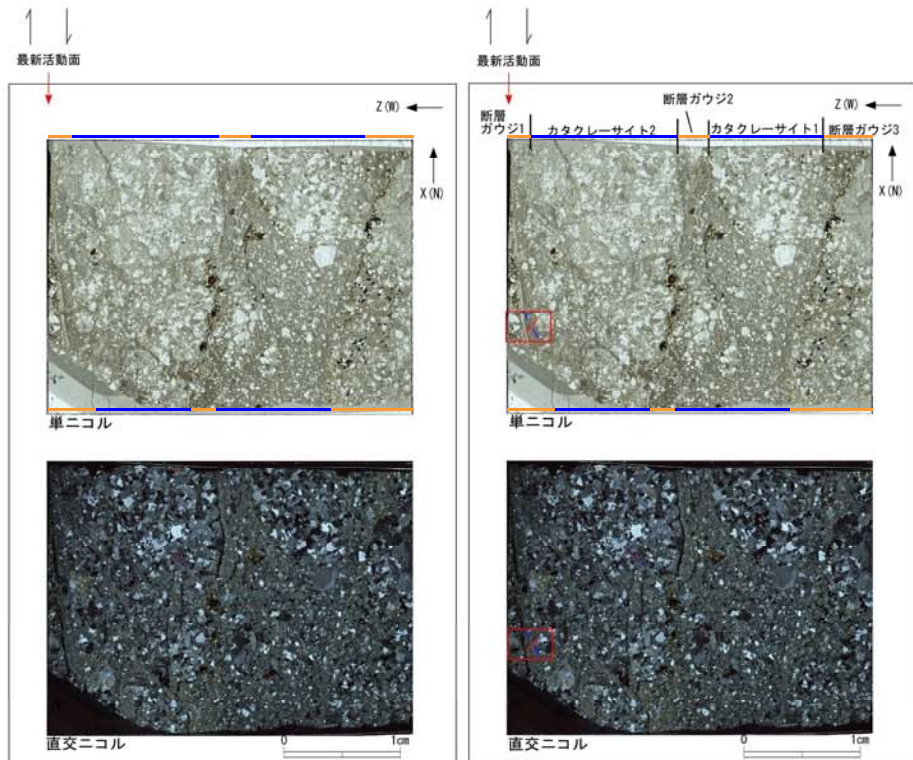
82, 83(分類E)①

薄片作成方向を示したものを、
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

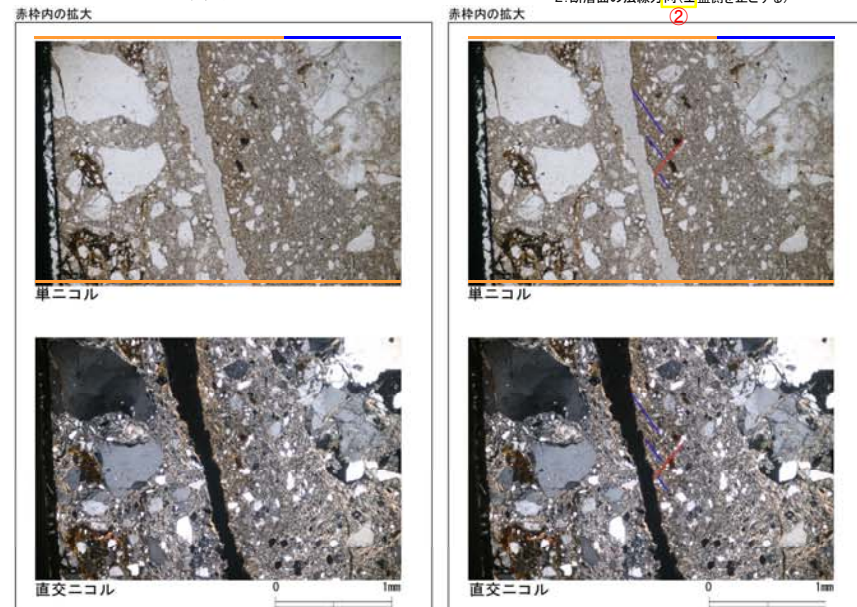
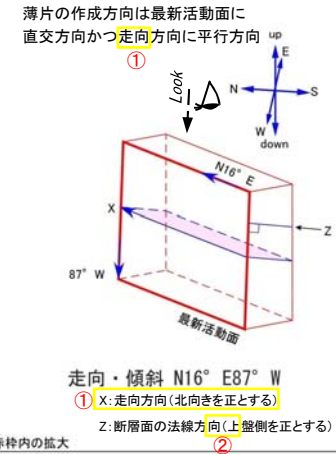
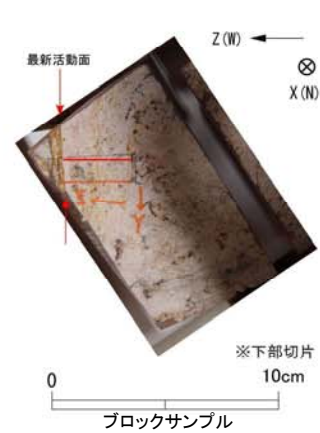
84(分類E)②

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



水平断面:最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

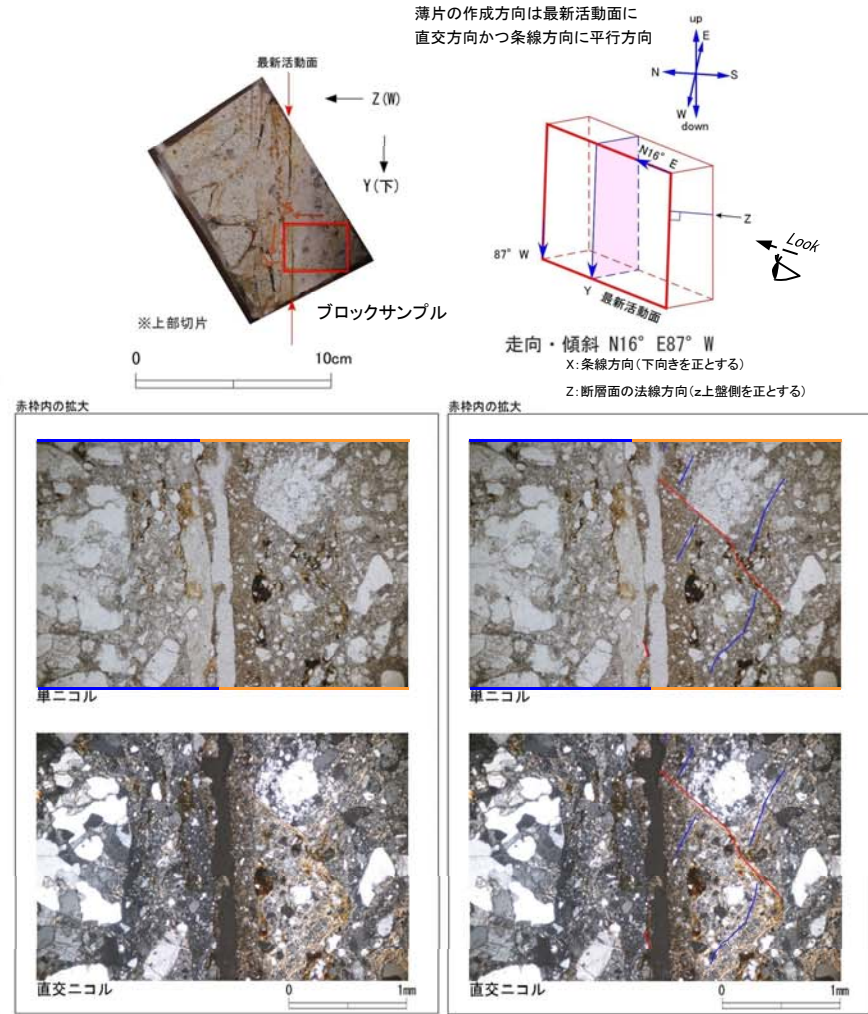
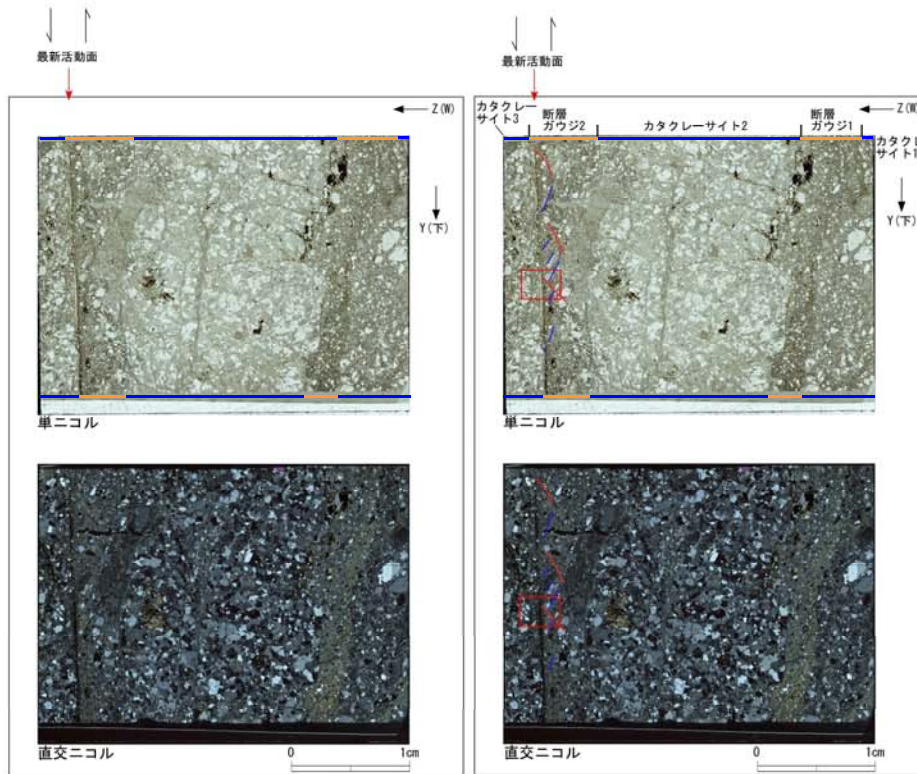
2.2 (5) その他破碎帯

D-5 破碎帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H19-No.4のボーリングコア(深度107.55m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレサイト
- R1面
- P面

鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.4のボーリングコア(深度107.55m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

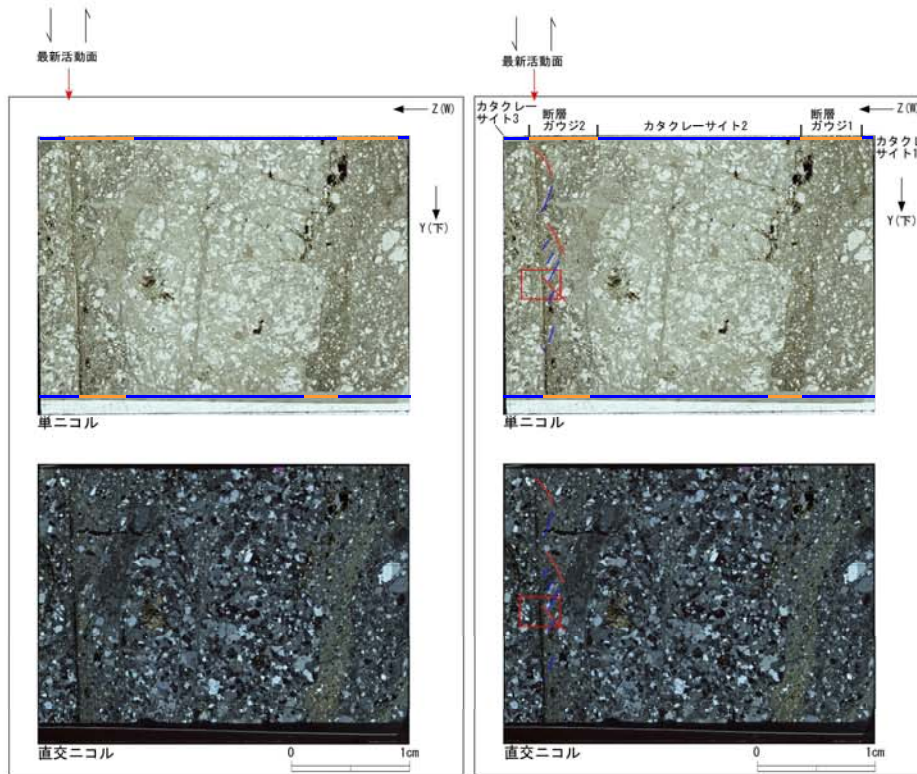
85, 86(分類E)①

薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

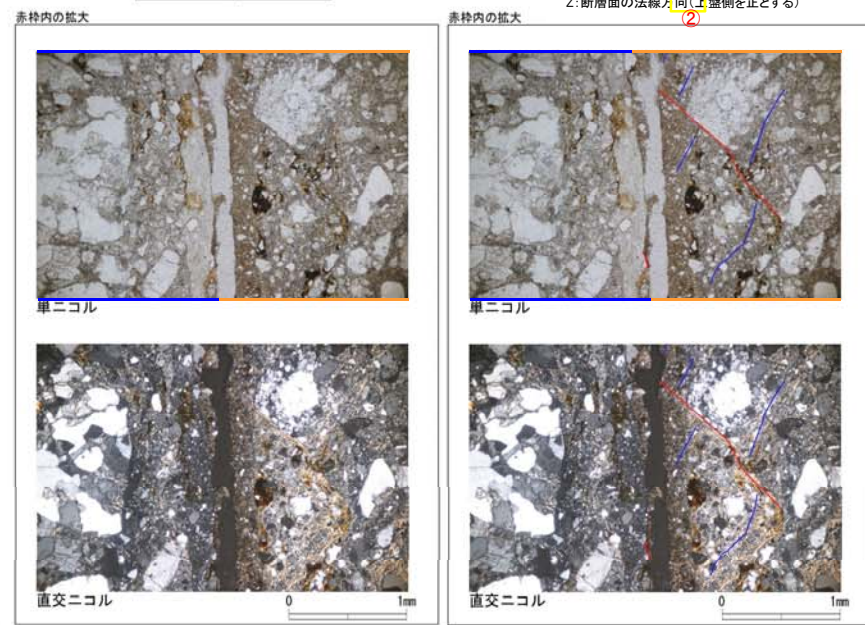
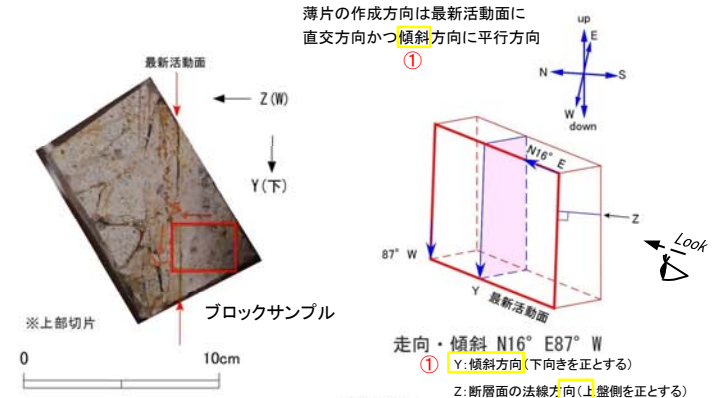
87(分類E)②

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

条線データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレサイト
- R1面
- P面



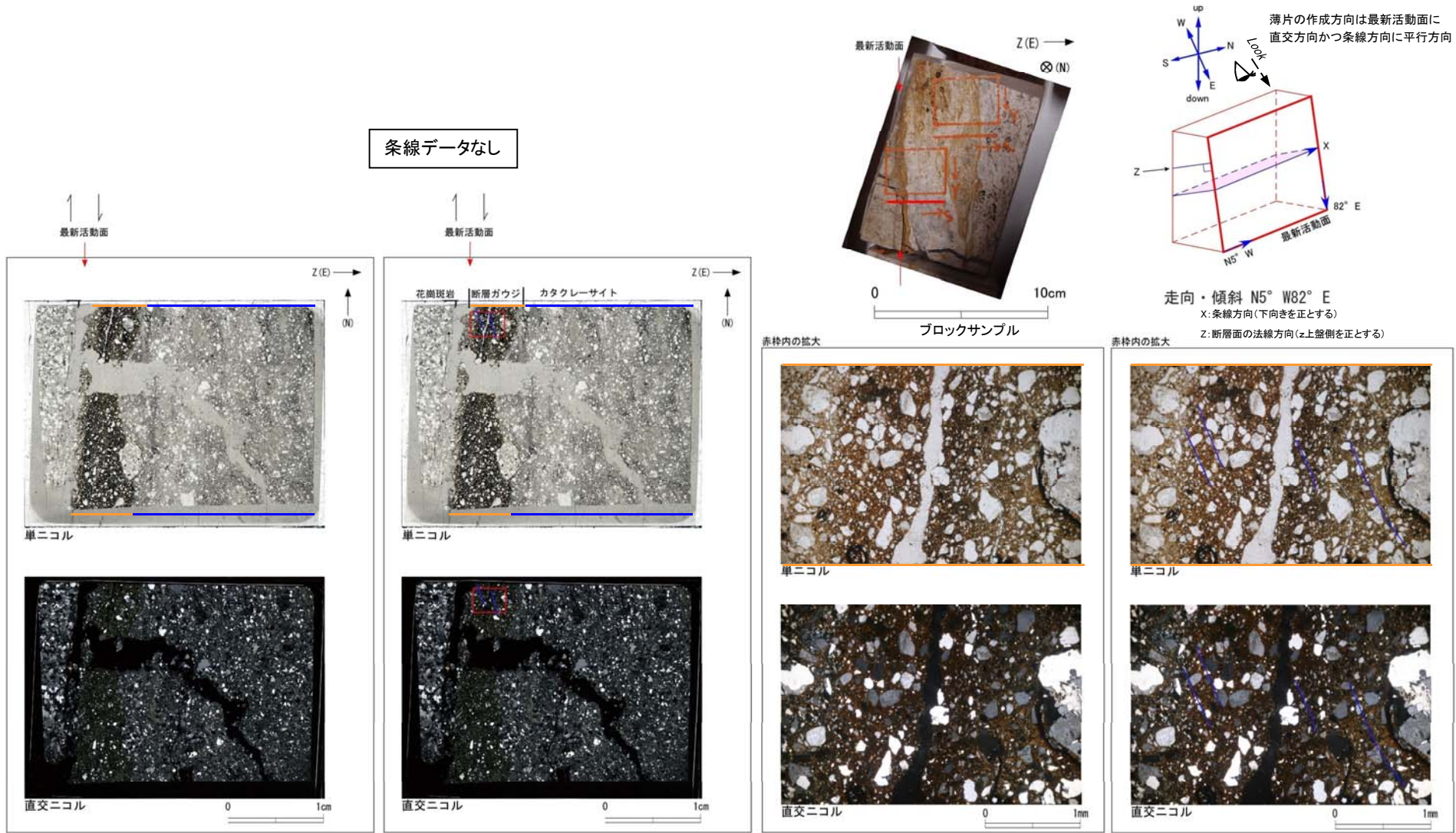
鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (5) その他破碎帯

D-5破碎帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。



水平断面: 最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

2.2 (5) その他破碎帯

D-5 破碎帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その1)

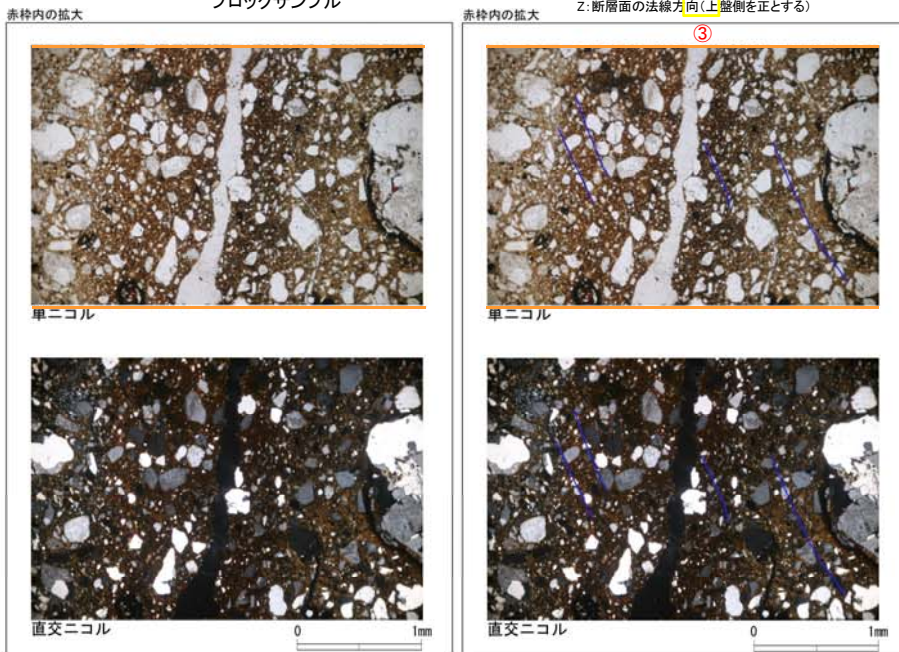
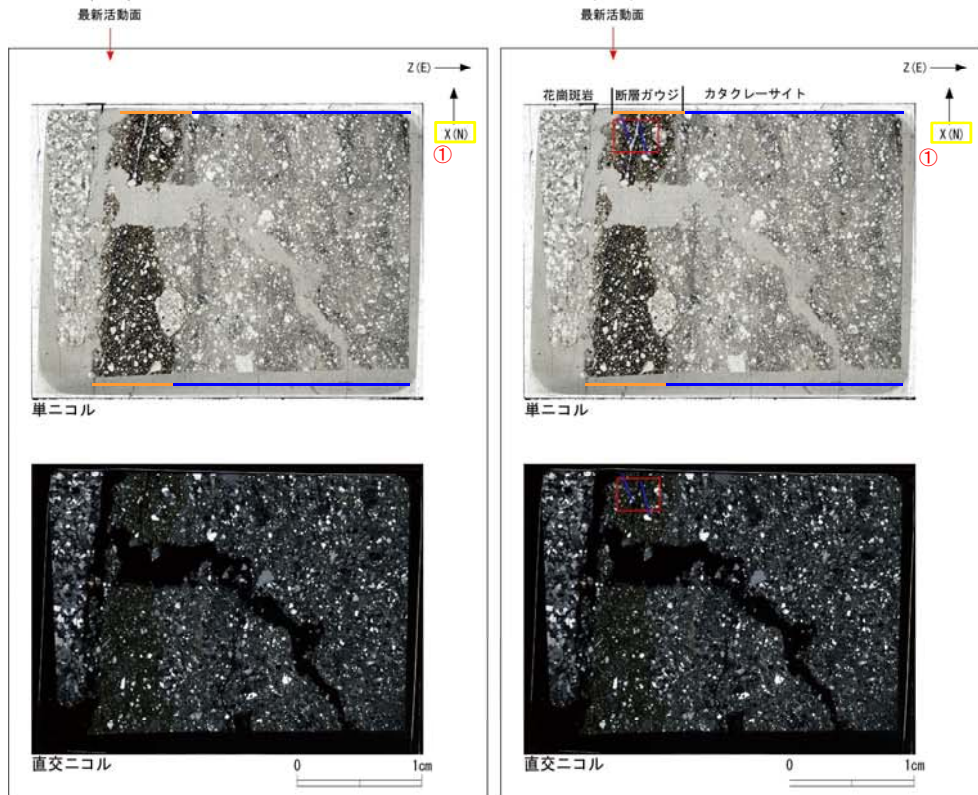
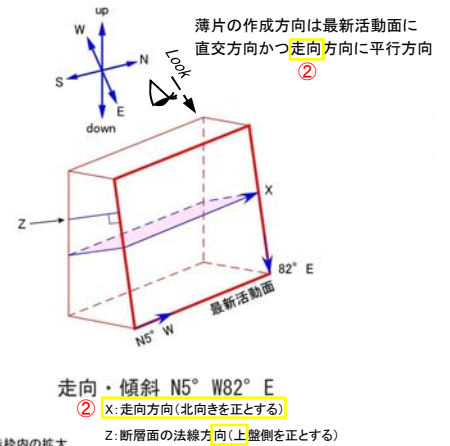
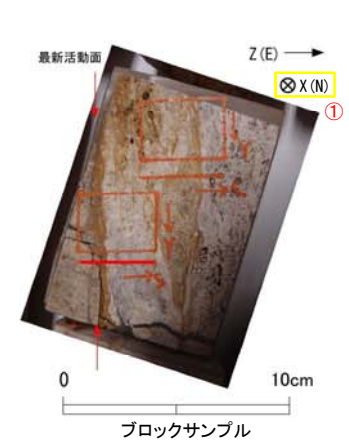
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

88, 89(分類F)①
方位と薄片作成方向(X, Y, Z)を併記することとしていたが、方位のみ記載しており、他の資料と統一が図られていなかった。

90, 91(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

92(分類E)③
断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

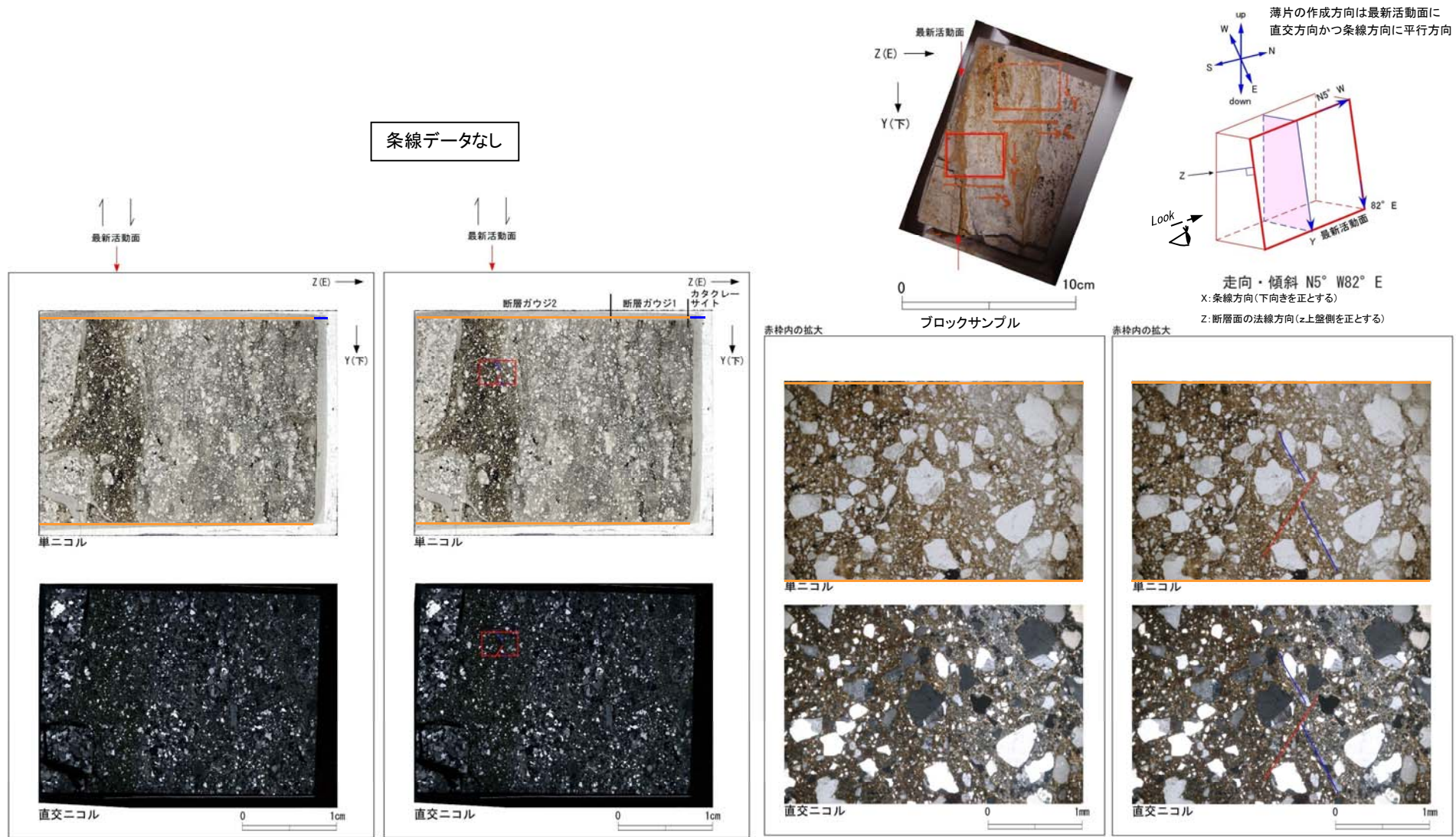
水平断面: 最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。

2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その2)

第536回審査会
机上配付資料1 修正前

H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。



鉛直断面:最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

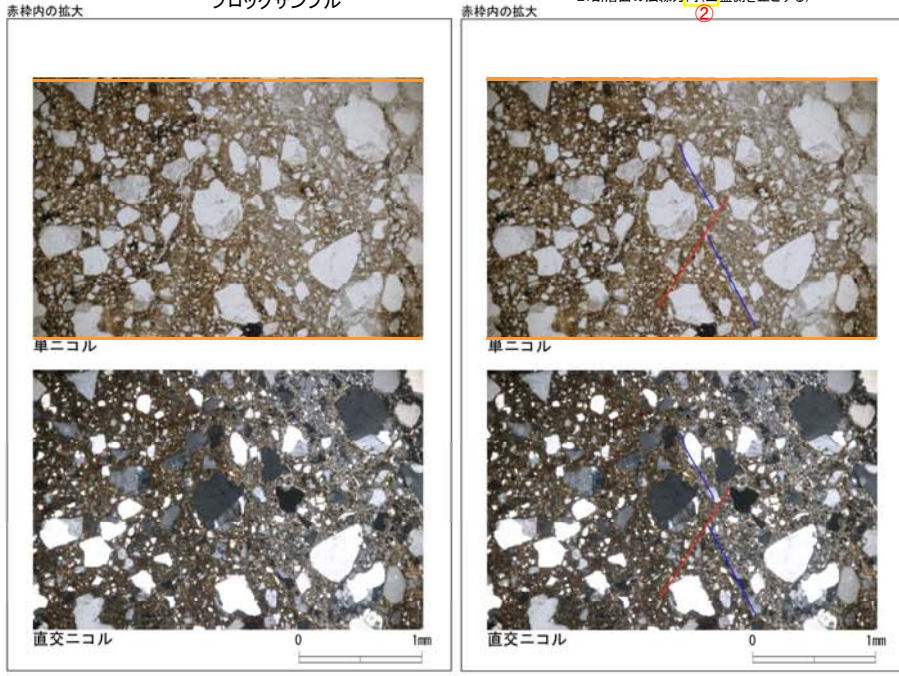
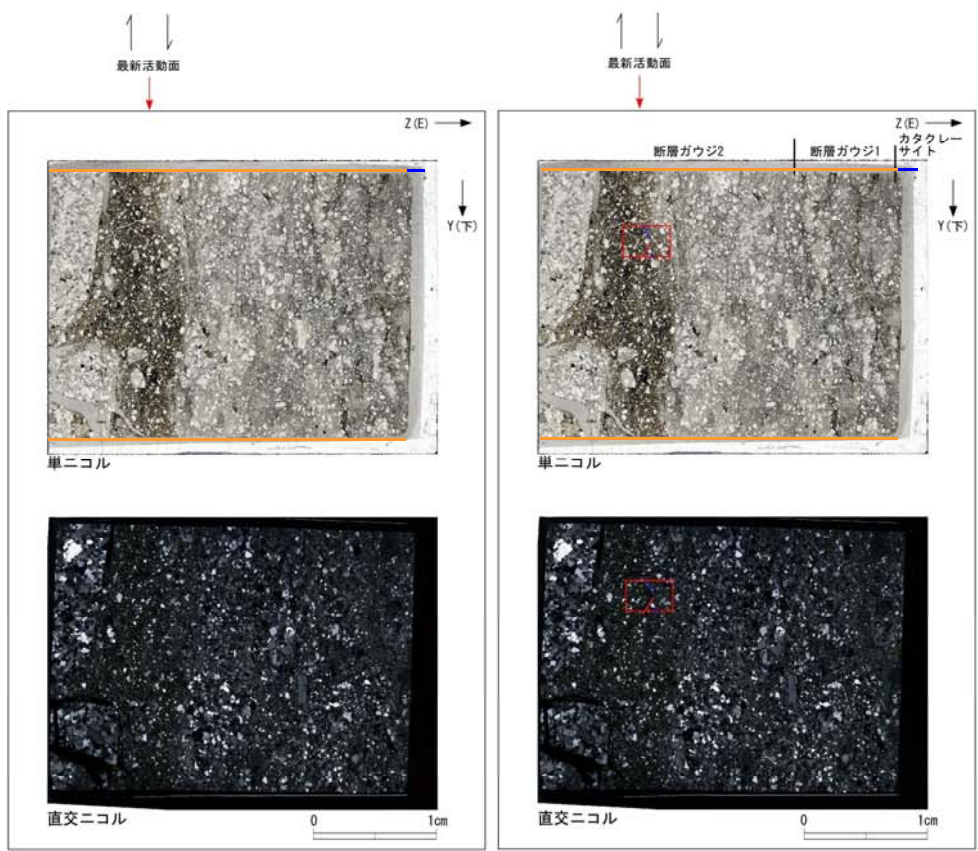
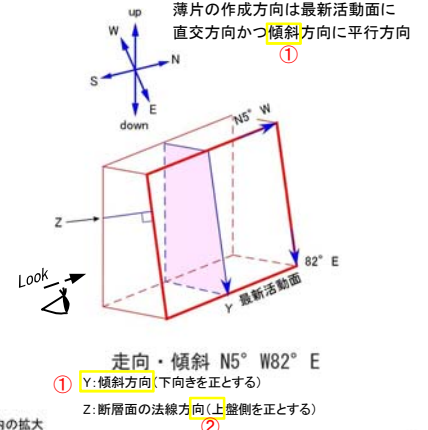
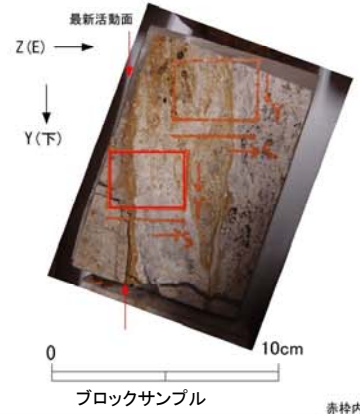
H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

93, 94(分類E)①

薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

95(分類E)②

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。



- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

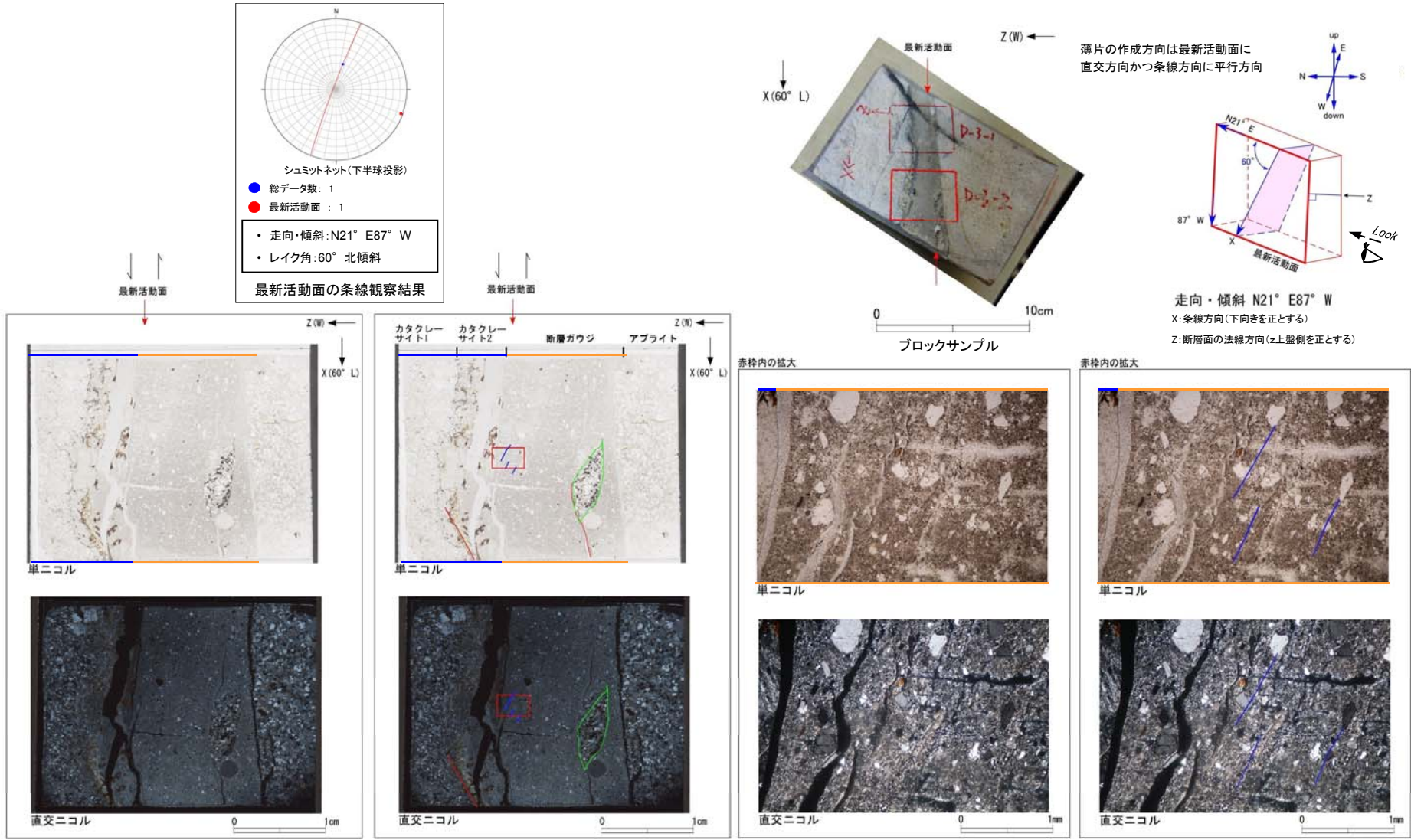
鉛直断面: 最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H27-D5-1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B11-1のボーリングコア(深度88.93m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。



2.2 (5) その他破砕帯

D-5破砕帯 薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H27-D5-1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H27-D5-1のボーリングコア(深度25.76m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

96(分類E)①

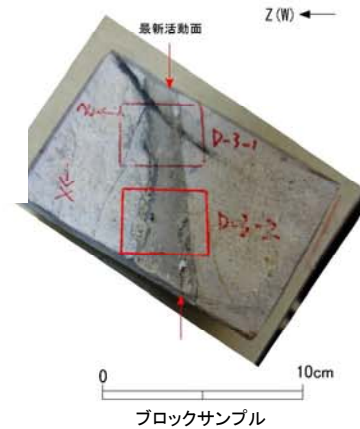
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

97(分類E)②

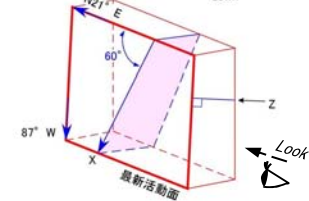
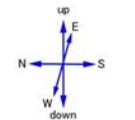
書式を転用した際に正しい深度への修正を失念した。

98(分類E)③

断層面の法線方向を示したものであるが、不要な文字が残っていたため削除した。

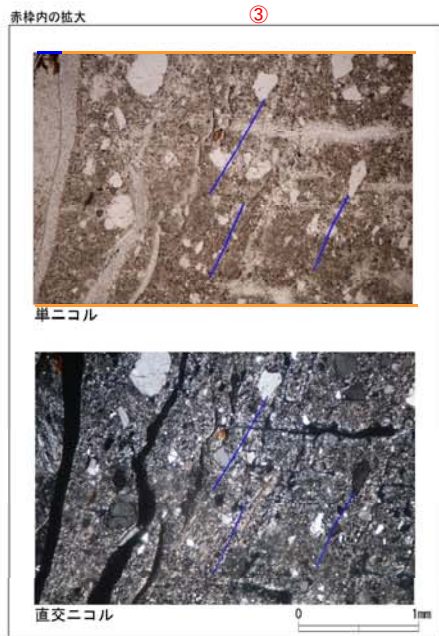
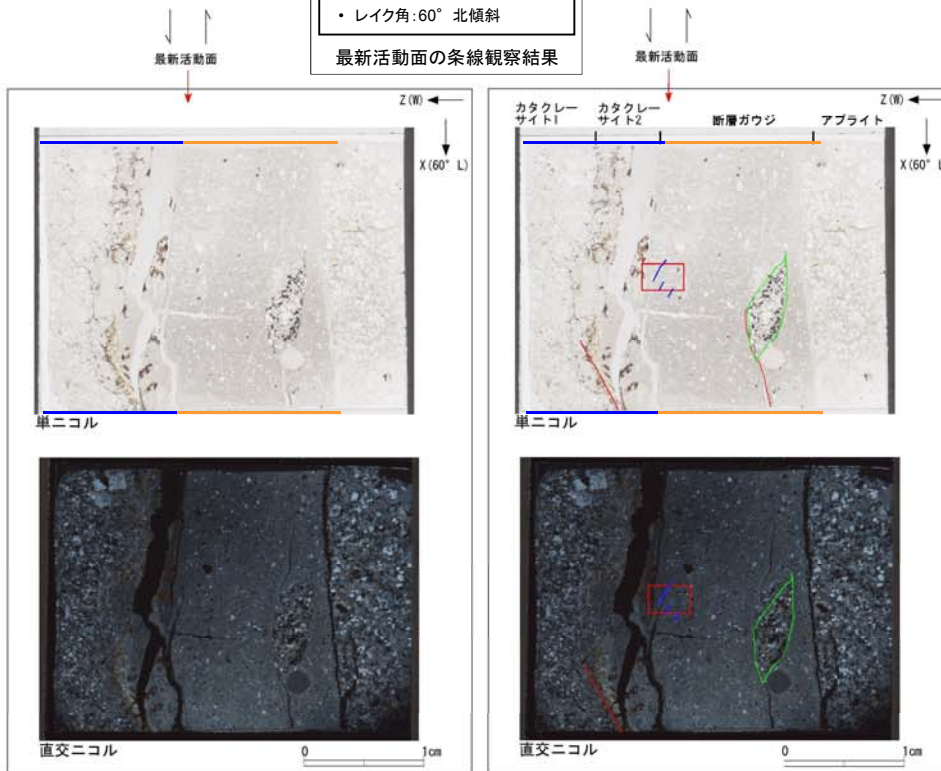


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N21° E87° W
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

● 総データ数: 1
● 最新活動面: 1
・ 走向・傾斜: N21° E87° W
・ レイク角: 60° 北傾斜



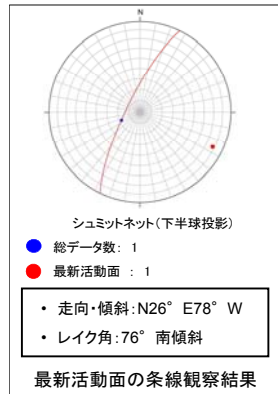
凡例
— 断層ガウジ
— カタクレーサイト
— R1面
— P面

2.2(5)その他破砕帯

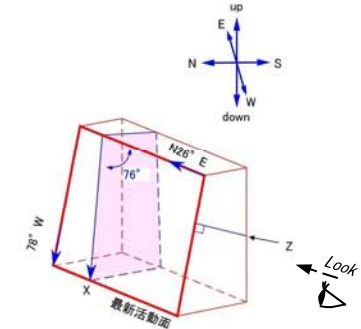
D-3破砕帯 薄片試料観察(H27-Br-1 深度35.85m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-Br-1のボーリングコア(深度35.85m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

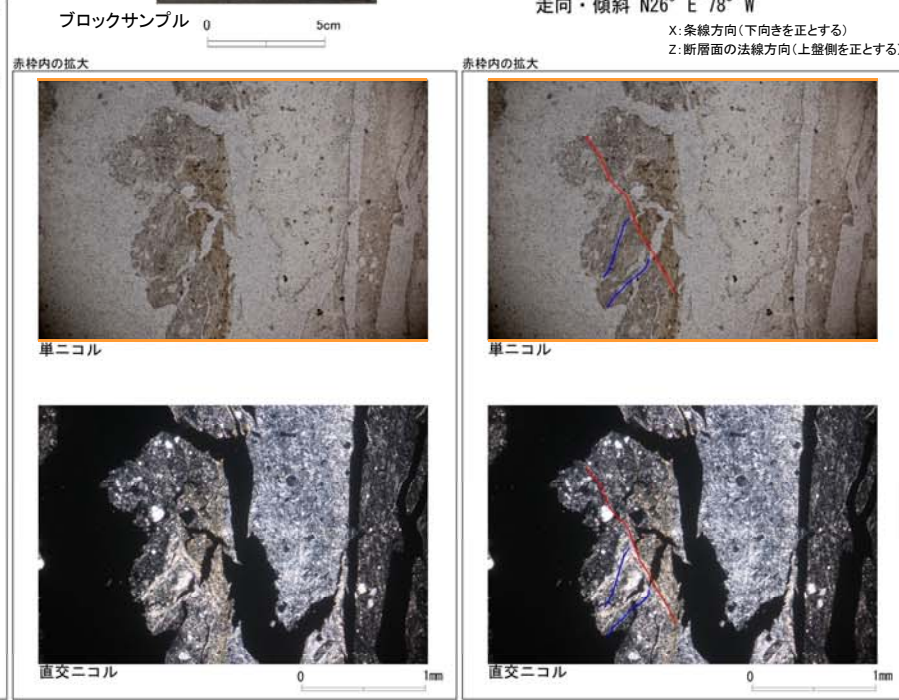
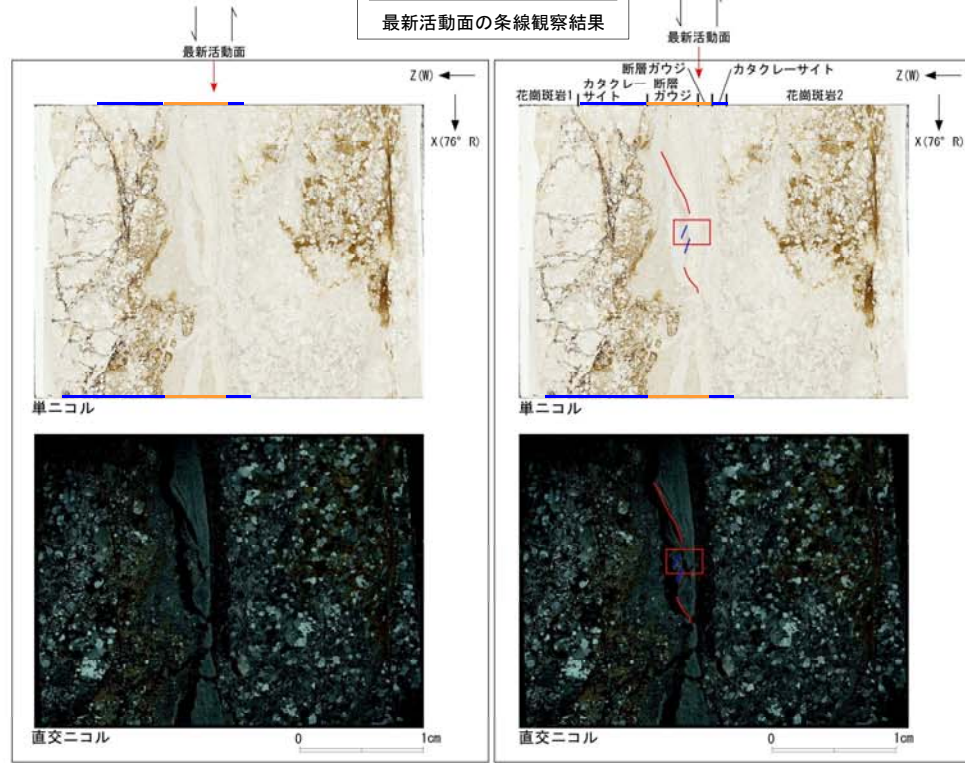


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N26° E 78° W

X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



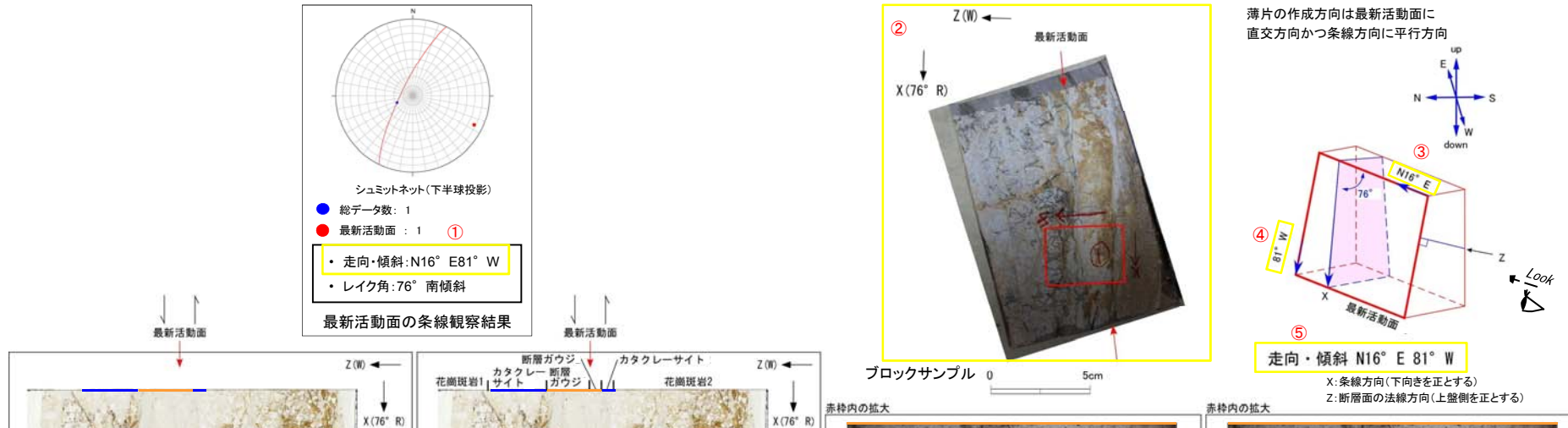
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2(5)その他破砕帯

D-3破砕帯 薄片試料観察(H27-Br-1 深度35.85m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H27-Br-1のボーリングコア(深度35.85m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



- 99(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。
- 100(分類F)②
ブロックサンプルの写真を他の資料と体裁を合わせて回転させた。
- 101(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本図に反映していなかった。
- 102(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。
- 103(分類A)⑤
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。



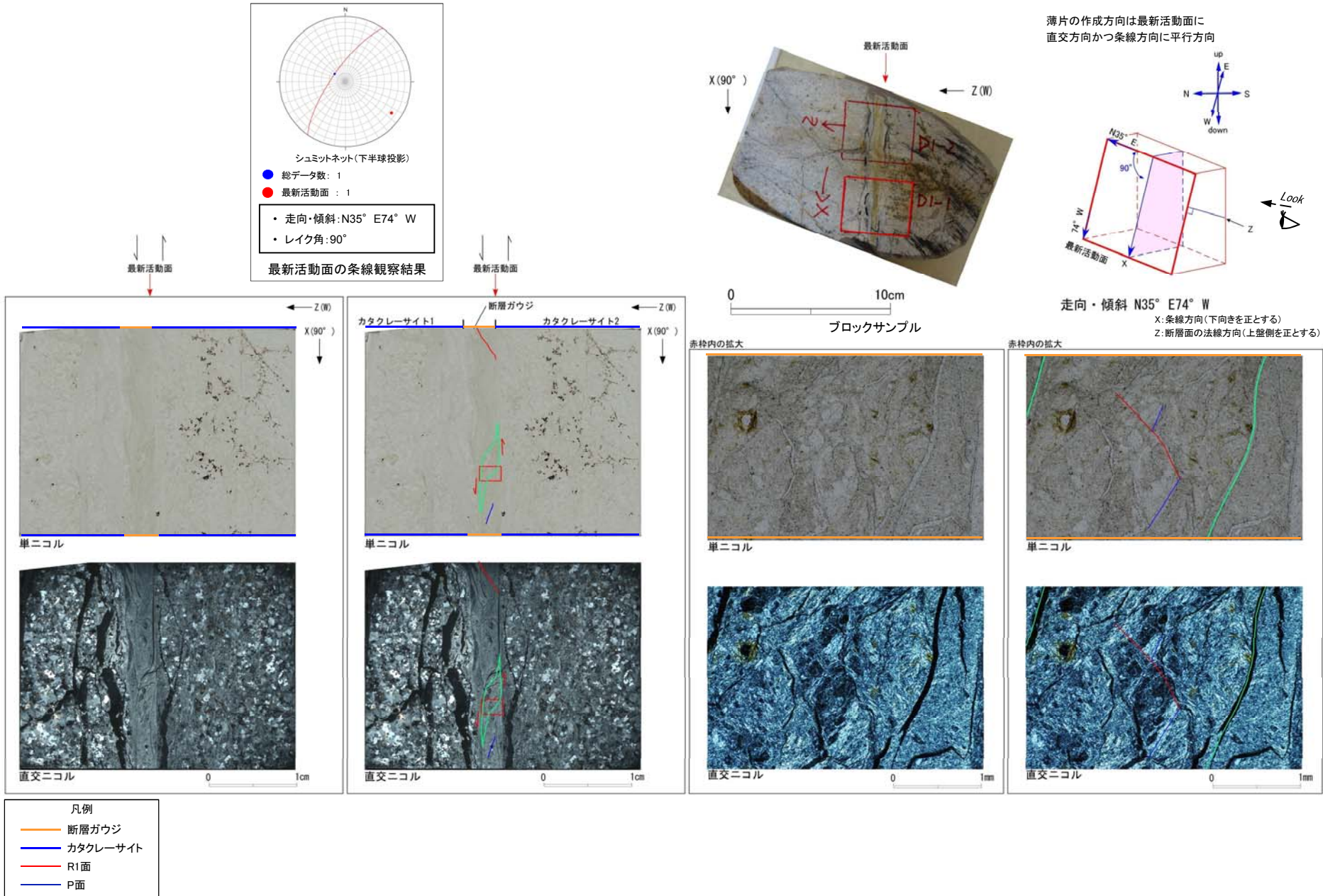
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2(5)その他破碎帯

D-4破碎帯 薄片試料観察(H27-D5-1 深度22.90m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D5-1のボーリングコア(深度22.90m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。



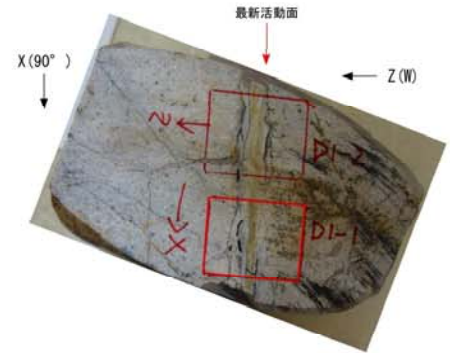
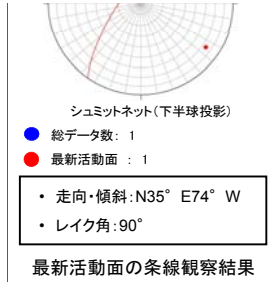
2.2(5)その他破碎帯

D-4破碎帯 薄片試料観察(H27-D5-1 深度22.91m)

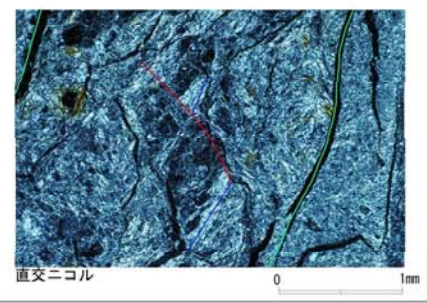
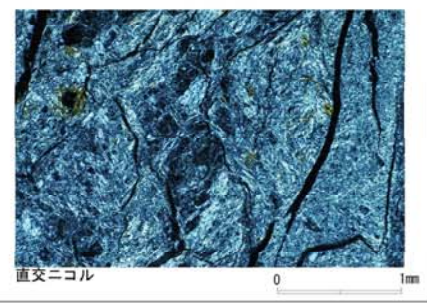
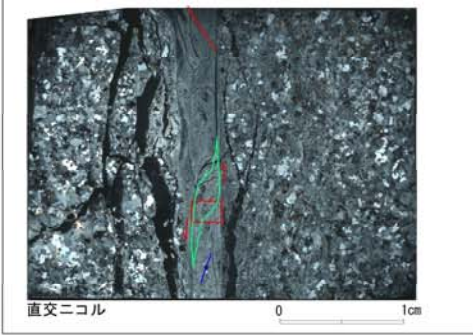
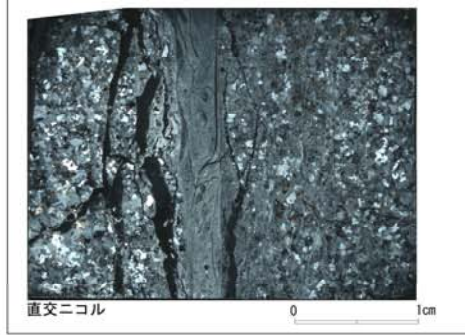
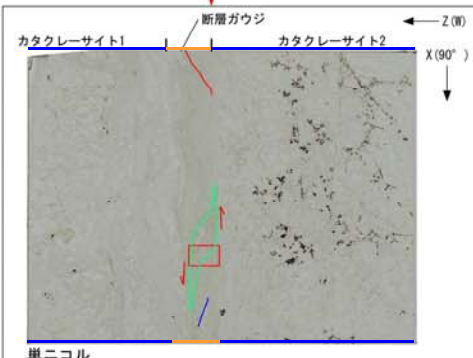
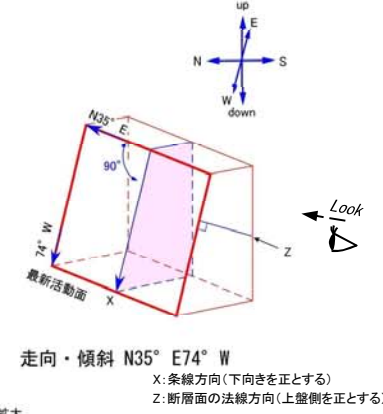
H27-D5-1のボーリングコア(深度22.91m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

104, 105(分類A)①

最新活動面の深度が、性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



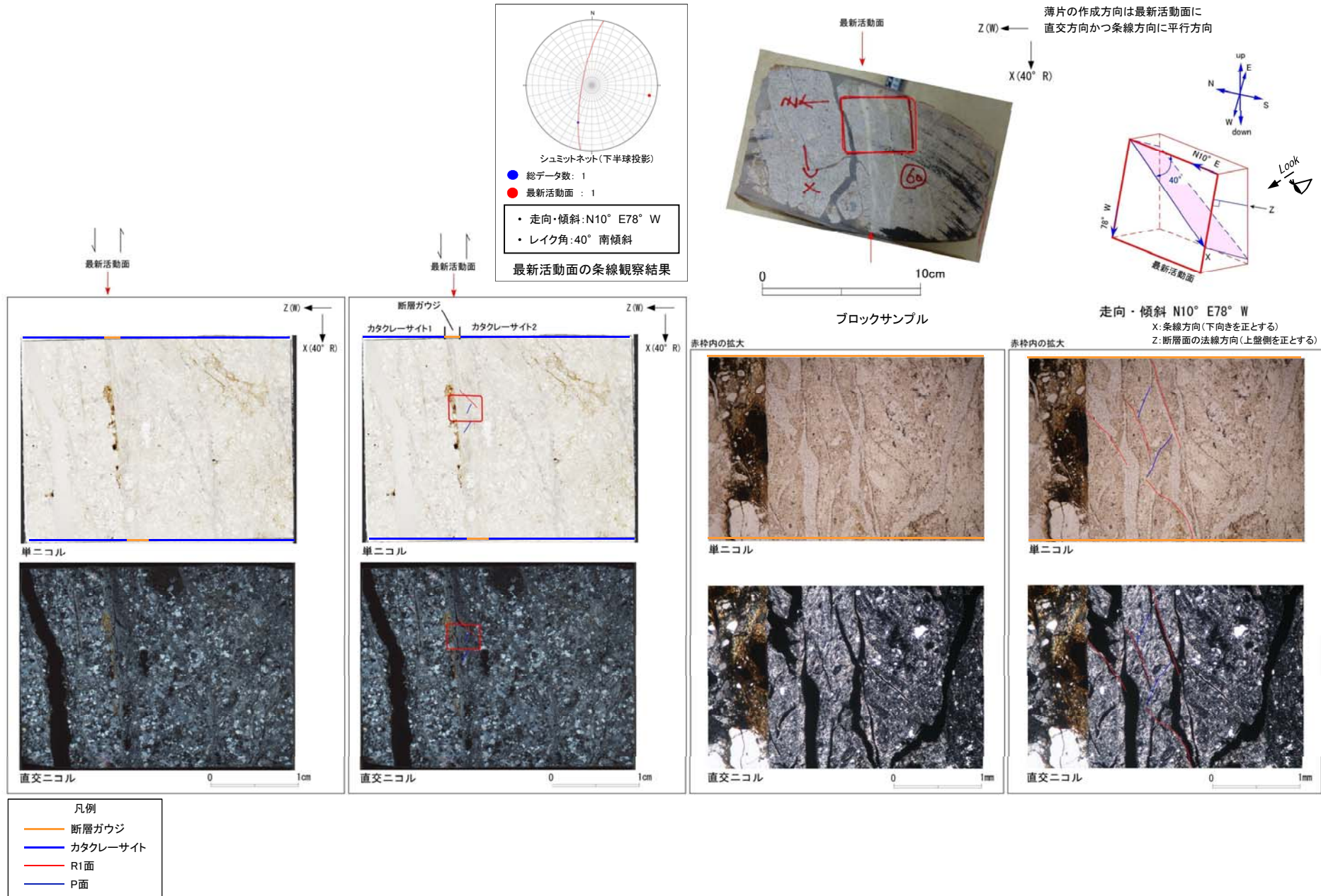
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

2.2(5)その他破碎帯

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H-7破碎帯 薄片試料観察(H27-B-4 深度93.13m)

H27-B-4のボーリングコア(深度93.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、左ずれを伴う正断層成分が卓越する。



2.2(5)その他破碎帯

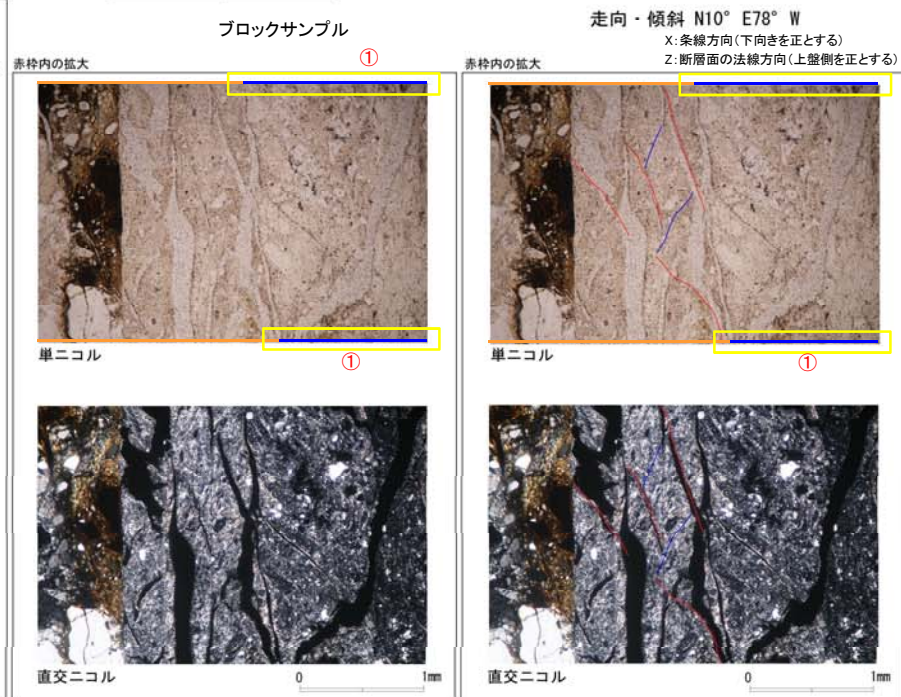
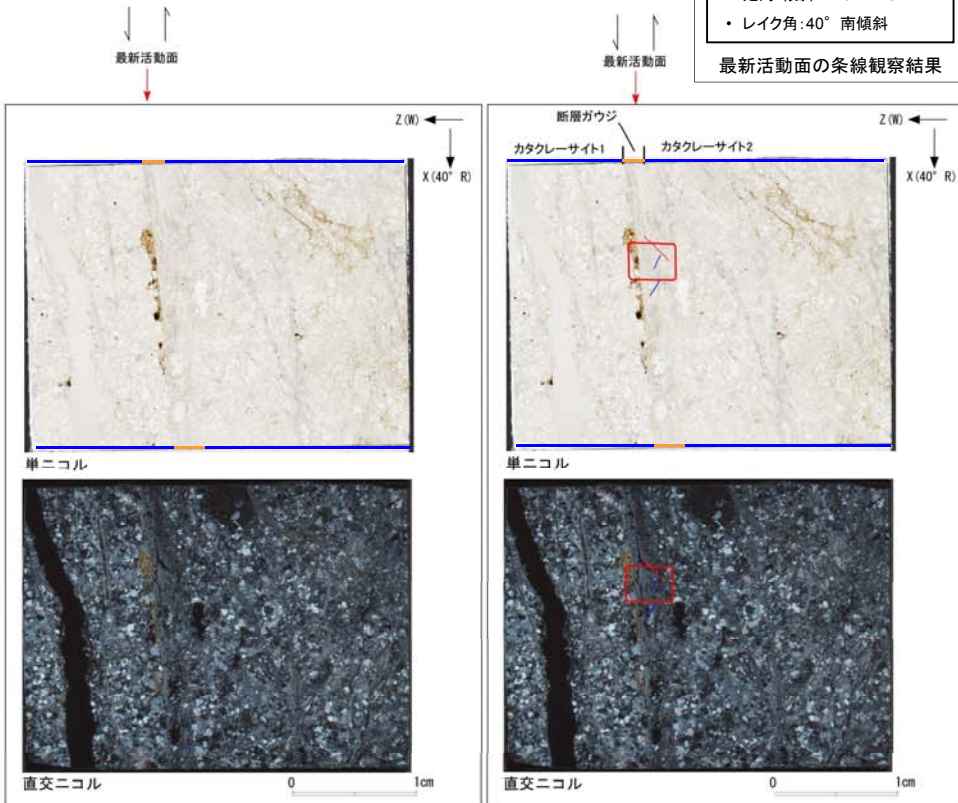
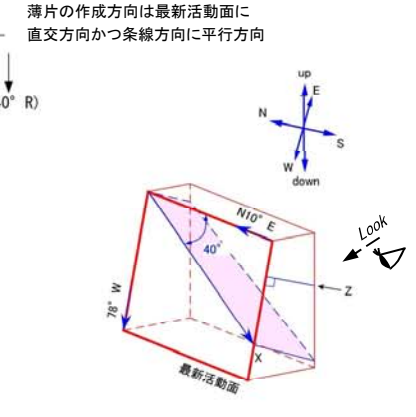
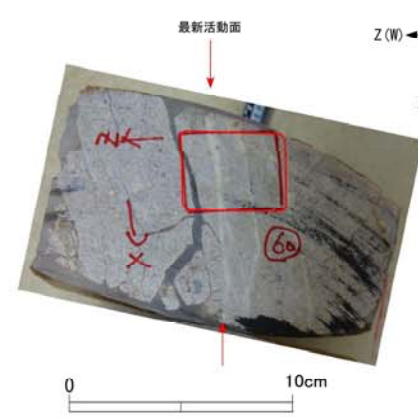
H-7破碎帯 薄片試料観察(H27-B-4 深度93.13m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H27-B-4のボーリングコア(深度93.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、左ずれを伴う正断層成分が卓越する。

106(分類E)①

拡大写真にカタクレサイトの分布位置を表示し忘れた。



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレサイト
 - R1面
 - P面

破砕帯の連続性評価について

②-1 具体的プロセスの提示方法(連続性評価結果の具体的提示方法)

連続性検討においては、他の破砕帯が横断しているか否か(※1)や下記の特徴を考慮している。

破砕幅(※2)、破砕部の構造的特徴(カクレーサイト中の構造的特徴)や周辺岩盤の破砕の影響の程度(※3)、熱水変質等の規模や特徴(※4)
(次頁参照)

○: 起点破砕部と連続すると判断した破砕部
×: 起点破砕部と連続しないと判断した破砕部

連続性評価結果(例)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70		
H24-B11-1	範囲内			①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
				②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
				③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
				④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
				⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
H24-B11-2	範囲外			①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
				②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
	範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56			
H19-No.6	範囲外			①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-b-2	参考2-127	

- 緑色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 黄色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 薄水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価がなされている破砕帯とは連続しないものと判断(グレーハッチ)。

「断層ガウジ・断層角礫の有無」、明瞭なせん断・変形構造の有無」の類似性の判断

	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無
起点破砕部	無	—	有	無	有	有
候補とする破砕部	無	—	無	—	無	—
候補とする破砕部	有	無	有	無	有	無
候補とする破砕部	有	有	有	有	有	有

※ 「カクレーサイトからなる破砕部」と「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められる破砕部」の組み合わせ(グレーハッチ)以外については、連続する可能性があるものとする(ブルーハッチ又はブルー枠)。
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」には、
- 『「カクレーサイトからなる破砕部」が熱水変質作用等によって軟質化した場合』
- 『断層ガウジ又は断層角礫を伴う破砕部が場所的变化によって明瞭なせん断構造・変形構造を呈していない場合』
のいずれかの可能性があることから、
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」はいずれの性状の破砕部とも連続する可能性があるとして判断する。

条線方向及び変位センスの類似性の判断

(類似していると判断する場合)

- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以内※、かつ鉛直方向又は水平方向のセンスが同じ場合
- 条線方向が得られておらず、かつ8等分した変位センスが起点と当該破砕部とで隣り合う場合

8等分した変位センス

※ 破砕部の走向・傾斜の変動(平均的走向・傾斜±20°の範囲)及び過去の広域応力場の方向の変動(第536回審査会合、資料2、p.61参照)を踏まえて求めた理論的な条線方向の変動に基づき設定

(類似していないと判断する場合)

- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以上の場合
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以内であるが、鉛直方向及び水平方向のセンスが逆の場合

破砕帯の連続性評価について

②-1 具体的プロセスの提示方法(連続性評価結果の具体的提示方法)

第657回審査会合
資料1 修正後

連続性検討においては、他の破砕帯が横断しているか否か(※1)や下記の特徴を考慮している。
破砕幅(※2)、破砕部の構造的特徴(カタクレーサイト中の構造的特徴)や周辺岩盤の破砕の影響の程度(※3)、熱水変質等の規模や特徴(※4)
(次頁参照)

○: 起点破砕部と連続すると判断した破砕部
×: 起点破砕部と連続しないと判断した破砕部

連続性評価結果(例)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
H24-B11-1	範囲内	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	① N	② ×	非モデル化	参考2-191	※3 ②
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
H24-B11-2	範囲外	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
H19-No.6	範囲外	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-b-2	参考2-127	

- 緑色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 黄色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 薄水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
- 水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
- 濃水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
- 濃水色: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内

連続性評価がなされている破砕帯とは連続しないものと判断(グレーハッチ)。

107(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

「断層ガウジ・断層角礫の有無」, 「明瞭なせん断・変」

	断層ガウジ・断層角礫の有無		明瞭なせん断構造・変形構造の有無		断層ガウジ・断層角礫の有無		連続性	
	有	無	有	無	有	無	有	無
起点破砕部	無	-	有	無	有	無	有	有
候補とする破砕部	無	-	無	-	無	-	無	-
候補とする破砕部	有	無	有	無	有	無	有	無
候補とする破砕部	有	有	有	有	有	有	有	有

※ 「カタクレーサイトからなる破砕部」と「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められる破砕部」の組み合わせ(グレーハッチ)以外については、連続する可能性があるものとする(ブルーハッチ又はブルー枠)。
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」には、
- 『「カタクレーサイトからなる破砕部」が熱水変質作用等によって軟質化した場合』
- 『「断層ガウジ又は断層角礫を伴う破砕部」が場所的变化によって明瞭なせん断構造・変形構造を呈していない場合』
のいずれかの可能性があることから、
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い、明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」は「いずれの性状の破砕部とも連続する可能性がある」と判断する。

108, 109(分類D)②
変位センスを正しい記載にしたことにより、起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

・ 条線方向が得られておらず、かつ8等分した変位センスが起点と当該破砕部とで隣り合う場合

8等分した変位センス

(類似していないと判断する場合)
・ 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45° 以上の場合
・ 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45° 以内であるが、鉛直方向及び水平方向のセンスが逆の場合

※ 破砕部の走向・傾斜の変動(平均的な走向・傾斜±20°の範囲)及び過去の広域応力場の方向の変動(第536回審査会合、資料2、p.61参照)を踏まえて求めた理論的な条線方向の変動幅に基づき設定

破砕帯の連続性評価について

②-2-1-1 具体的プロセスの例示(連続性評価結果)

第657回審査会合
資料1 修正前

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																	
該当破砕帯なし																	
H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	無	-	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	無	-	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
	範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	無	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34		

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

破砕帯の連続性評価について

第657回審査会合
資料1 修正後

②-2-1-1 具体的プロセスの例示(連続性評価結果)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																	
該当破砕帯なし																	
H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	① 有	② 無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
	範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	④ R,RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL		○	D-1	参考2-34	

110, 112(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層カウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

111, 113(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層カウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

1能

114(分類A)③

明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

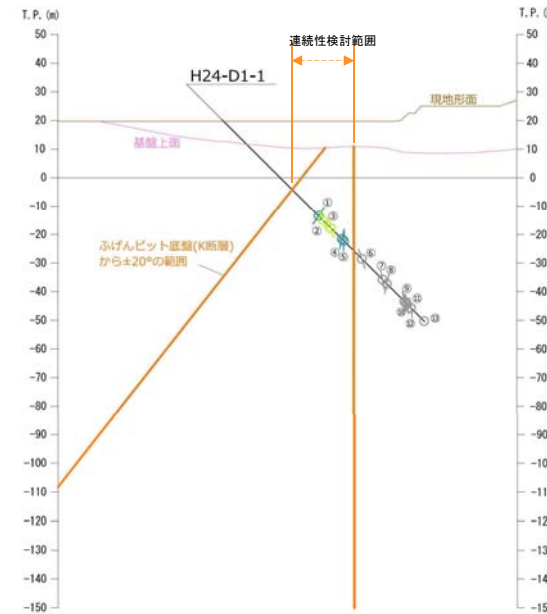
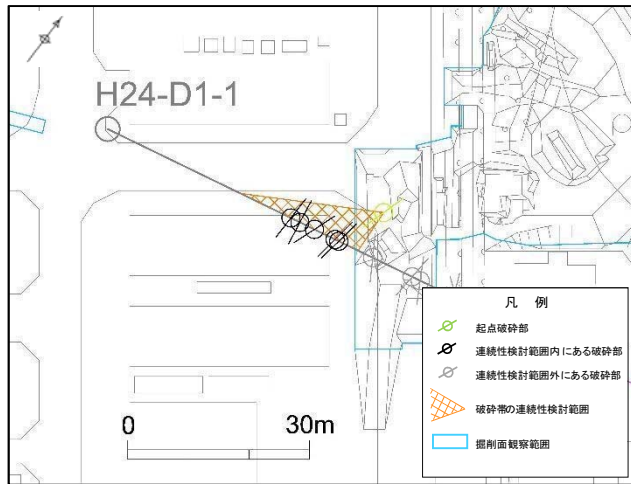
115(分類D)④

変位センスについて、転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

破碎帯の連続性について

②-2-1-1 具体的プロセスの例示(事例:K断層)(K断層のふげん道路ピット南方への連続性評価)

ふげん道路ピット南方への連続性評価の結果, H24-D1-1孔には, 連続する破碎部は認められない。



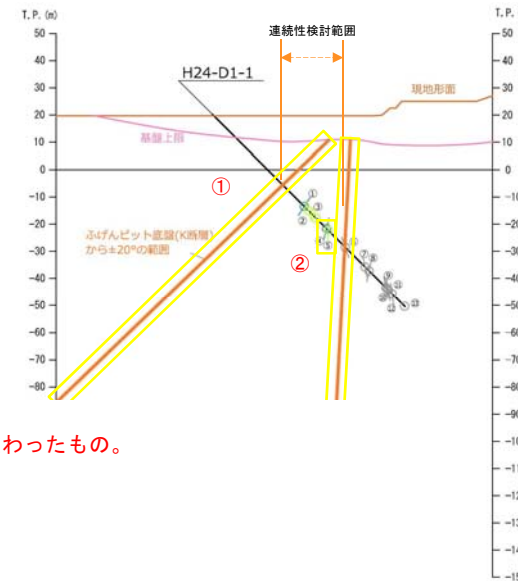
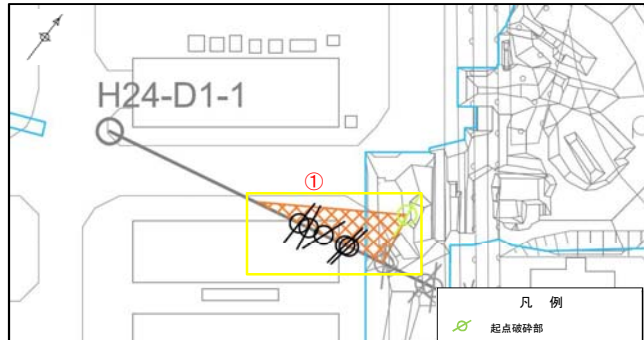
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ			
				(m)	(m)											
ふげん道路ピット底盤	-	-	㊱	EL+14.0m		N17E		78W		有	有	-	R		K断層	
-	H24-D1-1	範囲内	①	45.91	48.28	N11E	16	58W	20	有	無	30R	LL		非モデル化	
			②	49.20	49.91	N9W	26	74E	28	有	無	90	N		非モデル化	
			③	53.77	54.54	N20E	3	77E	25	有	無	75R	N		非モデル化	
			④	58.96	59.30	N8E	9	78W	0	有	無	85R	N		非モデル化	
			⑤	60.12	60.15	N9E	8	88W	10	有	有	80L	N		D-1	
		範囲外	⑥	68.84	69.00	N31W	48	72NE	30	無	-	85L	N		非モデル化	
			⑦	78.77	79.19	N4E	13	78E	24	無	-	45R	-		非モデル化	
			⑧	81.20	81.42	N29W	46	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	
			⑨	89.91	89.95	N22W	39	80E	22	有	無	35L	N,RL		D-33	
			⑩	90.26	90.84	N53W	70	80NE	22	有	有	75L	N		f-d1-1-10	
			⑪	91.26	91.52	N31E	14	83SE	19	有	無	75L	N		f-d1-1-11	
			⑫	93.12	93.24	N11E	6	83E	19	有	無	85L	N		非モデル化	
			⑬	99.68	99.71	-	-	-	-	-	-	有	無	90	N	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

破砕帯の連続性について

②-2-1-1 具体的プロセスの例示(事例:K断層)(K断層のふげん道路ピット南方への連続性評価)

ふげん道路ピット南方への連続性評価の結果, H24-D1-1孔には, 連続する破砕部は認められない。



- 116, 117(分類D)①
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより, ±20° 範囲が変わったもの。
- 118(分類D)②
破砕部の位置を視覚的に示したものを。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため, 本図の破砕部の着色も誤った。
- 119~121(分類A)③
破砕帯範囲, 走向・傾斜について, 細分化カタログから転記したが, 転記を誤ったもの。
- 122, 123, 125~130, 133~136, 138, 139, 143~152(分類D)④
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破砕帯名	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向				
				(m)	(m)											
ふげん道路ピット底層	-	-	④	③ EL+14.8m		③ N5W		③ 67W		有	有	-	R	K断層		
H24-D1-1	-	範囲内	①	45.91	48.28	N1E	④ 6	58W	④ 9	有	無	30R	⑤ N, LL	非モデル化		
			②	49.20	49.91	N9W	④ 4	74E	④ 39	有	無	90	N	非モデル化		
			③	53.77	54.54	N20E	④ 25	77E	④ 36	有	無	75R	N	非モデル化		
			④	58.96	59.30	N8E	④ 13	78W	④ 11	有	無	⑥ -	N	非モデル化		
			⑤	60.12	60.15	⑦ N9E	④ 14	88W	④ 21	有	有	80L	N	D-1		
		範囲外	⑥	68.84	69.00	N31W	④ 26	72NE	④ 41	無	-	85L	⑧ R	非モデル化		
			⑦	78.77	79.19	N4E	④ 9	78E	④ 35	⑨ 有	⑩ 無	45R	⑧ R, RL	非モデル化		
			⑧	81.20	81.42	N29W	④ 24	79W	④ 12	有	無	0	LL	非モデル化		
			⑨	89.91	89.95	N22W	④ 17	80E	④ 33	有	無	35L	N, RL	D-33		
			⑩	90.26	90.84	N53W	④ 48	80NE	④ 33	有	有	75L	N	F-d1-1-10		
			⑪	91.26	91.52	N31E	④ 36	83SE	④ 30	有	無	75L	N	F-d1-1-11		
			⑫	93.12	93.24	N11E	④ 16	83E	④ 30	有	無	85L	N	非モデル化		
			⑬	99.68	99.71	-	-	-	-	-	有	無	90	N	非モデル化	

- 124(分類D)⑤
変位センスについて, 転記元の柱状図から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため正しい記載に修正したもの。
- 131(分類A)⑥
条線方向について, 転記元の細分化カタログから転記したが, 転記を誤ったもの。
- 132(分類D)⑦
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わり, 起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため, 表の該当箇所の着色が変わったもの。
- 137, 142(分類A)⑧
変位センスについて, 転記元の細分化カタログから転記したが, 転記を誤ったもの。
- 140(分類A)⑨
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
- 141(分類A)⑩
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

破碎帯の連続性評価について

③ 連続性評価結果

第657回審査会合
資料1 修正前

【3条対象破碎帯】

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	D-1	伴う
2	D-2	伴う
3	D-3	伴う
4	D-4	伴う
5	D-5	伴う
6	D-6	伴う
7	D-7	伴う
8	D-19	伴う
9	D-20	伴う
10	D-24	伴う
11	D-38	伴う
12	D-39	伴う
13	D-43	伴う
14	D-46	伴う
15	f-2-7	伴う
16	f-2-8	伴う
17	f-4-12	伴う
18	f-6-2	伴う
19	f-12-10	伴う
20	f-14-1	伴わない
21	f-14-2	伴う
22	f-15-2	伴う
23	f-15-3	伴う
24	f-①-1-3	伴う
25	f-①-10-2	伴わない
26	f-②-1-1	伴う
27	f-④-2-1	伴う
28	f-④-3-1	伴う
29	f-④-6-3	伴う
30	f-④-6-4	伴う

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
31	f-b8-34-2	伴う
32	f-b11-1-1	伴う
33	f-b11-2-2	伴う
34	H-2	伴う
35	H-2'	伴う
36	H-3a	伴う
37	H-3b	伴わない
38	H-3c	伴う
39	H-3d	伴う
40	H-3e	伴う
41	H-4	伴う
42	H-4'	伴う
43	H-5	伴う
44	H-6c	伴う
45	H-7	伴う
46	f-br-1-2	伴う
47	f-br-6-1	伴う
48	f-br-12-1	伴う
49	f-br-12-2	伴う
50	f-br-12-3	伴う
51	f-d5-1-4	伴う
52	H24-B11-1,④*	伴う
53	H24-B11-1,⑤*	伴わない

※非モデル化

【3条対象破碎帯となり得る可能性のある破碎帯】

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	f-18-2	伴う
2	f-15-1	伴う
3	f-2-3	伴う
4	f-14-5	伴う
5	f-2-12	伴う
6	f-br-1-3	伴う
7	f-8-11	伴う
8	f-br-5-1	伴う
9	f-④-5-3	伴う
10	H20-①-5,②*	伴わない
11	H20-①-6,②*	伴わない
12	H27-Br-4,①*	伴わない
13	H27-Br-8,②*	伴わない
14	H27-Br-9,①*	伴う

※非モデル化

破碎帯の連続性評価について
③ 連続性評価結果

第657回審査会合
 資料1 修正後

【3条対象破碎帯】

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	D-1	伴う
2	D-2	伴う
3	D-3	伴う
4	D-4	伴う
5	D-5	伴う
6	D-6	伴う
7	D-7	伴う
8	D-19	伴う
9	D-20	伴う
10	D-24	伴う
11	D-38	伴う
12	D-39	伴う
13	D-43	伴う
14	D-46	伴う
15	f-2-7	伴う
16	f-2-8	伴う
17	f-4-12	伴う
18	f-6-2	伴う
19	f-12-10	伴う
20	f-14-1	① 伴う
21	f-14-2	伴う
22	f-15-2	伴う
23	f-15-3	伴う
24	f-①-1-3	伴う
25	f-①-10-2	伴わない
26	f-②-1-1	伴う
27	f-④-2-1	伴う
28	f-④-3-1	伴う
29	f-④-6-3	伴う
30	f-④-6-4	伴う

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
31	f-b8-34-2	伴う
32	f-b11-1-1	伴う
33	f-b11-2-2	伴う
34	H-2	伴う
35	H-2'	伴う
36	H-3a	伴う
37	H-3b	① 伴う
38	H-3c	伴う
39	H-3d	伴う
40	H-3e	伴う
41	H-4	伴う
42	H-4'	伴う
43	H-5	伴う
44	H-6c	伴う
45	H-7	伴う
46	f-br-1-2	伴う
47	f-br-6-1	伴う
48	f-br-12-1	伴う
49	f-br-12-2	伴う
50	f-br-12-3	伴う
51	f-d5-1-4	伴う
52	H24-B11-1,④*	伴う
53	H24-B11-1,⑤*	伴わない

※非モデル化

153, 154 (分類A) ①

断層ガウジ又は断層角礫が伴うかどうかについて、転記元の
 性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

【3条対象破碎帯となり得る可能性のある破碎帯】

No.	破碎帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	f-18-2	伴う
2	f-15-1	伴う
3	f-2-3	伴う
4	f-14-5	伴う
5	f-2-12	伴う
6	f-br-1-3	伴う
7	f-8-11	伴う
8	f-br-5-1	伴う
9	f-④-5-3	伴う
10	H20-①-5,②*	伴わない
11	H20-①-6,②*	伴わない
12	H27-Br-4,①*	伴わない
13	H27-Br-8,②*	伴わない
14	H27-Br-9,①*	伴う

※非モデル化

カタクレーサイトからなる破碎帯の評価について
断層ガウジである可能性がある破碎部*の断層岩区分について(20)

*ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破碎部

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ 断層角破の 幅 (cm)	最新活動面			変位センサ	写真	評価	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ	条線 方向				鉛直
f-4-1-4	H20-4-9 (鉛直)	23.95	24.33	N5E	78W	8.0	-	-	-	15L	-	23 24	24 25	カタクレーサイト
	H20-4-10 (鉛直)	39.12	39.43	N18E	68W	24.0	-	-	-	25L	-	39	40	カタクレーサイト
	H20-4-1 (鉛直)	58.87	59.39	N17E	70W	22.0	フィルム状	無	-	45R	-	58 59	59 60	断層ガウジ
f-4-2-1	H20-4-2 (傾斜45°)	6.00	6.12	N86W	42S	10.0	12.0	無	-	-	-	6	7	断層ガウジ
	H20-4-1 (鉛直)	9.33	9.61	N82W	45S	14.0	フィルム状	無	-	-	-	9	10	断層ガウジ
f-4-2-3	H20-4-9 (鉛直)	20.72	20.85	N12E	67W	4.4	-	-	-	10L	-	20	21	カタクレーサイト
	H20-4-2 (傾斜45°)	82.34	82.41	N4W	67W	2.5	-	-	-	5L	-	82	83	カタクレーサイト
f-4-3-1	H19-No.15 (傾斜45°)	46.92	46.93	N20E	74W	1.0	フィルム状	無	-	73L	-	46	47	断層ガウジ

凡 例	
	: 最新活動面
	: 破碎幅
	: 断層ガウジ
	: 粘土の狭在物が認められる箇所

カタクレーサイトからなる破砕帯の評価について
断層ガウジである可能性がある破砕部*の断層岩区分について(20)

*ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破砕部







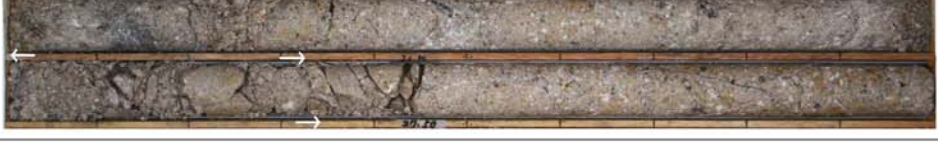

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ 断層角礫の 幅 (cm)	最新活動面		条線 方向	変位センス		写真	評価
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					せん断構造 変形構造	平滑さ		鉛直	水平		
F-4-1-4	H20-4-9 (鉛直)	23.95	24.33	N5E	78W	8.0	-	-	-	15L	-	-	23 24	カタクレーサイト
	H20-4-10 (鉛直)	39.12	39.43	N18E	68W	24.0	-	-	-	25L	-	-	39	カタクレーサイト
	H20-4-1 (鉛直)	58.87	59.39	N17E	70W	22.0	フィルム状	無	-	45R	-	-	58 59	断層ガウジ
F-4-2-1	H20-4-2 (傾斜45°)	6.00	6.12	N86W	42S	10.0	10.0 ①	無	-	-	-	-	6	断層ガウジ
	H20-4-1 (鉛直)	9.33	9.61	N82W	45S	14.0	フィルム状	無	-	-	-	-	9	断層ガウジ
F-4-2-3	H20-4-9 (鉛直)	20.72	20.85	N12E	67W	4.4	-	-	-	10L	-	-	20	カタクレーサイト
	H20-4-2 (傾斜45°)	82.34	82.41	N4W	67W	2.5	-	-	-	5L	-	-	82	カタクレーサイト
F-4-3-1	H19-No.15 (傾斜45°)	46.92	46.93	N20E	74W	1.0	フィルム状	無	-	73L	-	-	46	断層ガウジ

155(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の幅について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

凡 例	
	:最新活動面
	:破砕幅
	:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所

カタクレーサイトからなる破碎帯の評価について
断層ガウジである可能性がある破碎部*の断層岩区分について(24)









*ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破碎部

破碎帯名	確認箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ: 断層角破の幅 (cm)	最新活動面			変位センス	写真	評価		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造	平滑さ	変位方向					
f-6-3-9	H20-6-1 (鉛直)	36.61	36.69	N6W	74W	3.0	-	-	-	-	-	36		37	カタクレーサイト
	H20-6-3 (鉛直)	57.72	58.02	N6E	62W	13.0	フィルム状	無	-	70R	-	57 58		58 59	断層ガウジ
f-6-4-1	H20-6-6 (鉛直)	22.00	22.35	N23E	61W	19.0	1.0	無	-	65L	-	22		23	断層ガウジ
	H20-6-5 (鉛直)	55.58	55.65	N27E	64W	2.8	-	無	-	75L	-	55		56	断層ガウジ
	H20-6-4 (鉛直)	13.05	13.43	N3E	51W	26.0	フィルム状	無	-	20L	-	13		14	断層ガウジ
	H20-6-7 (鉛直)	64.25	64.43	N14W	31W	15.0	1.5	無	-	80L	-	64		65	断層ガウジ
	H20-6-2 (鉛直)	25.00	26.35	N40E	30NW	82.0	-	-	-	30R	-	25 26		26 27	カタクレーサイト
f-6-4-2	H20-6-2 (鉛直)	35.47	35.55	N17E	47W	5.0	-	-	-	30R	-	35		36	カタクレーサイト

凡 例	
	: 最新活動面
	: 破碎幅
	: 断層ガウジ
	: 粘土の狭在物が認められる箇所


カタクレーサイトからなる破碎帯の評価について
断層ガウジである可能性がある破碎部*の断層岩区分について(24)

*ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破碎部

破碎帯名	種別箇所	破碎帯範囲		走向	傾斜	破碎幅 (cm)	断層ガウジ 断層角破の 幅 (cm)	最新活動面			方位センス 鉛直 水平	写真	評価		
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭な せん断構造 変形構造	平滑さ	条線 方向					
F-6-3-9	H20-6-1 (鉛直)	36.61	36.69	N6W	74W	3.0	-	-	-	-	-	36		37	カタクレーサイト
	H20-6-3 (鉛直)	57.72	58.02	N6E	62W	13.0	フィルム状	無	-	70R	-	57 58		58 59	断層ガウジ
F-6-4-1	H20-6-6 (鉛直)	22.00	22.35	N23E	61W	19.0	1.0	無	-	65L	-	22		23	断層ガウジ
	H20-6-5 (鉛直)	55.58	55.65	N27E	64W	2.8	① フィルム状	無	-	75L	-	55		56	断層ガウジ
	H20-6-4 (鉛直)	13.05	13.43	N3E	51W	26.0	フィルム状	無	-	20L	-	13		14	断層ガウジ
	H20-6-7 (鉛直)	64.25	64.43	N14W	31W	15.0	1.5	無	-	80L	-	64		65	断層ガウジ
	H20-6-2 (鉛直)	25.00	26.35	N40E	30NW	82.0	-	-	-	30R	-	25 26		26 27	カタクレーサイト
F-6-4-2	H20-6-2 (鉛直)	35.47	35.55	N17E	47W	5.0	-	-	-	30R	-	35		36	カタクレーサイト

156(分類A)①

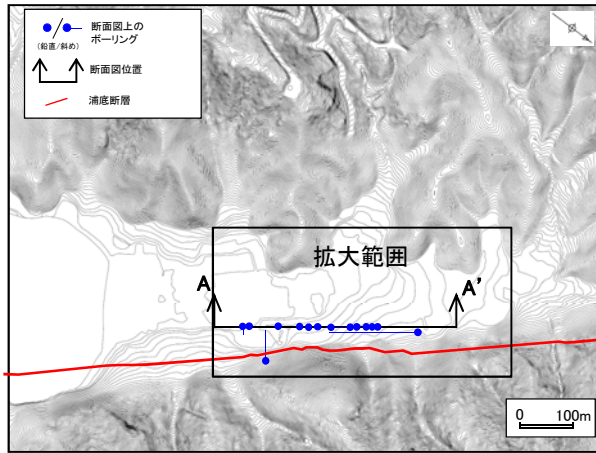
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映してなかった。

凡 例	
	:最新活動面
	:破碎幅
	:断層ガウジ
	:粘土の狭在物が認められる箇所

奥壺低地の第四系に含まれるテフラが上流側と下流側で分布標高が異なる成因について

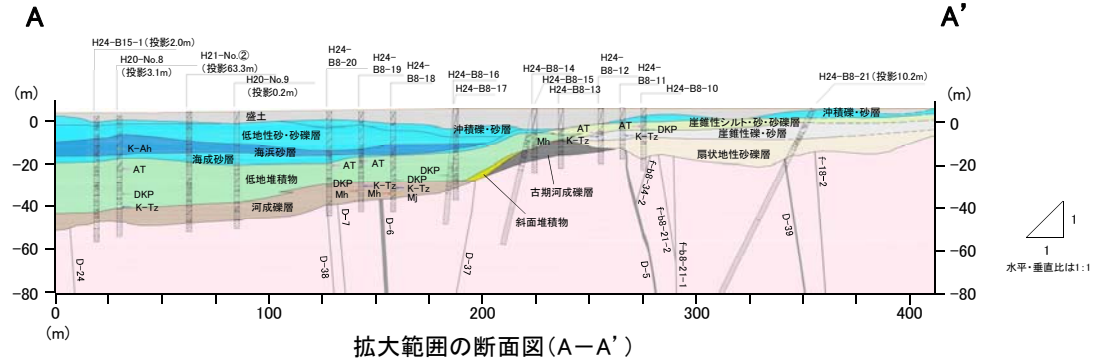
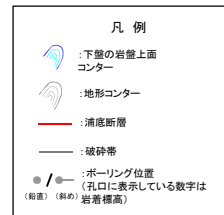
テフラの分布標高差の成因

- 断面図の中央付近で岩盤の上面の標高が変化し、テフラの分布標高が異なることと破碎帯の活動性との関連性について検討した結果、以下に示す通り、少なくとも破碎帯の活動を示唆する形跡は認められない。
 - ✓ 当該断面付近に分布する破碎帯の延長位置の山地内には対応するリニアメントは認められない(文献による指摘もない)。
 - ✓ 岩盤の上面に破碎帯に対応するような系統的な標高差等の構造運動を示唆する形状は認められない。

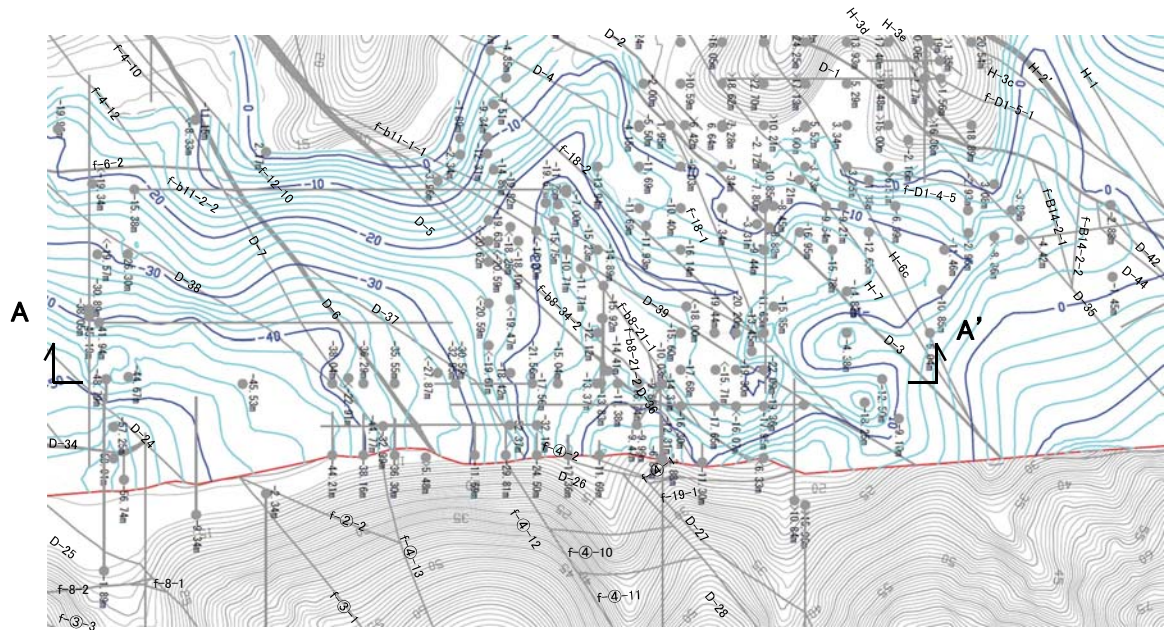


断面位置図

※浦底断層及び破碎帯はT.P.-15mの分布



拡大範囲の断面図(A-A')



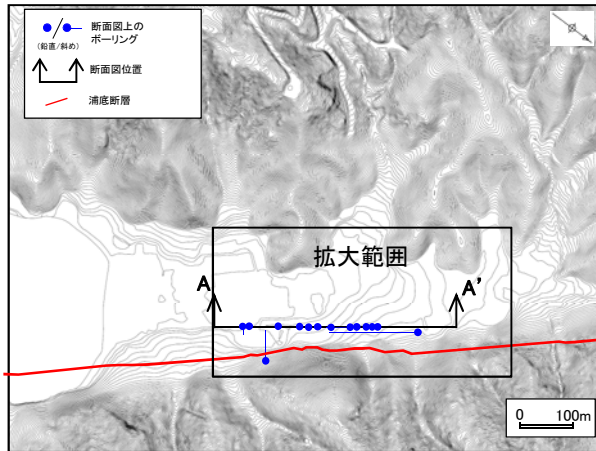
拡大範囲の平面図(岩盤の上面形状と破碎帯の関係)

※浦底断層及び破碎帯は基盤上面の分布

奥壺低地の第四系に含まれるテフラが上流側と下流側で分布標高が異なる成因について

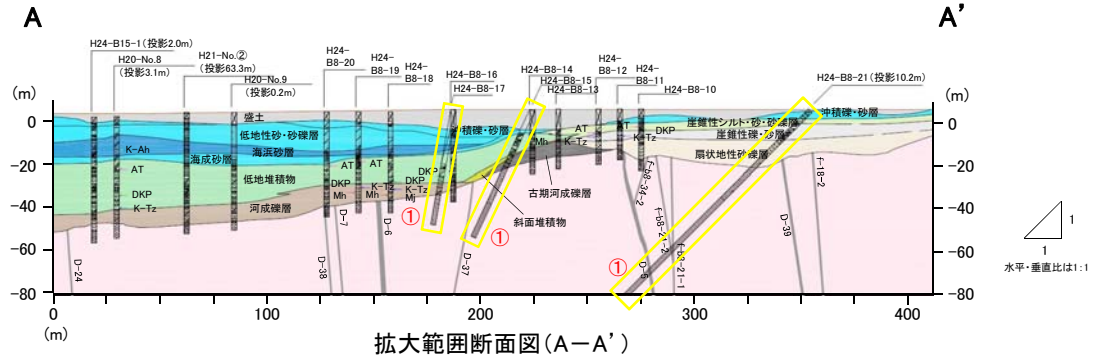
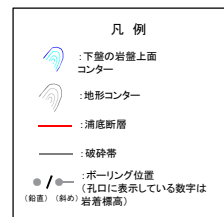
テフラの分布標高差の成因

- 断面図の中央付近で岩盤の上面の標高が変化し、テフラの分布標高が異なることと破碎帯の活動性との関連性について検討した結果、以下に示す通り、少なくとも破碎帯の活動を示唆する形跡は認められない。
 - ✓ 当該断面付近に分布する破碎帯の延長位置の山地内には対応するリニアメントは認められない(文献による指摘もない)。
 - ✓ 岩盤の上面に破碎帯に対応するような系統的な標高差等の構造運動を示唆する形状は認められない。



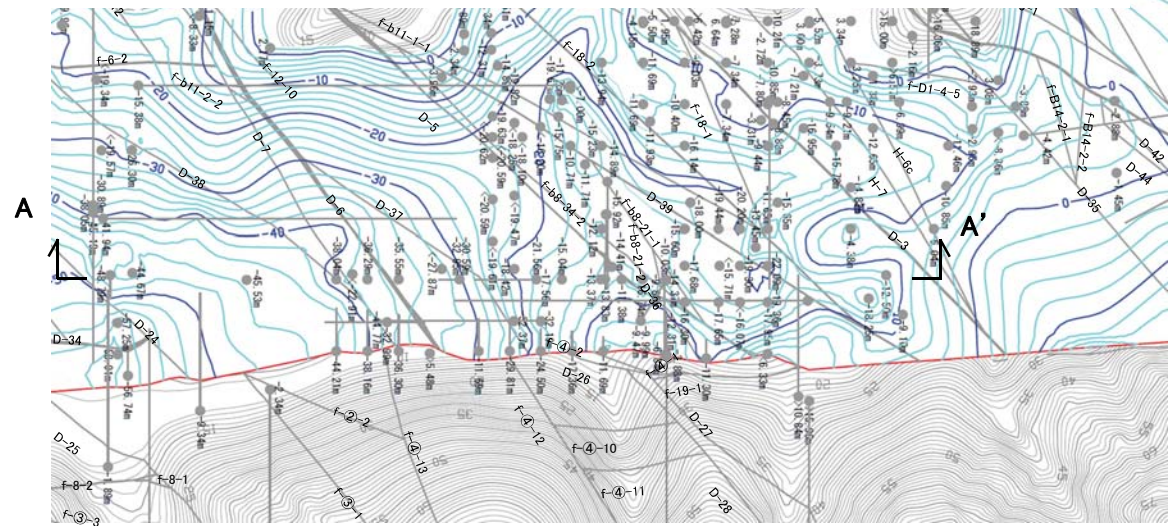
断面位置図

※浦底断層及び破碎帯はT.P.-15mの分布



157~159(分類B)①

岩盤上面の高まりと、破碎帯の位置関係を示したものであり、参考として周辺のボーリングの位置を示したもの。断面図の水平・垂直比を1:2から1:1に変換した際にボーリングの角度を変更し忘れたもの。



拡大範囲の平面図(岩盤の上面形状と破碎帯の関係)

※浦底断層及び破碎帯は基盤上面の分布

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側斜面, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86		
		②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87		
		③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130		
		④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129		
	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131		
		②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131		
		③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101		
		④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143		
		⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,R,L	○	D-1	参考2-37		
	範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131		
	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131		
		②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131		
		③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143	※3	
④		97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132			
H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141		
		②	18.46	18.53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
		③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	無	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

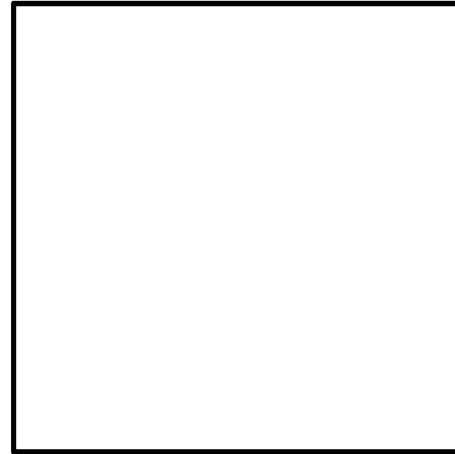
連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側斜面, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,R,L	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143 ※3	
			④	97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141		
		②	18.46	18.53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
		③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	① 有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
 - : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの
- 160(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について,
転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-2, ①)



拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)

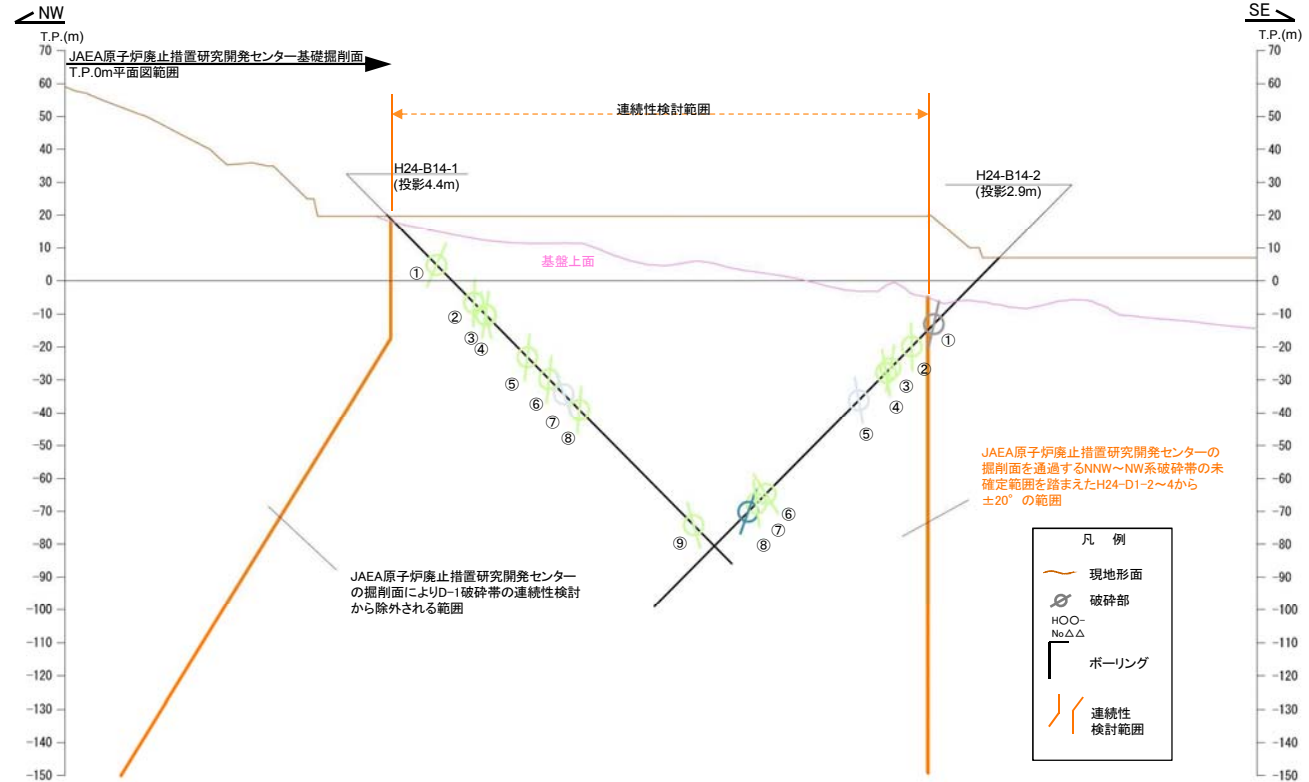
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- | | |
|----------------|------------------------|
| 起点破碎部 | 検査断面位置 |
| 連続性検査範囲内にある破碎部 | 掘削面観察範囲 |
| 連続性検査範囲外にある破碎部 | 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破碎帯トレース |
| 破碎帯の連続性検査範囲 | 耐震重要施設 |
| | 常設重大事故等対処施設 |

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

※平面図で示す連続性検査範囲は、断面で示した検査範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



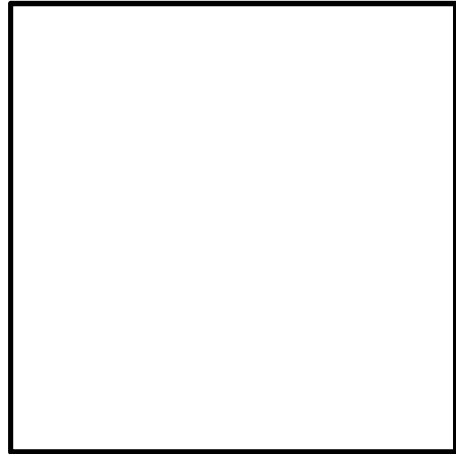
- 凡例
- 現地地形面
 - 破碎部
 - ボーリング
 - 連続性検査範囲

破碎部着色凡例

- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-2, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



②

161(分類E)①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが、コピーする際に一部の記号が選択されていなかった。

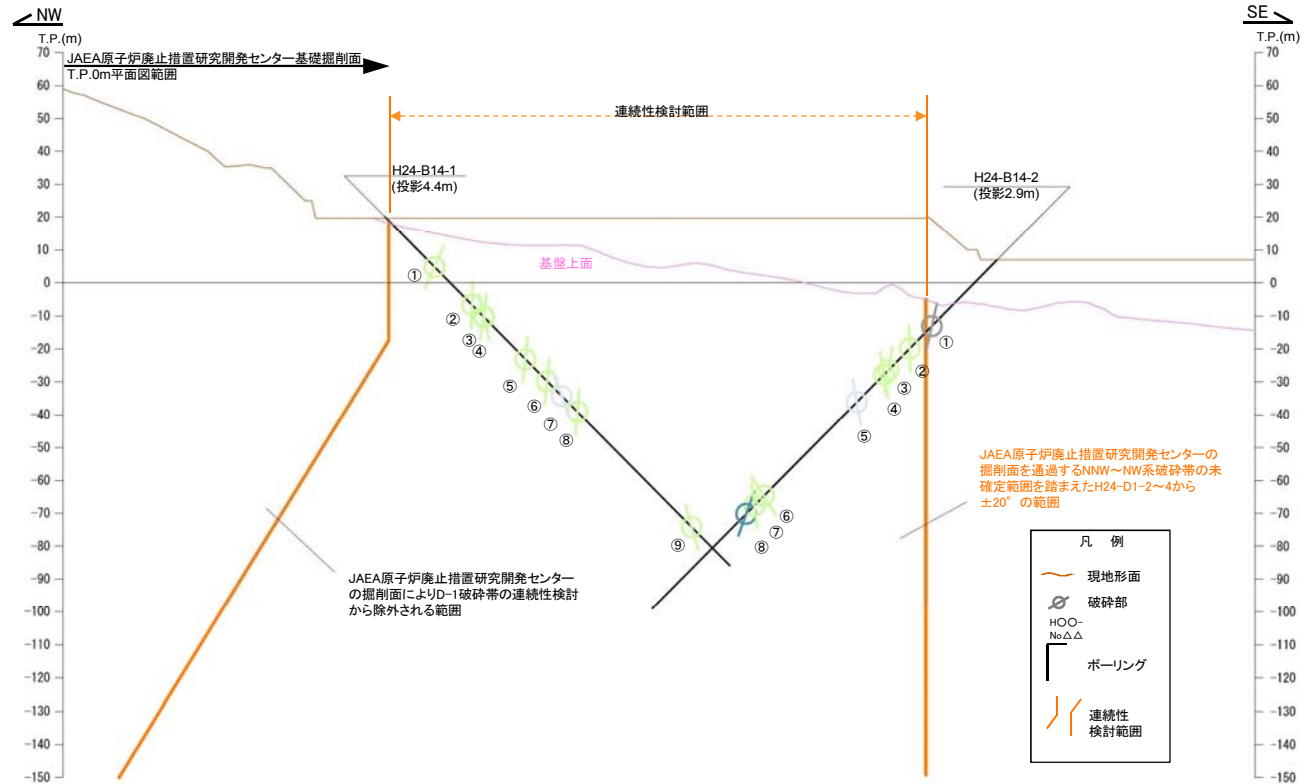
162(分類E)②
方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが、貼り付けを忘れたもの。

拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

① 拡大範囲図凡例

	起点破碎部		検討断面位置
	連続性検討範囲内にある破碎部		掘削面観察範囲
	連続性検討範囲外にある破碎部		2号炉底盤及びJAEA掘削面の破碎帯トレース
	破碎帯の連続性検討範囲		耐震重要施設
	常設重大事故等対処施設		

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの
※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



凡例

	現地地形面
	破碎部
	ボーリング
	連続性検討範囲

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-2, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																	
該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	無	-	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	無	-	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
	範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	無	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL		○	D-1	参考2-34	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-2, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																	
該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	① 有	② 無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
	範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	④ R,RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34		

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

163, 165(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

164, 166(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

167(分類A)③
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

168(分類D)④
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側斜面, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E	0	77W		有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	-	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	NGE	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
範囲外		②	18.46	18.53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
		③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	無	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

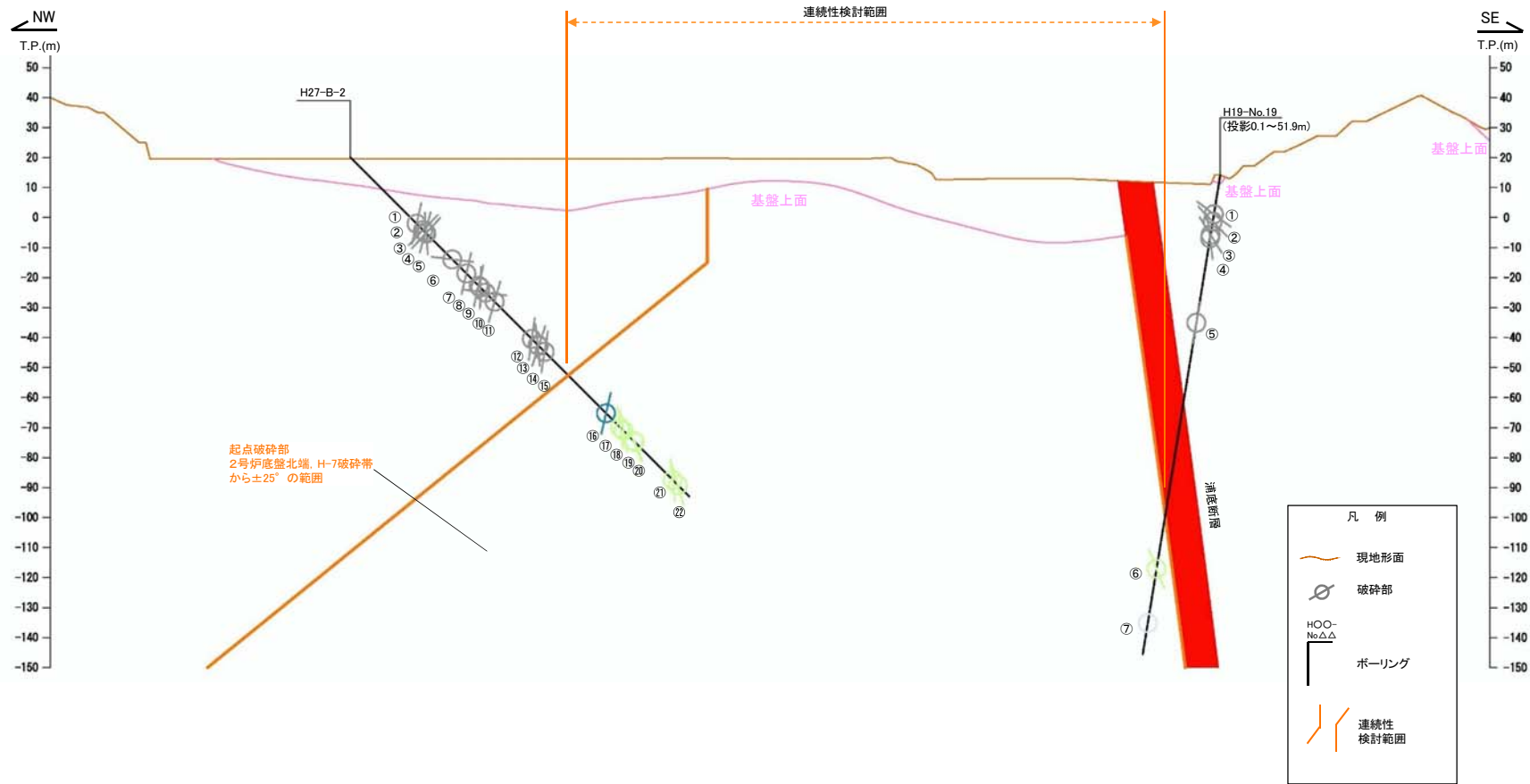
連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側斜面, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E	0	77W	4	有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
範囲外		②	18.46	18.53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
		③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	① 有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

169(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について,
転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-7破碎帯)

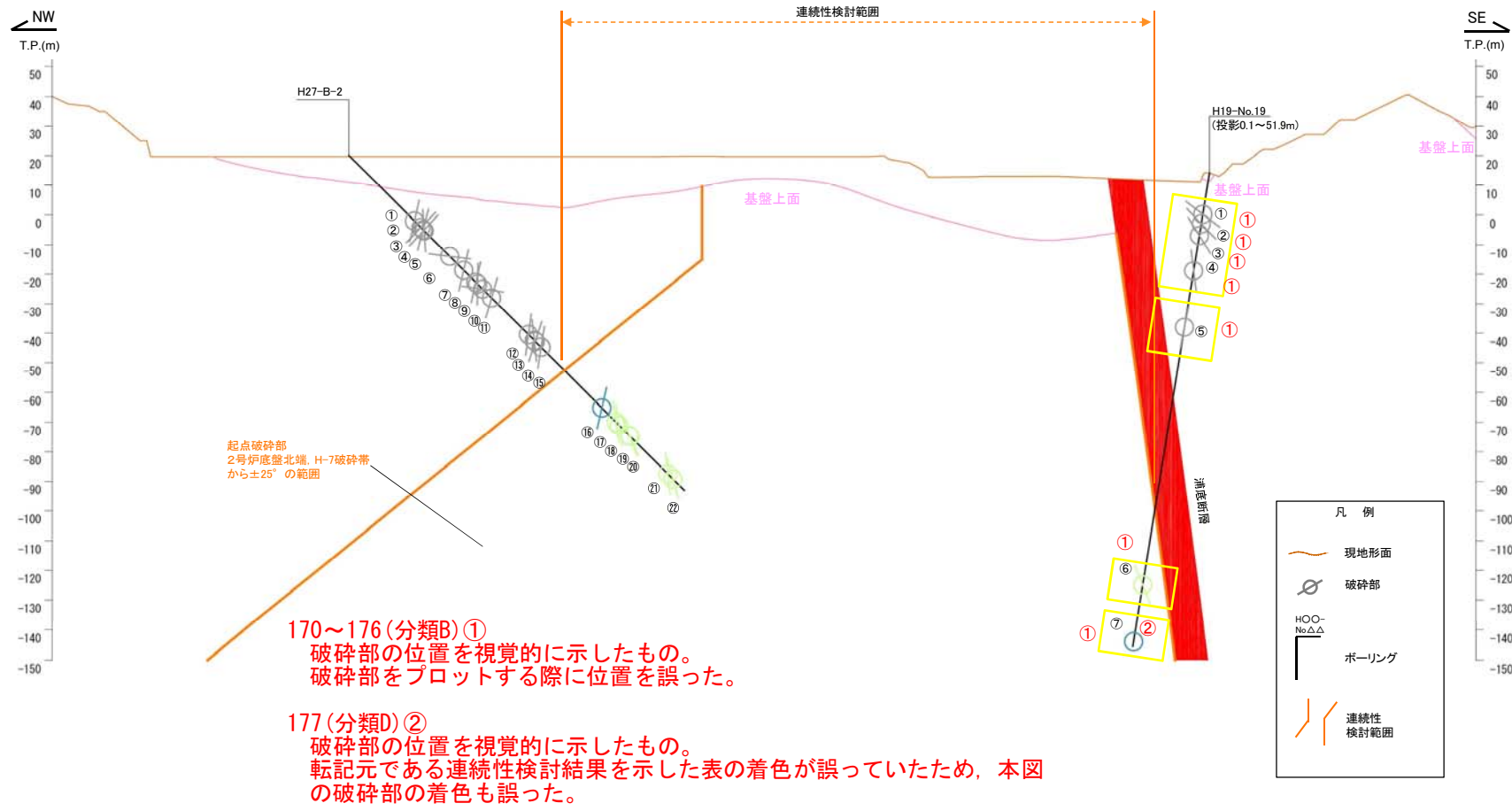


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-7破碎帯)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破砕部: 2号炉底盤北端, H-7破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-	H-7				
H27-B-2	-	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N	非モデル化	2-194			
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有	無	0	LL	非モデル化	2-194			
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有	無	10R	RL	非モデル化	2-194			
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N	非モデル化	2-194			
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL	非モデル化	2-194			
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL	非モデル化	2-194			
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL	非モデル化	2-194			
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	R	非モデル化	2-194			
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N	D-1	参考2-34			
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	90	-	非モデル化	2-194			
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N	非モデル化	2-195			
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	N	非モデル化	2-195			
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL	D-41	参考2-117			
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL	f-b-2-14	参考2-178			
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	RL	非モデル化	2-195			
		⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	LL	×	非モデル化	2-195 ※3			
		⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL	D-42	参考2-118				
		⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL	D-44	参考2-119				
		⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-	非モデル化	2-195				
		㉑	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N	f-b-2-20	参考2-178				
		㉒	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL	f-b-2-21	参考2-178				
		㉓	154.53	154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N	f-b-2-22	参考2-178				
		H19-No.19	-	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-	f-19-1	参考2-133	
					②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N	D-26	参考2-105	
					③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187	
④	23.70				35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL	浦底断層	参考2-14			
⑤	55.49				55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-	f-19-5	参考2-133			
⑥	147.93			148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-	f-19-6	参考2-133				
⑦	168.28			168.32	-	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187			

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑A坑での値を示す。

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-7破碎帯)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
H27-B-2	-	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N		非モデル化	① 参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有	無	0	LL		非モデル化	① 参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有	無	10R	RL		非モデル化	① 参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N		非モデル化	① 参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL		非モデル化	① 参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL		非モデル化	① 参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL		非モデル化	① 参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	② R,RL		非モデル化	① 参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	③ -	-		非モデル化	① 参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N		非モデル化	① 参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	② N,RL		非モデル化	① 参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	② R,RL		非モデル化	① 参考2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	② R,LL	x	非モデル化	① 参考2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N29E	13	81E	29	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	① 参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
㉑	152.10		152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL		f-b-2-21	参考2-178			
㉒	154.53		154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N		f-b-2-22	参考2-178			
H19-No.19	-	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	-	⑤ 有	無	-	-	④ x	非モデル化	参考2-187

注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

178, 179 (分類E) ①

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、記載元の性状一覧表から転記したが、「参考」を付け忘れたもの。

180~183 (分類D) ②

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

184 (分類A) ③

条線方向について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

185, 186 (分類D) ④

表の着色の誤りを修正したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

187 (分類E) ⑤

起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果、手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが、誤って着色し忘れた。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-3c破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ						
				(m)	(m)														
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c				
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	H24-B14-1	範囲外	該当破碎帯なし																
			①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-			D-15	参考2-92		
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL			D-29	参考2-111		
			③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL			f-b14-1-2	参考2-159		
			④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-			D-30	参考2-111		
			⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	x		M	参考2-175	※4	
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	x		非モデル化	参考2-192	※3	
			⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	x		非モデル化	参考2-192	※3	
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
			⑩	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	x		f-b14-2-1	参考2-159	※1	
			H24-B14-2	範囲内	①	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
					②	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
					③	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
					④	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
					⑤	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
					⑥	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
					⑦	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	x		D-1	参考2-34
⑧																			

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑B坑での値を示す。

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-3c破碎帯)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討 範囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・ 断面角味の 有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ							
				(m)	(m)															
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c					
JAEA原子炉廃止措置研究開発 センター基礎掘削面				該当破碎帯なし																
				H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
						②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
						③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
						④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
						⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	x	M	参考2-175	※4
						⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	x	非モデル化	参考2-192	※3
						⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-192	
						⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	x	非モデル化	参考2-192	※3
						⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-192	
				H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	x	f-b14-2-1	参考2-159	※1
						②	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
						③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	① R,RL		非モデル化	参考2-192	
						④	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
						⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
						⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
						⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
						⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	x	D-1	参考2-34	

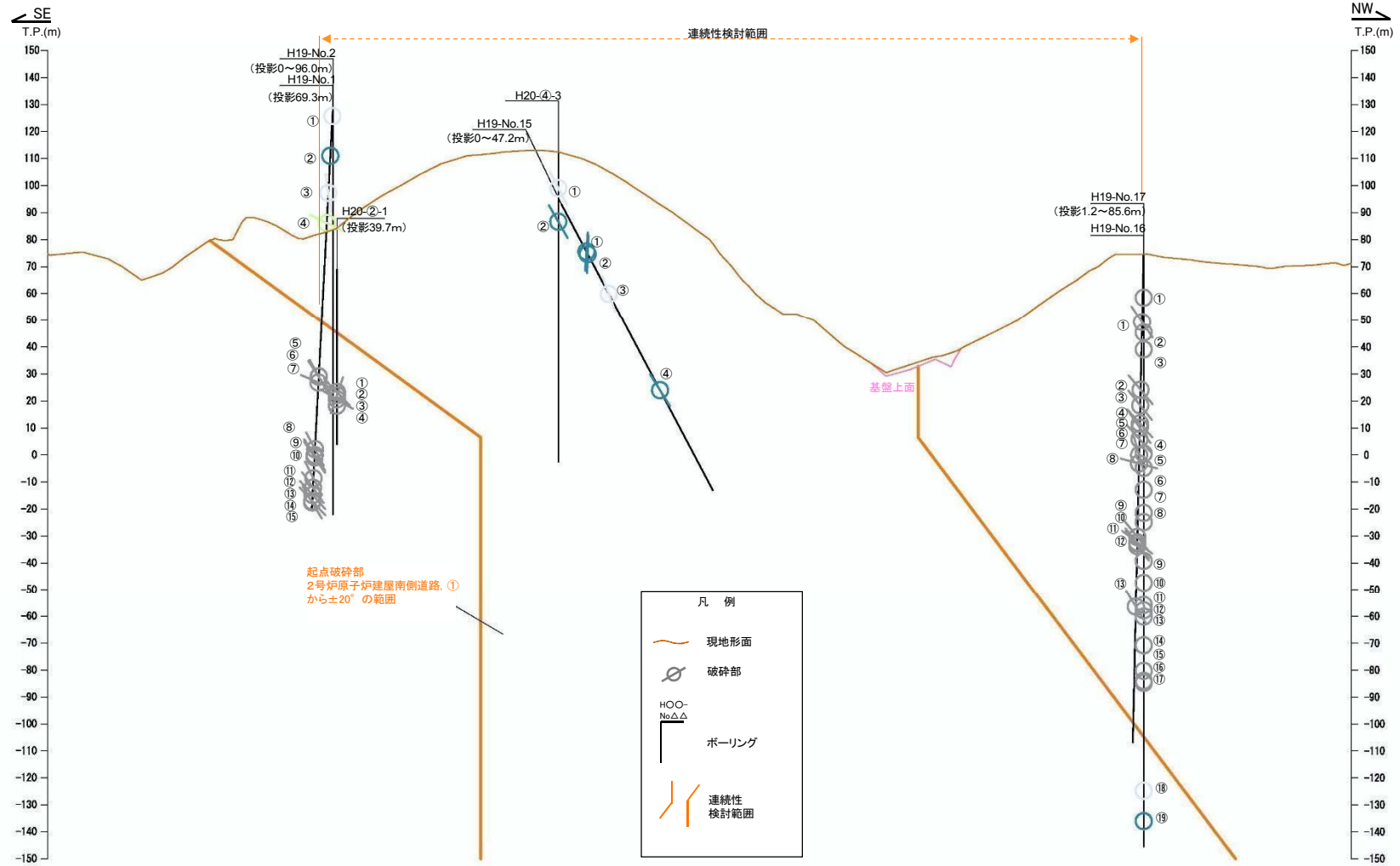
注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は、敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑B坑での値を示す。

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断面角味の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断面角味の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断面角味の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断面角味の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

188(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側道路, ①)



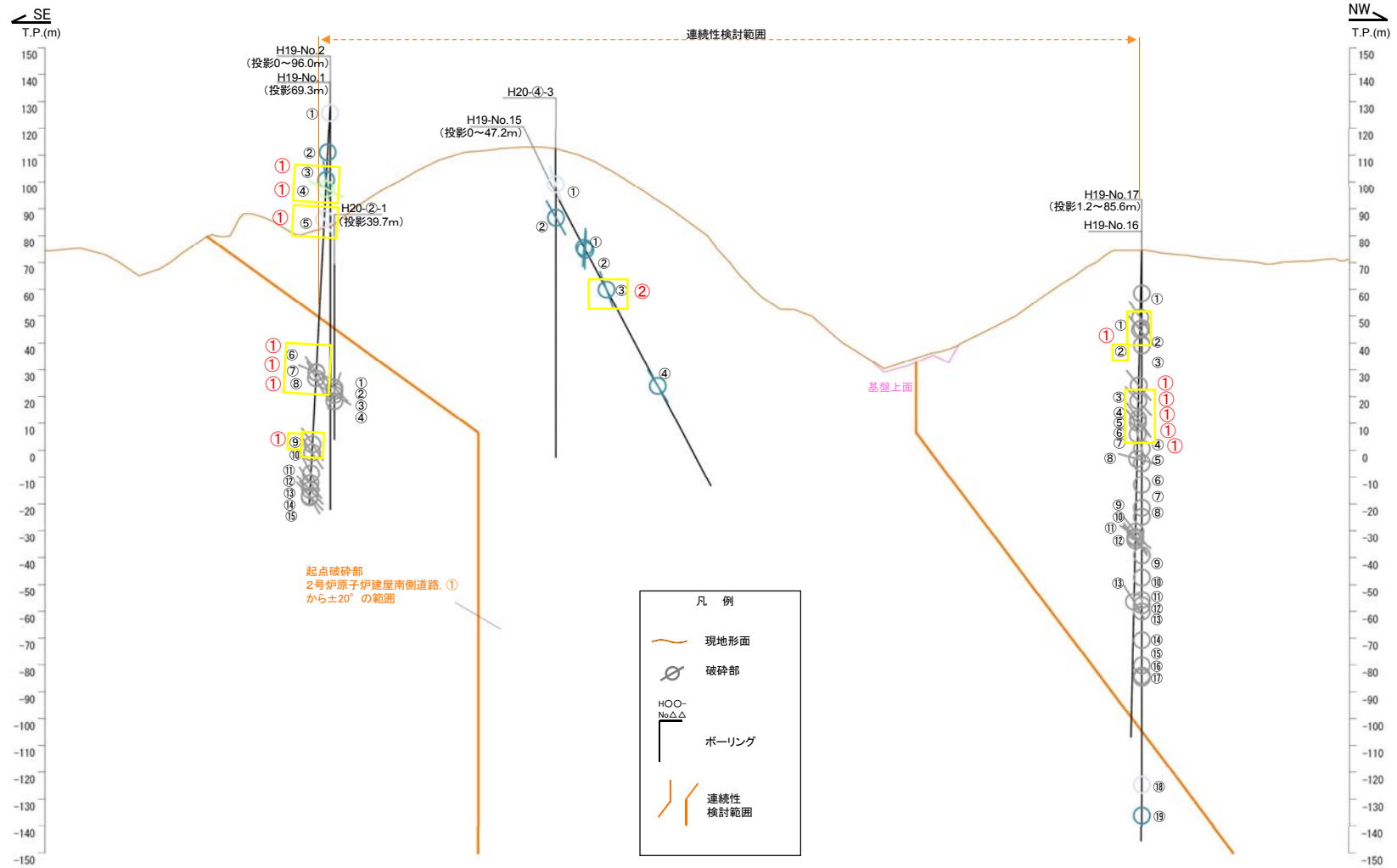
注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側道路, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、か
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、か
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、か
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、か

189~195, 197~202(分類B)①
**破碎部の位置を視覚的に示したものの。
 破碎部をプロットする際に位置を誤った。**

196(分類D)②
**破碎部の位置を視覚的に示したものの。
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。**

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側道路, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上層深度	下層深度					断面カワジ・断面角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位セン N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E	-	75W	-	有	有	12L	RL	-	H-3a	参考2-78		
H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-185		
		②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-	-	-	F-6-3-2	参考2-147		
		③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	f-17-2	参考2-132		
		④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
		⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91		
		⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
		⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-185		
		⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	無	-	-	-	-	-	D-47	参考2-120		
		⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-185		
		⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-185		
		⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-185		
		⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	有	有	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93		
		⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186		
		⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186		
		⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	D-16	参考2-93		
		⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-	-	-	D-17	参考2-98		
		⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98		
			範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186	
				⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	-	非モデリ化	参考2-186	※2
		H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-	-	F-6-3-2	参考2-147	
②	32.54			32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132			
③	55.45			55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186			
④	61.89			62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186			
⑤	68.84			69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91		
⑥	70.92			70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91		
⑦	75.60			75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65		
⑧	82.83			85.61	N19W	30	36W	39	無	-	-	-	-	-	D-47	参考2-120		
⑨	114.31			115.63	NSW	19	67W	8	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93		
⑩	117.77			117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93		
⑪	118.22			118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98		
⑫	118.66			119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98		
⑬	144.35			144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-186		
H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-	-	f-15-1	参考2-131			
		②	25.83	25.93	NGE	5	89E	16	有	無	71L	-	-	f-15-2	参考2-131			
		③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	無	-	73L	-	-	f-8-3-1	参考2-143			
		④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL	-	-	f-15-3	参考2-132		
		⑤	2.35	2.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131		
H19-No.2	範囲外	①	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	-	x	非モデリ化	参考2-184	※2	
		②	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	無	-	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131		
		③	44.90	45.75	M40E	29	26W	49	有	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-184		
		④	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131		
		⑤	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125		
		⑥	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101		
		⑦	149.71	149.84	N2W	13	72W	3	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37		
		⑧	186.53	186.58	N15E	4	61W	14	有	無	36L	N,RL	-	-	D-2	参考2-87		
		⑨	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	無	-	75L	-	-	-	f-2-7	参考2-125		
		⑩	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125		
		⑪	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88		
		⑫	212.00	212.07	NGW	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125		
H20-②-1	範囲外	⑬	215.42	215.46	NSW	20	64W	11	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
		⑭	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-	-	-	f-2-1-1	参考2-140		
		②	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-	-	-	f-2-1-2	参考2-140		
H20-④-3	範囲内	③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-	-	-	f-2-1-3	参考2-140		
		④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL	-	-	x	D-1	参考2-37	
		①	13.41	13.45	NSW	16	76W	1	無	-	70R	-	-	-	f-15-3	参考2-132		
		②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	-	-	x	f-8-3-1	参考2-143	※2

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のも
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カワジ・断面角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カワジ・断面角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状(断層カワジ・断面角縁の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センサ)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カワジ・断面角縁の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し,条線方向もしくは変位センサが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破砕部: 2号炉原子炉建屋南側道路, ①)

203~208, 210, 212(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していません。

209, 211(分類D)②
当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 表の該当箇所着色が変わったもの。

213~219, 221(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

220(分類E)④
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果, 手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが, 着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

222(分類D)⑤
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより連続性検討範囲内の破砕部となったため, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

223, 225(分類A)⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していません。

する ンク	連続性検討 範囲	断面図上の 番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状			連続性 検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
			上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫の 有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向							
			(m)	(m)														
		①	(T.P.6.5m)		N11E	-	75W	-	有	有	12L	RL	H-3a	参考2-78				
No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	①	有	③	無	-	-	非モル化	参考2-185		
		②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-	-	-	F-⑥-3-2	参考2-147		
		③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	①	有	③	有	-	-	F-17-2	参考2-132		
		④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
		⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91		
		⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
		⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	非モル化	参考2-185		
		⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	①	有	③	有	-	-	D-47	参考2-120		
		⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-185		
		⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-185		
		⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-	-	-	非モル化	参考2-185		
		⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	①	無	③	-	32L	N,RL	D-15	参考2-93		
		⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	有	-	-	-	-	非モル化	参考2-186		
		⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-	-	-	非モル化	参考2-186		
		⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	-	D-16	参考2-93		
		⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-	-	-	D-17	参考2-98		
⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98				
⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-	-	-	非モル化	参考2-186				
⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	-	x	非モル化	参考2-186				
No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-	-	F-⑥-3-2	参考2-147			
		②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-	-	F-17-2	参考2-132			
		③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-186			
		④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-186			
		⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91		
		⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91		
		⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65		
		⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	①	有	③	無	-	-	D-47	参考2-120		
		⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93		
		⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93		
No.15	範囲内	①	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98		
		②	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98		
		③	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-186		
		④	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-	-	-	F-15-1	参考2-131		
		⑤	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	(1)②	有	(2)③	無	73L	-	-	F-15-2	参考2-143	
		⑥	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	②	-	-	F-⑥-3-1	参考2-143		
		⑦	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL	-	-	F-15-3	参考2-132		
		⑧	2.35	2.42	-	-	-	-	-	無	-	-	-	-	-	F-15-2	参考2-131	
		⑨	24.38	24.46	-	-	-	-	-	①②	有	(2)③	無	-	-	x	非モル化	参考2-184
		⑩	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	有	無	59R	②	-	-	-	F-15-1	参考2-131	
No.2	⑤	①	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-	-	-	非モル化	参考2-184		
		②	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	-	-	-	-	-	F-14-1	参考2-131	
		③	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	④	-	-	-	F-2-3	参考2-125	
		④	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-	-	-	-	D-20	参考2-101	
		⑤	149.71	149.84	N1E	7	10	72W	3	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37	
		⑥	186.53	186.58	N21E	10	(8)70W	(9)5	有	無	36L	N,RL	-	-	-	D-2	参考2-87	
		⑦	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	有	無	73L	-	-	-	-	F-2-7	参考2-125	
		⑧	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL	-	-	-	F-2-8	参考2-125	
		⑨	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-	-	-	-	D-3	参考2-88	
		⑩	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R	(不明)	-	-	-	F-2-10	参考2-125	
②-1	範囲外	①	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-	-	-	F-2-11	参考2-126		
		②	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-	-	-	-	F-2-12	参考2-126	
		③	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-	-	-	-	F-②-1-1	参考2-140	
④-3	範囲内	①	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-	-	-	-	F-②-1-2	参考2-140	
		②	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-	-	-	-	F-②-1-3	参考2-140	
		③	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL	-	-	-	D-1	参考2-37	
④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5E	11	6	76W	1	無	-	70R	-	-	-	F-15-3	参考2-132	
		②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	-	-	x	F-⑥-3-1	参考2-143	

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- ①: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

224, 226(分類D)⑦
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより, 起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

227(分類A)⑧
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していません。

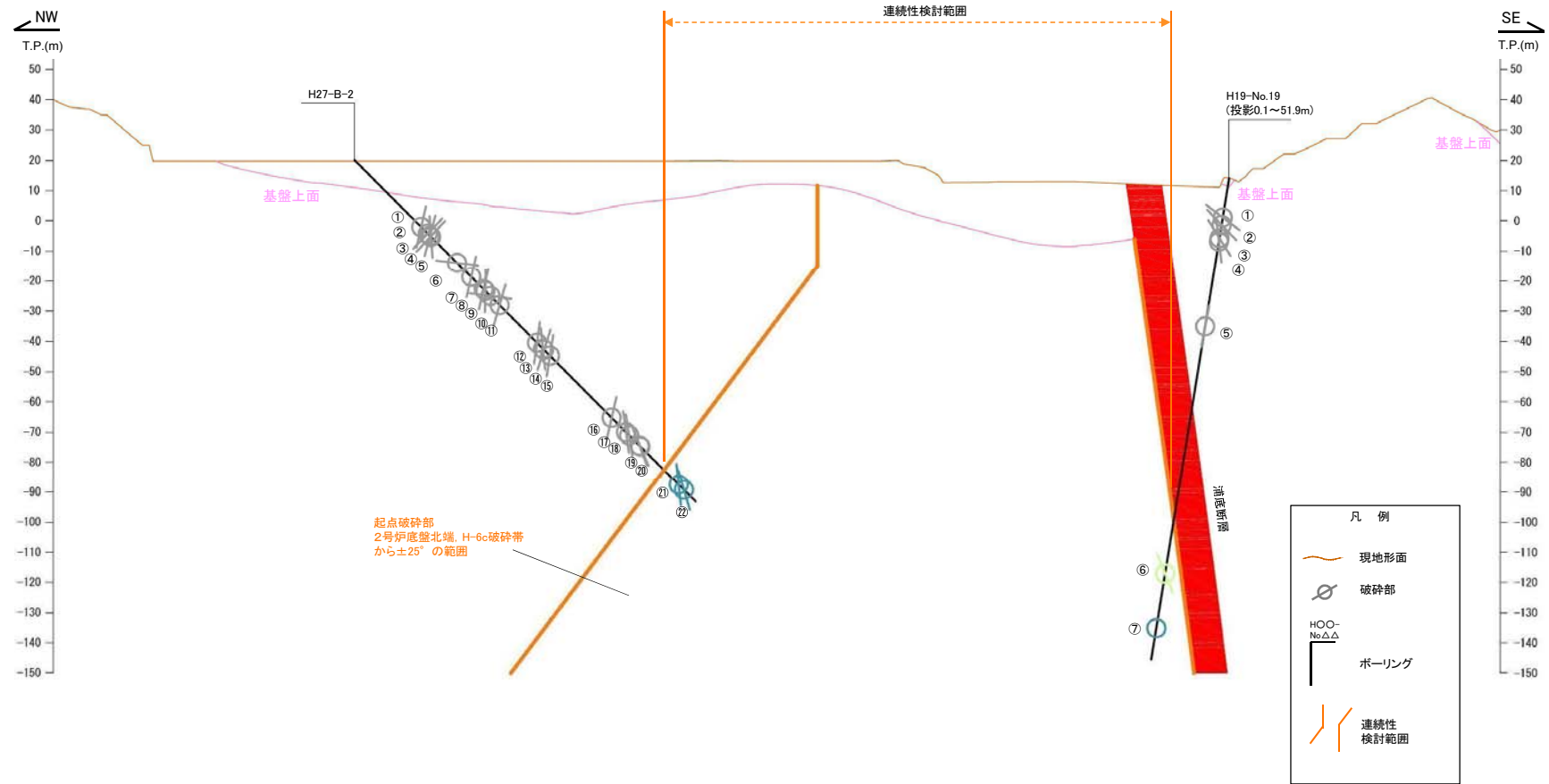
228(分類D)⑨
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより, 起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

229(分類A)⑩
走向について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

230(分類D)⑪
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより, 起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

231(分類E)⑫
連続性検討結果について, 記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-6c破碎帯)

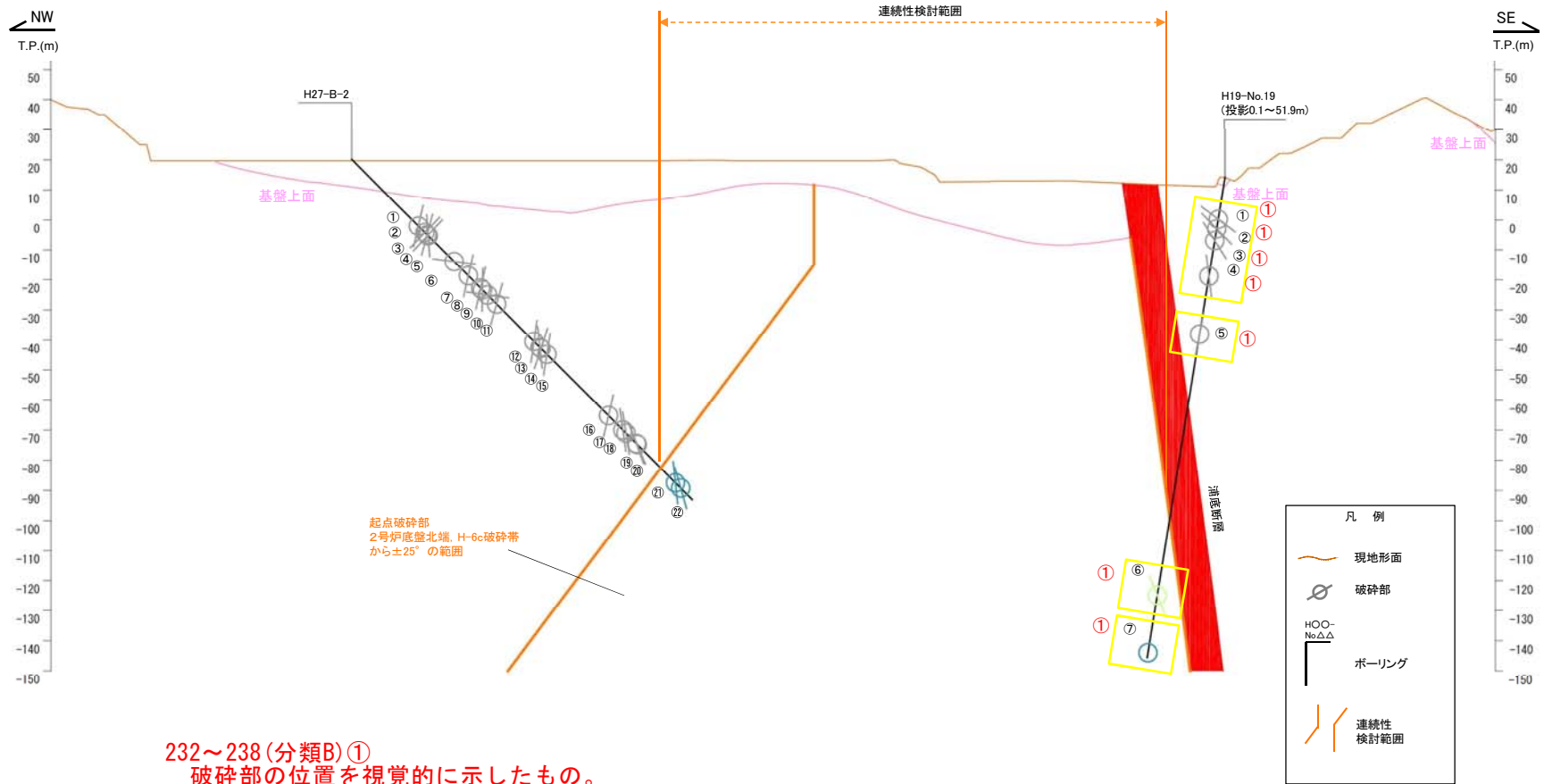


破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-6c破碎帯)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



232~238(分類B)①
破碎部の位置を視覚的に示したものの。
破碎部をプロットする際に位置を誤った。

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-6c破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-	H-6c			
H27-B-2	-	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N	非モデル化	参考2-194		
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有	無	0	LL	非モデル化	参考2-194		
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	無	10R	RL	非モデル化	参考2-194		
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N	非モデル化	参考2-194		
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL	非モデル化	参考2-194		
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL	非モデル化	参考2-194		
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL	非モデル化	参考2-194		
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	R	非モデル化	参考2-194		
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N	D-1	参考2-34		
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	90	-	非モデル化	参考2-194		
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N	非モデル化	参考2-195		
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	N	非モデル化	参考2-195		
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL	D-41	参考2-117		
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL	f-b-2-14	参考2-178		
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	RL	非モデル化	参考2-195		
			⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	LL	非モデル化	参考2-195		
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL	D-42	参考2-118		
			⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL	D-44	参考2-119		
			⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-	非モデル化	参考2-195		
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N	f-b-2-20	参考2-178		
		㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	f-b-2-21	参考2-178	※3		
		㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	f-b-2-22	参考2-178	※3		
H19-No.19	-	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-	f-19-1	参考2-133		
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N	D-26	参考2-105		
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL	浦底断層	参考2-14		
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-	f-19-5	参考2-133		
		⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-	f-19-6	参考2-133			
		⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187	※1

注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注) 起点の傾斜は、敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑B坑での値を示す。

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-6c破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c			
H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194			
		②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194			
		③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194			
		④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194			
		⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194			
		⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194			
		⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194			
		⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	① R,RL		非モデル化	参考2-194			
		⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N		D-1	参考2-34			
		⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	② -	-		非モデル化	参考2-194			
		⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195			
		⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	① N,RL		非モデル化	参考2-195			
		⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117			
		⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178			
		⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	① R,RL		非モデル化	参考2-195			
		⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	① R,LL		非モデル化	参考2-195			
		⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118			
		⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119			
		⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195			
		⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178			
範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	x	f-b-2-21	参考2-178	※3			
	㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	x	f-b-2-22	参考2-178	※3			
H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133			
		②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105			
		③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187			
		④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14			
		⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133			
	範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133			
		⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1		

注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は、敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑B坑での値を示す。

239, 241~243(分類)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

240(分類)②

条線方向について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤南端, D-2破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10E	-	80W	-	-	-	-	-	-	D-2			
H19-No.12	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86		
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	-	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
	範囲外	②	58.41	58.43	N4W	14	70W	10	有	有	75L	-		D-3	参考2-87			
		③	75.04	75.08	N12E	2	89W	9	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130			
		④	82.48	82.50	N25E	15	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129			
		⑤	90.45	90.66	N8E	2	71W	9	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129			
		⑥	104.12	104.22	N4W	14	83W	3	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89			
		⑦	119.64	119.72	N37E	27	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129			
		⑧	152.06	152.09	N40E	30	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129			
		⑨	169.38	169.46	N21E	11	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130			
		⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70			
		⑪	222.85	222.88	N14E	4	85W	5	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130			
		⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57			
		⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99			
		⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138			
⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90					

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
 注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑C坑での値を示す。
 ()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破砕部: 2号炉底盤南端, D-2破砕帯)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10E	-	80W	-	-	-	-	-	-	D-2			
H19-No.11	H19-No.12	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86		
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	-	有	無	① 57L	-	○	D-2	参考2-86	
		範囲外	②	58.41	58.43	N4W	14	70W	10	有	有	75L	-	-	-	D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	2	89W	9	無	-	25L	-	-	-	F-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	19	無	-	56L	-	-	-	F-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	2	71W	9	無	-	30R	-	-	-	F-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	14	83W	3	有	無	50L	N,RL	-	-	D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	27	83W	3	有	有	42L	-	-	-	F-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	30	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-	-	-	F-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	11	84W	4	有	無	85R	-	-	-	F-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	4	85W	5	有	無	24L	-	-	-	F-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	F-①-1-3	参考2-138	
⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90				

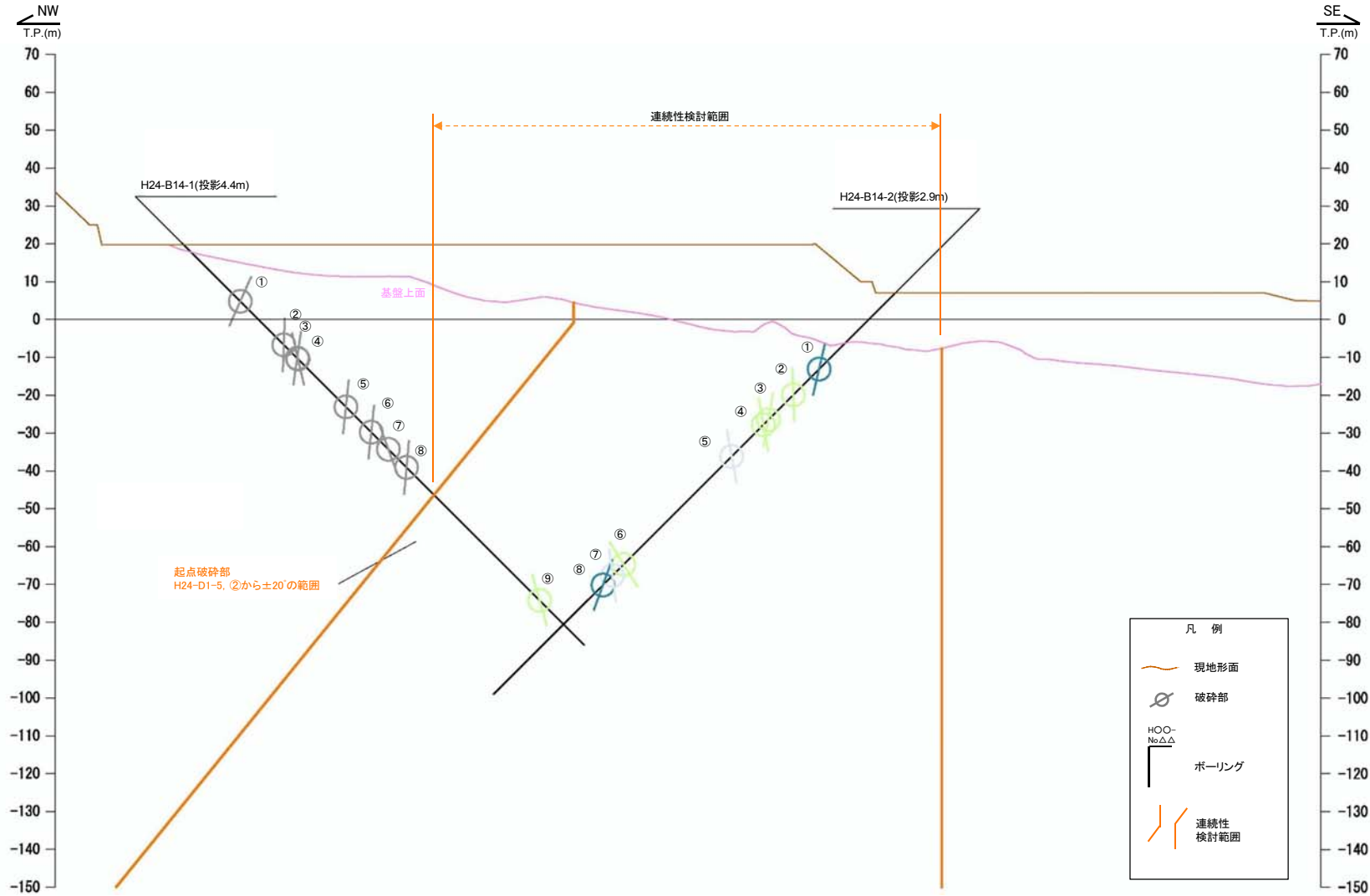
注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑C坑での値を示す。
()の傾斜角: ボアリングコア観察結果による値

244(分類A)①

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

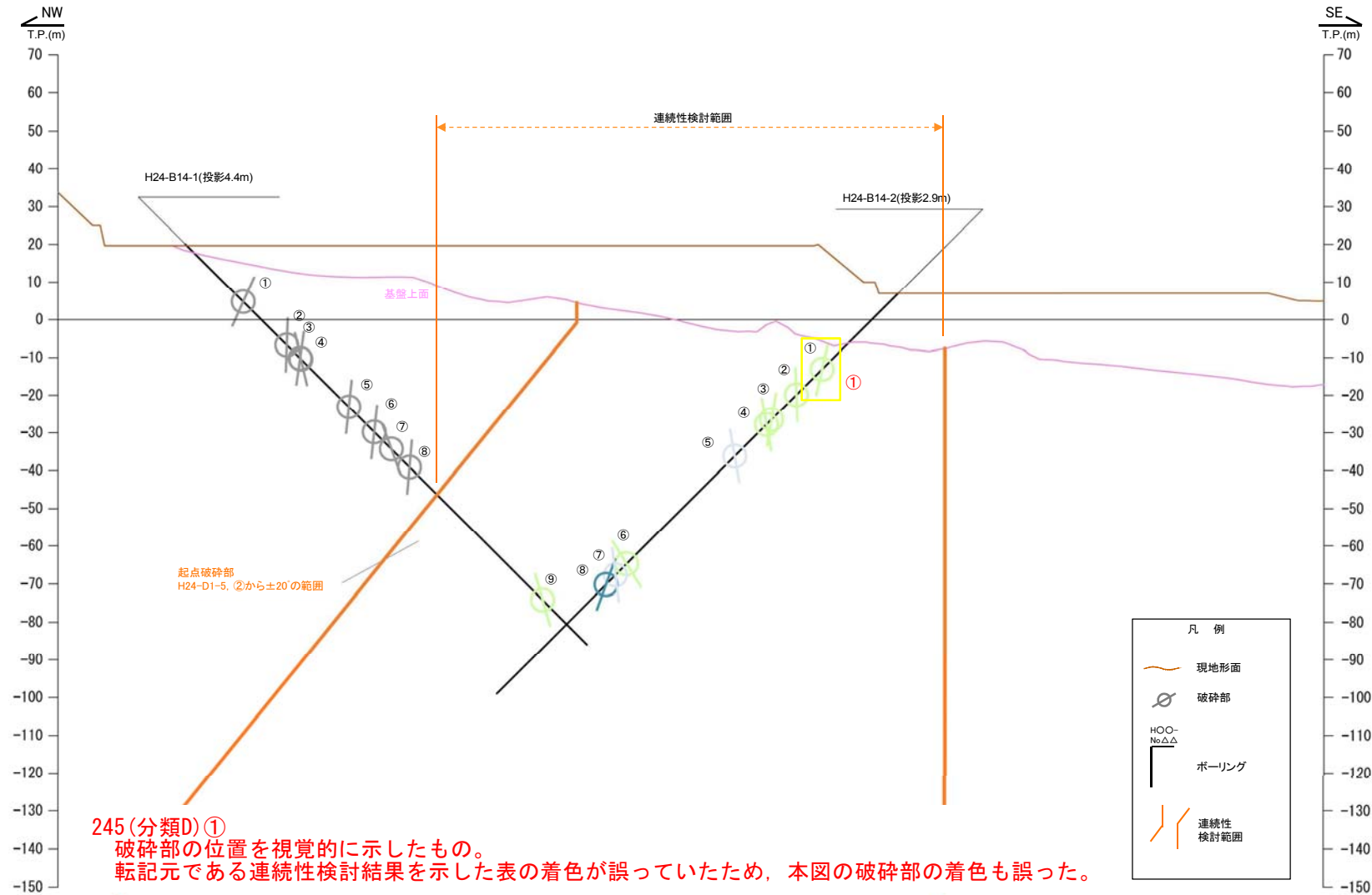
連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-5, ②)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-5, ②)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-5, ②)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面 該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
		②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H24-D1-5, ②)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討 範囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状			連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫の 有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL	H-3d	参考2-169		
JAEA原子炉廃止措置研究開発 センター基礎掘削面																	
該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66 ①	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	① N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
		②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	② R,RL		非モデル化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34		

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

246(分類E)①

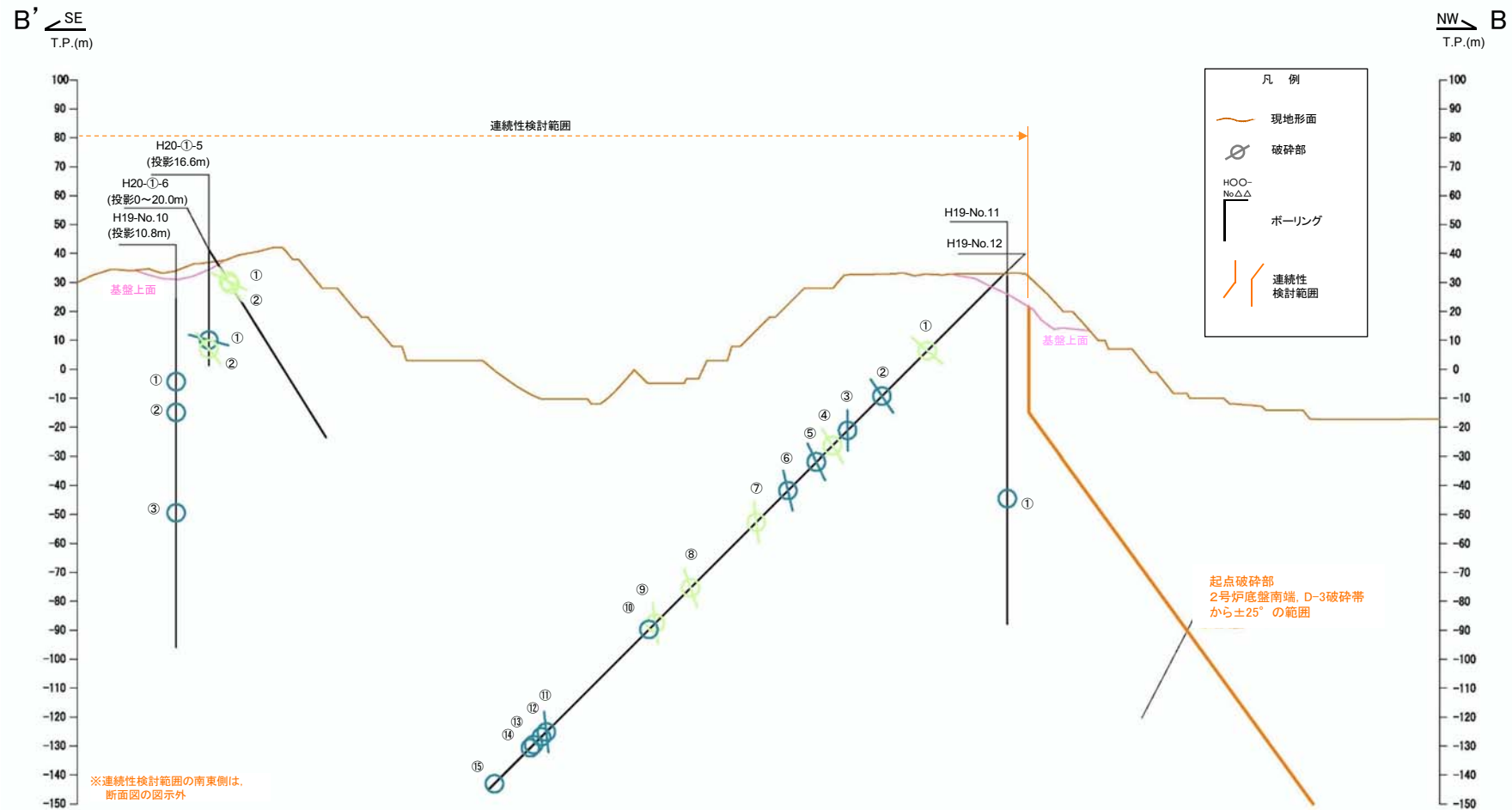
起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果、手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが、着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

247(分類D)②

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤南端, D-3破碎帯)[B-B' 断面]



※連続性検討範囲の南東側は、断面図の図示外

凡例

- 現地地形面
- 破碎部
- HOO-No.△△
- ボーリング
- 連続性検討範囲

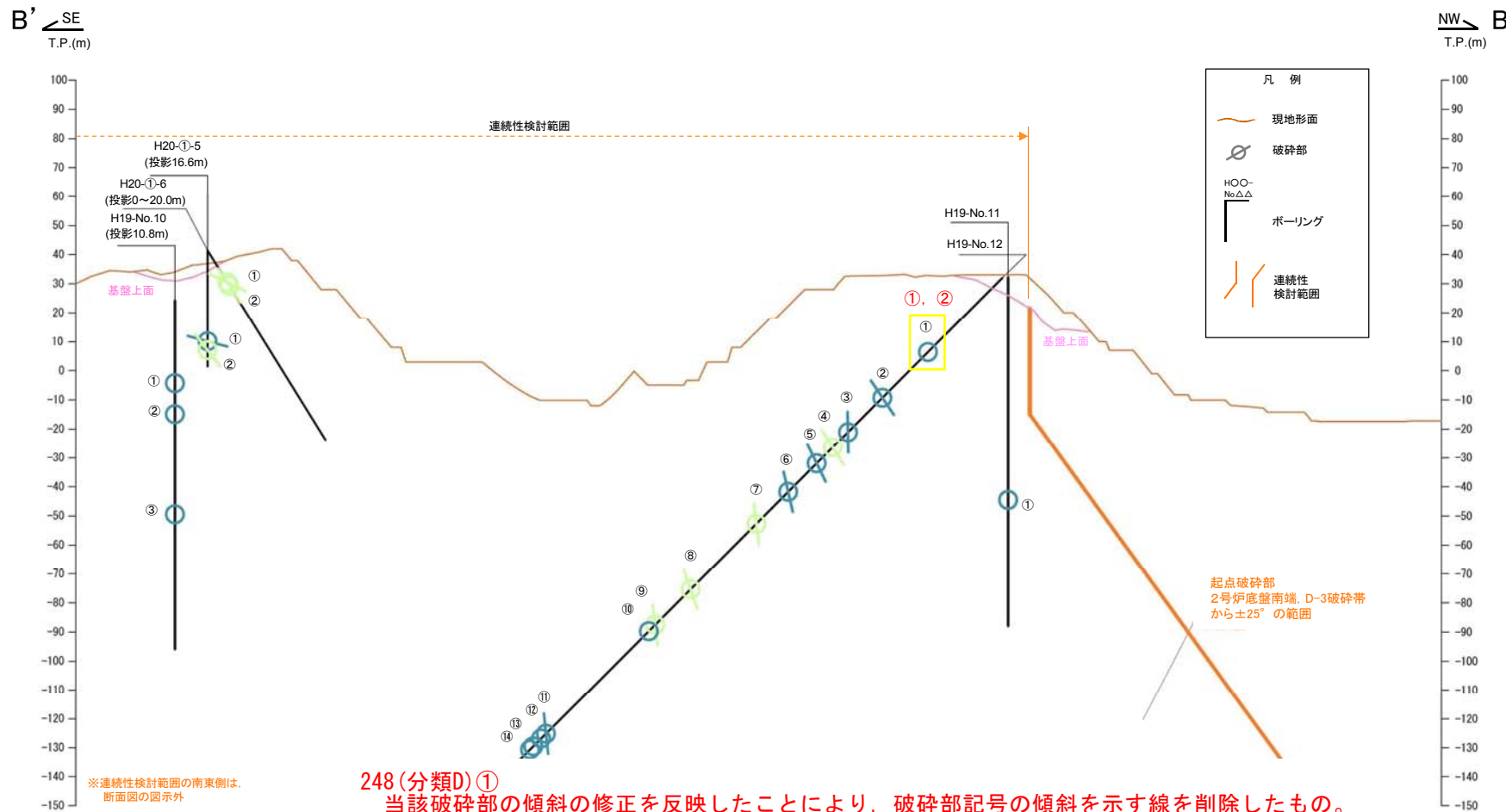
起点破碎部
2号炉底盤南端, D-3破碎帯
から±25°の範囲

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤南端, D-3破碎帯)[B-B' 断面]



248(分類D)①
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、破碎部記号の傾斜を示す線を削除したものの。

249(分類D)②
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、破碎部記号の着色が変わったもの。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤南端, D-3破碎帯)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-	D-3				
H19-No.11	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	D-2	参考2-86		
			②	36.35	36.58	N3E	13	53W	27	有	無	57L	-	-	×	D-2	参考2-86	
			③	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87		
			④	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	×	f-13-3	参考2-130	※4	
			⑤	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-	-	f-12-3	参考2-129		
			⑥	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	※4	
			⑦	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	×	D-4	参考2-89	※4	
			⑧	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-	-	f-12-6	参考2-129		
			⑨	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-	-	f-12-7	参考2-129		
			⑩	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-	-	f-12-8	参考2-130		
			⑪	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4	
			⑫	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4	
			⑬	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3	
			⑭	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3	
			⑮	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3	
			⑯	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4	
			H20-①-5	①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			H20-①-6	②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188	
				①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-	-	D-43	参考2-118	
			H19-No.10	②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188	
①	28.46	28.53		-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4			
②	39.09	39.14		-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4			
	③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4			

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑C坑での値を示す。
()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤南端, D-3破碎帯)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ							
				(m)	(m)															
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-	D-3						
H19-No.11	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	⑤-	-	(74)	6	有	無	-	-	x	D-2	参考2-86				
			①	36.35	36.58	①-	③-	②-	④-	-	有	無	57L	-	⑥x	D-2	参考2-86			
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87				
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	x	f-13-3	参考2-130	※4			
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-	-	f-12-3	参考2-129				
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	x	f-12-4	参考2-129	※4			
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	x	D-4	参考2-89	※4			
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-	-	f-12-6	参考2-129				
			⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-	-	f-12-7	参考2-129				
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-	-	f-12-8	参考2-130				
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-5	参考2-70	※4			
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	x	f-12-10	参考2-130	※4			
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-6	参考2-57	※3			
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-19	参考2-99	※3			
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※3			
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-7	参考2-90	※4			
			H20-①-5	H20-①-5	範囲内	①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	x	D-43	参考2-118	※3
						②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-188	
			H20-①-6	H20-①-6	範囲内	①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-	-	D-43	参考2-118	
						②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-188	
H19-No.10	H19-No.10	範囲内	①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	x	非モデリ化	参考2-184	※4			
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	x	非モデリ化	参考2-184	※4			
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	x	非モデリ化	参考2-185	※4			

注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

250(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

251(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

252(分類D)③

当該破碎部の走向の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

253(分類D)④

当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。

254(分類D)⑤

当該破碎部の走向・傾斜の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

255(分類D)⑥

当該破碎部の走向・傾斜の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, D-3破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W		80W		-	-	-	-		D-3		
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	x	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	x	D-1	参考2-34	

注) 起点の走向は、2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は、敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑C坑での値を示す。

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±25°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, D-3破碎帯)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	
				(m)	(m)													
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W		80W		-	-	-		D-3				
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	H24-B14-1	範囲外	該当破碎帯なし															
			①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92		
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		F-b14-1-2	参考2-159		
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
			⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175		
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192		
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192		
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192		
			H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		F-b14-2-1	参考2-159
					②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		F-b14-2-2	参考2-159
					③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	① R,RL		非モデル化	参考2-192
					④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119
					⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	x	D-42	参考2-118 ※3
					⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		F-b14-2-6	参考2-159
					⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117
					⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	x	D-1	参考2-34

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試験坑C坑での値を示す。

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

256(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破砕部: 2号炉底盤北端, H-3e破砕帯)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検 討範囲	断面図上 の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象と の走向の差 (°)	傾斜	比較対象と の傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫の 有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
JAEA原子炉廃止措置 研究開発センター基礎掘削面 該当破砕帯なし																	
H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデ化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデ化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデ化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデ化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1	
		②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	RL	×	非モデ化	参考2-192	※1	
		④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1	
		⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1	
		⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34		

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑A坑での値を示す。

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉建屋等, 起点破碎部: 2号炉底盤北端, H-3e破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ							
				(m)	(m)															
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e					
JAEA原子炉廃止措置 研究開発センター基礎掘削面				該当破碎帯なし																
				H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
						②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
						③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
						④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
						⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
						⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデリ化	参考2-192	
						⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-192	
						⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデリ化	参考2-192	
						⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデリ化	参考2-192	
				H24-B14-2	範囲内	①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	x	f-b14-2-1	参考2-159	※1
						②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
						③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	① R,RL	x	非モデリ化	参考2-192	※1
						④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
						⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	x	D-42	参考2-118	※1
						⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
						⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	x	D-41	参考2-117	※1
⑧	109.16	109.46	N1W			16	76W	1	有	有	-	N,RL	x	D-1	参考2-34					

注) 起点の走向は, 2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注) 起点の傾斜は, 敦賀発電所原子炉設置許可申請書(2号炉)に記載の試掘坑A坑での値を示す。

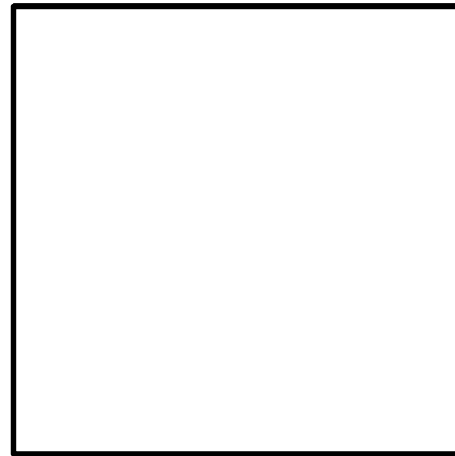
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±25°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

257(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H27-B-3, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前



拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

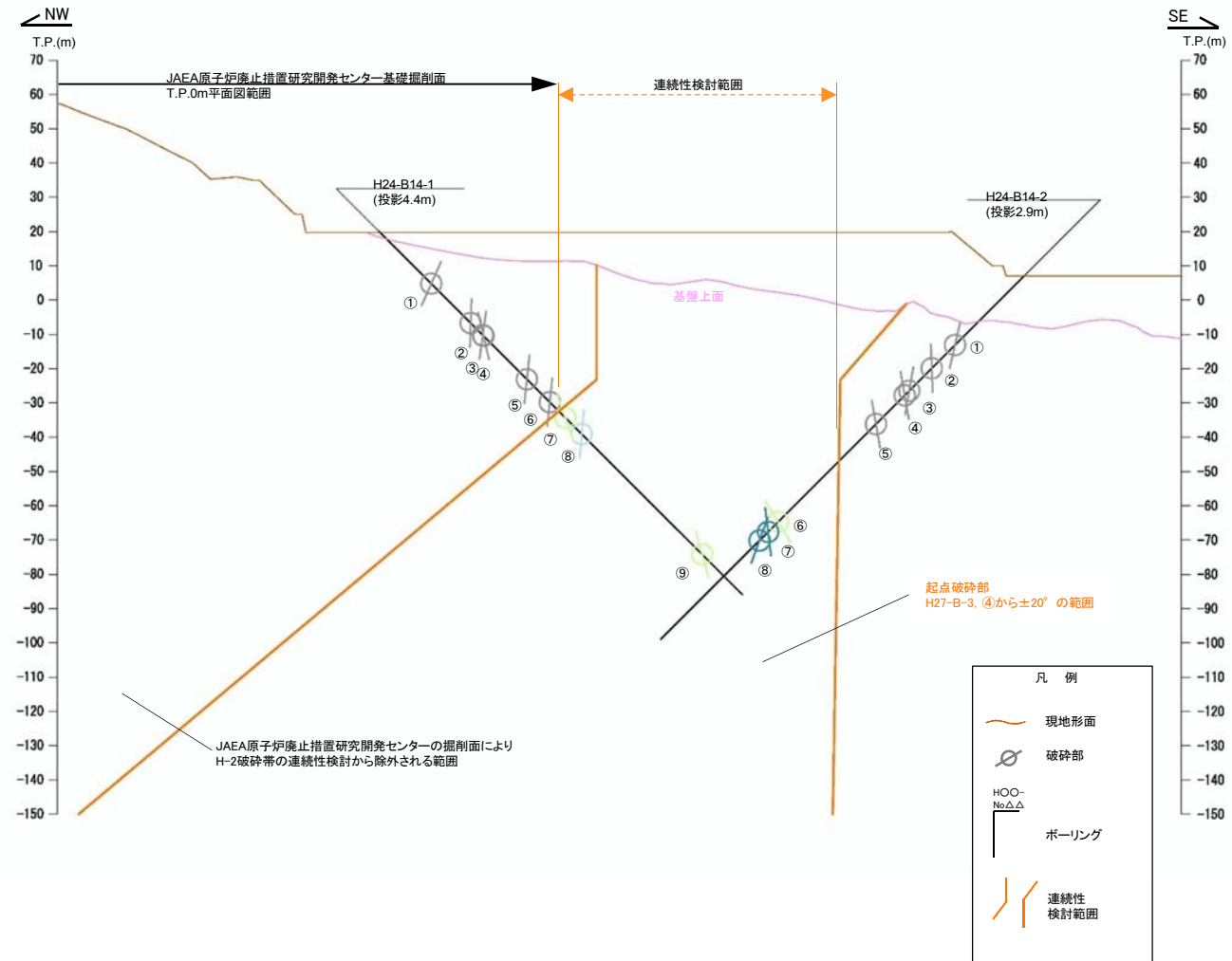
拡大範囲図凡例

- 起点破碎部
- 連続性検討範囲内にある破碎部
- 連続性検討範囲外にある破碎部
- 破碎帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設

検断断面位置
 掘削面観察範囲
 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破碎帯トレース
 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

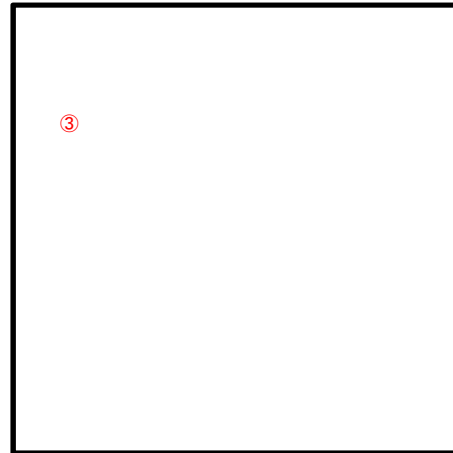
※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検断範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



破碎部着色凡例

- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H27-B-3, ④)



拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)

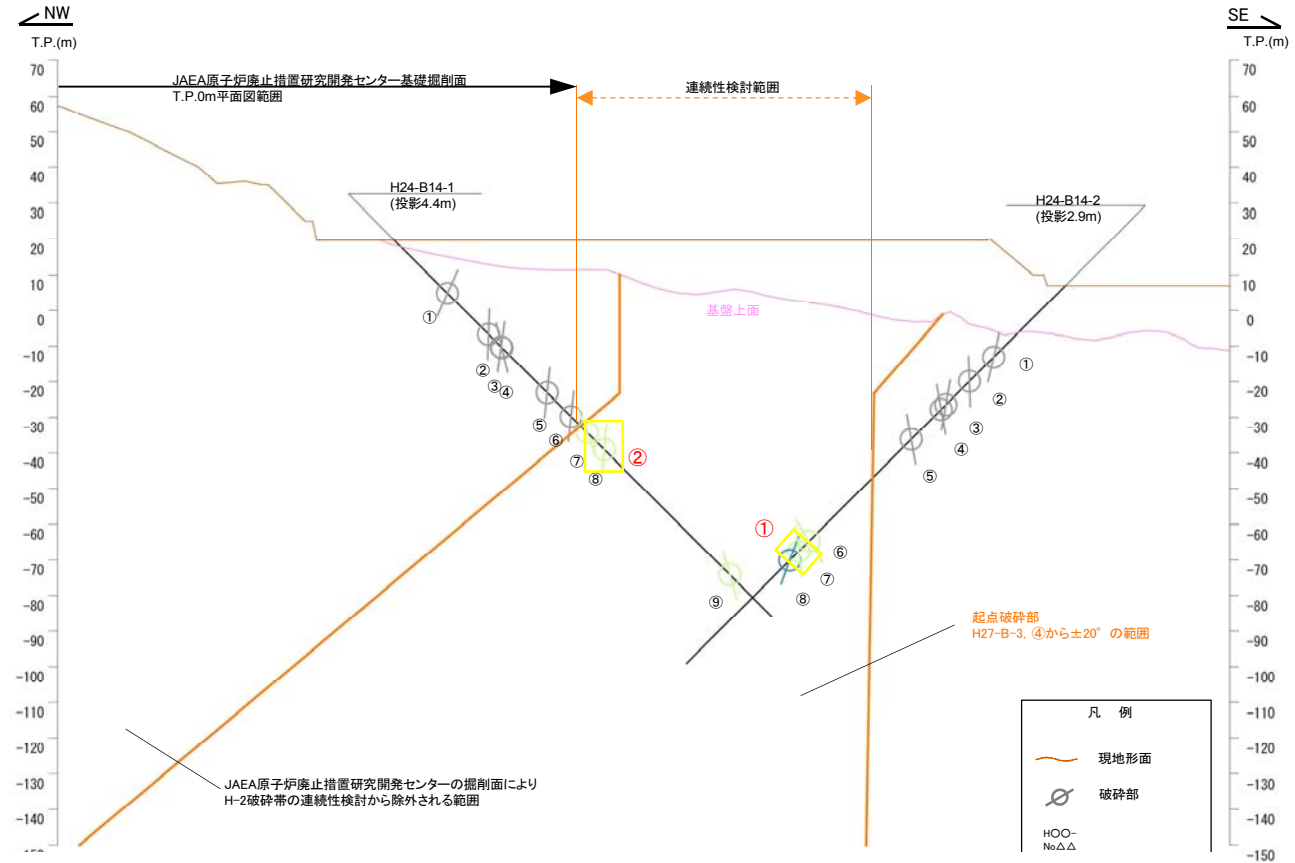
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

	起点破碎部		検討断面位置
	連続性検討範囲内にある破碎部		掘削面観察範囲
	連続性検討範囲外にある破碎部		2号炉底盤及びJAEA掘削面の破碎帯トレース
	破碎帯の連続性検討範囲		耐震重要施設
	常設重大事故等対処施設		

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



258(分類A)①
破碎部の位置を視覚的に示したものの、
連続性評価結果に基づき破碎部を着色するものであるが、着色を誤った。

259(分類D)②
破碎部の位置を視覚的に示したものの、
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲	260(分類E)③
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲	方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが、貼り付けを忘れたもの。
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの	

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H27-B-3, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																	
該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	無	-	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデリ化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデリ化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデリ化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
		②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	RL		非モデリ化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
	範囲内	⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
		⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34		

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス (原子炉建屋等, 起点破碎部:H27-B-3, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面 該当破碎帯なし																	
H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92		
		②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111		
		③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159		
		④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111		
		⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175		
		⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデリ化	参考2-192		
		⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-192		
		⑧	82.59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデリ化	参考2-192		
		⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデリ化	参考2-192		
H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159		
		②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159		
		③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	④ R,RL		非モデリ化	参考2-192		
		④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119		
		⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118		
	範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159		
		⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117		
		⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34		

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

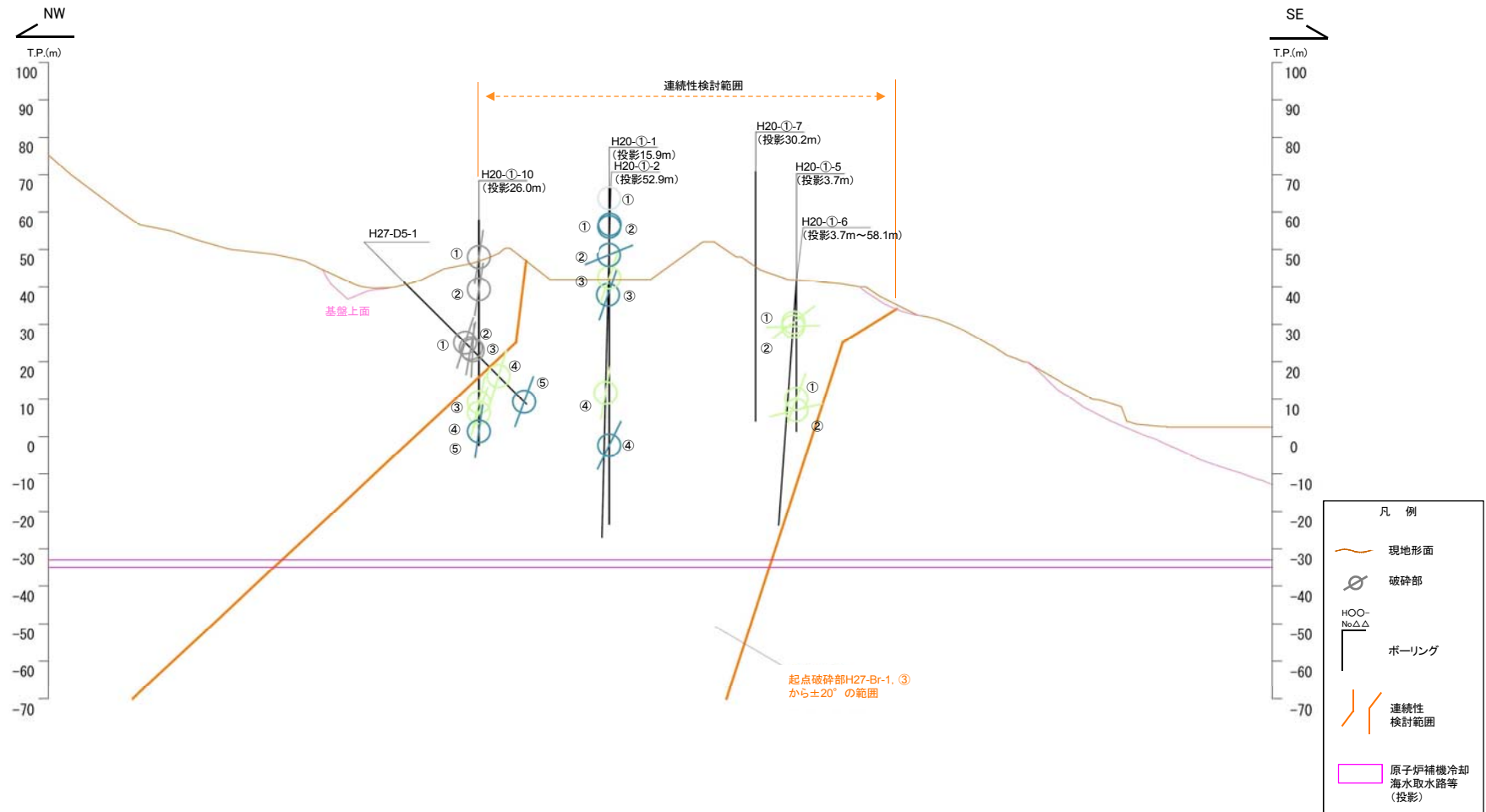
261 (分類A) ①
H30年11月30日審査会合にて説明した該当破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

262 (分類A) ②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

263 (分類E) ③
起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果、手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが、着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

264 (分類D) ④
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ③)

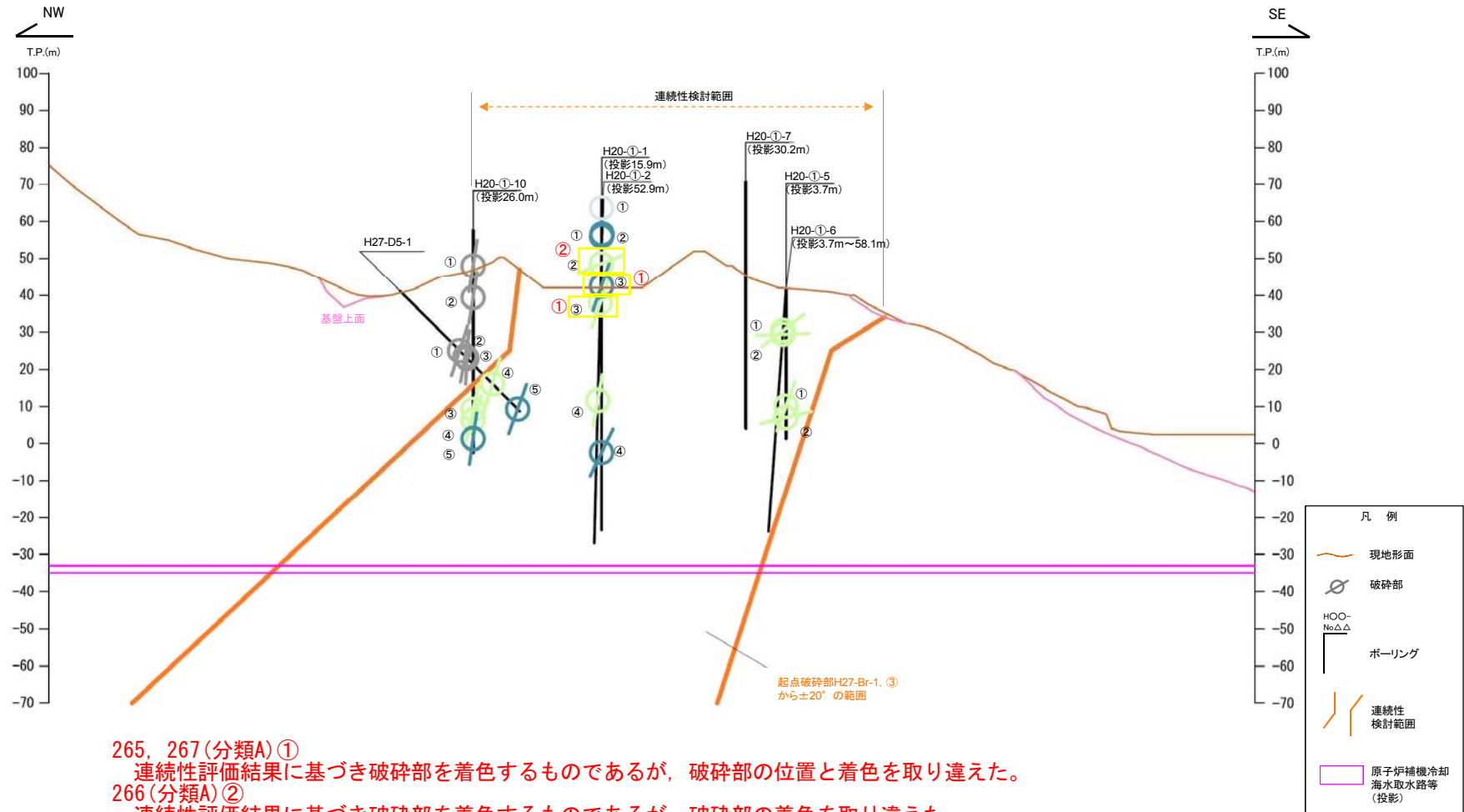


注)H20-①-7孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センスが類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ③)



- 265, 267(分類A)①
連続性評価結果に基づき破碎部を着色するものであるが, 破碎部の位置と着色を取り違えた。
- 266(分類A)②
連続性評価結果に基づき破碎部を着色するものであるが, 破碎部の着色を取り違えた。

注)H20-①-7孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	-	D-20	参考2-100		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-	f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	-	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131		
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
範囲外		②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141			
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-	D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	① N,RL	D-20	参考2-100		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-	f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	② 不明	-	x	f-④-5-3	参考2-143	※ 2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37		
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131		
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131		
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132		
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
範囲外		②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141			
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-	D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

268(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

269(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No2, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.2	-	-	④	44.90	45.75	N40E	-	26W	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
H19-No.11	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	48	有	無	-	-	-	D-2	参考2-86		
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	-	有	無	57L	-	×	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	44	70W	44	有	有	75L	-	-	D-3	参考2-87		
		範囲外	③	75.04	75.08	N12E	28	89W	63	無	-	25L	-	-	f-13-3	参考2-130		
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	35	無	-	56L	-	-	f-12-3	参考2-129		
			⑤	90.45	90.66	N8E	32	71W	45	無	-	30R	-	-	f-12-4	参考2-129		
			⑥	104.12	104.22	N4W	44	83W	57	有	無	50L	-	-	D-4	参考2-89		
			⑦	119.64	119.72	N37E	3	83W	57	有	無	42L	-	-	f-12-6	参考2-129		
			⑧	152.06	152.09	N40E	0	71W	45	有	無	3R (不明瞭)	-	-	f-12-7	参考2-129		
			⑨	169.38	169.46	N21E	19	84W	58	有	無	85R	-	-	f-12-8	参考2-130		
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-5	参考2-70		
			⑪	222.85	222.88	N14E	26	85W	59	有	無	24L	-	-	f-12-10	参考2-130		
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-6	参考2-57		
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	-	D-19	参考2-99		
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	-	f-①-1-3	参考2-138		
⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90					

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No2, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.2	-	-	④	44.90	45.75	N40E	-	26W	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
H19-No.11	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	48	有	無	-	-	-	D-2	参考2-86		
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	-	有	無	57L	-	x	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	44	70W	44	有	有	75L	-	-	D-3	参考2-87		
		範囲外	③	75.04	75.08	N12E	28	89W	63	無	-	25L	-	-	f-13-3	参考2-130		
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	35	無	-	56L	-	-	f-12-3	参考2-129		
			⑤	90.45	90.66	N8E	32	71W	45	無	-	30R	-	-	f-12-4	参考2-129		
			⑥	104.12	104.22	N4W	44	83W	57	有	無	50L	① N,RL	-	-	D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	3	83W	57	有	無	42L	-	-	f-12-6	参考2-129		
			⑧	152.06	152.09	N40E	0	71W	45	有	無	3R (不明瞭)	-	-	-	f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	19	84W	58	有	無	85R	-	-	-	f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	26	85W	59	有	無	24L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	f-①-1-3	参考2-138	
⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90				

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

270(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ								
				(m)	(m)																
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W	-	78W	-	有	無	56L	-	D-20	参考2-101						
H19-No.2	-	-	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	f-15-2	参考2-131					
				②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-184				
				③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-	f-15-1	参考2-131					
				④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-	非モデル化	参考2-184					
				⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-	f-14-1	参考2-131					
			範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-	f-2-3	参考2-125					
				⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	D-20	参考2-101	※3				
				⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	x	D-1	参考2-37				
				⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL	-	D-2	参考2-87				
			範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-	f-2-7	参考2-125					
				⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125				
				⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-	D-3	参考2-88					
				⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-	f-2-10	参考2-125					
				⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-	f-2-11	参考2-126					
				⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-	f-2-12	参考2-126					
			H20-②-1	-	-	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	x	f-②-1-1	参考2-140	※3
							②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-	f-②-1-2	参考2-140		
							③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-	f-②-1-3	参考2-140		
							④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	x	D-1	参考2-37	
H19-No.3	-	-	-	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-	f-2-8	参考2-125					
				②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-	D-3	参考2-88					
				③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-	f-2-10	参考2-125					
				④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-	f-2-12	参考2-126					
H19-No.4	-	-	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	無	50L	-	D-3	参考2-88					
				②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-	f-2-10	参考2-125					
				③	22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-	f-2-11	参考2-126					
				④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-	f-12-4	参考2-129					
				⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126					
				⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-	f-4-3	参考2-126					
				⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-	D-4	参考2-89					
				⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-	f-4-5	参考2-126					
				⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-184					
				⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL	D-5	参考2-70					
				⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-	f-12-10	参考2-130					
				⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N	D-6	参考2-57					
				⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-	f-4-9	参考2-127					
⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-	f-4-10	参考2-127									
⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-	D-7	参考2-90									
⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-	f-4-12	参考2-127									
⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	f-6-2	参考2-127									

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ③)

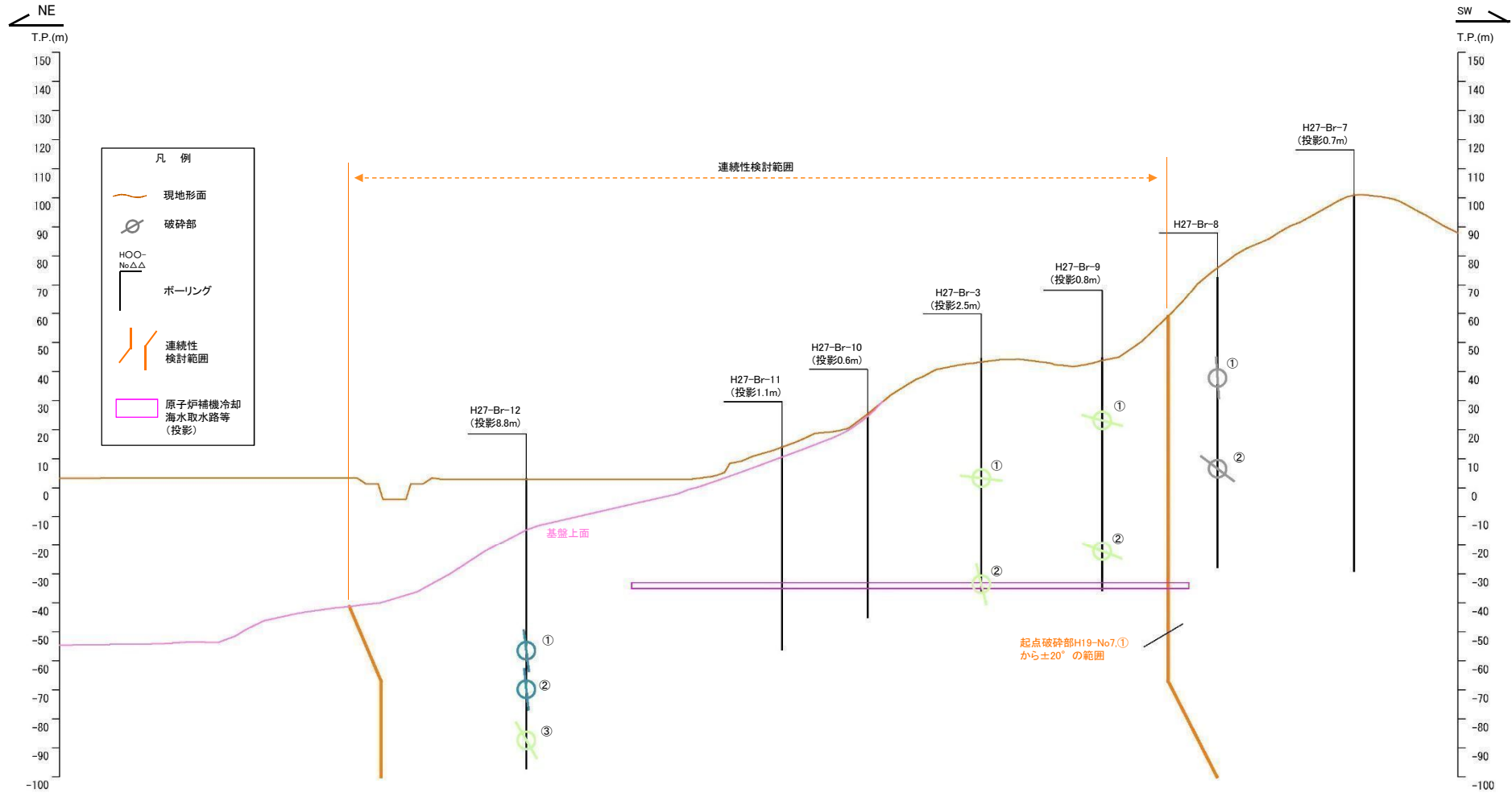
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ							
				(m)	(m)															
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W	-	78W	-	有	無	56L	-	D-20	参考2-101					
H19-No.2	範囲外	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131				
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
			③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131			
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
			⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131			
			範囲内	範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125	
					⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	○	D-20	参考2-101	①	
					⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37		
					⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL	-	D-2	参考2-87		
					⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-	-	f-2-7	参考2-125		
			範囲外	範囲外	⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125		
					⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-	-	D-3	参考2-88		
					⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125		
					⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126		
					⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126		
	H20-②-1	範囲内	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3		
				②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140			
				③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140			
				④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37			
	H19-No.3	範囲外	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125			
				②	30.38	30.48	-	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88		
				③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125			
				④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126			
	H19-No.4	範囲外	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	③ 有	50L	-	-	D-3	参考2-88			
				②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125			
③				22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126				
④				24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129				
⑤				34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
⑥				46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126				
⑦				59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89				
⑧				60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126				
⑨				84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
⑩				107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70				
⑪				159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130				
⑫				171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57				
⑬				175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127				
⑭				175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127				
⑮				207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90				
⑯				218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127				
⑰				234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127				

271(分類E)①
連続性検討結果について、記載の必要のない箇所に誤って記載したものを。

272(分類E)②
表の行の高さが足りず、文字が見切れていたものを。

273(分類A)③
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったものを。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)



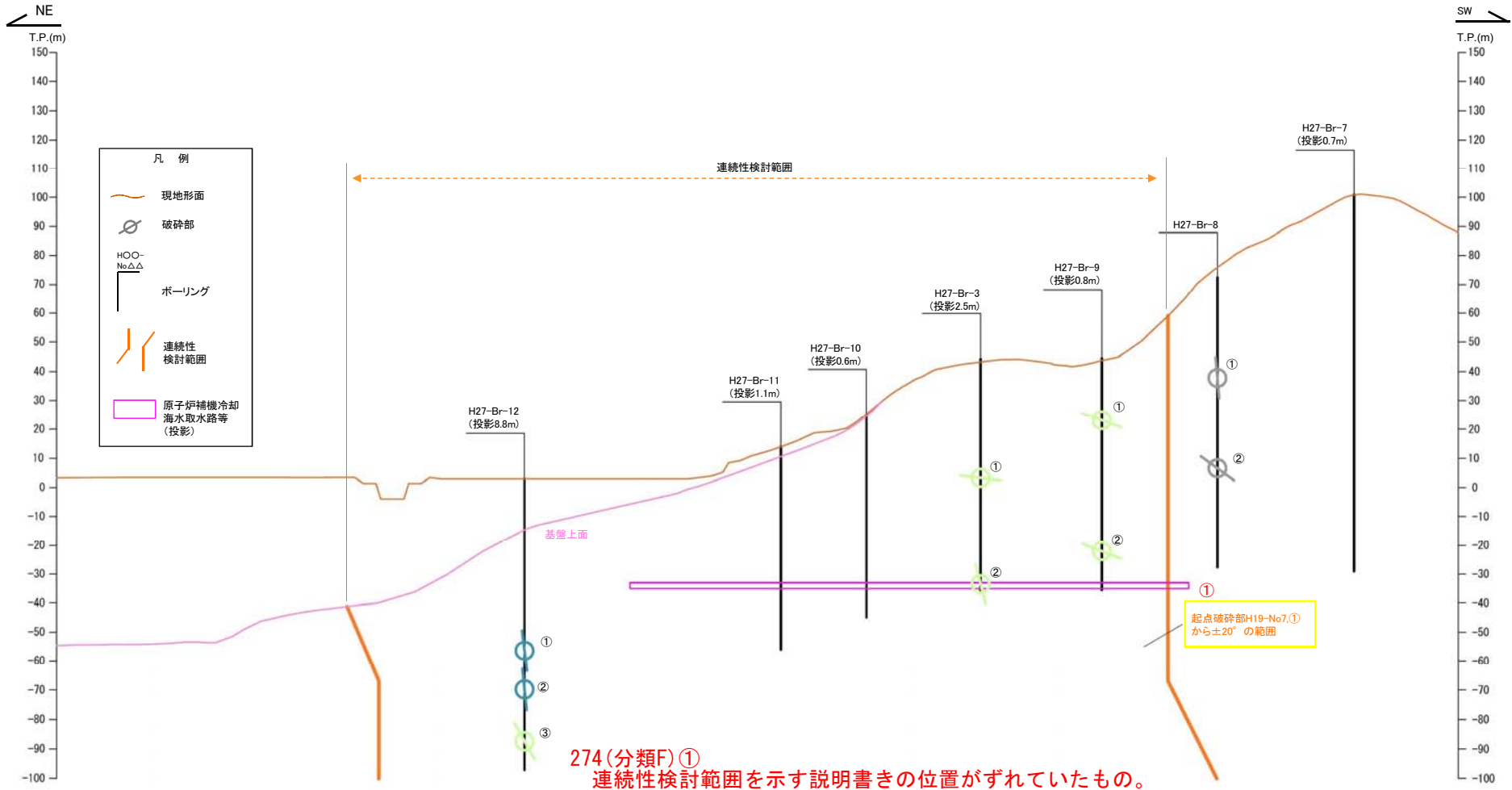
注) H27-Br-7孔, H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注) H27-Br-7孔, H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-	D-24	参考2-103		
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	77SW	10	有	有	70L	N	D-7	参考2-91		
			②	65.81	67.33	N23E	16	78SW	9	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	79SW	8	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	66.50	66.77	N48E	41	80SW	7	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	0	81SW	6	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	13	82SW	5	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	24	83SW	4	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)

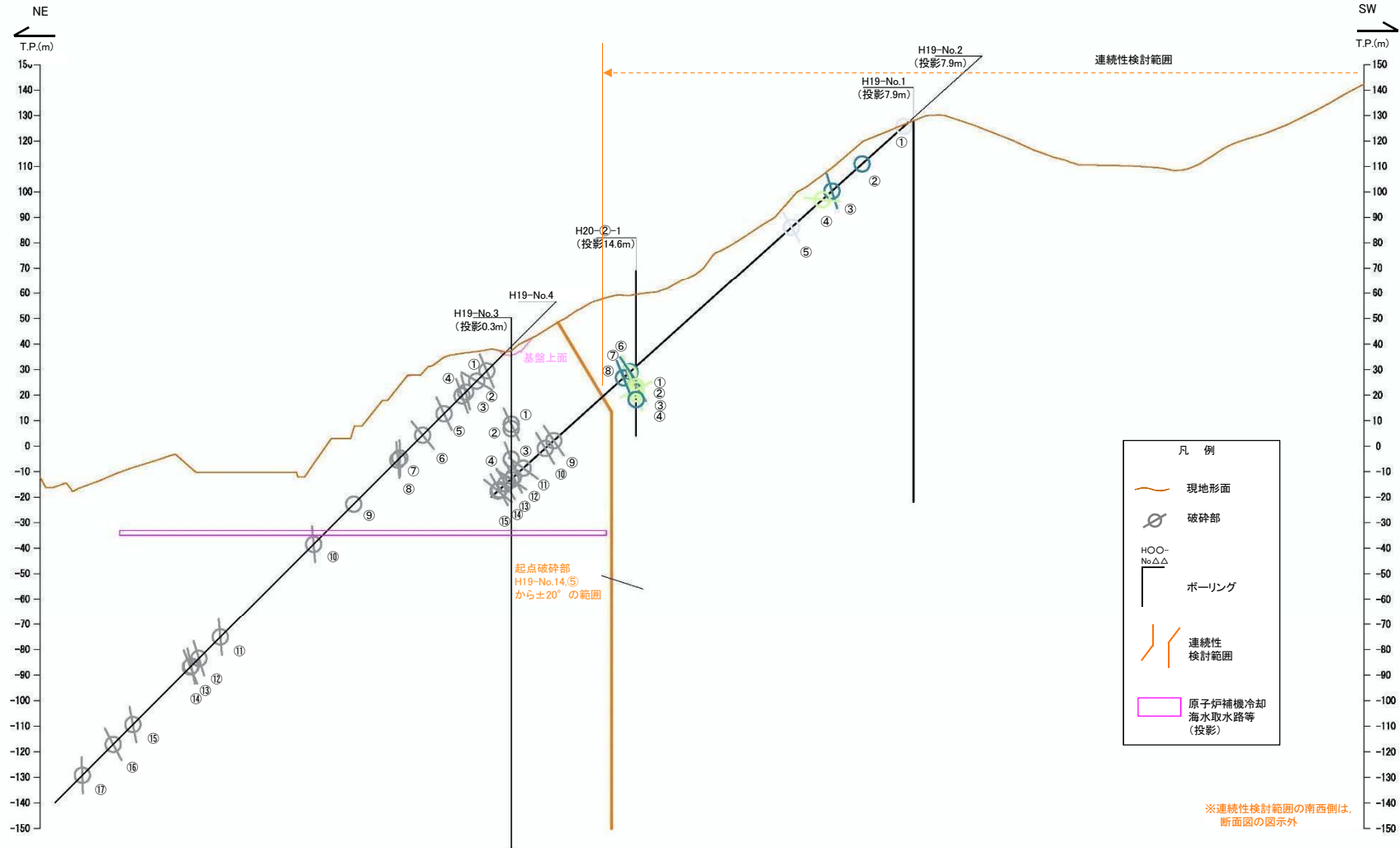
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向				
				(m)	(m)											
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-	D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	有	無	90	-	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	② 0	有	有	70L	N	D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	② 31	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	② 24	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	② 10	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	0	85W	② 2	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	② 2	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	24	78NW	② 9	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

275, 277, 279, 281, 283, 285, 287(分類A)①
傾斜について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

276, 278, 280, 282, 284, 286, 288(分類D)②
転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより、起点破碎部と対比破碎部の傾斜の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ⑤)

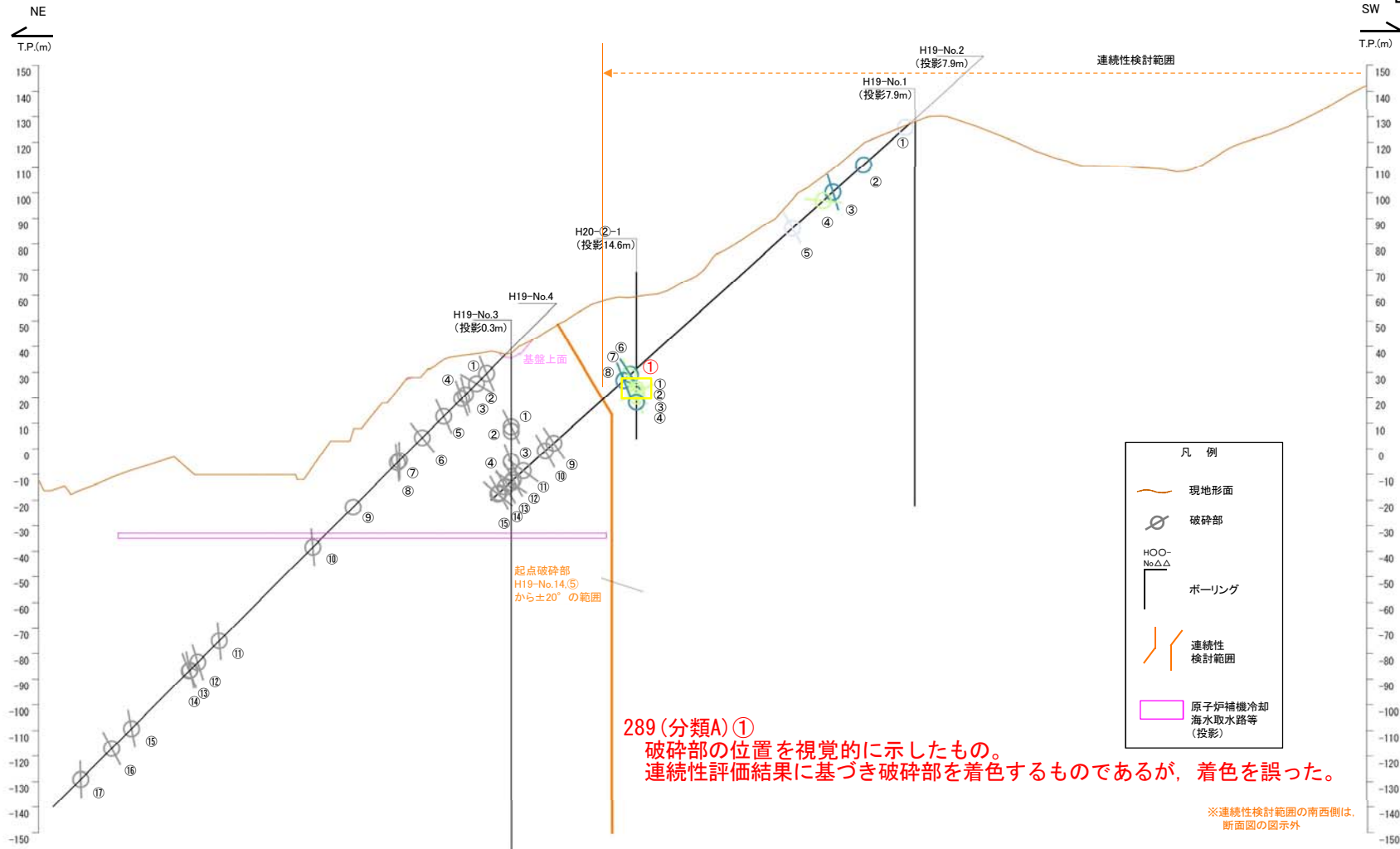


注) H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ⑤)



注) H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破砕部:H19-No.14, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E	-	81W	-	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37		
H19-No.2	範囲内	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	x	f-15-1	参考2-131	※3	
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	x	f-2-3	参考2-125	※3	
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	-	○	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	5	61W	20	有	無	36L	N,RL	-	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H20-②-1	範囲内	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	-	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	-	○	D-1	参考2-37	
H19-No.3	範囲外	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	範囲外	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	無	50L	-	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	7	83W	2	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	0	74W	7	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	48	88W	7	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角傾の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E	-	81W	-	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37		
H19-No.2	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	x	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	x	f-2-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	①N21E	②1	③70W	④11	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
H20-②-1	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
H19-No.3	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	⑤有	50L	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127				

290(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

291(分類D)②

当該破碎部の走向の修正を反映したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

292(分類A)③

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

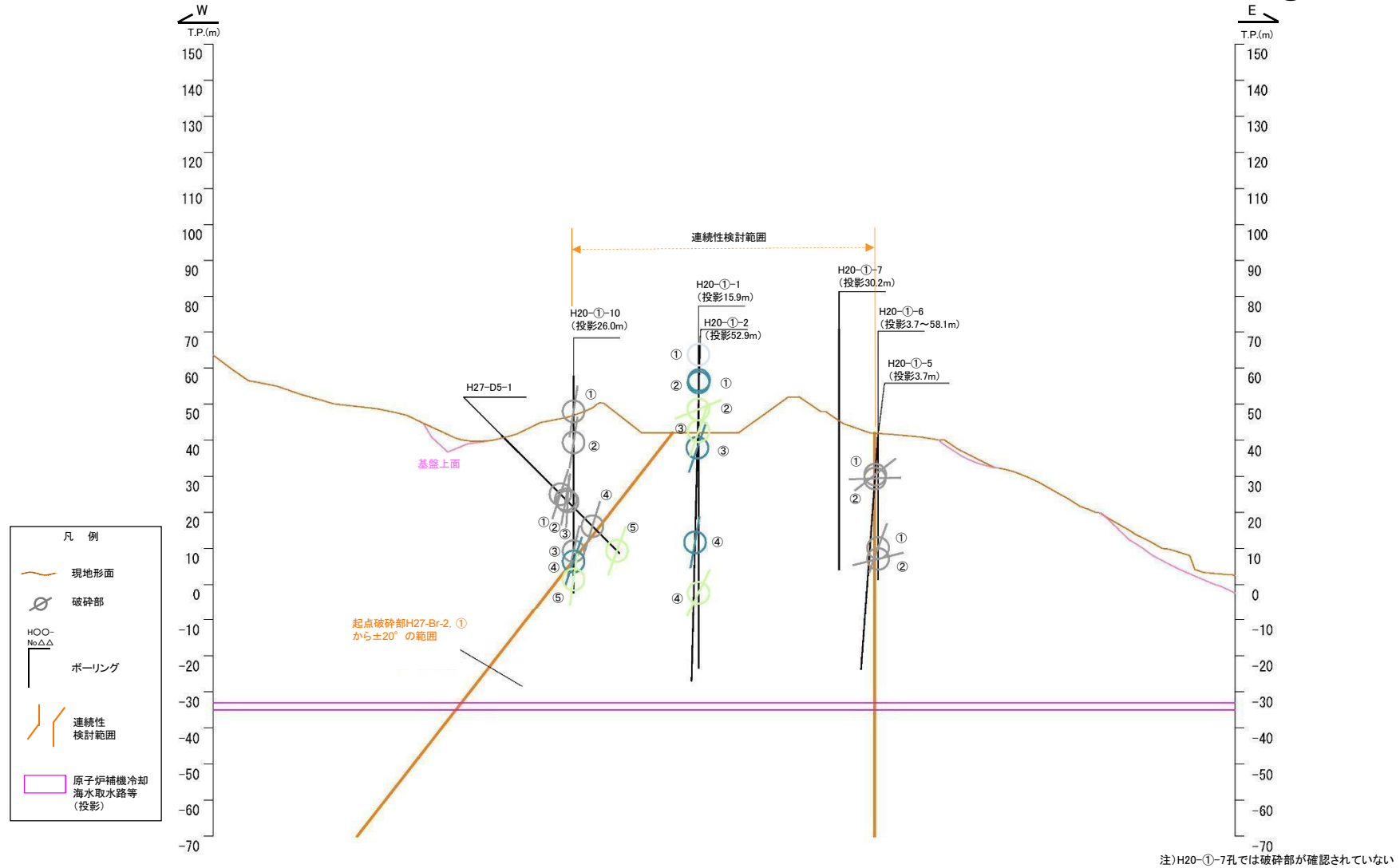
293(分類D)④

当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。

294(分類A)⑤

明瞭なせん断構造・変形構造の有無について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

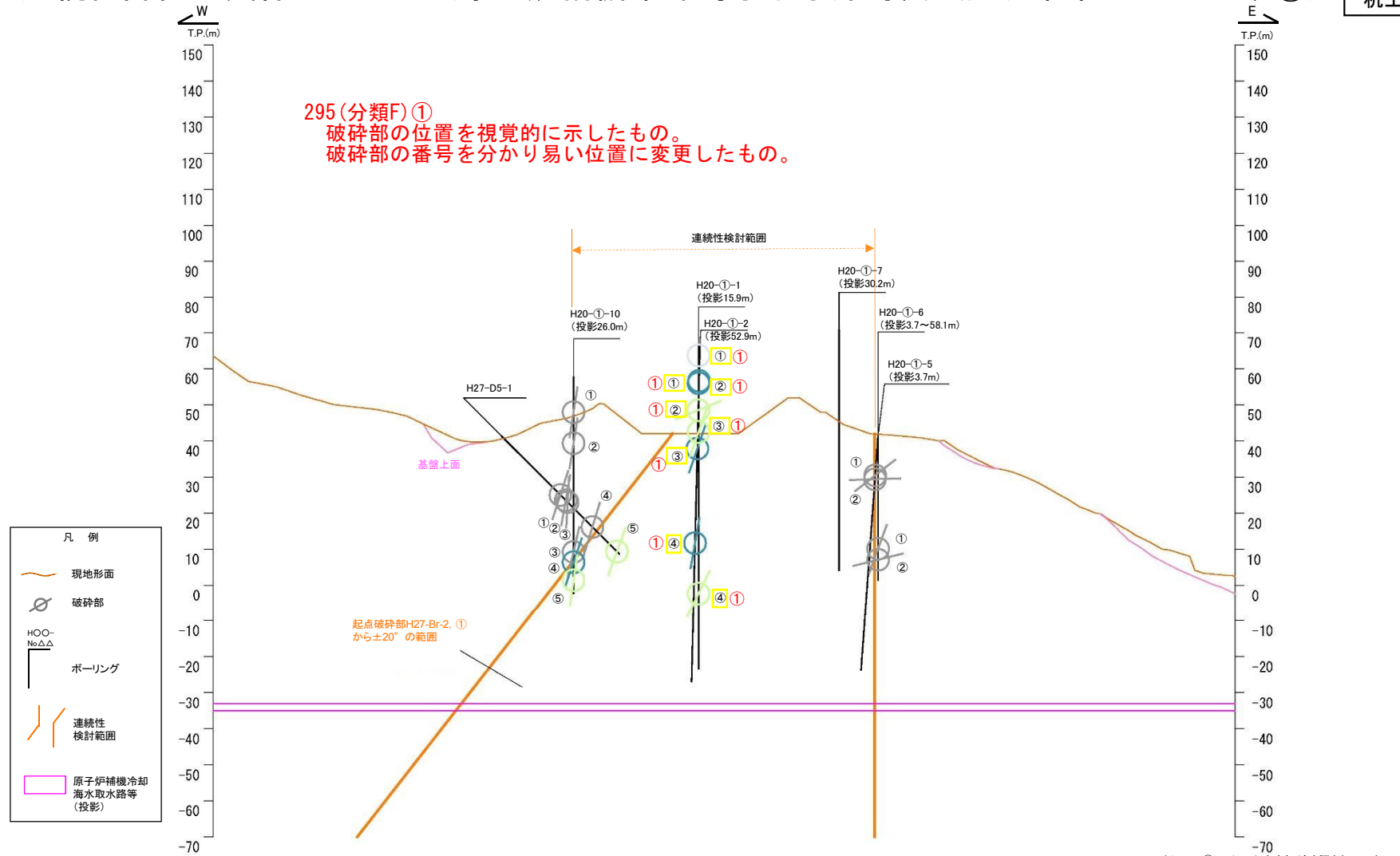
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-2, ①)



破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-2, ①)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-④-6	-	-	②	7.94	9.00	N71W	-	79S	(60)	19	有	無	65R	-	f-④-6-2	参考2-143		
H19-No.16	-	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	19	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	16	無	無	-	-	-	x	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	19	有	有	-	-	-	x	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	38	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	24	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	35	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	19	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	-	x	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	35	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	22	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	30	無	-	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	19	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	2	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	19	無	-	-	-	-	x	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	11	無	-	-	-	-	x	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	24	無	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	7	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	5	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1
			H19-No.17	-	-	①	27.65	27.73	N34E	75	57W	22	無	-	20L	-	-	f-⑥-3-2
②	32.54	32.75				N35E	74	51W	28	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132		
③	55.45	55.46				N39E	70	52W	27	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
④	61.89	62.22				N28E	81	50W	29	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
⑤	68.84	69.25				N10E	81	62W	17	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91	
⑥	70.92	70.94				N18E	89	53W	26	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91	
⑦	75.60	75.90				N14E	85	77W	2	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65	
⑧	82.83	85.61				N19W	52	36W	43	有	無	-	-	-	-	D-47	参考2-120	
⑨	114.31	115.63				N8W	63	67W	12	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93	
⑩	117.77	117.79				N11W	60	57W	22	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93	
⑪	118.22	118.25				N11E	82	59W	20	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98	
⑫	118.66	119.29				N14E	85	57W	22	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98	
⑬	144.35	144.37				N10E	81	65W	14	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

296(分類A)①

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ			
				(m)	(m)															
H20-④-6	-	-	②	7.94	9.00	N71W	-	79S	19	有	無	65R	-	f-④-6-2	参考2-144	①				
H19-No.16	-	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	19	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1			
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	16	無	-	-	-	-	x	f-⑥-3-2	参考2-147	※1		
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	19	有	有	-	-	-	x	f-17-2	参考2-132	※1		
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	38	有	有	-	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	24	有	無	-	-	-	-	-	D-12	参考2-91		
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	35	有	有	-	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	19	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	-	-	x	D-47	参考2-120	※1	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	35	有	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	22	無	-	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	30	無	-	32L	N,RL	-	-	-	D-15	参考2-93		
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	19	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	2	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	19	無	-	-	-	-	-	x	D-16	参考2-93	※1	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	11	無	-	-	-	-	-	x	D-17	参考2-98	※1	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	24	無	-	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98		
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	7	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	5	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1	
			H19-No.17	-	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	75	57W	22	無	-	20L	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147	
						②	32.54	32.75	N35E	74	51W	28	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132	
						③	55.45	55.46	N39E	70	52W	27	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
						④	61.89	62.22	N28E	81	50W	29	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
⑤	68.84	69.25				N10E	81	62W	17	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91			
⑥	70.92	70.94				N18E	89	53W	26	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91			
⑦	75.60	75.90				N14E	85	77W	2	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65			
⑧	82.83	85.61				N19W	52	36W	43	有	無	-	-	-	-	D-47	参考2-120			
⑨	114.31	115.63				N8W	63	67W	12	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93			
⑩	117.77	117.79				N11W	60	57W	22	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93			
⑪	118.22	118.25				N11E	82	59W	20	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98			
⑫	118.66	119.29				N14E	85	57W	22	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98			
⑬	144.35	144.37				N10E	81	65W	14	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
H27-Br-1	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90		
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4	①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	x	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	-	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
③			12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④			21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140		
⑤			31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑥			41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
⑦			60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1	

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
H27-Br-1	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90		
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4	①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	x	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	①10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1

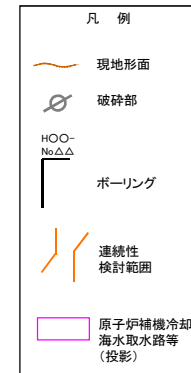
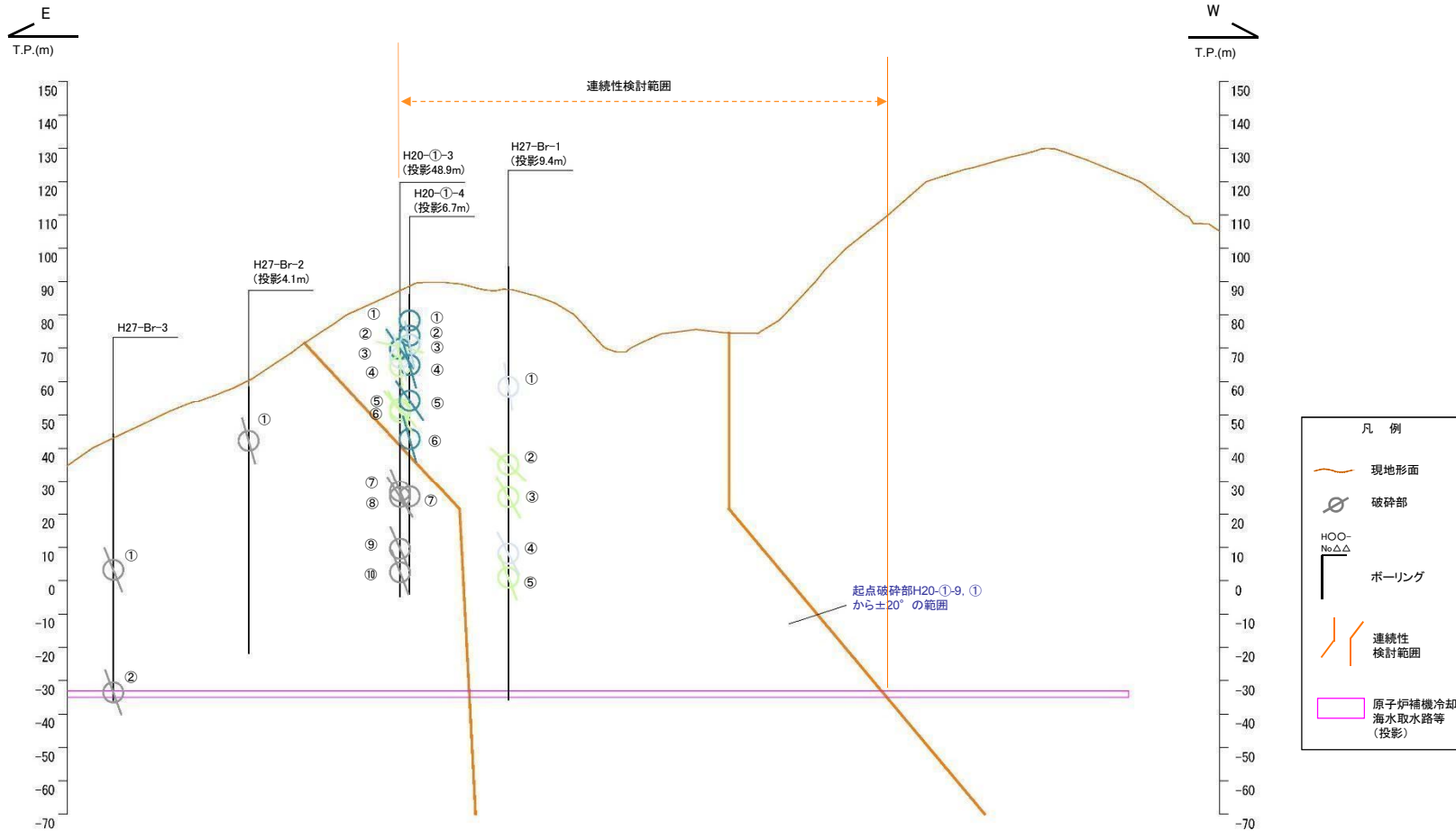
() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

297(分類A)①

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-9, ①)

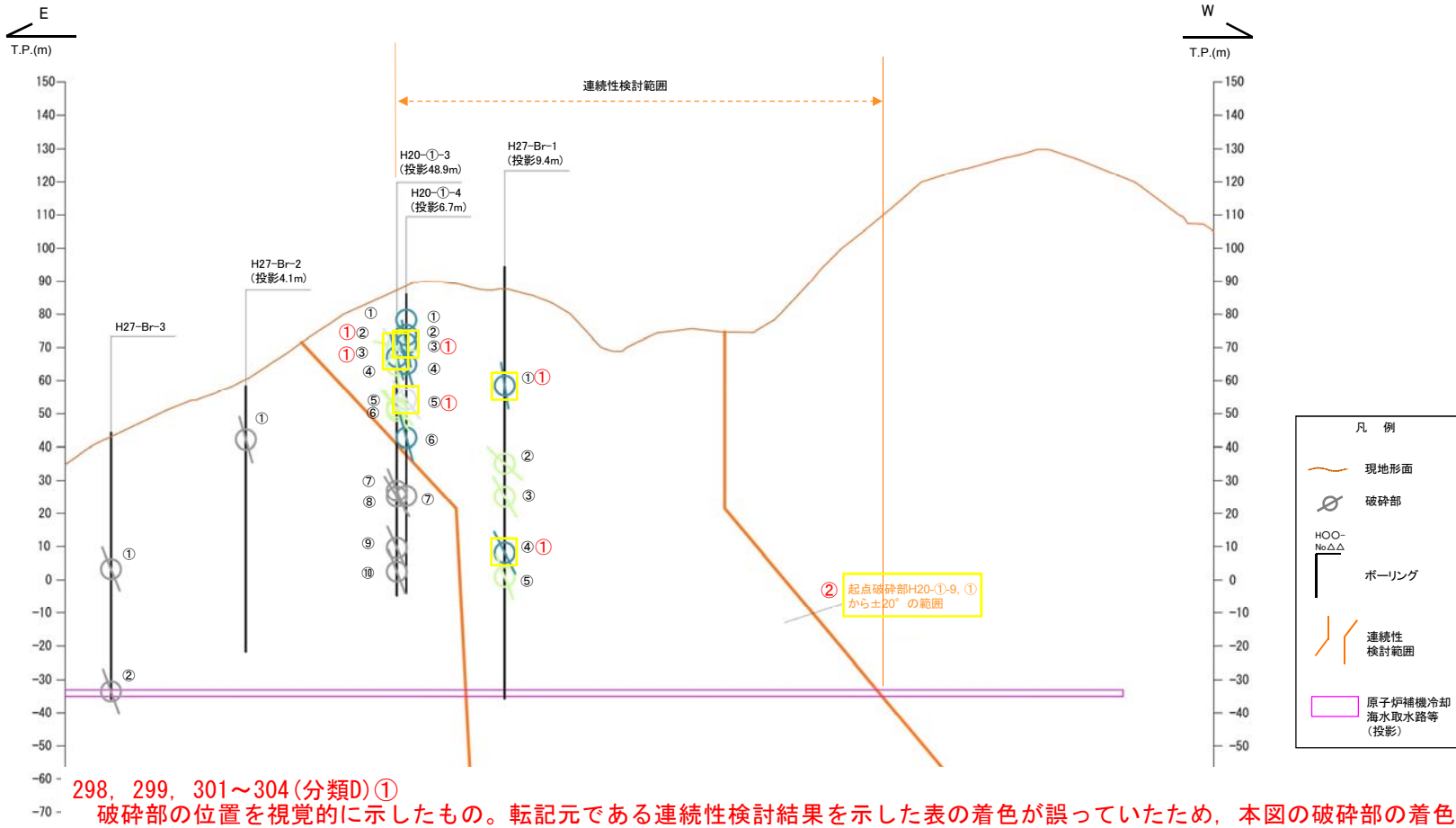


破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-9, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



300 (分類F) ②
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-9, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H20-①-9	-	-	①	11.19	11.73	N21E		70W		無	-	48L	-	D-4	参考2-89		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
			②	40.53	41.10	N51E	30	73NW	3	有	無	-	-	非モテル化	参考2-193		
	H27-Br-3	範囲外	①	77.72	77.90	N38W	59	76SW	6	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
			②	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-	非モテル化	参考2-187		
	H20-①-3	範囲内	①	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-	x	非モテル化	参考2-187	※1
			②	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			③	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			④	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑤	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑥	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
		範囲外	⑦	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑧	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
			⑨	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
			⑩	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
	H20-①-4	範囲内	①	12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
②			12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N	D-6	参考2-59			
③			21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
④			31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑤			41.41	43.24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-	-	D-19	参考2-99		
⑥			60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-	-	f-①-1-3	参考2-138		
⑦																	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状(断層ガウジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し,条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-9, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H20-①-9	-	-	①	11.19	11.73	N21E		70W		① 有	② 有	48L	-	D-4	参考2-89		
H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	③ 有	有	76R	③ N	D-3	参考2-88			
		②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176			
		③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176			
		④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	③ 有	有	20L	RL	⑤ x	f-br-1-4	参考2-176		
		⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90		
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	30	73NW	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	59	76SW	6	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	③ 無	-	-	-	④	非モデル化	参考2-187	④
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	③ 有	有	55L	N,RL	⑤ x	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	③ 有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	③ 有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	③ 有	70L	N	⑤ x	D-6	参考2-59	
④			21.10	21.15	N19E	2	74W	4	③ 有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
⑤			31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	③ -	45L	-	④	f-①-3-5	参考2-139	④	
⑥			41.41	43.24	N36E	15	76W	6	③ 有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
⑦			60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138		

305 (分類A) ①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

306 (分類A) ②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

307, 308, 312, 313, 315~317, 319, 320, 323 (分類D) ③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

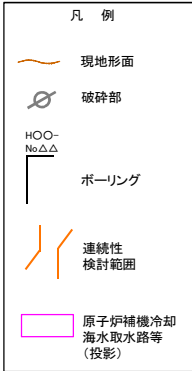
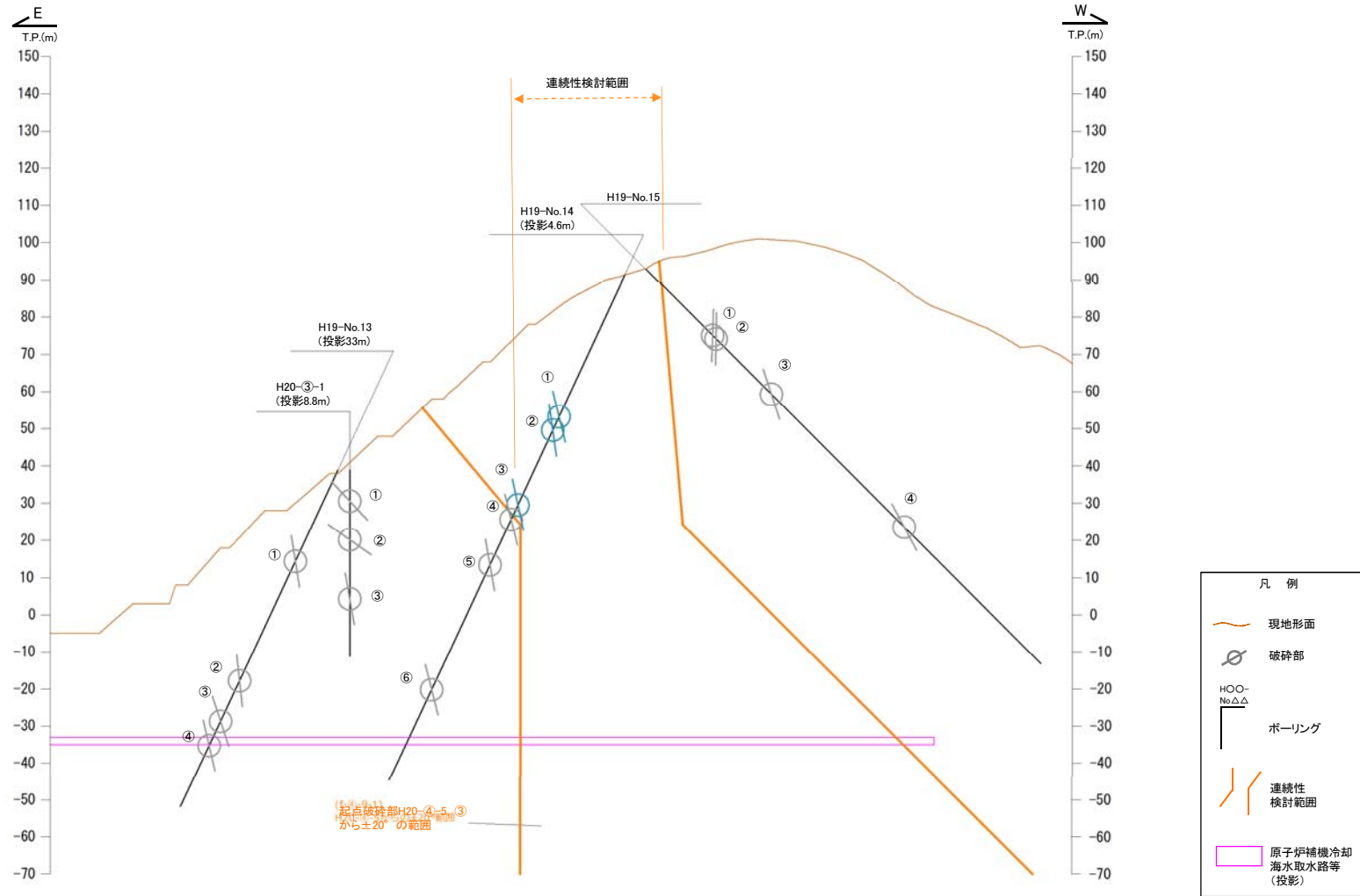
310, 311, 321, 322 (分類D) ④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補から外れたため、連続性検討結果を削除したもの。

309, 314, 318 (分類D) ⑤

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

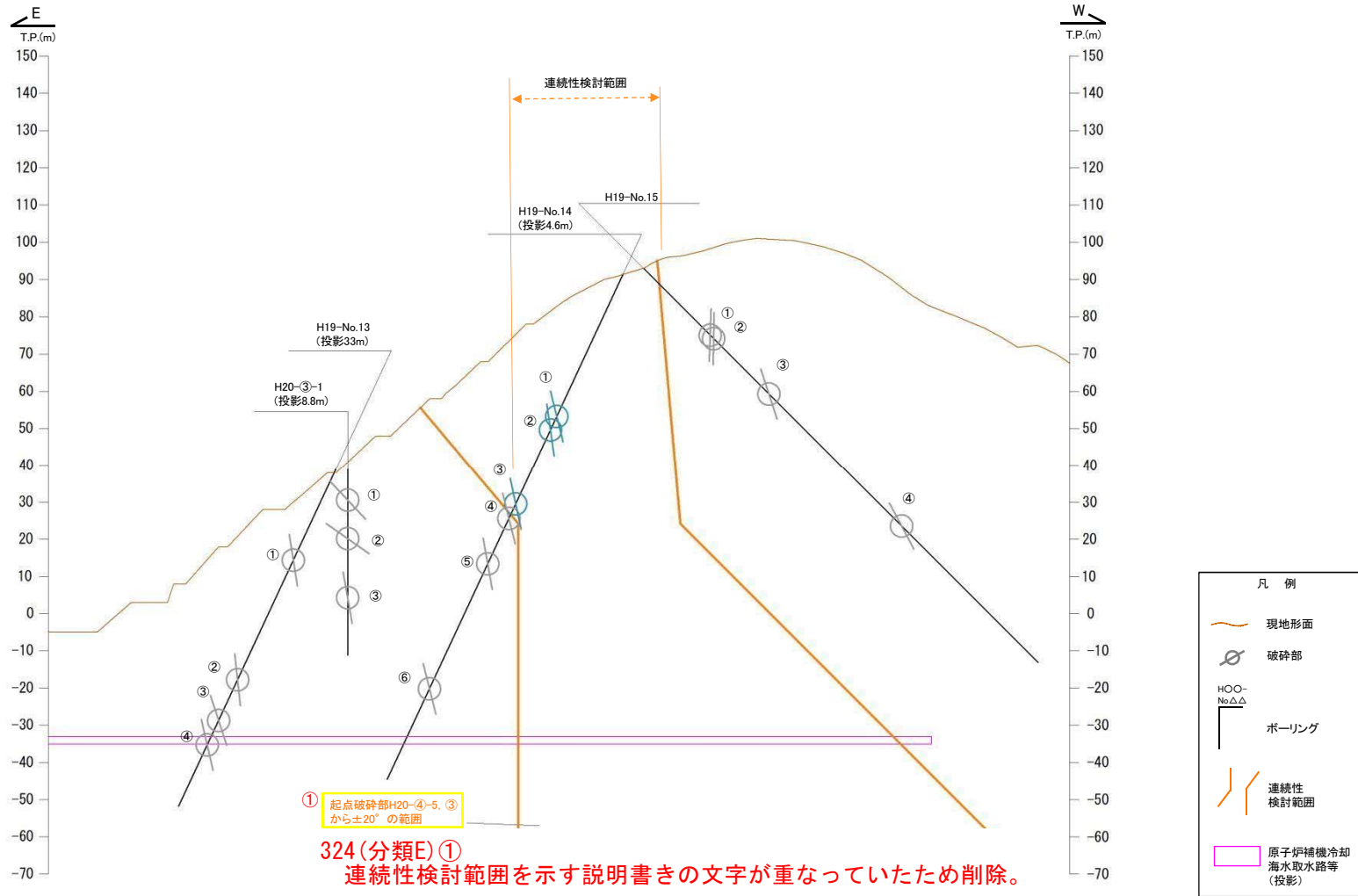
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-④-5, ③)



破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-④-5, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-④-5, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-	f-④-9-1	参考2-141		
H19-No.13	範囲外	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131 ※1
				②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131	
				③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-	D-20	参考2-101	
		範囲外	範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143	
				⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37	
				⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131	
				②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131	
				③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143	
				④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141	
②				18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141		
③				33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-	D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-④-5, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

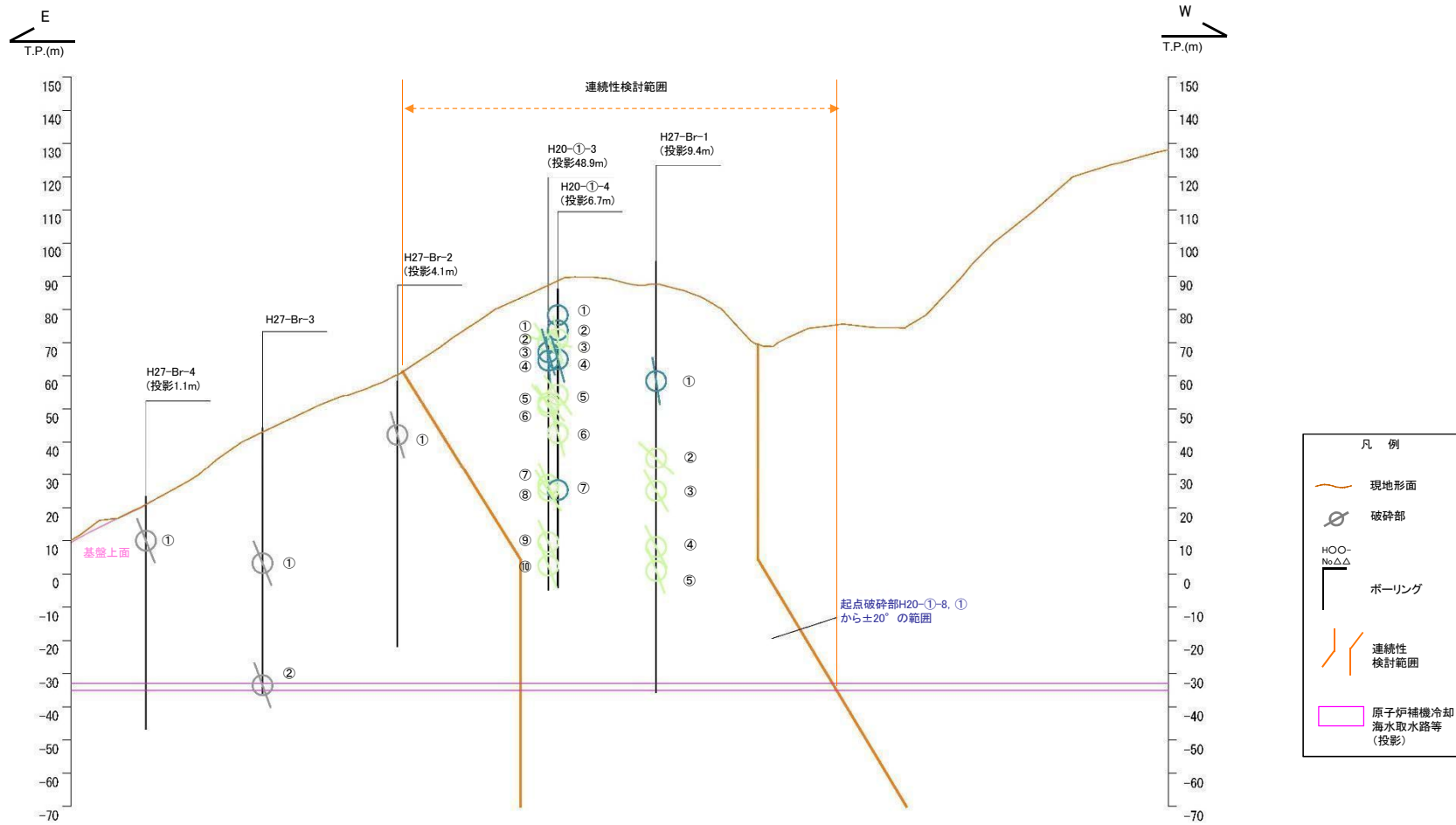
325(分類A)①

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-	f-④-9-1 (1)	参考2-144		
H19-No.13	範囲外		①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
H19-No.14	範囲内		①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131 ※1	
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-	D-20	参考2-101		
	範囲外		④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143		
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37		
			⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131		
H19-No.15	範囲外		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131		
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132		
H20-③-1	範囲外		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141		
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-	D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-8, ①)

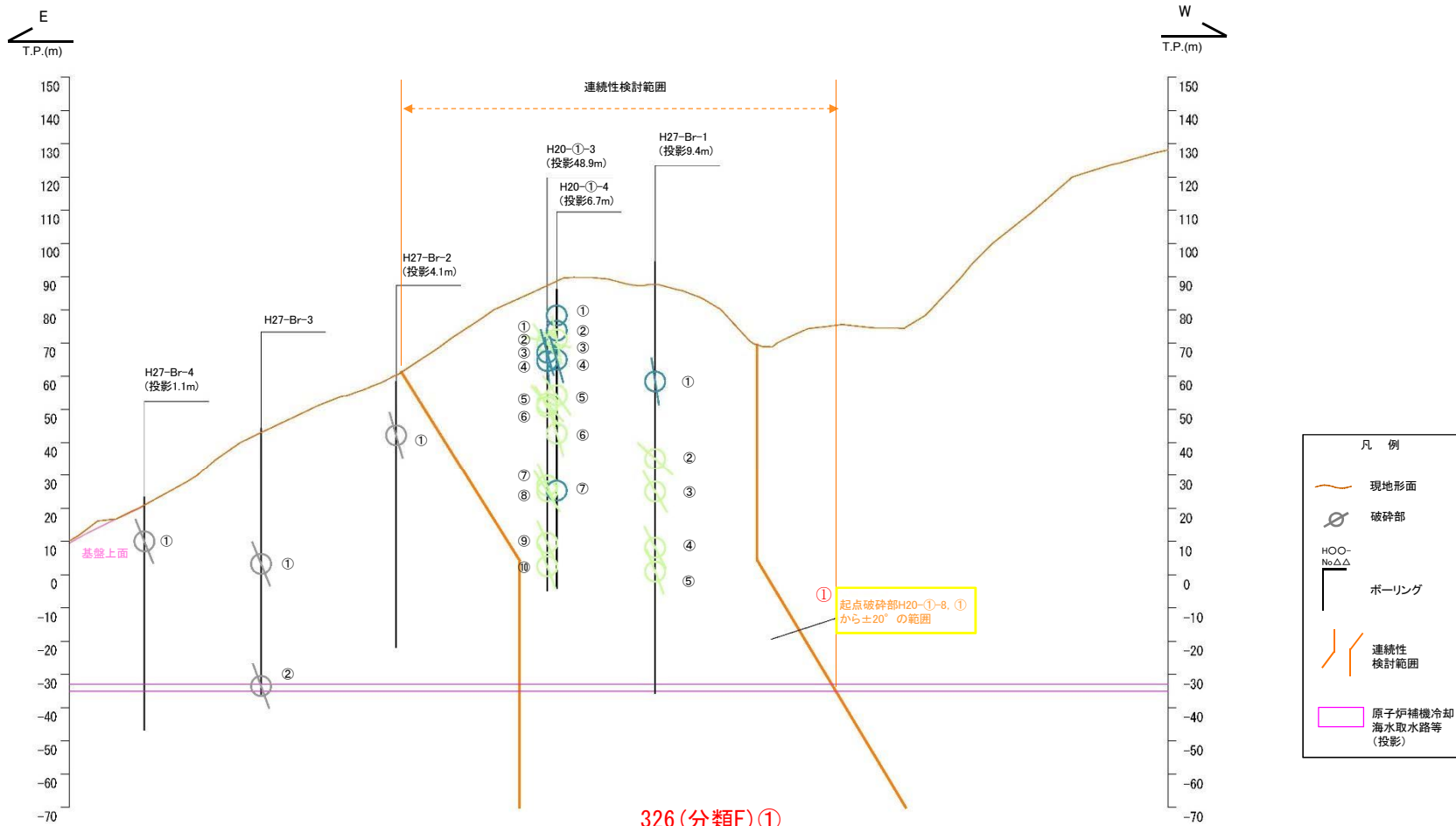


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-8, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



326(分類F)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-8, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-①-8	-	-	①	24.96	25.54	N5E		79W		有	無	80R	-	x	D-4	参考2-89	
H27-Br-1	範囲内	①	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	x	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-4		②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
			①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	x	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
⑦			48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139		
⑧			50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139		
⑨			65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99		
⑩			72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138		
H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72		
		②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1	
		③	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
		④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
		⑤	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139		
		⑥	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
		⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1	

()の傾斜角:ボアリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-8, ①)

327(分類A)①
下端深度について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-①-8	-	-	①	24.96	26.15	N5E		79W		有	無	80R	-	D-4	参考2-89			
H27-Br-1	範囲内	①	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	x	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90		
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-4		②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118		
	H20-①-3	範囲内	①	①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
				②	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
				③	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
				④	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	x	D-6	参考2-58	
				⑤	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
				⑥	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
⑦				24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139		
⑧				48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139		
⑨				50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139		
⑩				65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99		
H20-①-4	範囲内	①	①	72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138		
			②	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72		
			③	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1	
			④	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
			⑤	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
			⑥	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139		
			⑦	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
⑧	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1				

()の傾斜角:ボアリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-	f-4-3	参考2-126			
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	16E	13	81W	9	有	有	76R	N	D-3	参考2-88			
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176			
			③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176			
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176			
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176			
	H27-Br-2			①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H27-Br-3			①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
				②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
	H20-①-3	範囲外		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
				②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
				③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
				④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
				⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
				⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
				⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
				⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
				⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
				⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
	H20-①-4	範囲内		①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
				②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
範囲外			③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N	D-6	参考2-59			
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140			
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139			
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-	D-19	参考2-99			
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性もあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑥)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

328(分類A)①
走向について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-	f-4-3	参考2-126		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	9	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
			③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
範囲外		③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N	D-6	参考2-59			
		④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140			
		⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139			
		⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-	D-19	参考2-99			
		⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W	-	77W	-	無	-	-	-	-	f-④-5-3	参考2-143		
H19-No.2	範囲内		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	x	f-15-2	参考2-131	※1	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有	無	76R	-	-	x	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	N,RL	-	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	-	-	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.3	範囲内		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88		
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
H19-No.4	範囲外		①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125		
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126		
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129		
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126		
			⑦	59.22	59.59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127	
H20-②-1	範囲内		①	45.13	46.34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37	

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性もあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ④)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W	-	77W	-	無	-	① 不明	-	f-④-5-3	参考2-143			
H19-No.2	範囲内		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	x	f-15-2	参考2-131	※1	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※1	
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有	無	76R	-	-	x	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有	有	70L	-	N	-	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	-	N,RL	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	-	② N,RL	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.3	範囲内		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	範囲外		①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	-	N,RL	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	-	N	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127	
H20-②-1	範囲内		①	45.13	46.34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	-	N,RL	-	D-1	参考2-37	

329(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

330(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-3, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177	※4	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-3, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177	※4

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

331(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-①-5, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W	-	58S	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188			
H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	x	f-15-2	参考2-131	※1		
		②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※1		
		③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131		
		④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
		⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131		
		⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125		
		⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101		
		⑧	149.71	149.84	N1E	90	72W	14	有	有	70L	-	-	-	D-1	参考2-37		
		⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	12	有	無	36L	-	-	-	D-2	参考2-87		
		⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125		
	範囲外	⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	-	-	-	f-2-8	参考2-125		
		⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88		
		⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125		
		⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
		⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
		H19-No.3	①	28.77	28.82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-	-	-	f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
		H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88	
②	16.13		16.31	N35E	56	62W	4	無	-	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125			
範囲外	③		22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
	④		24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129		
	⑤		34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
	⑥		46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126		
	⑦		59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89		
	⑧		60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126		
	⑨		84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
	⑩		107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70		
	⑪		159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130		
	⑫		171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57		
	⑬		175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127		
	⑭		175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127		
	⑮		207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90		
	⑯		218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127		
⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127				
H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140			
	②	46.85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140			
	③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140			
	④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-①-5, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ						
				(m)	(m)													
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W	-	58S	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188			
H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1		
		②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1		
		③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-	-	f-15-1	参考2-131			
		④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
		⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-	-	f-14-1	参考2-131			
		⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-	-	f-2-3	参考2-125			
		⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-	-	D-20	参考2-101			
		⑧	149.71	149.84	N1E	90	72W	14	有	有	70L	① N	-	D-1	参考2-37			
		⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	12	有	無	36L	① N,RL	-	D-2	参考2-87			
		⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-	-	f-2-7	参考2-125			
		⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	① N,RL	-	f-2-8	参考2-125			
		⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-	-	D-3	参考2-88			
		⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125			
		⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126			
		⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126			
		H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125	
				②	30.38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
				③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125	
				④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88			
		②	16.13	16.31	N35E	56	62W	4	② 有	③ 有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125			
	範囲外	③	22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126			
		④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129			
		⑤	34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126			
		⑥	46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126			
		⑦	59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89			
		⑧	60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126			
		⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
		⑩	107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70			
		⑪	159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130			
		⑫	171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57			
		⑬	175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127			
		⑭	175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127			
		⑮	207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90			
		⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127			
		⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127			
H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140			
		②	46.85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140			
		③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140			
		④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37			

332~334(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

335(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

336(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-5, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-5	-	-	①	50.48	51.16	N46E		78NW		有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	39	85W	7	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	52	85W	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	15	78W	0	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※1

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

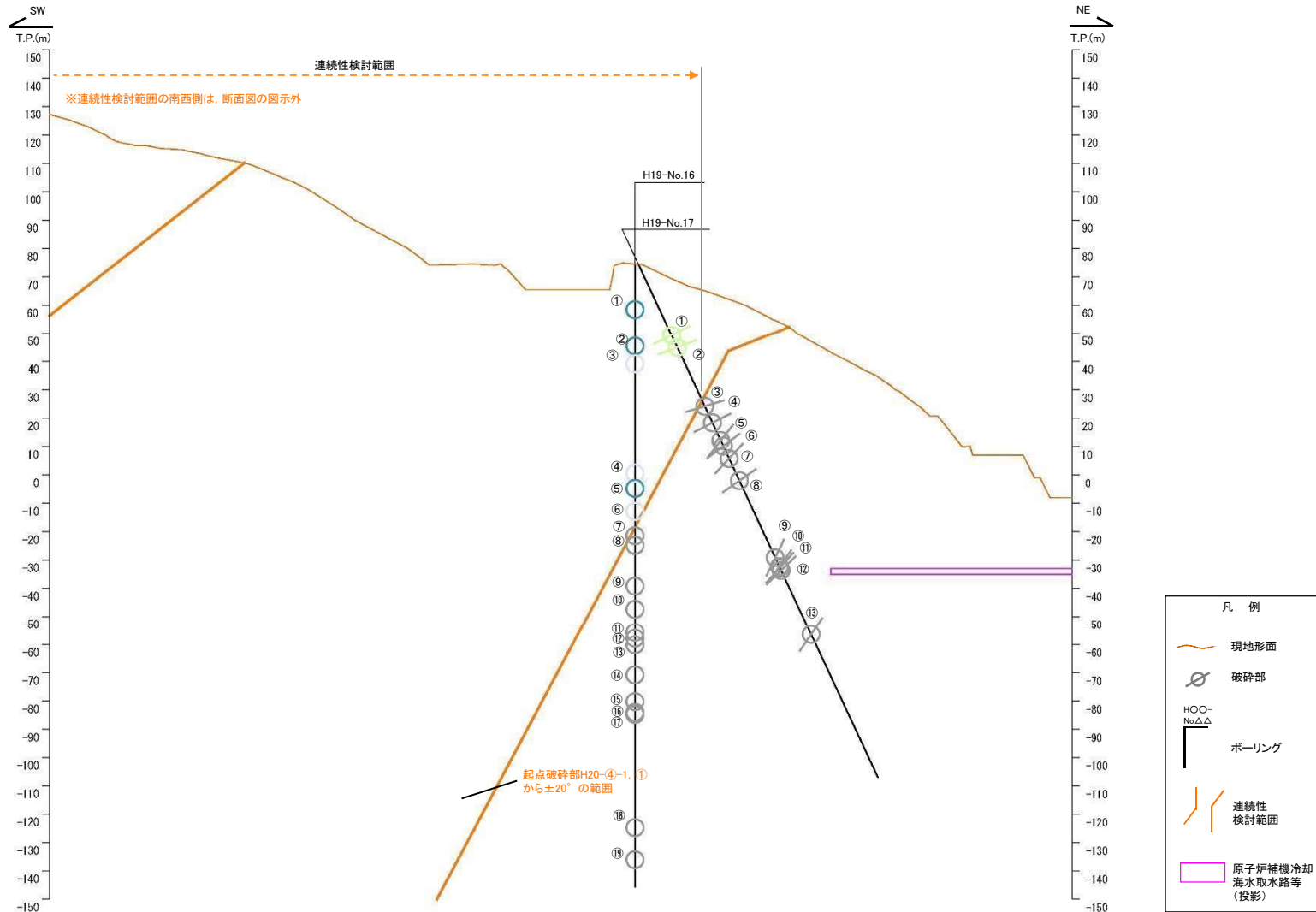
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-5, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-5	-	-	①	50.48	51.16	N46E		78NW		有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	39	85W	7	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	52	85W	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	15	① 78NW	0	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※1

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

337(分類A)①
傾斜について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ①)

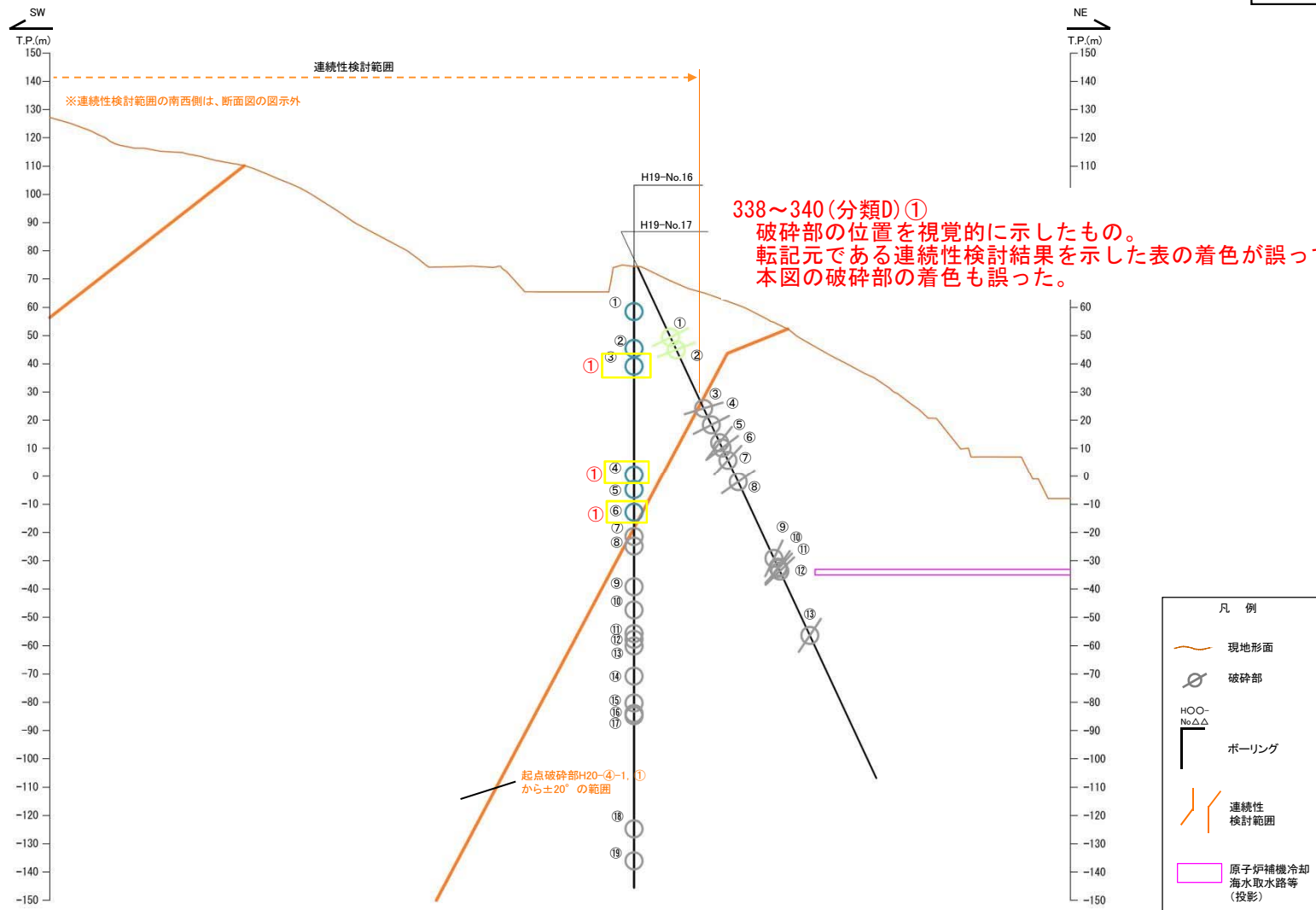


破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性もあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似するもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W	-	45S	-	-	-	-	-	f-④-2-1	参考2-142		
H19-No.16		範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	無	-	-	-	x	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-	-	f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	有	有	-	-	-	D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10	有	無	-	-	x	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1	有	有	-	-	-	D-14	参考2-65	
		範囲外	⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-	-	D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL	-	D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-	-	D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-	-	D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			H19-No.17		範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-	f-⑥-3-2
②	32.54	32.75				N35E	63	51W	6	無	-	73R	-	f-17-2	参考2-132		
範囲外	③	55.45			55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	④	61.89			62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	⑤	68.84			69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-	-	D-11	参考2-91	
	⑥	70.92			70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-	-	D-12	参考2-91	
	⑦	75.60			75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-	-	D-14	参考2-65	
	⑧	82.83			85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-	-	D-47	参考2-120	
	⑨	114.31			115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL	-	D-15	参考2-93	
	⑩	117.77			117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-	-	D-16	参考2-93	
	⑪	118.22			118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-	-	D-17	参考2-98	
	⑫	118.66			119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-	-	D-18	参考2-98	
	⑬	144.35			144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W	-	45S	-	① 有	② 無	-	-	f-④-2-1	参考2-142			
H19-No.16		範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	③ 有	② 無	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※2	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	③ 無	-	-	-	x	f-⑥-3-2	参考2-147	※4	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	③ 有	有	-	-	④ x	f-17-2	参考2-132	※3④	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	③ 有	有	-	-	④ x	D-11	参考2-91	※3④	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10	③ 有	無	-	-	x	D-12	参考2-91	※3	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1	③ 有	有	-	-	④ x	D-14	参考2-65	※3④	
		範囲外	⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-	-	D-47	参考2-120		
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL	-	D-15	参考2-93		
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-	-	D-16	参考2-93		
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-	-	D-17	参考2-98		
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-	-	D-18	参考2-98		
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
		H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-	f-⑥-3-2	参考2-147		
				②	32.54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-	f-17-2	参考2-132		
			範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
				④	61.89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
				⑤	68.84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-	-	D-11	参考2-91	
				⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-	-	D-12	参考2-91	
				⑦	75.60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-	-	D-14	参考2-65	
				⑧	82.83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-	-	D-47	参考2-120	
				⑨	114.31	115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL	-	D-15	参考2-93	
				⑩	117.77	117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-	-	D-16	参考2-93	
⑪	118.22			118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-	-	D-17	参考2-98			
⑫	118.66			119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-	-	D-18	参考2-98			
⑬	144.35			144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-186			

()の傾斜角:ボアリングコア観察結果による値

341(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

342(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

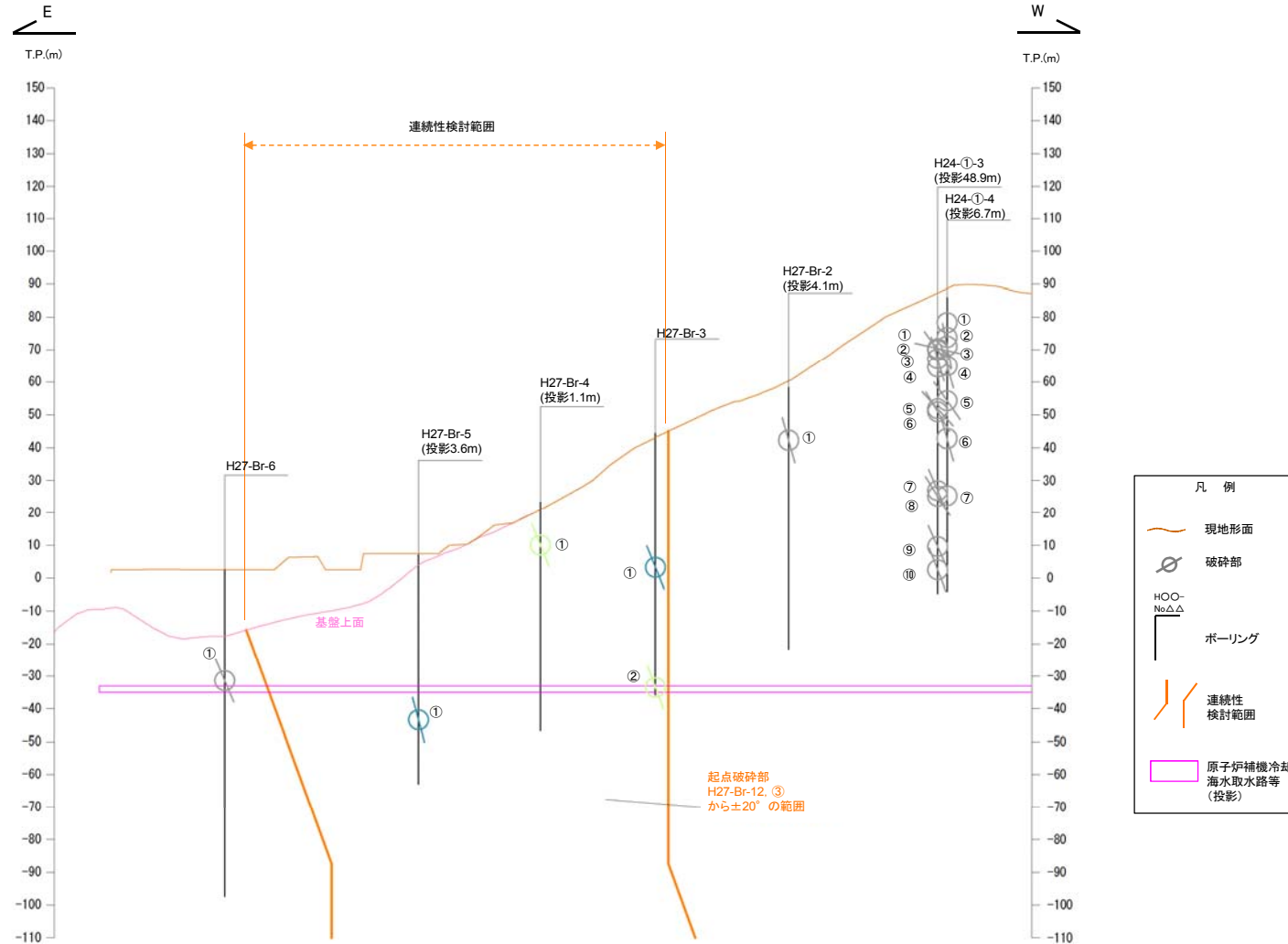
343~345, 348, 351, 352(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

346, 347, 349, 350, 353, 354(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため, 連続性を検討した結果を記載したもの。

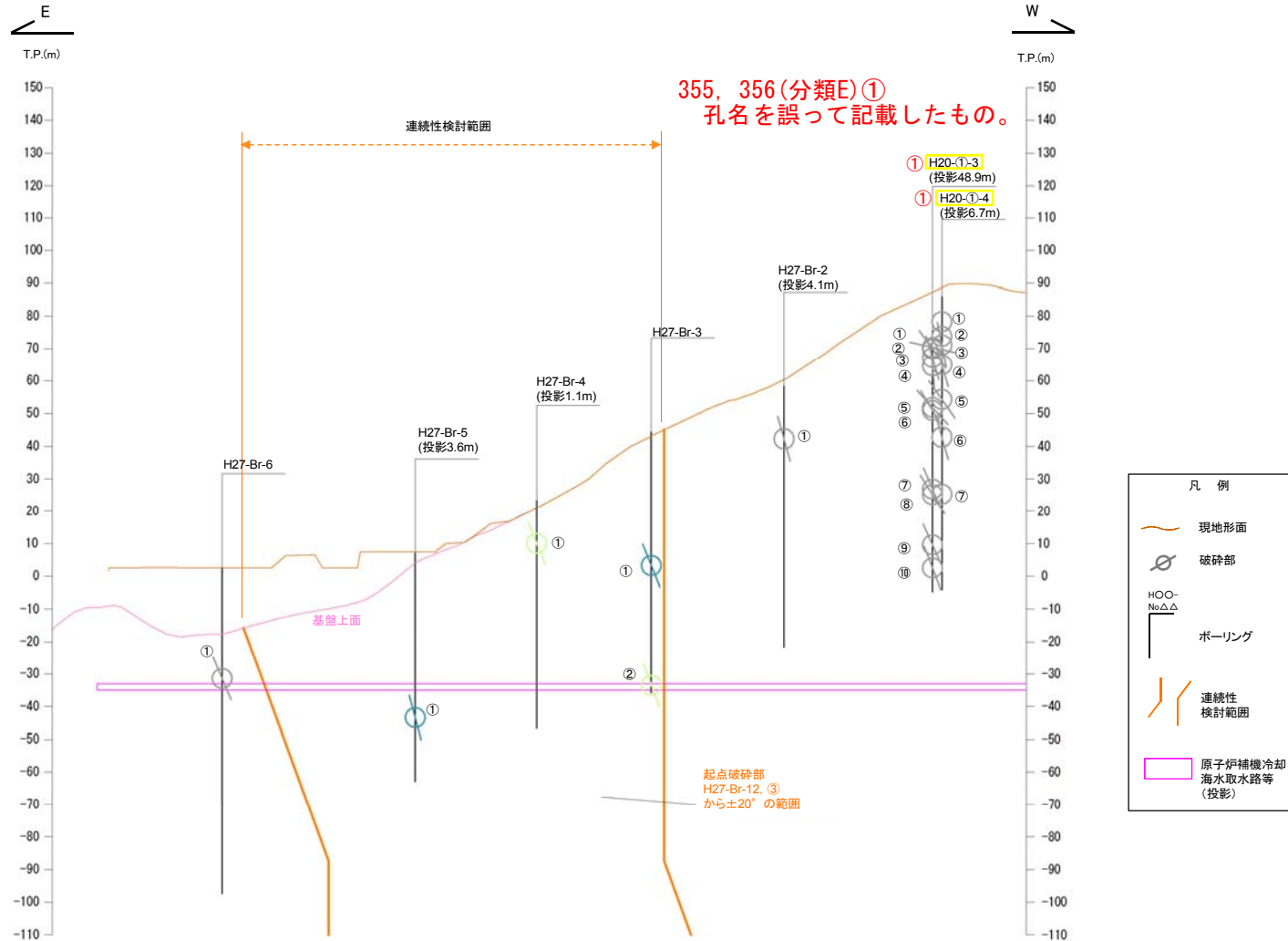
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-12, ③)



破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

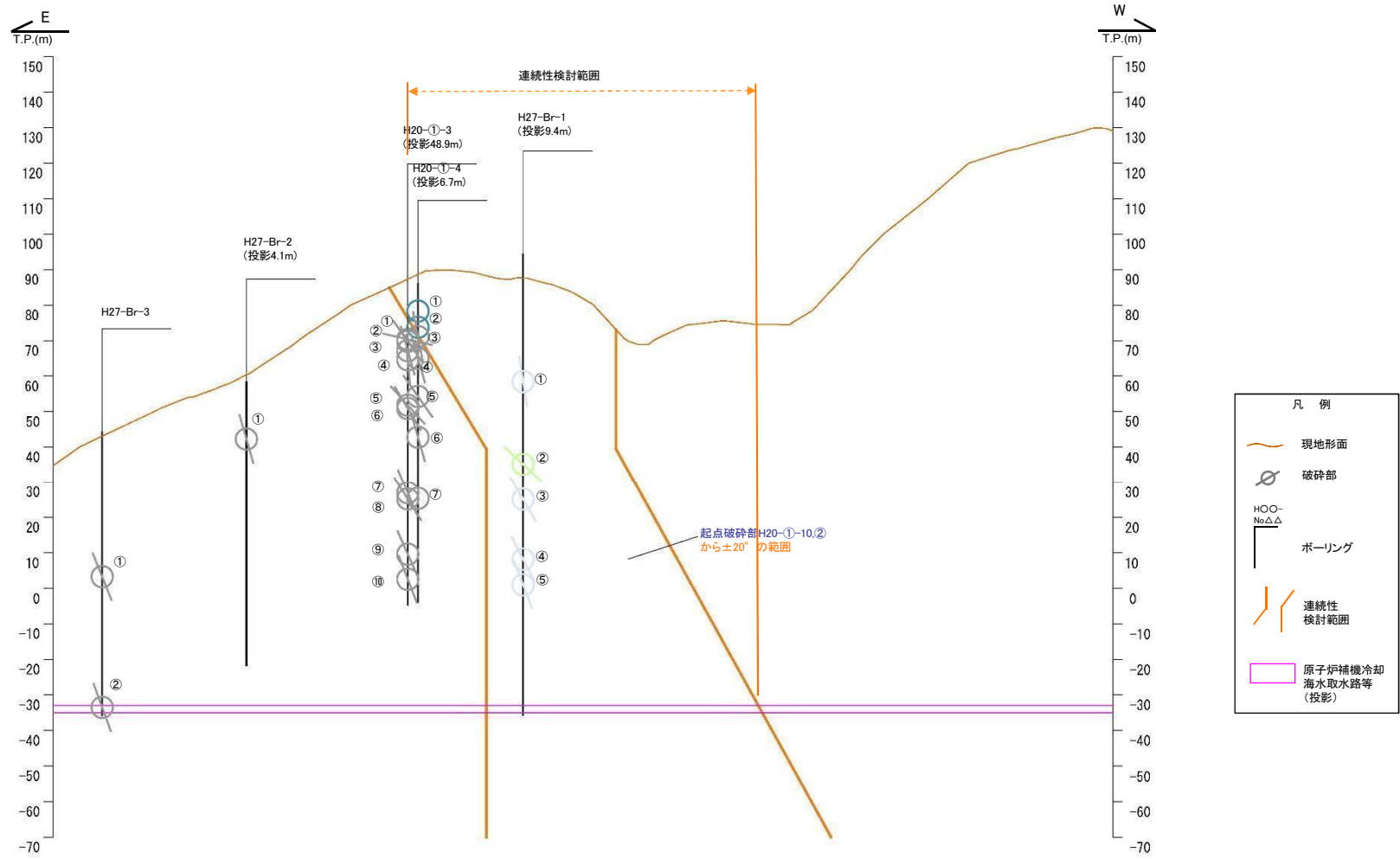
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-12, ③)



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

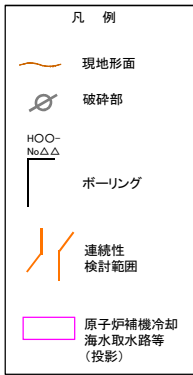
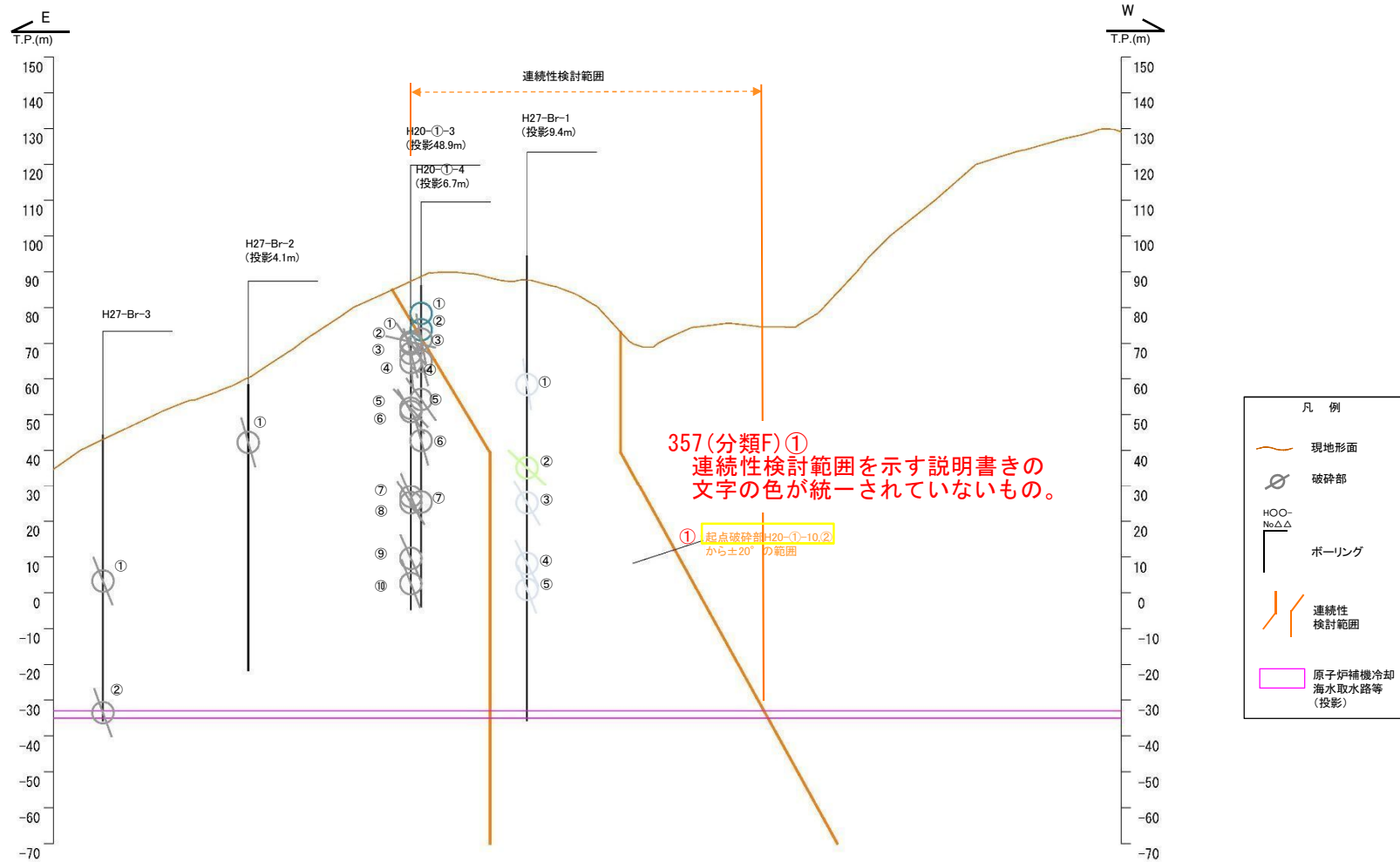
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-10, ②)



破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-10, ②)



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-①-6, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ			
				(m)	(m)															
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W	-	65S	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188						
H19-No.2	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131					
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
			③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-	-	f-15-1	参考2-131				
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-	-	f-14-1	参考2-131				
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-	-	f-2-3	参考2-125				
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-	-	D-20	参考2-101				
			⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有	有	70L	-	-	D-1	参考2-37				
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有	無	36L	-	-	D-2	参考2-87				
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-	-	f-2-7	参考2-125				
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	-	-	f-2-8	参考2-125				
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-	-	D-3	参考2-88				
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125				
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126				
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126				
			⑯	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125				
			H19-No.3	H19-No.3	範囲内	①	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-	D-3	参考2-88		
						②	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125	
						③	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			H19-No.4	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88	
②	16.13	16.31				N35E	64	62W	3	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125				
③	22.20	22.26				N3E	84	79W	14	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126				
④	24.12	24.41				N7W	74	73W	8	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129				
⑤	34.24	34.38				N12E	87	73W	8	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
⑥	46.13	46.38				N29E	70	72W	7	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126				
⑦	59.22	59.59				N10W	71	89W	24	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89				
⑧	60.32	60.36				N71W	10	86N	29	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126				
⑨	84.25	84.33				-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
⑩	107.54	109.94				N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70				
⑪	159.77	159.88				N15E	84	87W	22	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130				
⑫	171.69	174.88				N9E	90	78W	13	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57				
⑬	175.27	175.28				N29W	52	78W	13	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127				
⑭	175.64	175.65				N14E	85	76W	11	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127				
⑮	207.69	207.72				N13E	86	83W	18	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90				
⑯	218.73	218.74				N20E	79	74W	9	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127				
⑰	234.32	236.15				N28W	53	88W	23	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127				
H20-②-1	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140				
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140				
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140				
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H20-①-6, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考					
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・断面角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス				
				(m)	(m)													N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ			
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W	-	65S	-	無	-	-	-	非モデル化	参考2-188						
H19-No.2			範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	無	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131					
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
			範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131			
				④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
				⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131			
				⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125			
				⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101			
				⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有	有	70L	① N	-	-	D-1	参考2-37			
				⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有	無	36L	① N,RL	-	-	D-2	参考2-87			
				⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125			
				⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	① N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125			
				⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88			
				⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125			
				⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126			
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
			H19-No.3				①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-	f-2-8	参考2-125		
							②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
							③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125	
			H19-No.4				④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-	f-2-12	参考2-126		
							①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88	
②	16.13	16.31					N35E	64	62W	3	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125				
③	22.20	22.26					N3E	84	79W	14	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126				
④	24.12	24.41					N7W	74	73W	8	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129				
⑤	34.24	34.38					N12E	87	73W	8	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
⑥	46.13	46.38					N29E	70	72W	7	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126				
⑦	59.22	59.59					N10W	71	89W	24	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89				
⑧	60.32	60.36					N71W	10	86N	29	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126				
⑨	84.25	84.33					-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
H20-②-1			範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL	D-5	参考2-70					
				⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130				
				⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57				
				⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127				
				⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127				
				⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90				
				⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127				
				⑰	234.32	236.15	N28W	53	88W	23	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127				
				①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140				
				②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140				
③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140								
④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37							

() の傾斜角: ボーリング

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断面ガウジ・断面角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断面ガウジ・断面角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断面ガウジ・断面角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

358~360(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、
本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-5, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-	D-21	参考2-102		
H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-	D-2	参考2-86			
		②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-	D-3	参考2-87			
		③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130			
		④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129			
	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-	f-14-1	参考2-131			
		②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131			
		③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-	D-20	参考2-101			
		④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143			
		⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37			
		⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131			
	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131			
		②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131			
		③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143			
④		97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132				
H20-③-1	①	8.18	8.22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141				
	②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141				
	③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	無	85R	-	D-2	参考2-87				

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

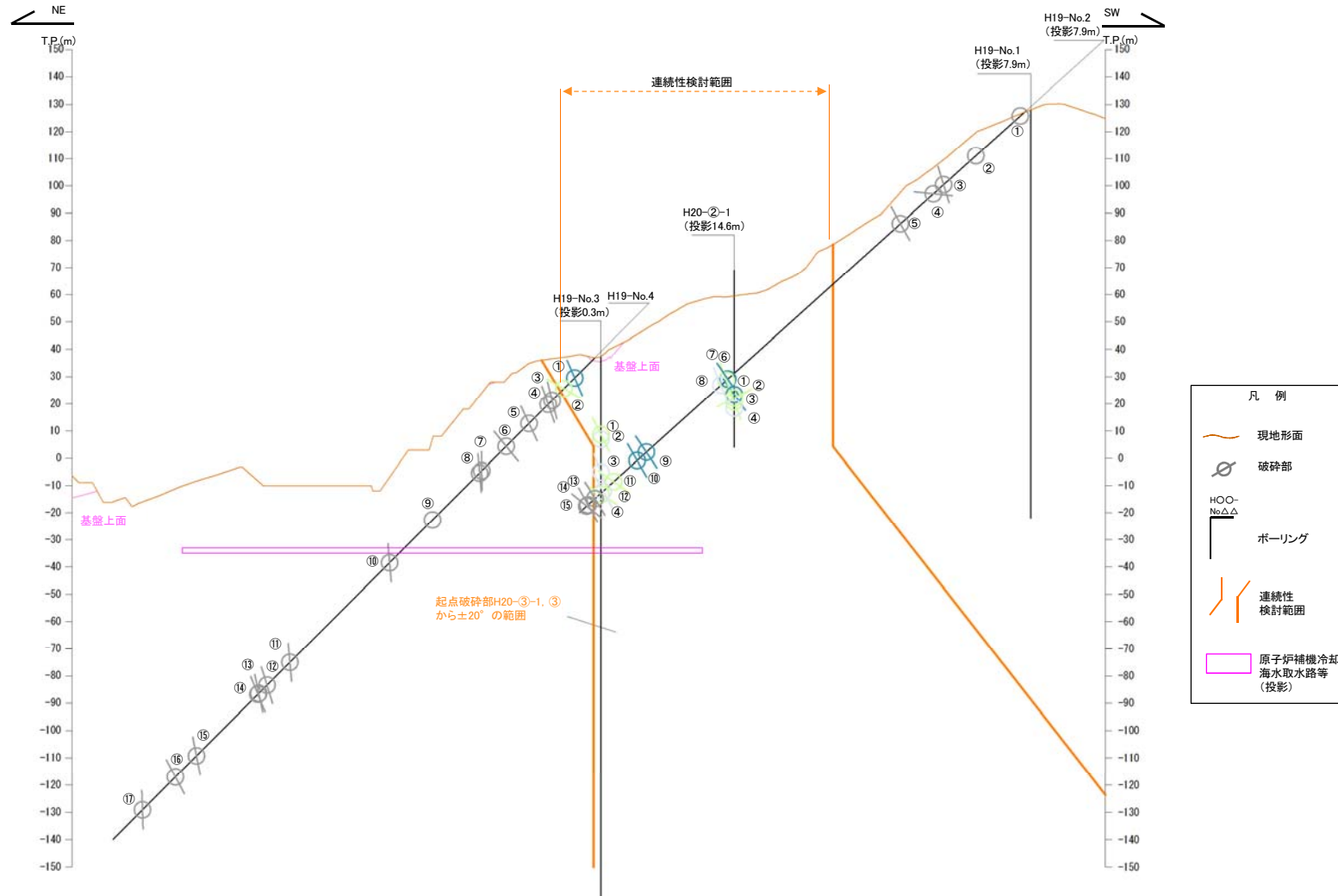
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-5, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-	D-21	参考2-102		
H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-	D-2	参考2-86			
		②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-	D-3	参考2-87			
		③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130			
		④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129			
	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-	f-14-1	参考2-131			
		②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131			
		③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-	D-20	参考2-101			
		④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143			
		⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37			
		⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131			
	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131			
		②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131			
		③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143			
④		97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132				
H20-③-1	①	8.18	8.22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141				
	②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141				
	③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	① 有	85R	-	D-2	参考2-87				

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者<
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者<
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者<
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

361(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について,
転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ③)

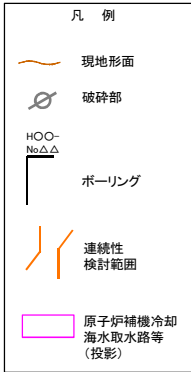
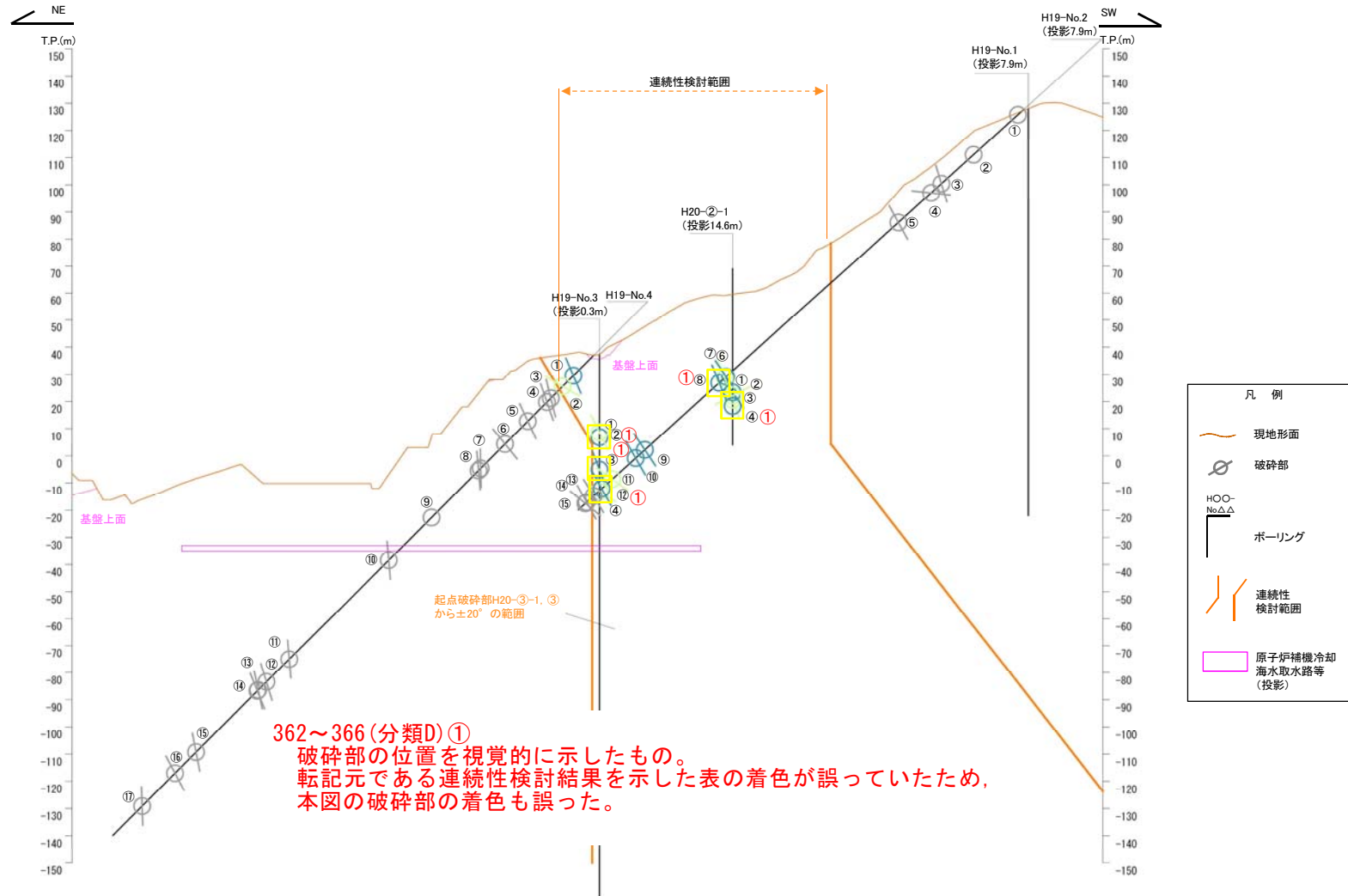


注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ③)



注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E	-	80W	-	-	85R	-	-	D-2	参考2-87			
H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	-	無	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131		
		②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
		③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	有	無	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131		
		④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
		⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131		
	範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125		
		⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101		
		⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37		
		⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	有	無	36L	N,RL	-	○	D-2	参考2-87		
		⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	有	無	73L	-	-	x	f-2-7	参考2-125	※3	
		⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125		
		⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88		
	範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125		
		⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
		⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	有	無	80L	-	x	f-②-1-1	参考2-140	※1	
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
④			49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37		
H19-No.3	範囲内	①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-	-	-	f-2-8	参考2-125		
		②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88		
		③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125		
		④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	有	無	50L	-	x	D-3	参考2-88	※3		
		②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125		
		③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
		④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129		
		⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
		⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126		
		⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89		
		⑧	60.32	60.36	N71W	72	86N	14	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126		
		⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
		⑩	107.54	109.94	N16E	15	87W	7	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70		
		⑪	159.77	159.88	N15E	14	87W	7	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130		
		⑫	171.69	174.88	N9E	8	78W	2	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57		
		⑬	175.27	175.28	N29W	30	78W	2	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127		
		⑭	175.64	175.65	N14E	13	76W	4	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127		
		⑮	207.69	207.72	N13E	12	83W	3	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90		
⑯	218.73	218.74	N20E	19	74W	6	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127				
⑰	234.32	236.15	N28W	29	88W	8	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127				

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考					
				上端深度	下端深度					断層力ウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ									
				(m)	(m)																	
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E	-	80W	-	① 有	② 有	85R	-	D-2	参考2-87							
H19-No.2	範囲外	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	-	無	-	-	-	f-15-2	参考2-131						
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	-	無	-	-	-	非モザル化	参考2-184					
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	-	-	有	無	59R	-	f-15-1	参考2-131					
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	-	-	有	無	-	-	非モザル化	参考2-184					
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	-	-	無	-	43L	-	f-14-1	参考2-131					
			⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	-	-	③ 有	無	35R	-	f-2-3	参考2-125					
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	-	-	有	無	76R	-	D-20	参考2-101					
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	-	-	③ 有	③ 有	③ 70L	③ N	④ ×	D-1	参考2-37				
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	-	-	③ 有	無	③ 36L	N,RL	○	D-2	参考2-87				
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	-	-	③ 有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3			
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	-	-	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125				
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	-	-	③ 有	③ 有	③ 60L	③ -	④ ×	D-3	参考2-88	※3 ④			
			⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	-	-	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125				
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	-	-	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126				
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	-	-	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126				
			H20-②-1	範囲内	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	③ 有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1		
						②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	-	-	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
						③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	-	-	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
						④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	-	-	③ 有	③ 有	③ -	③ N,RL	④ ×	D-1	参考2-37	
H19-No.3	範囲内	範囲内	①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	-	-	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125				
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	-	-	③ 有	③ 有	③ -	③ -	④ ×	D-3	参考2-88	※3 ④			
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	-	-	③ 有	③ 有	③ 75L	③ -	④ ×	f-2-10	参考2-125	※3 ④			
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	-	-	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
			①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	-	-	③ 有	⑤ ⑥ 有	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3			
			②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	-	-	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125				
			③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	-	-	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126				
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	-	-	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129				
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	-	-	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	-	-	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126				
⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	-	-	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89							

367(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

368(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

369, 370, 372, 373, 374, 377, 378, 380, 383, 386(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

371, 375, 376, 379, 381, 382, 384, 385(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

387(分類A)⑤

明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

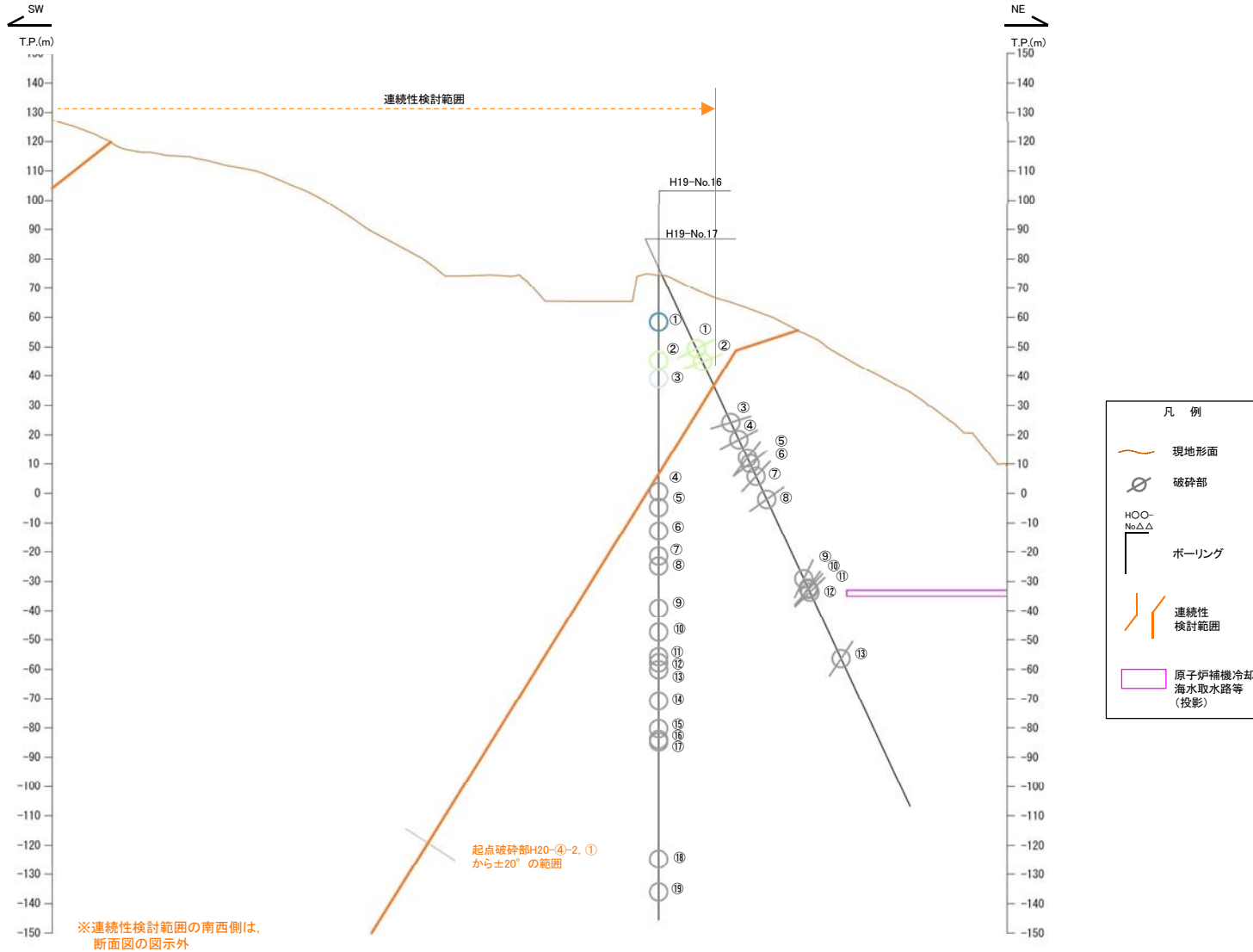
388(分類D)⑥

明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより、表の当該箇所の着色が変わったもの。

389(分類E)⑦

断面図の連続性検討範囲内にある破碎部の着色を忘れたもの。

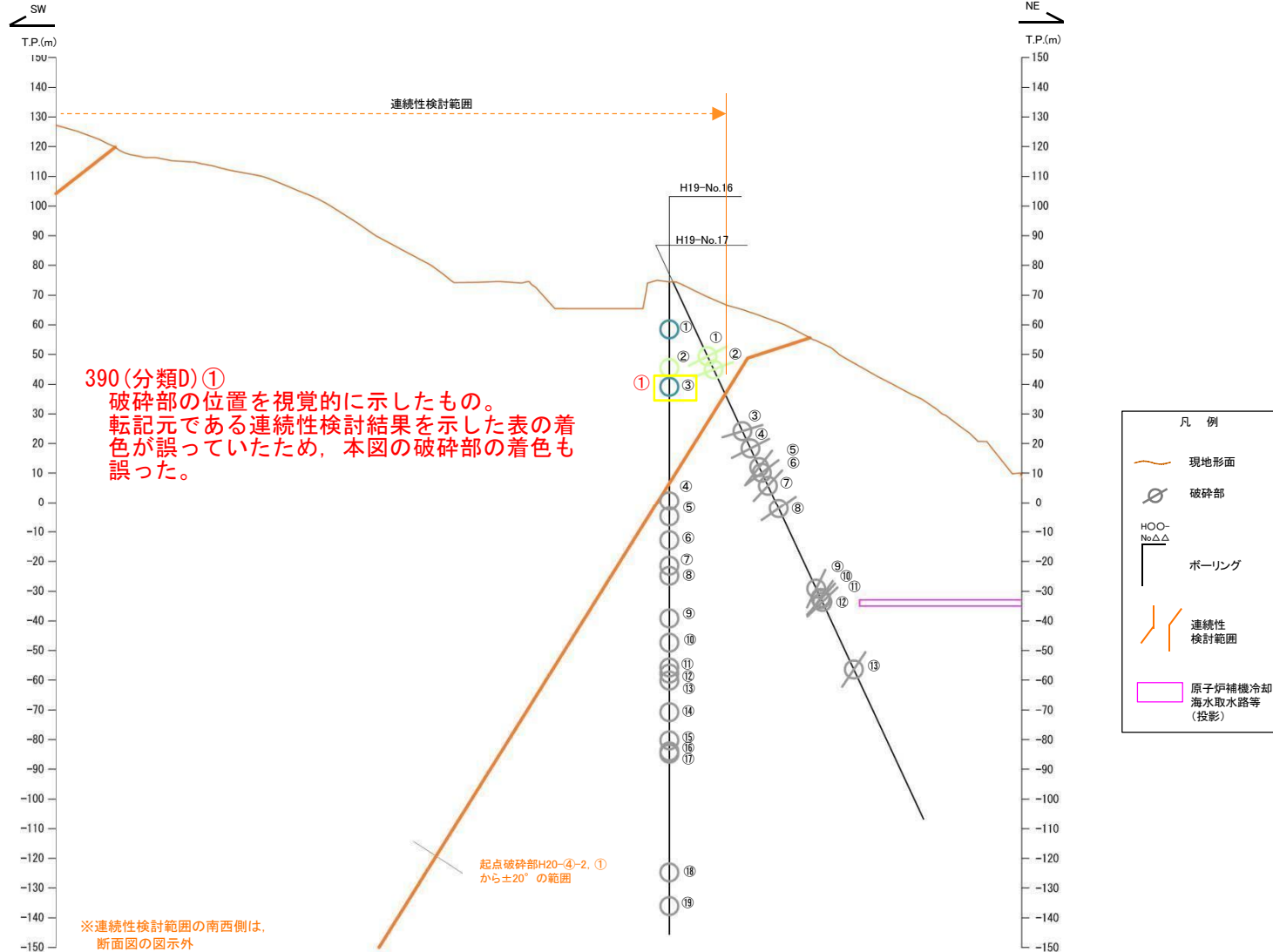
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-2, ①)



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-2, ①)



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-2, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス						
				(m)	(m)													N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	
H20-④-2	-	-	①	6.00	6.12	N86W	-	42S	-	無	-	-	-	-	f-④-2-1	参考2-142			
H19-No.16		範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	18	有	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※2	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	21	無	-	-	-	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147		
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	18	有	有	-	-	-	-	f-17-2	参考2-132		
		範囲外	④	73.91	73.93	-	-	(41)	1	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	13	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91		
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	2	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	28	有	有	-	-	-	-	D-47	参考2-120		
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	32	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	2	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	15	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	7	無	-	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93		
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	18	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	39	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	18	無	-	-	-	-	-	D-16	参考2-93		
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	26	無	-	-	-	-	-	D-17	参考2-98		
		⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	13	無	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98			
		⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	44	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186			
		⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	42	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186			
		H19-No.17		範囲内	①	27.65	27.73	N34E	60	57W	15	無	-	20L	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147	
					②	32.54	32.75	N35E	59	51W	9	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132	
				範囲外	③	55.45	55.46	N39E	55	52W	10	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
					④	61.89	62.22	N28E	66	50W	8	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
					⑤	68.84	69.25	N10E	84	62W	20	有	有	38R	-	-	D-11	参考2-91	
					⑥	70.92	70.94	N18E	76	53W	11	有	無	17R	-	-	D-12	参考2-91	
					⑦	75.60	75.90	N14E	80	77W	35	有	無	12R	-	-	D-14	参考2-65	
⑧	82.83				85.61	N19W	67	36W	6	有	無	-	-	-	D-47	参考2-120			
⑨	114.31				115.63	N8W	78	67W	25	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93		
⑩	117.77				117.79	N11W	75	57W	15	有	無	81R	-	-	D-16	参考2-93			
⑪	118.22				118.25	N11E	83	59W	17	有	無	87R	-	-	D-17	参考2-98			
⑫	118.66				119.29	N14E	80	57W	15	有	無	1R	-	-	D-18	参考2-98			
⑬	144.35				144.37	N10E	84	65W	23	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-2, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-④-2	-	-	①	6.00	6.12	N86W	-	42S	-	① 有	② 無	-	-	-	f-④-2-1	参考2-142		
H19-No.16		範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	18	有	③ 無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	21	無	-	-	-	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	18	③ 有	③ 有	③ -	③ -	④ x	f-17-2	参考2-132	※3 ④	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	1	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	13	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	2	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	28	有	有	-	-	-	-	D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	32	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	2	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	15	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	7	無	-	32L	N,R,L	-	-	D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	18	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	39	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	18	無	-	-	-	-	-	D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	26	無	-	-	-	-	-	D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	13	無	-	-	-	-	-	D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	44	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	42	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
			H19-No.17		範囲内	①	27.65	27.73	N34E	60	57W	15	無	-	20L	-	-	f-⑥-3-2
②	32.54	32.75				N35E	59	51W	9	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132		
範囲外	③	55.45			55.46	N39E	55	52W	10	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	④	61.89			62.22	N28E	66	50W	8	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	⑤	68.84			69.25	N10E	84	62W	20	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91	
	⑥	70.92			70.94	N18E	76	53W	11	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91	
	⑦	75.60			75.90	N14E	80	77W	35	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65	
	⑧	82.83			85.61	N19W	67	36W	6	有	無	-	-	-	-	D-47	参考2-120	
	⑨	114.31			115.63	N8W	78	67W	25	有	有	-	N,R,L	-	-	D-15	参考2-93	
	⑩	117.77			117.79	N11W	75	57W	15	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93	
	⑪	118.22			118.25	N11E	83	59W	17	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98	
	⑫	118.66			119.29	N14E	80	57W	15	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98	
	⑬	144.35			144.37	N10E	84	65W	23	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

391(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

392(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

393, 394(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

395, 396(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため, 連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考					
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ									
				(m)	(m)																	
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E	-	83W	-	有	有	80L	-	-	f-14-2	参考2-131						
H19-No.2	範囲内	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131					
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデリ化	参考2-184	※3				
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	-	x	f-15-1	参考2-131	※3				
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-184				
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-	-	-	-	f-14-1	参考2-131				
			⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-	-	-	-	f-2-3	参考2-125				
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-	-	-	-	D-20	参考2-101				
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N	-	-	-	D-1	参考2-37				
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL	-	-	-	D-2	参考2-87				
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-	-	-	-	f-2-7	参考2-125				
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL	-	-	-	f-2-8	参考2-125				
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-	-	-	-	D-3	参考2-88				
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	-	f-2-10	参考2-125				
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-	-	-	-	f-2-11	参考2-126				
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
	H20-②-1	範囲外	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140					
				②	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140				
				③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140				
	H19-No.3	範囲外	範囲外	④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	-	N,RL	-	D-1	参考2-37				
				①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-	-	-	f-2-8	参考2-125				
				②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88				
				③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-	-	-	f-2-10	参考2-125				
				④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
				H19-No.4	範囲外	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	無	50L	-	-	D-3	参考2-88		
							②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
							③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
							④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
⑤							34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
⑥							46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126		
⑦							59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89		
⑧							60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126		
⑨							84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	-	非モデリ化	参考2-184	
⑩							107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70		
⑪	159.77	159.88	N15E				3	87W	4	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130					
⑫	171.69	174.88	N9E				9	78W	5	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57					
⑬	175.27	175.28	N29W				47	78W	5	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127					
⑭	175.64	175.65	N14E				4	76W	7	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127					
⑮	207.69	207.72	N13E				5	83W	0	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90					
⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127								
⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-	-	-	f-6-2	参考2-127								

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E	-	83W	-	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
H19-No.2	範囲内	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	f-15-2	参考2-131		
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデリ化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-	-	非モデリ化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-	-	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-	-	f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-	-	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N	-	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-	-	f-2-7	参考2-125	
	範囲外	範囲外	⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-	-	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑯	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140	
			⑰	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			⑱	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
			⑲	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37	
			H20-②-1	範囲外	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-	f-2-8
②	30.38	30.48				-	-	(63)	20	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
H19-No.3	範囲外	範囲外	③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-	f-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	範囲外	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	① 有	50L	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデリ化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

397(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.15, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考						
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ										
				(m)	(m)																		
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131							
H20-④-1	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143							
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100							
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	x	f-④-1-2	参考2-141	※3						
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※3						
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142							
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102							
			H20-④-2	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142				
						②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100				
						③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1			
						④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141				
						⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142				
						H20-④-4	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-		f-④-4-1		
									②	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			H20-④-5	H20-④-5	範囲外	②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102				
						③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143				
			H20-④-6	H20-④-6	範囲内	④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143				
						①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143				
						②	7.94	9.00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144				
						③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144				
④	25.70	25.80				N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144							
H20-④-7	H20-④-7	範囲内				①	22.75	23.53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144				

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.15, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ								
				(m)	(m)																
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131					
H20-④-1	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142					
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100					
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	x	f-④-1-2	参考2-141	※3				
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※3				
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142					
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102					
			H20-④-2	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142		
						②	6.90	8.90	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
						③	14.63	14.66	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
						④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141		
						⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142		
			H20-④-4	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-	①	非モデル化	②	参考2-188	
			H20-④-5	H20-④-5	範囲外	①	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100		
						②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102		
			H20-④-6	H20-④-6	範囲内	③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144		
						④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143		
						①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143		
						②	7.94	9.00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144		
			H20-④-7	H20-④-7	範囲内	③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144		
						④	25.70	25.80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144		
①	22.75	23.53				N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144					

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

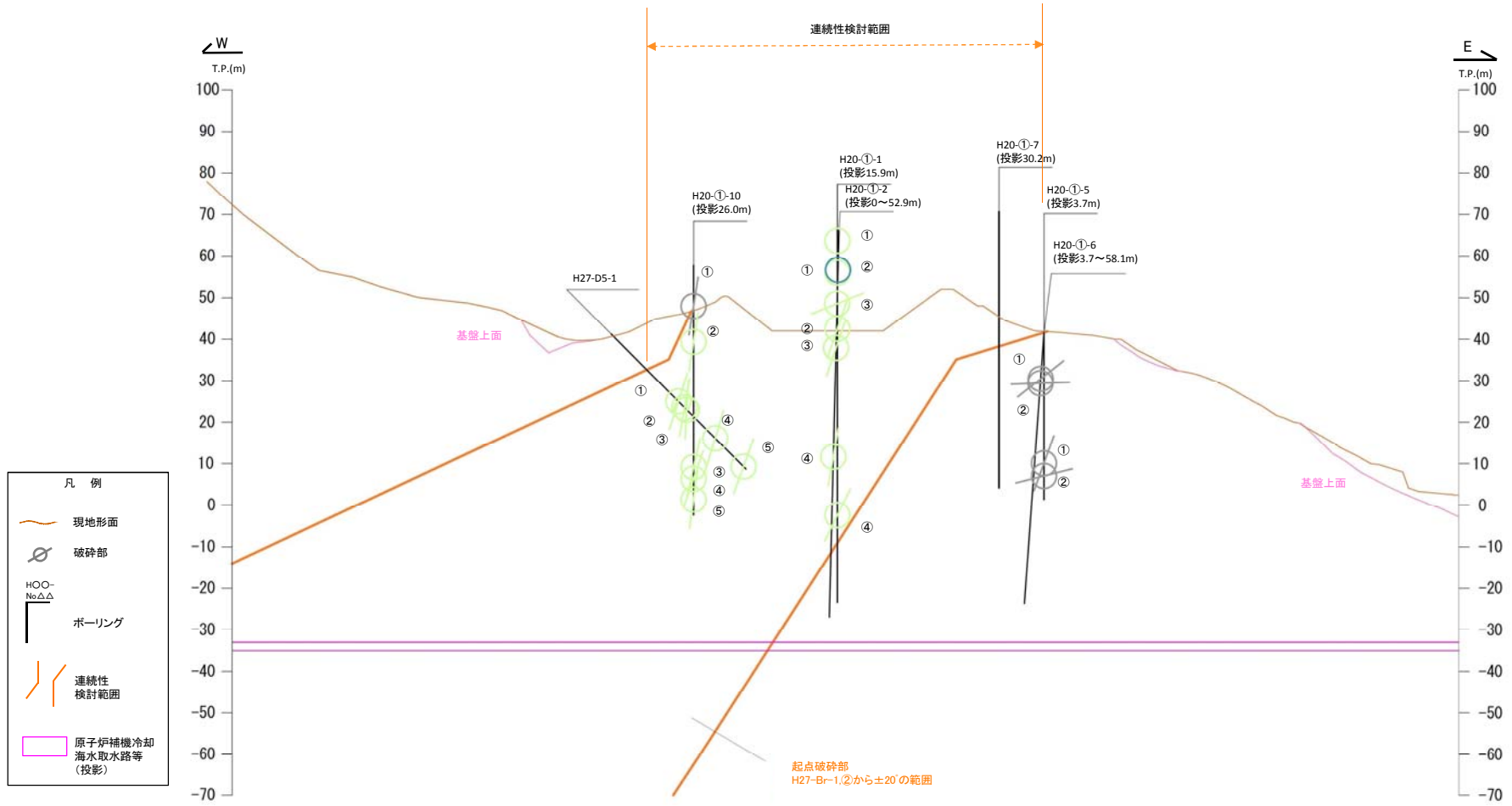
398(分類A)①

碎帯名について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

399(分類D)②

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、破碎帯名を修正したため、参照先を記載した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ②)



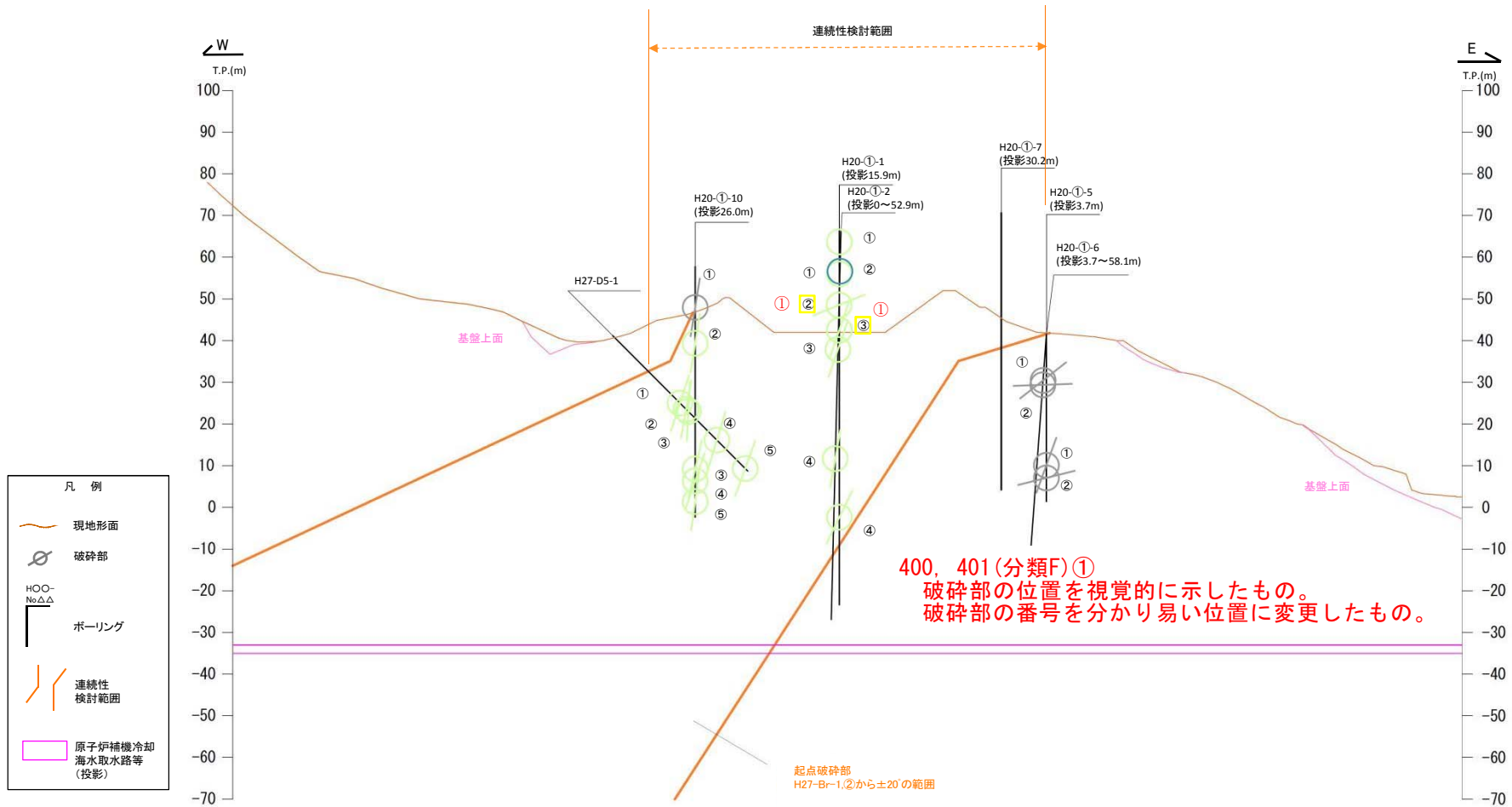
注) H20-①-7孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注)H20-①-7孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H27-Br-1	-	-	②	59.18	59.27	N31E		45W		有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
-	H27-D5-1	範囲内	①	22.91	23.23	N35E	4	74W	29	有	無	90	N		D-4	参考2-89		
			②	25.17	25.44	N31E	0	81W	36	有	無	80L	N		D-45	参考2-119		
			③	25.65	25.77	N21E	10	87W	42	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71		
			④	35.41	35.55	N2W	33	73W	28	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178		
			⑤	45.12	45.37	N38E	7	72W	27	有	有	85R	N		D-46	参考2-119		
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	25	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-187		
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	29	有	有	-	-		D-6	参考2-58		
			③	23.62	24.62	N25E	6	72W	27	有	無	60L	-		D-19	参考2-99		
			④	68.72	69.02	N36E	5	66W	21	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138		
			①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデリ化	参考2-187	※1	
	H20-①-2	②	22.63	22.66	N62E	31	33N	12	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138			
		③	32.90	34.91	N18W	49	73W	28	有	有	-	-		D-6	参考2-58			
		④	66.08	67.28	N4E	27	80W	35	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138			
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	64	75W	30	無	-	75L	-		D-43	参考2-118		
			②	34.37	34.70	N89W	120	58S	13	無	-	-	-		f-①-5-2	参考2-150		
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	84	60S	15	無	-	66R	-		D-43	参考2-118		
			②	14.78	15.13	N81W	112	65S	20	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-188		
	H20-①-10		範囲内	①	9.01	10.28	N1W	32	81W	36	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
				②	18.16	18.84	N26E	5	81W	36	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
				③	48.10	48.24	N6E	25	77W	32	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
④				50.90	52.95	NS	31	71W	26	有	有	80R	N		D-5	参考2-71		
⑤				55.99	56.05	N34E	3	83W	38	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス		
				(m)	(m)														
H27-Br-1	-	-	②	59.18	59.27	N31E		45W		有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176				
-	H27-D5-1	範囲内	①	22.91	23.23	N35E	4	74W	29	有	無	90	N	D-4	参考2-89				
			②	25.17	25.44	N31E	0	81W	36	有	無	80L	N	D-45	参考2-119				
			③	25.65	25.77	N21E	10	87W	42	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-71				
			④	35.41	35.55	N2W	33	73W	28	有	無	80L	N	f-d5-1-4	参考2-178				
			⑤	45.12	45.37	N38E	7	72W	27	有	有	85R	N	D-46	参考2-119				
	H20-①-1		範囲内	①	2.66	2.95	-	-	(70)	25	無	-	-	-	非モデリ化	参考2-187			
				②	8.64	10.63	-	-	(74)	29	有	有	-	-	D-6	参考2-58			
				③	23.62	24.62	N25E	6	72W	27	有	無	60L	-	D-19	参考2-99			
				④	68.72	69.02	N36E	5	66W	21	有	無	30L	N,RL	f-①-1-3	参考2-138			
				①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデリ化	参考2-187	※1	
	H20-①-2	範囲内		②	22.63	22.66	N62E	31	33N	12	有	有	55L	N,RL	f-①-2-2	参考2-138			
				③	32.90	34.91	N18W	49	73W	28	有	有	-	-	D-6	参考2-58			
				④	66.08	67.28	N4E	27	80W	35	有	無	88L	-	f-①-2-4	参考2-138			
				①	31.28	31.44	N33W	64	75W	30	無	-	75L	-	D-43	参考2-118			
	H20-①-5			範囲外	②	34.37	34.70	N89W	① 60	58S	13	無	-	-	-	② 非モデリ化	参考2-188	③	
			①		14.41	14.42	N53W	84	60S	15	無	-	66R	-	D-43	参考2-118			
	H20-①-6		範囲外		②	14.78	15.13	N81W	① 68	65S	20	無	-	-	-	非モデリ化	参考2-188		
					①	9.01	10.28	N1W	32	81W	36	有	無	77L	-	D-4	参考2-90		
	H20-①-10				範囲内	②	18.16	18.84	N26E	5	81W	36	無	-	90	-	f-①-10-2	参考2-140	
						③	48.10	48.24	N6E	25	77W	32	無	-	80R	-	D-45	参考2-119	
④		50.90				52.95	NS	31	71W	26	有	有	80R	N	D-5	参考2-71			
⑤		55.99				56.05	N34E	3	83W	38	有	無	5L	LL	D-46	参考2-119			

()の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

402, 403(分類C)①

走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。

404(分類E)②

破碎帯名について、仮名称を変更し忘れたもの。

405(分類D)③

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、破碎帯名を修正したため、参照先を記載した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-9, ②)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角噪の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-9	-	-	②	66.50	66.77	N48E		77NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	36	76W	1	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	48	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	39	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	42	82W	5	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	89	69W	8	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
			③	58.40	59.38	N7E	41	85W	8	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
	H27-Br-12	範囲内	①	71.95	72.72	N6W	54	85W	8	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			②	89.68	90.32	N31E	17	78W	1	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断層ガウジ・断層角噪の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

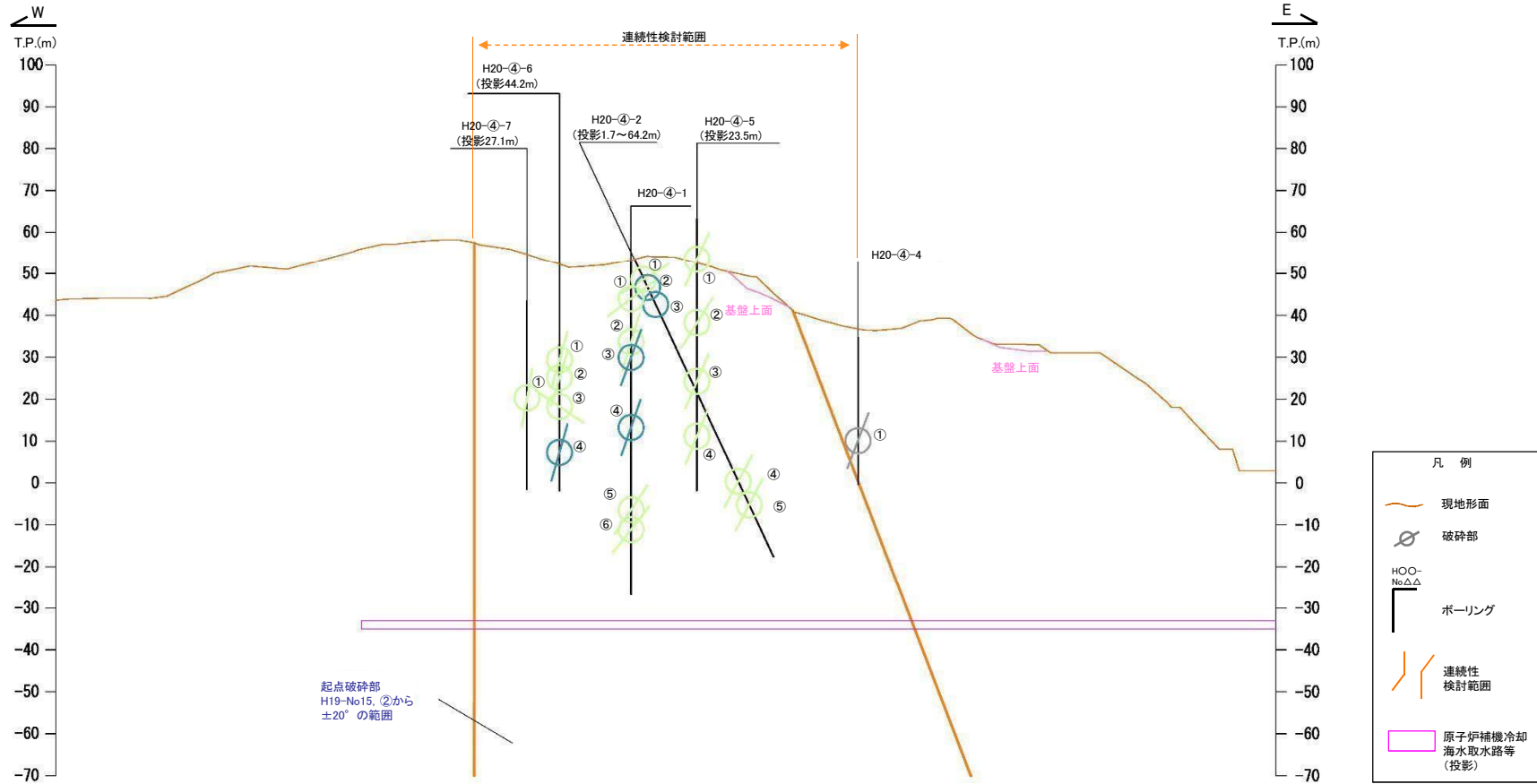
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-9, ②)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-9	-	-	②	66.50	66.77	N48E		77NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	36	76W	1	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	48	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	39	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	42	82W	5	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	89	69W	8	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
			③	58.40	59.38	N7E	41	85W	8	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
	H27-Br-12	範囲内	①	71.95	72.72	N6W	54	85W	8	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			②	89.68	90.32	N31E	17	② 78NW	1	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	
			③														

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

406(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
407(分類A)②
傾斜について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

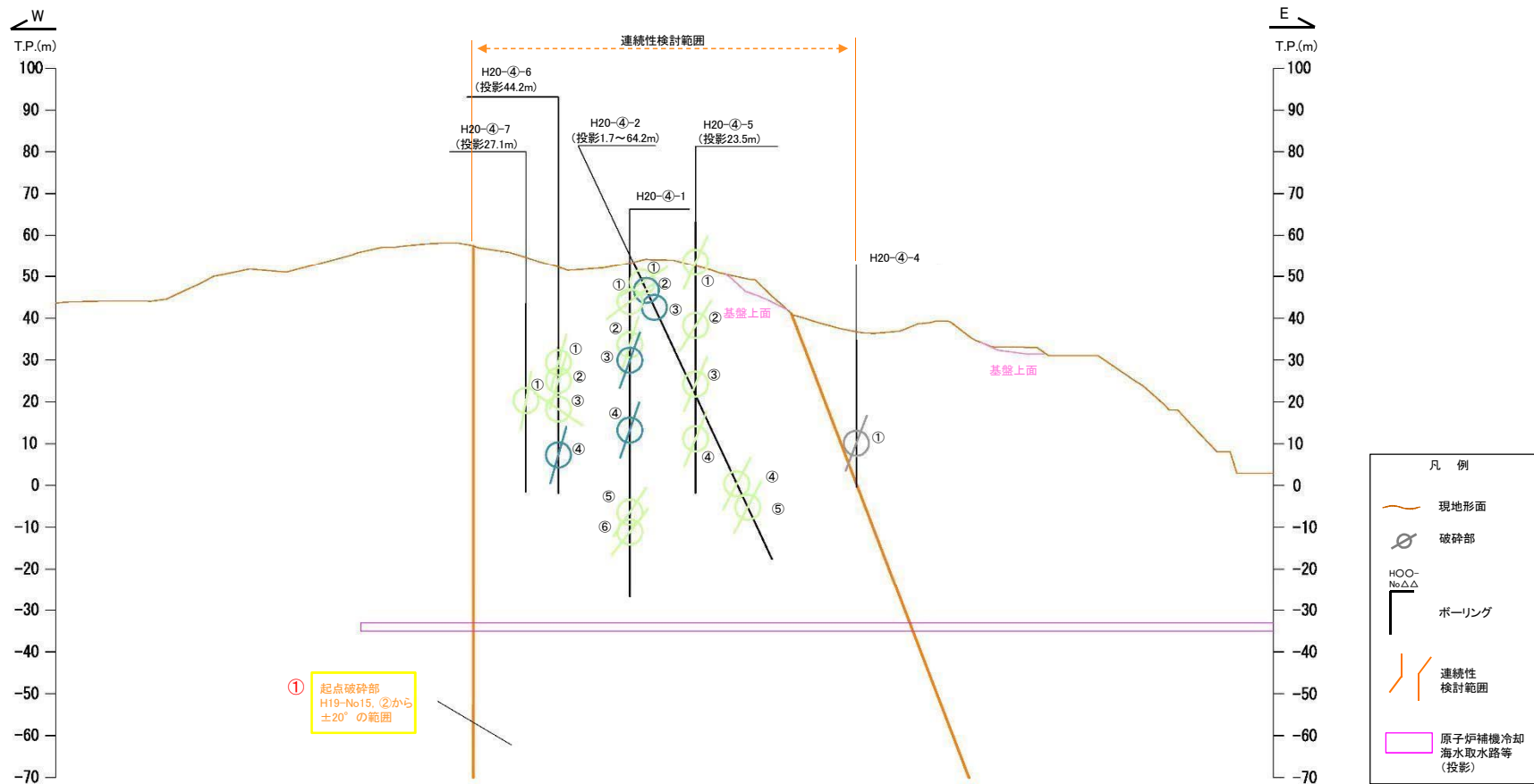
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ②)



破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ②)



408 (分類F) ①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ LL:左横ずれ								
				(m)	(m)																
H19-No.15	-	-	②	25.83	25.93	N6E		89E		有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131					
H20-④-1	範囲内		①	9.33	9.61	N82W	88	45S	46	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143					
			②	18.03	21.78	N31W	37	73W	18	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100					
			③	23.27	23.31	N8W	14	73W	18	有	有	47L	N,RL	x	f-④-1-2	参考2-141	※1				
			④	39.78	39.98	N11E	5	78W	13	無	-	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※1				
			⑤	58.87	59.39	N17E	11	70W	21	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142					
			⑥	63.91	64.44	N19E	13	68W	23	有	無	80L	-		D-21	参考2-102					
			H20-④-2	範囲内		①	6.00	6.12	N86W	88	42S	49	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142		
						②	6.90	8.90	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
						③	14.63	14.66	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
						④	74.45	74.50	N4W	10	67W	24	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141		
						⑤	82.34	82.41	N4W	10	67W	24	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142		
			H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	2	71W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188			
			H20-④-5	範囲内		①	7.85	9.71	N56W	62	70S	21	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100		
						②	24.96	25.12	N11E	5	62W	29	有	無	90	-		D-21	参考2-102		
③	38.73	38.74				N9E	3	70W	21	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143					
④	51.86	52.16				N11W	17	68W	23	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143					
H20-④-6	範囲内		①	3.76	4.09	N60W	66	78S	13	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143					
			②	7.94	9.00	N71W	77	79S	12	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144					
			③	14.94	14.98	N55E	49	69S	20	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144					
			④	25.70	25.80	N18E	12	77W	14	有	無	90	-	x	f-④-6-4	参考2-144	※3				
H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	59	80S	11	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144						

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.15	-	-	②	25.83	25.93	N6E		89E		有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131		
H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	88	45S	46	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142			
		②	18.03	21.78	N31W	37	73W	18	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100			
		③	23.27	23.31	N8W	14	73W	18	有	有	47L	N,RL	x	f-④-1-2	参考2-141	※1		
		④	39.78	39.98	N11E	5	78W	13	無	-	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※1		
		⑤	58.87	59.39	N17E	11	70W	21	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142			
		⑥	63.91	64.44	N19E	13	68W	23	有	無	80L	-		D-21	参考2-102			
		H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	88	42S	49	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
				②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
				③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
				④	74.45	74.50	N4W	10	67W	24	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
				⑤	82.34	82.41	N4W	10	67W	24	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
		H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	2	71W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
		H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	62	70S	21	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
				②	24.96	25.12	N11E	5	62W	29	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
③	38.73			38.74	N9E	3	70W	21	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144			
④	51.86			52.16	N11W	17	68W	23	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143			
H20-④-6	範囲内	①	3.76	4.09	N60W	66	78S	13	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143			
		②	7.94	9.00	N71W	77	79S	12	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144			
		③	14.94	14.98	N55E	49	69S	20	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144			
		④	25.70	25.80	N18E	12	77W	14	有	無	90	-	x	f-④-6-4	参考2-144	※3		
H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	59	80S	11	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

409, 410(分類A)①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126		
H27-Br-1	範囲内	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	無	-	80L	N		D-7	参考2-90	
				②	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-3	範囲外	範囲外	①	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	無	-	90	-		D-43	参考2-118	
				②	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
	H20-①-3	範囲内	範囲内	②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1
				③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
				④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	x	f-①-3-4	参考2-139	※1
				⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
				⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
				⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
				⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
				⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
				⑪	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
	H20-①-4	範囲内	範囲内	②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
③				12.70	15.25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④				21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
⑤				31.63	31.87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑥				41.41	43.24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
範囲外				⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88		
		②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
		③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176		
		④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
		⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	①有	②有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	①有	②無	90	-		D-43	参考2-118	
			③	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H20-①-3	範囲内	②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	x	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
			H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	x	D-5
	②	12.25			12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
③	12.70	15.25			N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④	21.10	21.15			N19E	7	74W	1	有	無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
⑤	31.63	31.87			N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1	
範囲外	⑦	60.47		60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138		

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

411, 413(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

412, 414(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側道路, H-3c破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E		85W		無	-	28L	N,RL		H-3c	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	有	無	70L	-	x	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	有	無	71L	-	x	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	有	無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143	※3
④			97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132		
H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141		
		②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
		③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス

(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: 2号炉原子炉建屋南側道路, H-3c破碎帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E	0	85W	4	① 有	② 無	28L	N,RL	H-3c	③ 参考2-168		
H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-	-	D-2	参考2-86		
		②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-	-	D-3	参考2-87		
		③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-	-	f-13-3	参考2-130		
		④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-	-	f-12-4	参考2-129		
	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	④ 有	④ 無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131	※3	
		②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-	-	f-14-2	参考2-131		
		③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-	-	D-20	参考2-101		
		④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-	-	f-④-5-3	参考2-143		
		⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37		
		⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-	-	f-14-5	参考2-131		
	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	④ 有	④ 無	70L	-	x	f-15-1	参考2-131	※3	
		②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	④ 有	④ 無	71L	-	x	f-15-2	参考2-131	※3	
		③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	④ 有	④ 無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143	※3	
		④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL	-	f-15-3	参考2-132		
	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-	-	f-③-1-1	参考2-141		
		②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-	-	f-③-1-2	参考2-141		
③		33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-	-	D-2	参考2-87			

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

415(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

416(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

417(分類A)③

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

418~421(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.2, ⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	⑨	186.53	186.58	N21E		70W		有	無	36L	-	D-2	参考2-87		
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
			H20-①-4	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-	D-5	参考2-72	
				②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-	f-①-2-2	参考2-138	
				③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N	D-6	参考2-59	
				④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140	
	⑤			31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139		
	⑥			41.41	43.24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-	D-19	参考2-99		
	⑦			60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.2, ⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	⑨	186.53	186.58	N21E		70W		有	無	36L	⑨ N,RL	D-2	参考2-87		
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
			①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデリ化	参考2-187	
	H20-①-3		②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-		非モデリ化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
			H20-①-4	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-		D-5	参考2-72
	②			12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
	③			12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
	④			21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
⑤	31.63	31.87		N6E	15	55W	15	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139			
⑥	41.41	43.24		N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99			
⑦	60.47	60.67		-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138			

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

422(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	㊸	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-	F-2-11	参考2-126		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2			①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	有	-	-	非モデル化	参考2-193		
	②		77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-	D-43	参考2-118			
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N	f-br-5-1	参考2-177		
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-	D-5	参考2-72		
②			12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1	
③			12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N	D-6	参考2-59			
④			21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140			
⑤			31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑥			41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-	D-19	参考2-99			
⑦			60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1	

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.2	-	-	㊸	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2		範囲外	①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N	① ×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	② 無	-	-		非モデル化	参考2-193	
		②		77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4			①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5			①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1	
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99		
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138		
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-	-		D-5	参考2-72	
②			12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	③ 無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1		
③			12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59			
④			21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140			
⑤			31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1		
⑥			41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99			
⑦			60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	③ 無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1		

() の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

423(分類E)①
連続性検討結果について, 記載の必要な箇所に記載を忘れたもの。

424(分類A)②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

425, 426(分類E)③
起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果, 手作業で表の該当箇所に着色する必要があるが, 誤って違う色を着色したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.3, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		無	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
H27-Br-1 H27-Br-2 H27-Br-3 H20-①-3 H20-①-4	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H20-①-3	範囲外	②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
			①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
	H20-①-4	範囲外	⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
			①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-	D-5	参考2-72		
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-	f-①-2-2	参考2-138		
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140		
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-	D-19	参考2-99		
	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138				

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部: H19-No.3, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		① 有	② 無	-	-	f-2-12	参考2-126		
H27-Br-1 H27-Br-2 H27-Br-3 H20-①-3 H20-①-4	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H20-①-3	範囲外	②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
			①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
	H20-①-4	範囲外	⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
			①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-	D-5	参考2-72		
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-	f-①-2-2	参考2-138		
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140		
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-	D-19	参考2-99		
	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138				

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス) が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

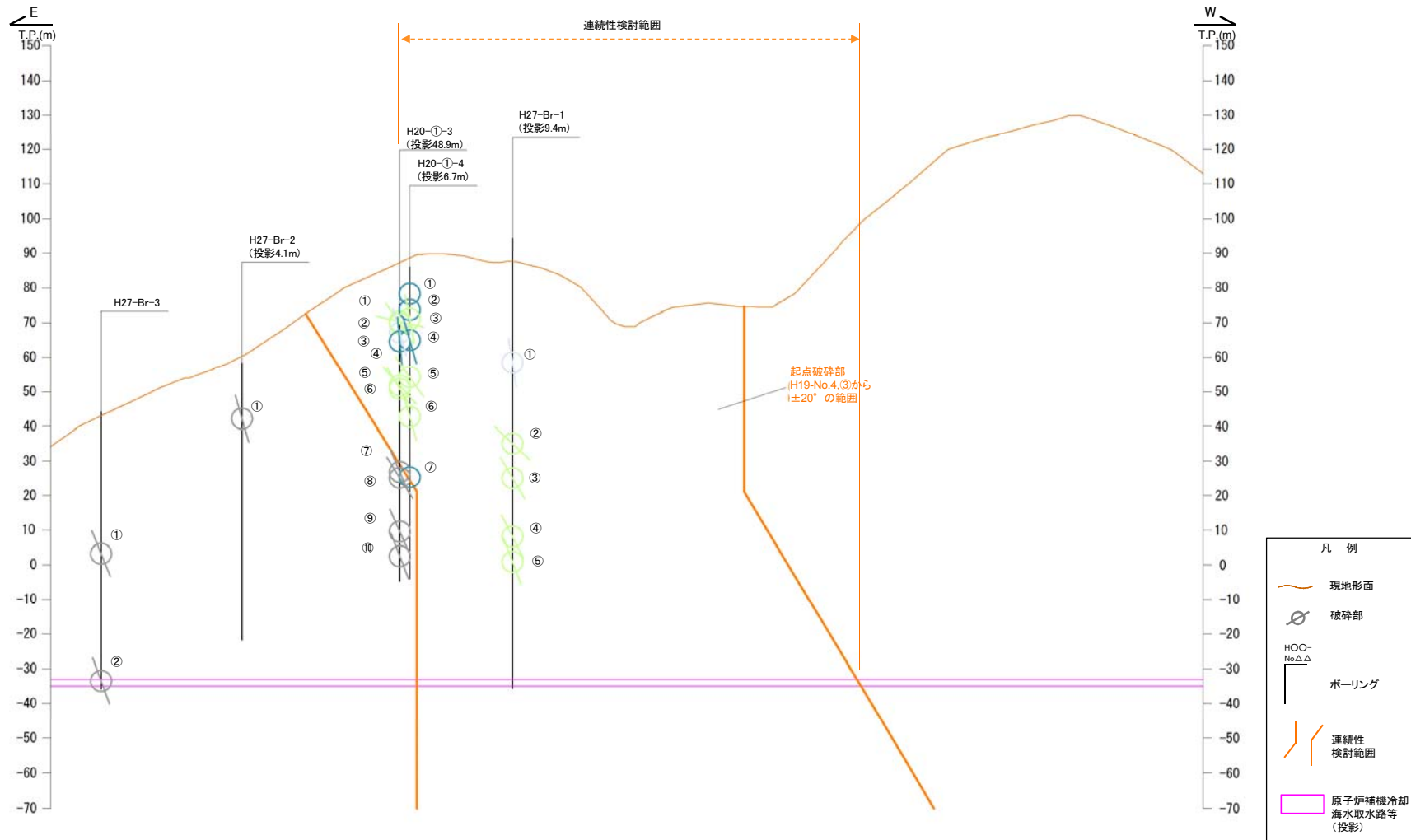
427(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

428(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No4, ③)

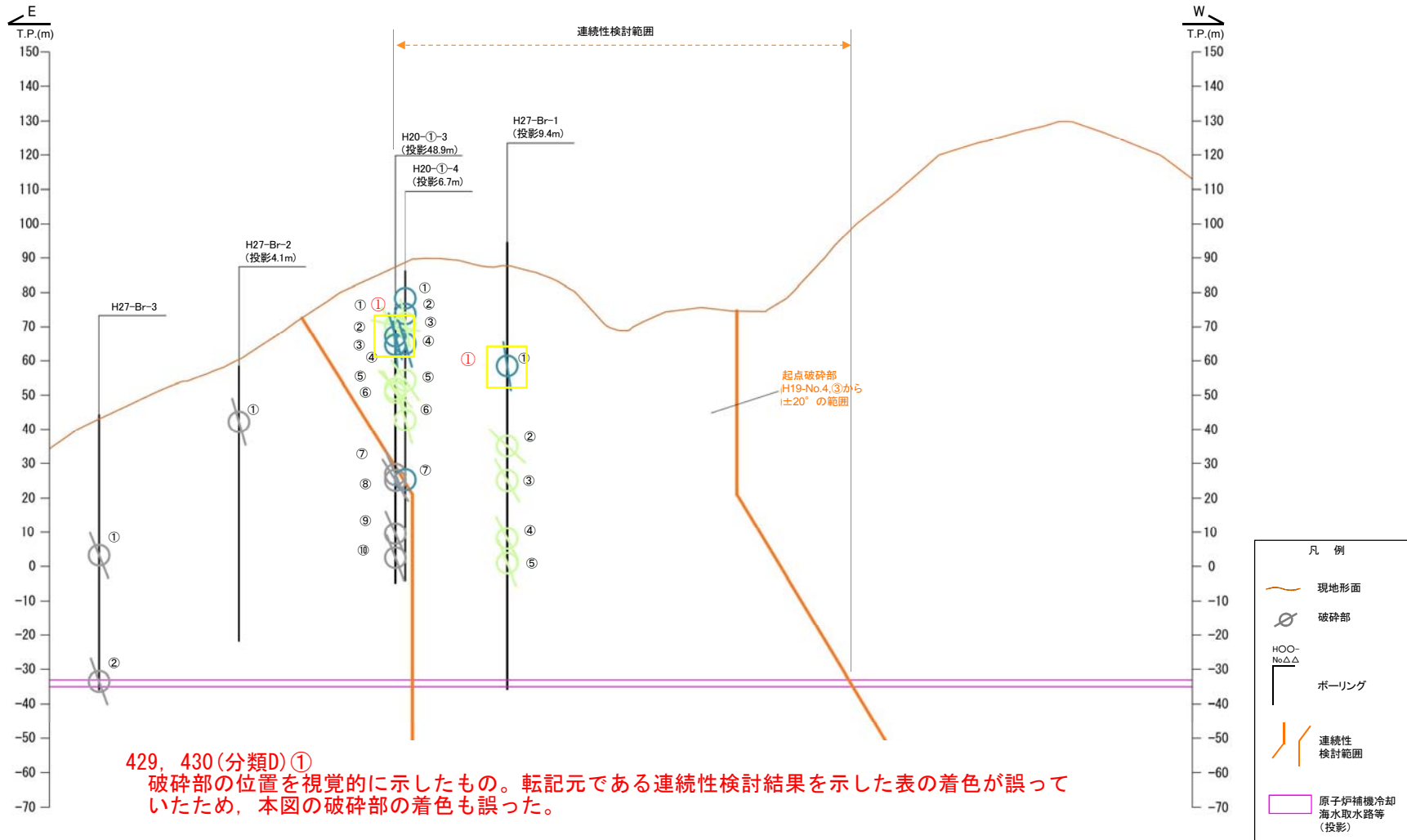


破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No4, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



429, 430(分類D)①
破碎部の位置を視覚的に示したものの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No4, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		無	-	2L	-	f-2-11	参考2-126		
H27-Br-1	範囲内	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N	D-7	参考2-90	
	②			40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-3	範囲外	範囲外	①	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-	D-43	参考2-118	
	②			4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
	H20-①-3	範囲内	範囲内	②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
				③	6.42	8.73	N12E	9	74W	5	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58	
				④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139	
				⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139	
				⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139	
				⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139	
				⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-	D-19	参考2-99	
				⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138	
				⑪	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72
	H20-①-4	範囲内	範囲内	⑫	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138
⑬				12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
⑭				21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140		
⑮				31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139		
⑯				41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-	D-19	参考2-99		
⑰				60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1

() の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破砕部:H19-No4, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		① 有	② 有	2L	-	f-2-11	参考2-126			
H27-Br-1	範囲内	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	③ 有	③ 有	76R	③ N	D-3	参考2-88			
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176			
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176			
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176			
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176			
	H27-Br-2	範囲外	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
				②	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-3	範囲外	範囲外	①	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
				②	4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
	H20-①-3	範囲内	範囲内	②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
				③	6.42	8.73	N12E	9	74W	5	③ 有	③ 有	55L	③ N,RL	D-6	参考2-58		
				④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
				⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
				⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
		範囲外	範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
				⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
				⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
				⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
				⑪	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
	H20-①-4	範囲内	範囲内	⑫	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
				⑬	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
⑭				21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140			
⑮				31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139			
⑯				41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-	D-19	参考2-99			
⑰				60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1	

() の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの ④
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの ⑤

431(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

432(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

433~436(分類D)③

起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

437(分類E)④

凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路, 起点破碎部:H20-①-5, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-①-5	-	-	①	31.28	31.44	N33W		75W		無	-	75L	-		D-43	参考2-118		
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	84	73NW	2	有	無	-	-	○	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	5	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118		
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	42	77SW	2	有	有	70L	N		D-7	参考2-91		
			②	65.81	67.33	N23E	56	78SW	3	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-9	範囲外	①	21.26	21.33	N45E	78	79SW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
			②	66.50	66.77	N48E	81	80SW	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	40	81SW	6	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	27	82SW	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177		
				③	89.68	90.32	N31E	64	83SW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路, 起点破碎部:H20-①-5, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-①-5	-	-	①	31.28	31.44	N33W		75W		無	-	75L	-	D-43	参考2-118		
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	84	73NW	2	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	5	76SW	1	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	42	87W	12	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	56	56W	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲外	①	21.26	21.33	N45E	78	63NW	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	81	77NW	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	40	85W	10	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	27	85W	10	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	64	78NW	3	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

438, 440, 442, 444, 446, 448, 450(分類A)①
 傾斜について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。
 439, 441, 443, 445, 447, 449, 451(分類D)②
 転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより、起点破碎部と対比破碎部の傾斜の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-D5-1, ②)

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討 範囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象と の走向の差 (°)	傾斜	比較対象と の傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角稜 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有	有	76R	N	x	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	x	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2			①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3			①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデラ化	参考2-193	
				②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデラ化	参考2-187	
				②	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデラ化	参考2-187	
				③	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
				④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
				⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
				⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
				⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
				⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	2	-		f-①-3-8	参考2-139	
				⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
				⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内		①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
				②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	x	D-6	参考2-59		
範囲外			④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140		
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138		

() の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-D5-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討 範囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象と の走向の差 (°)	傾斜	比較対象と の傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 R: 右横ずれ LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119		
H27-D5-1	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有	有	76R	N	x	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	x	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90		
			②	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデラ化	参考2-193		
	H27-Br-3	範囲外	①	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118		
			②	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	有	-	-		非モデラ化	参考2-187		
	H20-①-3	範囲外	①	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-	-		非モデラ化	参考2-187	
			②	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58		
			③	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139		
			④	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139		
			⑤	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139		
			⑥	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139		
			⑦	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	① 85R	-		f-①-3-8	参考2-139		
			⑧	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99		
			⑨	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138		
			⑩	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72		
	H20-①-4	範囲内	①	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※3	
②			12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	x	D-6	参考2-59			
③			21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140			
範囲外		④	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139			
		⑤	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99			
⑥	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138					

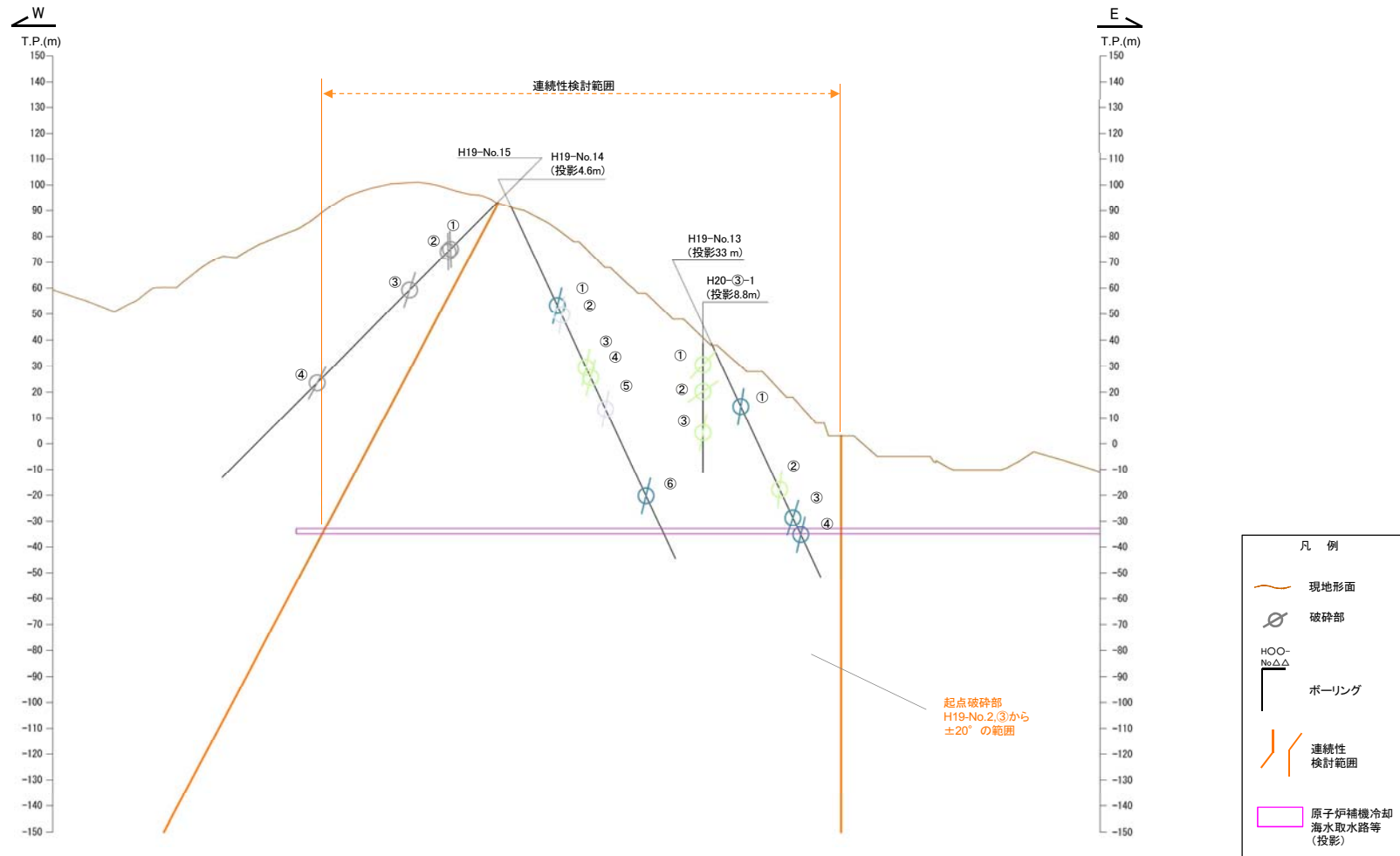
() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

452(分類A)①

条線方向について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ③)



破碎部着色凡例

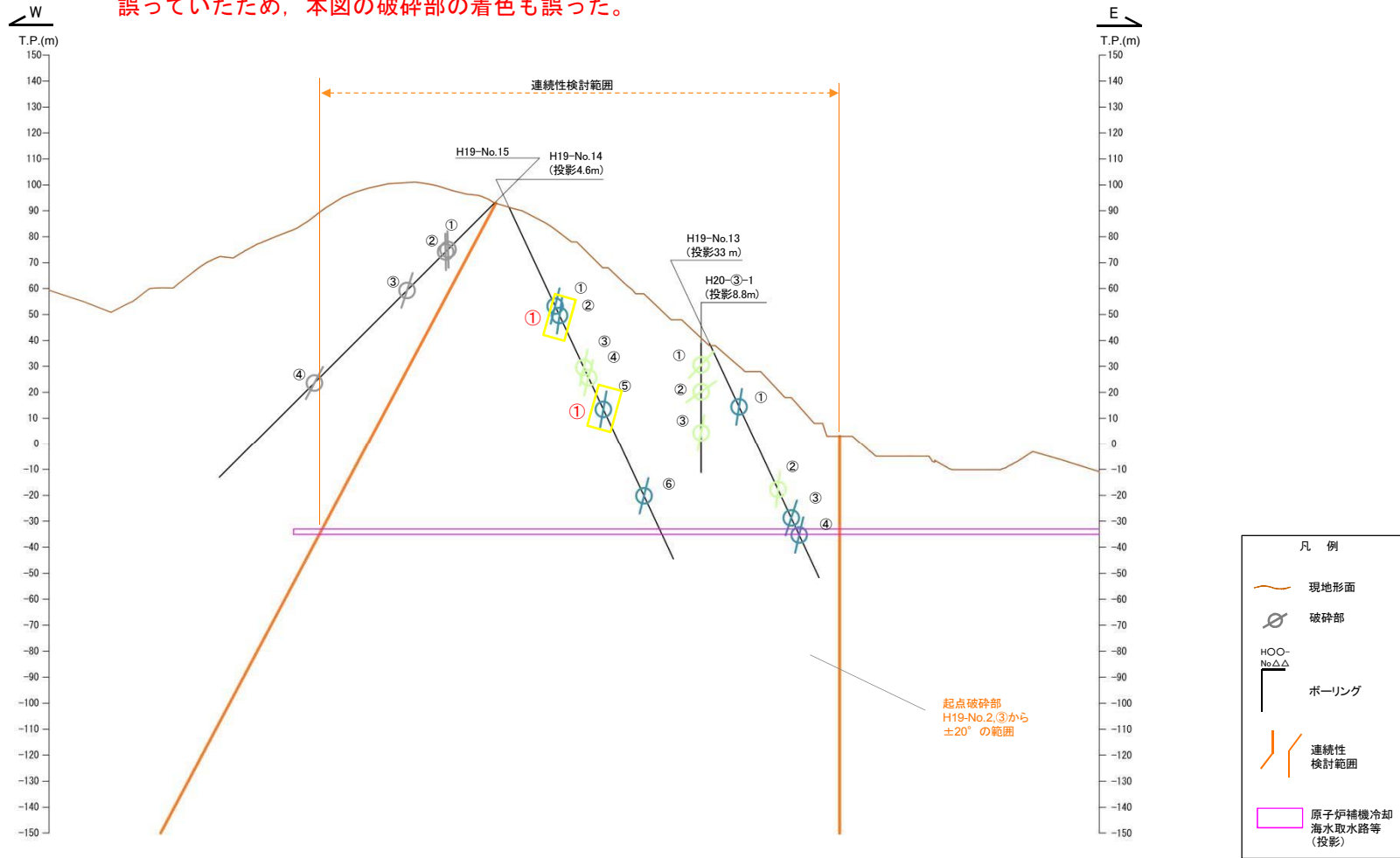
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

453, 454(分類D)①

破碎部の位置を視覚的に示したものの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。



破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131		
	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	有	無	72R	-	x	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	有	無	17R	-	x	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143		
	H19-No.15		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	有	有	-	NJ,RL		D-1	参考2-37	
				⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
				①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
	H20-③-1		範囲内	②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
		③		46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143		
		④		97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132		
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141		
②			18.46	18.53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141			
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		① 有	② 無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	③ 有	③ 無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	③ 有	③ 無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	③ 有	③ 無	17R	-	×	f-12-4	参考2-129	
			①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	③ 有	③ 無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	③ 有	③ 有	③ 80L	③ -	④ ×	f-14-2	参考2-131	※3 ④
	H19-No.14	範囲内	③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	③ 有	③ 有	③ -	③ N,RL	④ ×	D-1	参考2-37	
	H19-No.15	範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	③ 有	③ 無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
			①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
	H20-③-1	範囲内	④	97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
			①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
②			18.46	18.53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

455(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

456(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

457~461, 464, 466(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

462, 463, 465(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	⑪	202.81	202.85	N32E		64W		有	無	23L	-	f-2-8	参考2-125		
H27-Br-1 H27-Br-2 H27-Br-3 H20-①-3 H20-①-4	範囲内	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	17	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	1	45W	19	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	0	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	1	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	9	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
			①	15.94	16.99	NS	32	74W	10	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
			①	40.53	41.10	N51E	19	73NW	9	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	70	76SW	12	有	無	90	-	-	D-43	参考2-118	
			①	4.96	5.00	N83E	51	40N	24	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	21	55W	9	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
	範囲外	範囲外	③	6.42	8.73	N12E	20	74W	10	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	43	85W	21	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
			⑤	23.28	23.62	N12E	20	48W	16	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	0	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
			⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	5	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
			⑧	50.06	50.15	N38E	6	61W	3	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	7	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
			⑩	72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
			①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-	-	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	-	f-①-2-2	参考2-138	
	範囲外	範囲外	③	12.70	15.25	N32E	0	80W	16	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	10	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140		
			⑤	31.63	31.87	N6E	26	55W	9	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139		
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	12	有	無	70R	-	D-19	参考2-99		
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	-	f-①-1-3	参考2-138	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.2	-	-	⑪	202.81	202.85	N32E		64W		有	無	23L	① N,RL	f-2-8	参考2-125			
H27-Br-1 H27-Br-2 H27-Br-3 H20-①-3 H20-①-4	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	17	有	有	76R	② N	D-3	参考2-88			
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	1	45W	19	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176			
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	0	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176			
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	1	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176			
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	9	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176			
			H27-Br-2	①	15.94	16.99	NS	32	74W	10	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
				H27-Br-3	①	40.53	41.10	N51E	19	73NW	9	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193	
		H20-①-3	範囲外		②	77.72	77.90	N38W	70	76SW	12	有	無	90	-	D-43	参考2-118	
				①	4.96	5.00	N83E	51	40N	24	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
				②	5.53	5.81	N11E	21	55W	9	無	-	-	-	非モデル化	参考2-187		
	③			6.42	8.73	N12E	20	74W	10	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58			
	④			11.06	11.17	N11W	43	85W	21	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139			
	⑤			23.28	23.62	N12E	20	48W	16	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139			
	⑥			24.43	25.00	N26W	58	64W	0	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139			
	⑦			48.20	48.24	N35E	3	69W	5	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139			
	⑧			50.06	50.15	N38E	6	61W	3	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139			
	⑨			65.14	65.89	N49E	17	71N	7	有	有	85L	-	D-19	参考2-99			
	⑩			72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138			
	H20-①-4			範囲外	①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-	D-5	参考2-72	
					②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	f-①-2-2	参考2-138	
					③	12.70	15.25	N32E	0	80W	16	有	有	70L	N	D-6	参考2-59	
		④	21.10		21.15	N19E	13	74W	10	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140			
		⑤	31.63		31.87	N6E	26	55W	9	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139			
		⑥	41.41		43.24	N36E	4	76W	12	有	無	70R	-	D-19	参考2-99			
		⑦	60.47		60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138			

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

467(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

468(分類D)②
起点破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-9, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-9	-	-	①	21.26	21.33	N45E		63NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	45	79W	16	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	36	80W	17	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	39	82W	19	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	86	69W	6	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
			③	58.40	59.38	N7E	38	85W	22	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
	H27-Br-12	範囲内	①	71.95	72.72	N6W	51	85W	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			②	89.68	90.32	N31E	14	78NW	15	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

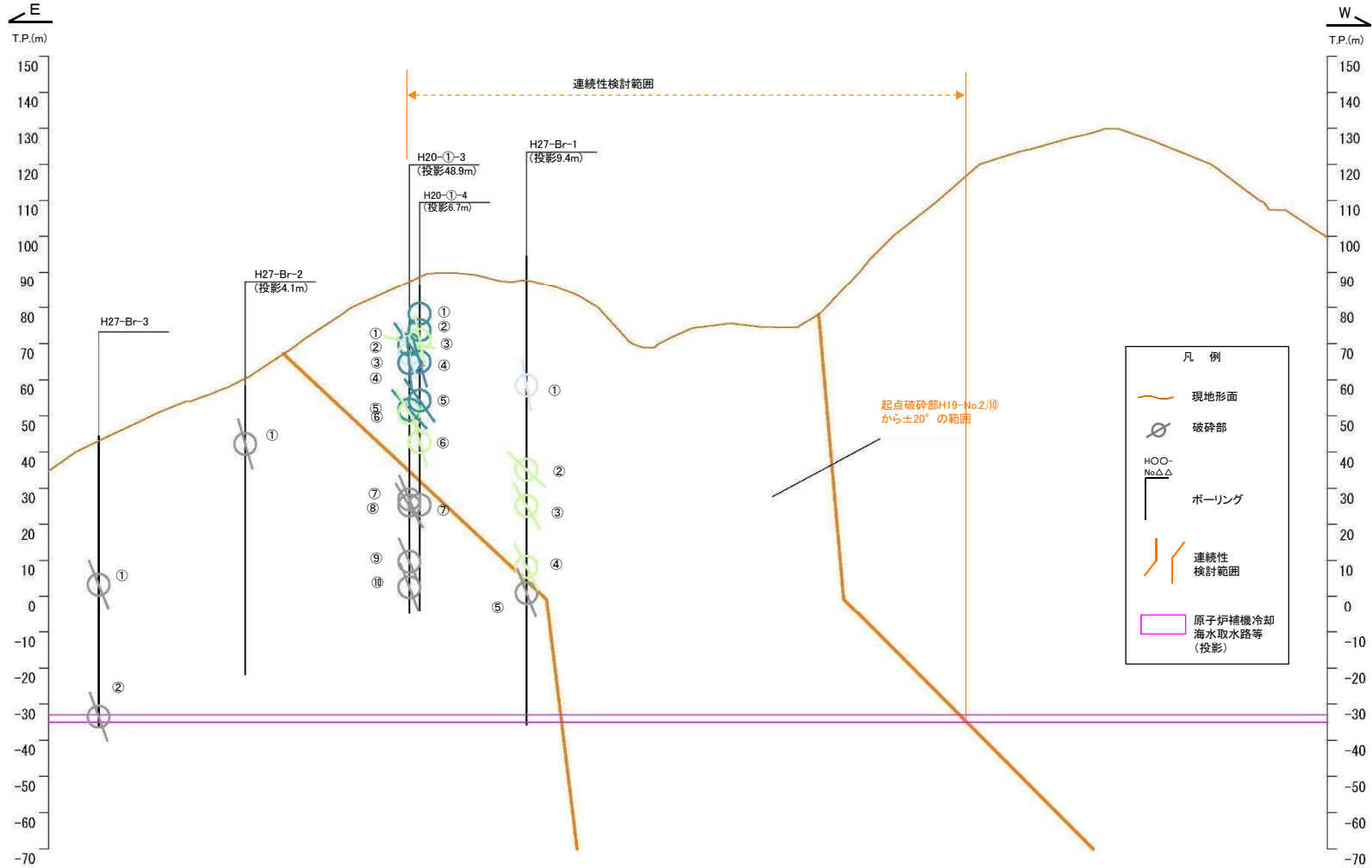
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H27-Br-9, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H27-Br-9	-	-	①	21.26	21.33	N45E		63NW		有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	13	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	45	79W	16	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	36	80W	17	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	39	82W	19	有	無	75R	① N	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	86	69W	6	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		
			③	58.40	59.38	N7E	38	85W	22	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177		
	H27-Br-12	範囲内	①	71.95	72.72	N6W	51	85W	22	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177		
			②	89.68	90.32	N31E	14	78NW	15	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177	x	
			③														

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

469 (分類A) ①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑩)



破碎部着色凡例

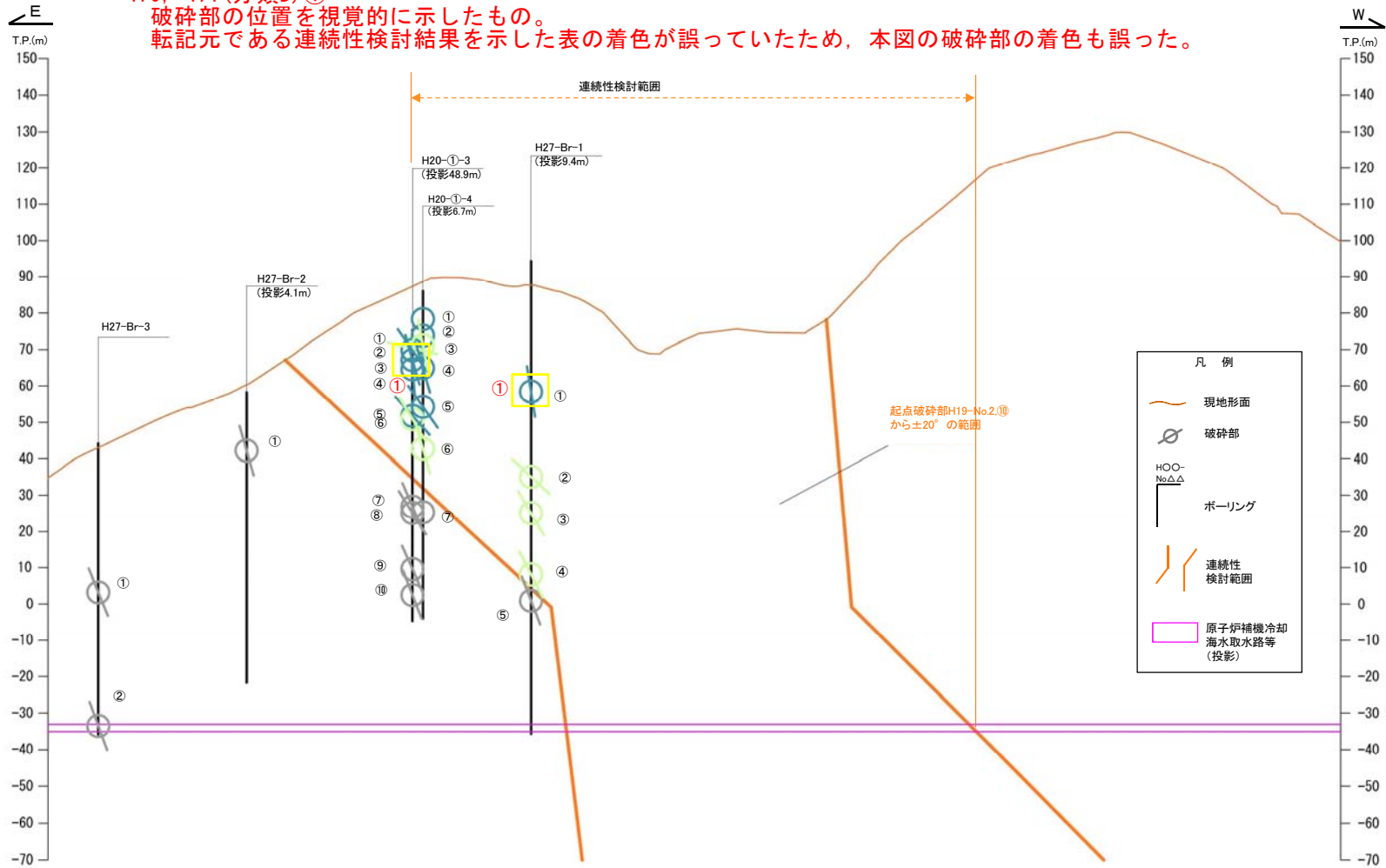
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑩)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

470, 471(分類D)①

破碎部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	⑩	191.10	191.14	N2E		66W		無	-	73L	-	f-2-7	参考2-125		
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	14	81W	15	有	有	76R	N	D-3	参考2-88		
			②	59.18	59.27	N31E	29	45W	21	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176		
			③	67.63	70.76	N42E	40	64NW	2	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176		
			④	85.90	87.85	N34E	32	65W	1	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176		
			⑤	93.36	93.45	N46E	44	73W	7	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176		
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	2	74W	8	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	49	73NW	7	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	40	76SW	10	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	81	40N	26	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			②	5.53	5.81	N11E	9	55W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	10	74W	8	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
			④	11.06	11.17	N11W	13	85W	19	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	10	48W	18	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	28	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	33	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	36	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	47	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	38	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	19	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
③			12.70	15.25	N32E	30	80W	14	有	有	70L	N	D-6	参考2-59			
④			21.10	21.15	N19E	17	74W	8	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1	
⑤			31.63	31.87	N6E	4	55W	11	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑥			41.41	43.24	N36E	34	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
範囲外			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.2, ⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.2	-	-	⑩	191.10	191.14	N2E		66W		① 有	② 無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	14	81W	15	③ 有	③ 有	③ 76R	③ N	④ x	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	29	45W	21	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	40	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	32	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	44	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	2	74W	8	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
			①	40.53	41.10	N51E	49	73NW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-3	範囲外	②	77.72	77.90	N38W	40	76SW	10	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
			①	4.96	5.00	N83E	81	40N	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H20-①-3	範囲内	②	5.53	5.81	N11E	9	55W	11	③ 無	③ -	-	-	x	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	10	74W	8	③ 有	③ 有	③ 55L	③ N,RL	④ x	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	13	85W	19	③ 有	③ 無	50L	-	x	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	10	48W	18	③ 有	③ 無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	28	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	33	69W	3	有	有	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
		範囲外	⑧	50.06	50.15	N38E	36	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	47	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	38	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
			①	3.93	7.70	-	-	(85)	19	③ 有	③ 無	-	-	x	D-5	参考2-72	
	H20-①-4	範囲内	②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	③ 有	③ 無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※1
③			12.70	15.25	N32E	30	80W	14	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④			21.10	21.15	N19E	17	74W	8	③ 有	③ 無	90	-	x	f-①-4-3	参考2-140	※1	
⑤			31.63	31.87	N6E	4	55W	11	③ 無	③ -	45L	-	x	f-①-3-5	参考2-139	※1	
⑥			41.41	43.24	N36E	34	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	有	-	-		f-①-1-3	参考2-138			

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

472(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

473(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

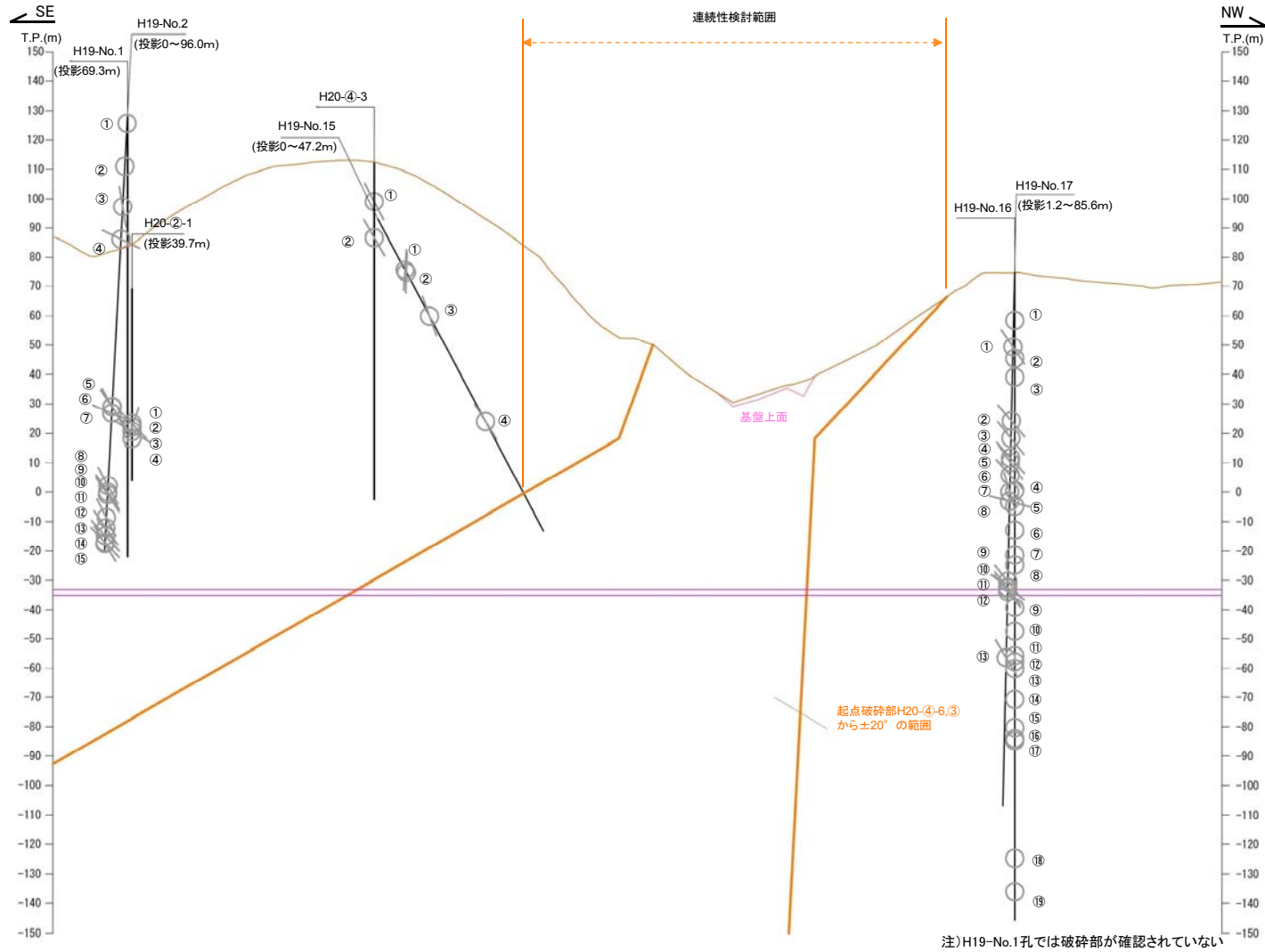
474, 476, 477, 479~484(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

475, 478(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ③)



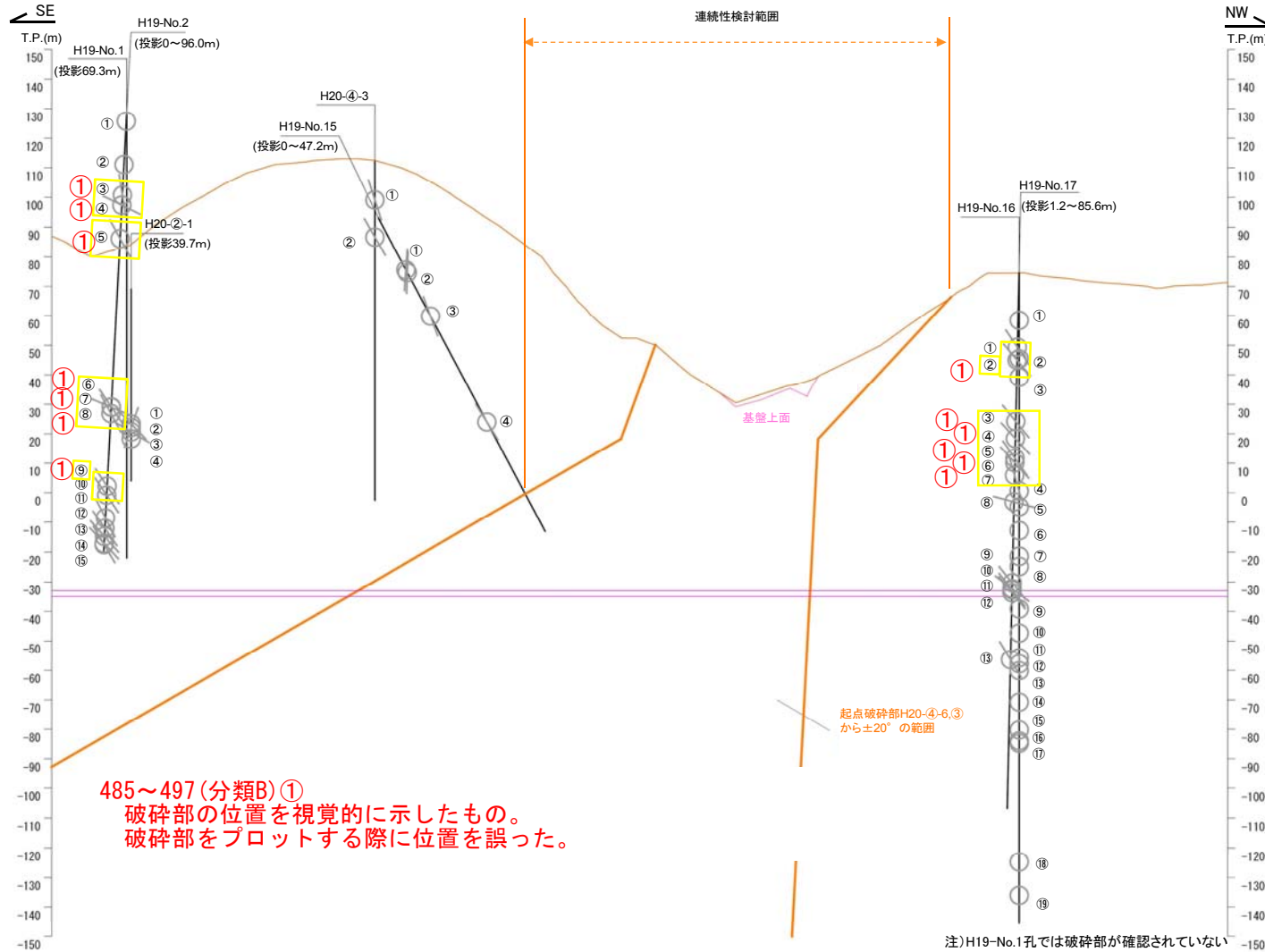
注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



凡例

- 現地形面
- 破碎部
- ボーリング
- 連続性検討範囲
- 原子炉補機冷却海水取水路等(投影)

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

注) H19-No.1 孔では破碎部が確認されていない

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状					連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考
				上端深度	下端深度					断層カワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)									N: 正断層 R: 右横ずれ LL: 左横ずれ				
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E	-	69S	-	有	有	36R	-	-	f-④-6-3	参考2-144		
H19-No.16	範囲外	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	f-④-3-2	参考2-185		
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-	-	f-④-3-2	参考2-147		
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	f-17-2	参考2-132		
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-	-	D-12	参考2-91		
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	非モザル化	参考2-185		
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	無	-	-	-	-	D-47	参考2-120		
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-185		
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-185		
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-	-	非モザル化	参考2-185		
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	有	有	32L	N,RL	-	D-15	参考2-93		
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-186		
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-	-	-	-	非モザル化	参考2-186		
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	D-16	参考2-93		
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-	-	-	-	D-17	参考2-98		
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-	-	-	-	D-18	参考2-98		
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-	-	-	-	非モザル化	参考2-186		
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-186		
			H19-No.17	範囲外	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-	20L	-	f-④-3-2	参考2-147
②	32.54	32.75				N35E	20	51W	60	無	-	73R	-	f-17-2	参考2-132			
③	55.45	55.46				N39E	16	52W	59	無	-	-	-	非モザル化	参考2-186			
④	61.89	62.22				N28E	27	50W	61	無	-	-	-	非モザル化	参考2-186			
⑤	68.84	69.25				N10E	45	62W	49	有	有	38R	-	D-11	参考2-91			
⑥	70.92	70.94				N18E	37	53W	58	有	無	17R	-	D-12	参考2-91			
⑦	75.60	75.90				N14E	41	77W	34	有	無	12R	-	D-14	参考2-65			
⑧	82.83	85.61				N19W	74	36W	75	無	-	-	-	D-47	参考2-120			
⑨	114.31	115.63				N8W	63	67W	44	有	有	-	N,RL	-	D-15	参考2-93		
⑩	117.77	117.79				N11W	66	57W	54	有	無	81R	-	D-16	参考2-93			
⑪	118.22	118.25				N11E	44	59W	52	有	無	87R	-	D-17	参考2-98			
⑫	118.66	119.29				N14E	41	57W	54	有	無	1R	-	D-18	参考2-98			
H19-No.15	範囲外	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131			
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131			
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	無	-	73L	-	f-④-3-1	参考2-143			
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	23R	N,LL	f-15-3	参考2-132			
H19-No.2	範囲外	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	f-15-2	参考2-131			
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-184		
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	無	-	59R	-	f-15-1	参考2-131			
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-	-	非モザル化	参考2-184		
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	43L	-	f-14-1	参考2-131			
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	35R	-	f-2-3	参考2-125			
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無	76R	-	D-20	参考2-101			
			⑧	149.71	149.84	N2W	57	72W	39	有	有	70L	N	D-1	参考2-37			
			⑨	186.53	186.58	N15E	40	61W	50	有	無	36L	N,RL	D-2	参考2-87			
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	無	-	73L	-	f-2-7	参考2-125			
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	23L	N,RL	f-2-8	参考2-125			
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	60L	-	D-3	参考2-88			
H20-②-1	範囲外	範囲外	①	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	84R (不明瞭)	-	f-2-10	参考2-125			
			②	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-	f-2-11	参考2-126			
			③	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-	f-2-12	参考2-126			
			④	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-	f-②-1-1	参考2-140			
H20-④-3	範囲外	範囲外	①	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-	f-②-1-2	参考2-140			
			②	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-	f-②-1-3	参考2-140			
			③	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37			
			④	13.41	13.45	NSW	5	76W	60	無	-	70R	-	f-15-3	参考2-132			
⑤	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL	f-④-3-1	参考2-143						

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			変位センサ N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 右断層 LL: 左横ずれ	連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向							
				(m)	(m)														
H20-④-6	-	-	①	14.94	14.98	N55E	-	69S	-	有	有	36R	①N,LL	f-④-6-3	参考2-144				
H19-No.16	範囲外	-	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	②有 ③無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185			
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147		
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	②有 ③有	-	-	-	-	-	f-17-2	参考2-132		
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91		
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	②有 ③有	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	-	-	-	-	-	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-	-	-	-	-	-	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	②無 ③有	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無	-	-	-	-	-	-	-	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無	-	-	-	-	-	-	-				
H19-No.17	-	-	①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-	-	-	-	-	-			
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無	-	-	-	-	-	-	-		
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無	-	-	-	-	-	-	-		
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無	-	-	-	-	-	-	-		
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有	有	-	-	-	-	-	-		
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	②有 ③無	-	-	-	-	-	-	-		
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有	有	-	-	-	-	-	-		
H19-No.15	-	-	①	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有	無	-	-	-	-	-			
			②	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有	無	-	-	-	-	-	-		
			③	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無	-	-	-	-	-	-		
			④	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑤	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑥	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑦	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	②有 ③無	-	-	-	-	-	-	-		
			⑧	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	-	-	-	-	-	-		
			⑨	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	-	-	-	-		
H19-No.2	-	-	①	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	-	-	-	-		
			②	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	②有 ③無	-	-	-	-	-	-			
			③	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-	-	-	-			
			④	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	-	-	-	-	-			
			⑤	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	-	-	-	-	-			
			⑥	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無	-	-	-	-	-			
			⑦	149.71	149.84	N1E	⑤54	72W	39	有	有	-	-	-	-	-			
			⑧	186.53	186.58	N21E	⑥34	70W	⑦41	有	無	-	-	-	-	-			
			⑨	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	②有 ③無	-	-	-	-	-	-			
			⑩	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	-	-	-	-	-			
H20-④-1	-	-	①	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	-	-	-	-	-			
			②	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	-	-	-	-	-			
			③	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126		
			④	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
H20-④-3	-	-	①	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140		
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140		
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37		
①	13.41	13.45	NSE	⑧50	76W	60	無	-	-	70R	-	-	-	f-15-3	参考2-132				
②	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL	-	-	f-④-3-1	参考2-143					

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センサ)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センサが類似する可能性があるもの

498(分類A)①
連続評価に関するデータを拡充するために追加した変位センサを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

499, 501, 503, 505, 507, 509, 511, 519(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

500, 502, 504, 506, 508, 510, 512, 520(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

513, 515(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

514, 516(分類D)⑤
当該破碎部の走向の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

517(分類A)⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

518(分類D)⑦
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。

521(分類A)⑧
走向について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

522(分類D)⑨
当該破碎部の走向の誤りを修正したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	-	f-④-1-2	参考2-141		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	x	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-	-	f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37	
	H19-No.15	範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-	-	f-14-5	参考2-131	
			①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-	-	f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-	-	f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-	-	f-④-3-1	参考2-143	
	H20-③-1	範囲外	④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL	-	f-15-3	参考2-132	
			①	8.18	8.22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-	-	f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-	-	f-③-1-2	参考2-141	
				③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-	D-2	参考2-87	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-1, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	① N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	NS E	13	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	x	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	x	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.15	範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
			①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
	H20-③-1	範囲外	④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
			①	8.18	8.22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
②			18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
③			33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの^②

523(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

524(分類E)②
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-3, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ						
				(m)	(m)													
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E	64W		有	無	50L	-		f-④-3-1	参考2-143			
	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143		
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37		
			⑥	123.32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131		
	H19-No.15		範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
				②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
		③		46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143		
④		97.82		97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132			
H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141			
		②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141			
		③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-3, ②)

525(分類A)①

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・断層角稜の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向							
				(m)	(m)													
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E	64W		有	無	50L	① N,R,L		f-④-3-1	参考2-143			
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143		
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,R,L		D-1	参考2-37		
	H19-No.15		範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
				②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
				③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
		④		97.82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132		
H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141			
		②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141			
		③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ							
				(m)	(m)															
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有	無	90	-	f-④-6-4	参考2-144					
H19-No.13	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-	D-2	参考2-86					
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	無	-	70L	-	D-3	参考2-87					
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130					
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129					
			①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-	f-14-1	参考2-131					
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131					
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-	D-20	参考2-101					
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143					
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37				
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131					
			H19-No.15	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
						②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	x	f-15-2	参考2-131	※4
						③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143	※4
						④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL	-	f-15-3	参考2-132	
			H20-③-1	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	97	73S	4	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
②	18.46	18.53				N59E	41	61N	42	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141					
③	33.95	34.50				N2E	16	80W	3	有	有	85R	-	D-2	参考2-87					

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-6, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	① 有	② 有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	x	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	x	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	③ 83	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
②			18.46	18.53	N59E	41	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141		
③			33.95	34.50	④ N1E ⑤ 17		80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±2

- 526(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。
- 527(分類A)②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。
- 528(分類C)③
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
- 529(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
- 530(分類D)⑤
当該破碎部の走向の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-	f-4-5	参考2-126		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	45L	-	f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-	D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143		
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37		
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131		
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
			②	25.83	25.93	NGE	77	89E	3	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131		
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	N,LL or R,RL	f-15-3	参考2-132		
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141		
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-	D-2	参考2-87		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

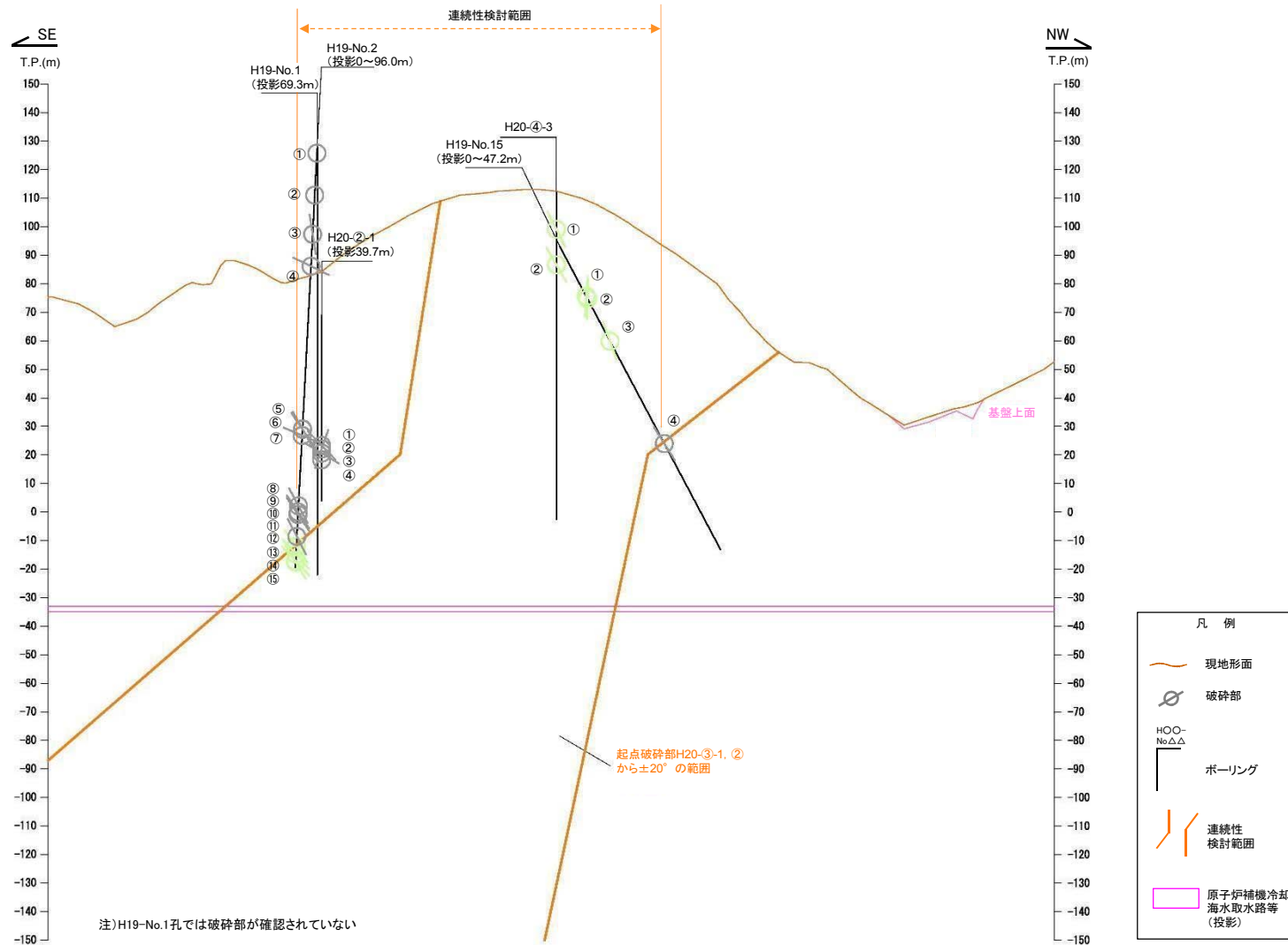
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-	f-4-5	参考2-126		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-	D-2	参考2-86		
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-	D-3	参考2-87		
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-	f-13-3	参考2-130		
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-	f-12-4	参考2-129		
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	45L	-	f-14-1	参考2-131		
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-	f-14-2	参考2-131		
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-	D-20	参考2-101		
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-	f-④-5-3	参考2-143		
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL	D-1	参考2-37		
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-	f-14-5	参考2-131		
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131		
			②	25.83	25.93	NGE	77	89E	3	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131		
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	① N,LL	f-15-3	参考2-132		
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-	f-③-1-1	参考2-141		
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141		
③			33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-	D-2	参考2-87			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

531(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ②)

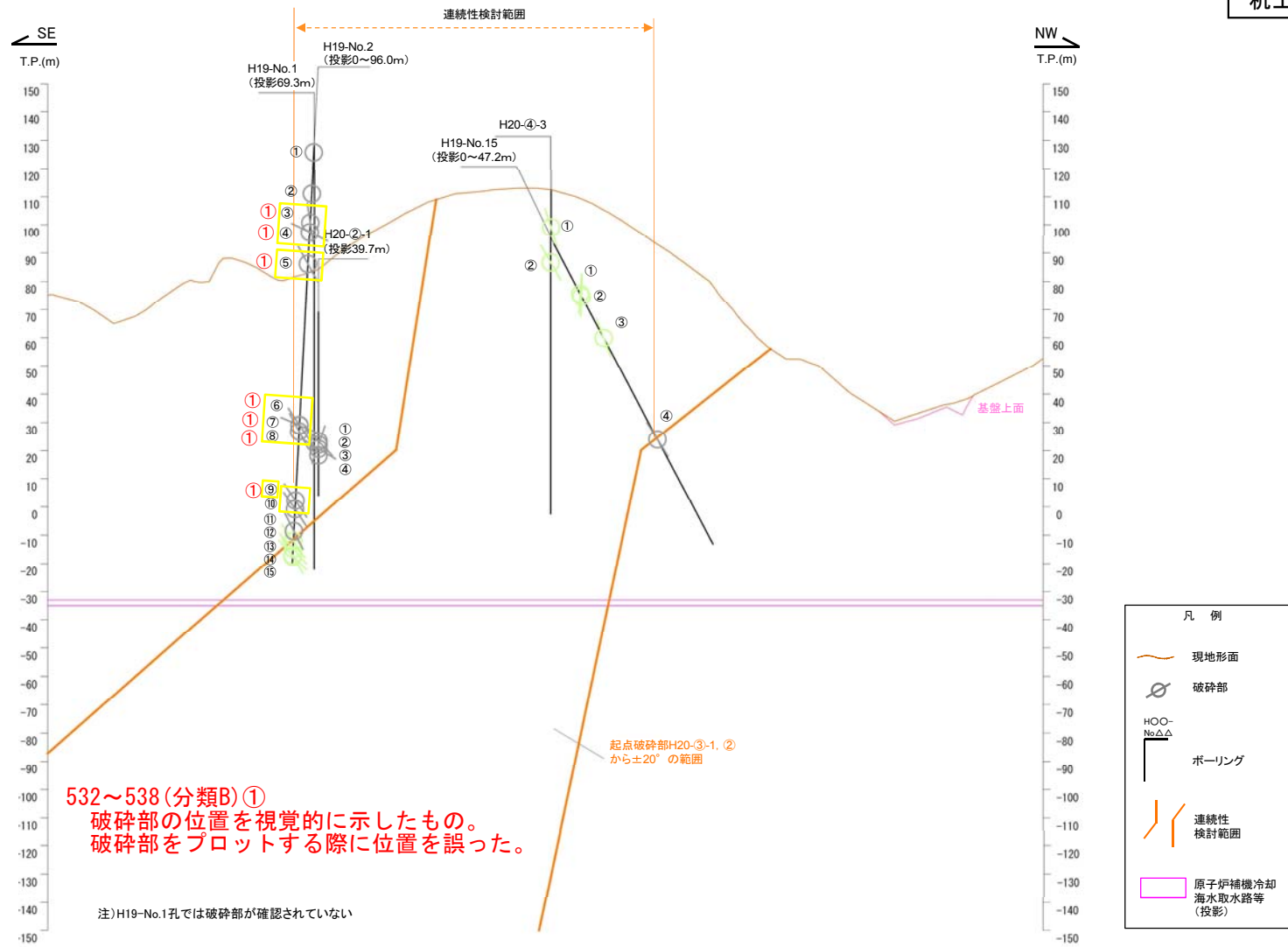


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



532~538 (分類B) ①
破碎部の位置を視覚的に示したものの。
破碎部をプロットする際に位置を誤った。

注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角噪の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ						
				(m)	(m)														
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90	-	f-③-1-2	参考2-141				
H19-No.15	範囲内	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L	-	f-15-1	参考2-131				
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L	-	f-15-2	参考2-131				
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	無	-	73L	-	f-④-3-1	参考2-143				
			④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R	N,LL	-	f-15-3	参考2-132			
			⑤	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131			
	H19-No.2	範囲外	範囲外	⑥	24.38	24.46	-	-	-	-	無	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
				⑦	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	無	-	59R	-	f-15-1	参考2-131			
				⑧	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
				⑨	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L	-	f-14-1	参考2-131			
				⑩	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R	-	f-2-3	参考2-125			
				⑪	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R	-	D-20	参考2-101			
				⑫	149.71	149.84	N2W	61	72W	11	有	有	70L	N	-	D-1	参考2-37		
				⑬	186.53	186.58	N15E	44	61W	0	有	無	36L	N,RL	-	D-2	参考2-87		
				⑭	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	無	-	73L	-	-	f-2-7	参考2-125		
				⑮	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125		
		範囲内	範囲内	範囲内	⑯	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L	-	D-3	参考2-88		
					⑰	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125	
					⑱	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126	
					⑲	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126	
					⑳	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140	
H20-②-1	範囲外	範囲外	㉑	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140			
			㉒	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140			
			㉓	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37		
			㉔	13.41	13.45	N5W	64	76W	15	無	-	70R	-	-	f-15-3	参考2-132			
H20-④-3		範囲内	②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L	N,RL	-	f-④-3-1	参考2-143			

() の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向				
				(m)	(m)											
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90				
H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L					
		②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L					
		③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	①有 ②無		73L					
	範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R					
		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-					
		②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-					
		③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	①有 ②無		59R					
		④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-					
		⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L					
		⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R					
		⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R					
		⑧	149.71	149.84	③N1E ④58	72W	11	有	有	70L						
		⑨	186.53	186.58	③N21E ④38 ⑤70W ⑥9			有	無	36L						
		⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	①有 ②無		73L					
		⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L					
⑫	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L							
範囲内	⑬	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)						
	⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L						
	⑮	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R						
	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L						
範囲外	②	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R						
	③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L						
	④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-						
	①	13.41	13.45	⑦N5E ⑧54	76W	15	無	-	70R							
H20-④-3		範囲内	②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L				

539, 541, 549 (分類A) ①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

540, 542, 550 (分類A) ②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

543, 545 (分類A) ③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

544, 546 (分類D) ④
当該破碎部の走向の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

547 (分類A) ⑤
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

548 (分類D) ⑥
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。

551 (分類A) ⑦
走向について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

552 (分類D) ⑧
当該破碎部の走向の誤りを修正したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

553 (分類E) ⑨
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.15	-	-	④	97.82	97.85	N17E		64W		有	無	23R	-	f-15-3	参考2-132		
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	81	45S	19	有	無	-	-	f-④-2-1	参考2-143		
			②	18.03	21.78	N31W	48	73W	9	有	無	65L	-	D-20	参考2-100		
			③	23.27	23.31	N8W	25	73W	9	有	有	47L	-	f-④-1-2	参考2-141		
		範囲外	④	39.78	39.98	N11E	6	78W	14	無	-	75L	-	f-④-1-3	参考2-141		
			⑤	58.87	59.39	N17E	0	70W	6	有	無	45R	-	f-④-1-4	参考2-142		
			⑥	63.91	64.44	N19E	2	68W	4	有	無	80L	-	D-21	参考2-102		
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	77	42S	22	有	無	-	-	f-④-2-1	参考2-142		
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
	範囲外	④	74.45	74.50	N4W	21	67W	3	無	-	-	-	f-④-1-3	参考2-141			
		⑤	82.34	82.41	N4W	21	67W	3	無	-	5L	-	f-④-2-3	参考2-142			
	H20-④-4		①	24.56	24.59	N4E	13	71W	7	有	無	-	-	非モデル化	参考2-188		
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	73	70S	6	有	有	40L (不明瞭)	-	D-20	参考2-100		
			②	24.96	25.12	N11E	6	62W	2	有	無	90	-	D-21	参考2-102		
			③	38.73	38.74	N9E	8	70W	6	有	無	10L	-	f-④-9-1	参考2-143		
	範囲外	④	51.86	52.16	N11W	28	68W	4	有	有	30L	-	f-④-5-3	参考2-143			
		①	3.76	4.09	N60W	77	78S	14	有	無	20R	-	f-④-6-1	参考2-143			
H20-④-6	範囲内	②	7.94	9.00	N71W	88	79S	15	有	無	65R	-	f-④-6-2	参考2-144			
		③	14.94	14.98	N55E	38	69S	47	有	有	36R	N,LL	f-④-6-3	参考2-144			
		④	25.70	25.80	N18E	1	77W	13	有	無	90	-	f-④-6-4	参考2-144			
H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	70	80S	16	有	有	80L	-	f-④-7-1	参考2-144			

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破砕部:H19-No.15, ④)

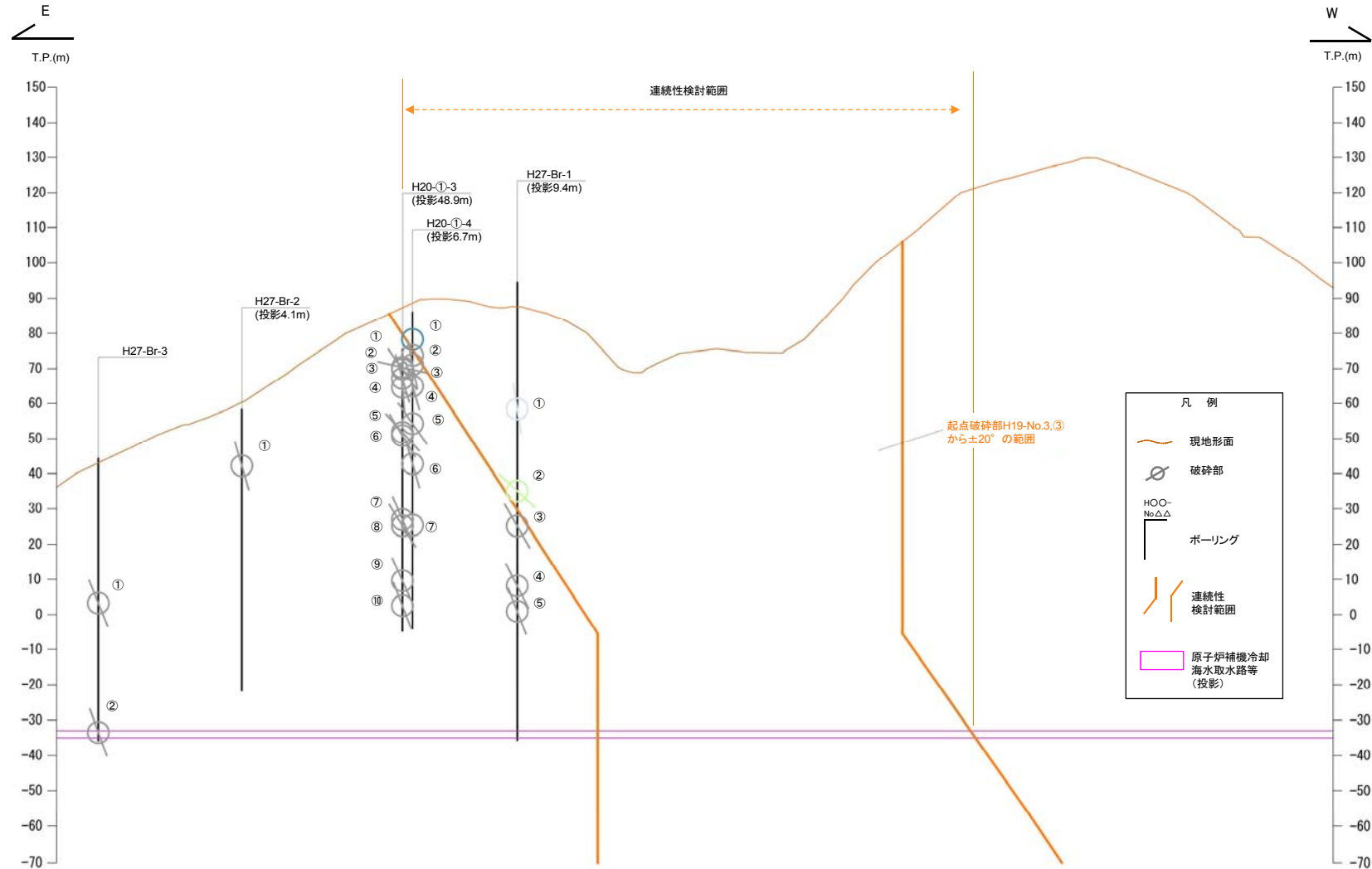
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ 逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.15	-	-	④	97.82	97.85	N17E		64W				23R	① N,LL		f-15-3	参考2-132	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	81	45S	19	有	無	-	-	-	f-④-2-1	②参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	48	73W	9	有	無	65L	① N,R,L		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	25	73W	9	有	有	47L	① N,R,L		f-④-1-2	参考2-141	
		範囲外	④	39.78	39.98	N11E	6	78W	14	無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	58.87	59.39	N17E	0	70W	6	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	2	68W	4	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	77	42S	22	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
	範囲外	④	74.45	74.50	N4W	21	67W	3	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141		
		⑤	82.34	82.41	N4W	21	67W	3	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142		
	H20-④-4		①	24.56	24.59	N4E	13	71W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	73	70S	6	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	6	62W	2	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲外	③	38.73	38.74	N9E	8	70W	6	有	無	10L	-		f-④-9-1	②参考2-144	
	④		51.86	52.16	N11W	28	68W	4	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143		
	H20-④-6	範囲内	①	3.76	4.09	N60W	77	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
②			7.94	9.00	N71W	88	79S	15	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144		
③			14.94	14.98	N55E	38	69S	47	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144		
④			25.70	25.80	N18E	1	77W	13	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144		
H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	70	80S	16	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144		

- ① : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

554, 556, 557(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

555, 558(分類A)②
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.3, ③)

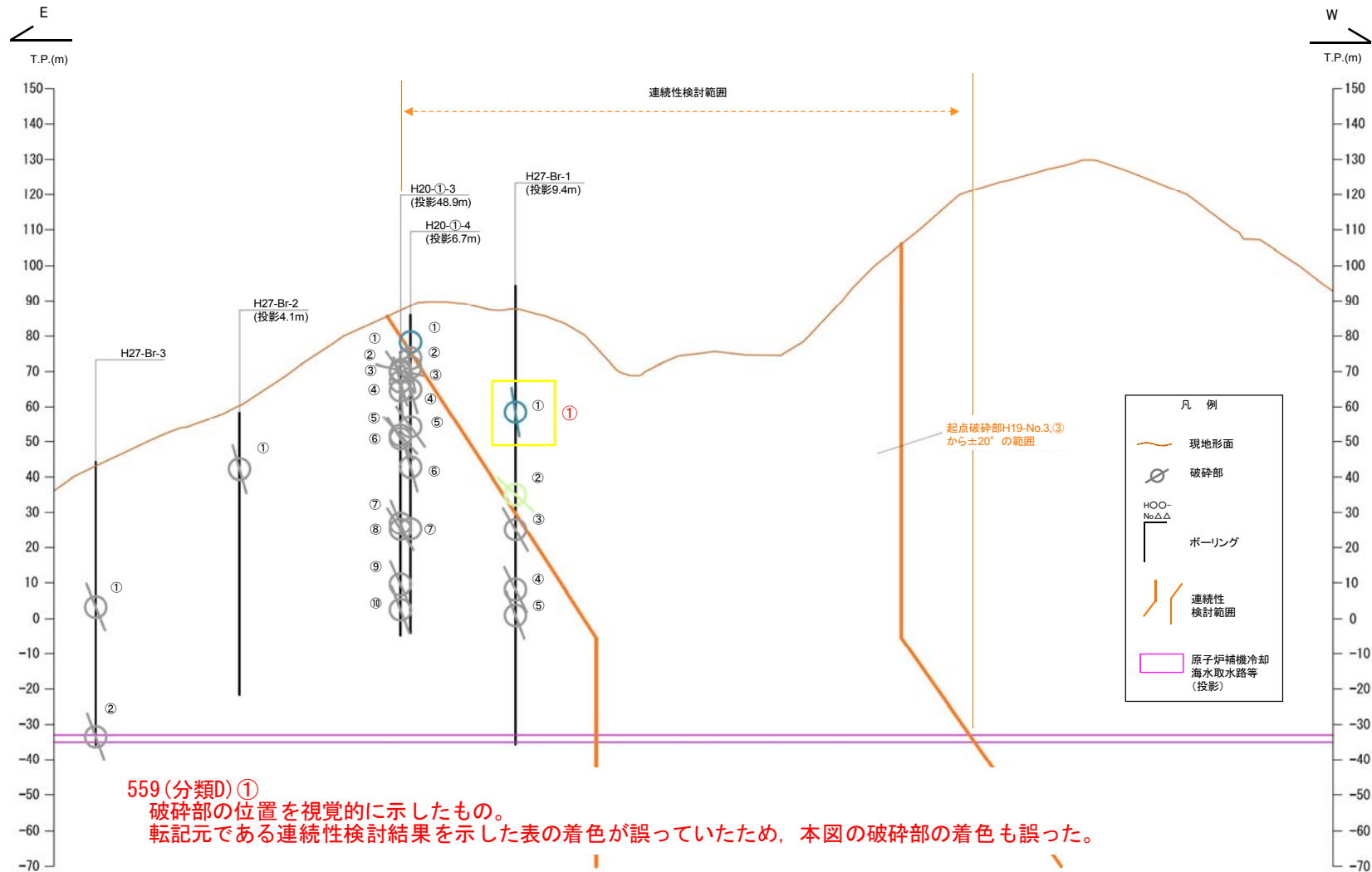


破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.3, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



559(分類D)①
破碎部の位置を視覚的に示したものを。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.3, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ			
				(m)	(m)															
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		無	-	75L	-	f-2-10	参考2-125					
H27-Br-1	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	有	有	76R	N	D-3	参考2-88					
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N	f-br-1-2	参考2-176					
			③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有	有	45L	N,RL	f-br-1-3	参考2-176					
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有	有	20L	RL	f-br-1-4	参考2-176					
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有	有	20R	RL	f-br-1-5	参考2-176					
			H27-Br-2	H27-Br-2	範囲内	①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有	有	80L	N	D-7	参考2-90		
						②	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			H27-Br-3	H27-Br-3	範囲内	②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有	無	90	-	D-43	参考2-118		
						①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有	無	-	-	非モデル化	参考2-187		
			H20-①-3	H20-①-3	範囲外	②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-187	
						③	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有	有	55L	N,RL	D-6	参考2-58		
						④	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有	無	50L	-	f-①-3-4	参考2-139		
						⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有	無	15R	-	f-①-3-5	参考2-139		
						⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有	有	10R	-	f-①-3-6	参考2-139		
						⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有	無	35R	-	f-①-3-7	参考2-139		
						⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有	無	85R	-	f-①-3-8	参考2-139		
						⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有	有	85L	-	D-19	参考2-99		
						⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有	無	55L	-	f-①-1-3	参考2-138		
						H20-①-4	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	x
			②	12.25	12.26				-	-	(64)	13	有	無	-	-	f-①-2-2	参考2-138		
			③	12.70	15.25				N32E	15	80W	3	有	有	70L	N	D-6	参考2-59		
④	21.10	21.15	N19E	2	74W				3	有	無	90	-	f-①-4-3	参考2-140					
⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W				22	無	-	45L	-	f-①-3-5	参考2-139					
⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W				1	有	無	70R	-	D-19	参考2-99					
⑦	60.47	60.67	-	-	(66)				11	有	無	-	-	f-①-1-3	参考2-138					

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状(断層カウジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し,条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.3, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ								
				(m)	(m)																
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		① 有	② 有	75L	-		f-2-10	参考2-125					
H27-Br-1	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	③ 有	③ 有	① 76R	③ N	④ x	D-3	参考2-88					
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176					
			③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有	560(分類A)① H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。										
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有	561(分類A)② H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。										
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有	562, 564(分類D)③ 起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。										
			H27-Br-2	①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有	563(分類D)④ 起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。									
			H27-Br-3	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有	565(分類E)⑤ 凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。							
						②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有								
						③	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有								
						④	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無								
						⑤	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有								
						⑥	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有								
						⑦	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有								
						⑧	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有								
						⑨	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有								
						⑩	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有								
			H20-①-3	H20-①-3	範囲外	①	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有								
						②	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有								
						③	3.93	7.70	-	-	(85)	8	③ 有								
						④	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有								
⑤	12.70	15.25				N32E	15	80W	3	有											
⑥	21.10	21.15				N19E	2	74W	3	有											
⑦	31.63	31.87				N6E	11	55W	22	無											
⑧	41.41	43.24				N36E	19	76W	1	有											
H20-①-4	H20-①-4	範囲外	⑥	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有											
			⑦																		

()の傾斜角:ボーリングコア観察

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの⑤

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-6, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角稜の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H20-①-6	-	-	①	14.41	14.42	N53W		60S		無	-	66R	-		D-43	参考2-118		
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	76	73NW	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
		範囲内	②	77.72	77.90	N38W	15	76SW	16	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118		
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	62	77SW	17	有	有	70L	N		D-7	参考2-91		
			②	65.81	67.33	N23E	76	78SW	18	無	-	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲外	①	21.26	21.33	N45E	82	79SW	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
			②	66.50	66.77	N48E	79	80SW	20	有	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	60	81SW	21	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	47	82SW	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177		
				③	89.68	90.32	N31E	84	83SW	23	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-3, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	
				(m)	(m)													
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5W	-	76W	-	無	-	70R	-	f-15-3	参考2-132			
H19-No.16		範囲外	②	16.01	17.82	-	-	(60)	16	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185		
			③	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147		
			④	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-	-	f-17-2	参考2-132		
		範囲内	⑤	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑥	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-	-	D-12	参考2-91		
			⑦	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑧	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑨	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-	-	D-47	参考2-120		
			⑩	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑪	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	
			⑫	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑬	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93	
			⑭	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑯	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑰	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑱	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-	-	×	D-18	参考2-98	
			⑲	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑳	210.70	210.71	-	-	(84)	8	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			H19-No.17		範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無	-	20L	-	f-⑥-3-2	参考2-147
②	32.54	32.75				N35E	40	51W	25	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132		
範囲内	③	55.45			55.46	N39E	44	52W	24	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	④	61.89			62.22	N28E	33	50W	26	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186		
	⑤	68.84			69.25	N10E	15	62W	14	有	有	38R	-	-	D-11	参考2-91		
	⑥	70.92			70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-	-	D-12	参考2-91		
	⑦	75.60			75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-	-	D-14	参考2-65		
	⑧	82.83			85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-	-	D-47	参考2-120		
	⑨	114.31			115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	N,RL	-	D-15	参考2-93		
	⑩	117.77			117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
	⑪	118.22			118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
	⑫	118.66			119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-	-	×	D-18	参考2-98	
	⑬	144.35			144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-④-3, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ			
				(m)	(m)															
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5E	-	76W	-	無	-	70R	-	f-15-3	参考2-132					
H19-No.16	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	①有 ②無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185				
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147			
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-	-	-	f-17-2	参考2-132			
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91			
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91			
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65			
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-	-	-	D-47	参考2-120			
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185			
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93			
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1		
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1		
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-	-	×	D-18	参考2-98			
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	8	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1		
			H19-No.17	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無	-	20L	-	-	f-⑥-3-2	参考2-147	
		②				32.54	32.75	N35E	40	51W	25	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132		
		範囲内			③	55.45	55.46	N39E	44	52W	24	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
					④	61.89	62.22	N28E	33	50W	26	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186	
⑤	68.84				69.25	N10E	15	62W	14	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91			
⑥	70.92				70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91			
⑦	75.60				75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65			
⑧	82.83				85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-	-	-	D-47	参考2-120			
⑨	114.31				115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	-	N,RL	-	D-15	参考2-93			
⑩	117.77				117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	-	×	D-16	参考2-93	※1		
⑪	118.22				118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	-	×	D-17	参考2-98	※1		
⑫	118.66				119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98			
⑬	144.35				144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの ③

580 (分類A) ①

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

581 (分類A) ②

H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

582 (分類E) ③

凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-①-10, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス
				(m)	(m)												
H20-①-10	-	-	⑤	55.99	56.05	N34E	18	83W	2	有	無	5L	-	D-46	参考2-119		
H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	18	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88		
		②	59.18	59.27	N31E	3	45W	38	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
		③	67.63	70.76	N42E	8	64NW	19	有	有	45L	N,RL	x	f-br-1-3	参考2-176		
		④	85.90	87.85	N34E	0	65W	18	有	有	20L	RL	x	f-br-1-4	参考2-176		
		⑤	93.36	93.45	N46E	12	73W	10	有	有	20R	RL	x	f-br-1-5	参考2-176	※4	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	34	74W	9	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	17	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	72	76SW	7	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	49	40N	43	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	23	55W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	22	74W	9	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
		範囲外	④	11.06	11.17	N11W	45	85W	2	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	22	48W	35	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	60	64W	19	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	1	69W	14	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	4	61W	22	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	15	71N	12	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	6	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	2	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
②			12.25	12.26	-	-	(64)	19	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※4	
③			12.70	15.25	N32E	2	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④			21.10	21.15	N19E	15	74W	9	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140		
範囲外		⑤	31.63	31.87	N6E	28	55W	28	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139		
		⑥	41.41	43.24	N36E	2	76W	7	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
		⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	17	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破砕部:H20-①-10, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス
				(m)	(m)												
H20-①-10	-	-	⑤	55.99	56.05	N34E		83W		有	無	5L	① LL	D-46	参考2-119		
H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	18	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88		
		②	59.18	59.27	N31E	3	45W	38	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176		
		③	67.63	70.76	N42E	8	64NW	19	有	有	45L	② N,RL	③	f-br-1-3	参考2-176		
		④	85.90	87.85	N34E	0	65W	18	有	有	20L	② RL	③	f-br-1-4	参考2-176		
		⑤	93.36	93.45	N46E	12	73W	10	有	有	20R	② RL	③	f-br-1-5	参考2-176	③	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	34	74W	9	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	17	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	72	76SW	7	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	49	40N	43	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	23	55W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	22	74W	9	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	45	85W	2	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
		範囲外	⑤	23.28	23.62	N12E	22	48W	35	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	60	64W	19	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	1	69W	14	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	4	61W	22	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	15	71N	12	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	6	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	2	有	無	-	-	x	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	19	有	無	-	-	x	f-①-2-2	参考2-138	※4
③			12.70	15.25	N32E	2	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59		
④			21.10	21.15	N19E	15	74W	9	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140		
範囲外		⑤	31.63	31.87	N6E	28	55W	28	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139		
		⑥	41.41	43.24	N36E	2	76W	7	有	無	70R	-		D-19	参考2-99		
		⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	17	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

583(分類A)①

連続評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

584~586(分類D)②

起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

587~590(分類D)③

起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより, 起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため, 連続性検討結果を削除したもの。 参考1-425

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ		
				(m)	(m)														
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E	-	77W	-	無	-	5L	-	f-14-1	参考2-131				
H19-No.2	範囲内	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	x	f-15-2	参考2-131	※4		
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※4	
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	-	有	無	59R	-	-	f-15-1	参考2-131		
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	-	無	-	43L	-	-	○	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	-	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	-	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	-	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	-	有	無	36L	N,RL	-	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	-	有	無	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	-	有	無	23L	N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	-	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			H20-②-1	範囲外	範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125
⑭	215.42	215.46				N9W	20	64W	13	-	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126		
⑮	216.15	216.24				N26E	15	61W	16	-	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126		
①	45.13	46.34				N3W	14	60W	17	-	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
②	46.85	46.97				N63E	52	71S	6	-	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140		
H19-No.3	範囲外	範囲外	③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140			
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	-	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37		
			①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	-	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88		
H19-No.4	範囲外	範囲外	③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125			
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	-	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
			①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	-	有	無	50L	-	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	-	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125		
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	-	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126		
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	-	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129		
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	-	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	-	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126		
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	-	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89		
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	-	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126		
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	-	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	-	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130		
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	-	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	-	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127		
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	-	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127		
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	-	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90		
⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	-	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127					
⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	-	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127					

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状(断層ガワジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し,条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.14, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ	
				(m)	(m)													
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E	-	77W	-	① 有	② 無	5L	-	f-14-1	参考2-131			
H19-No.2	範囲内	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	③ 無	③ -	-	-	x	f-15-2	参考2-131	※4	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	-	③ 有	③ 無	59R	-	-	f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	-	③ 無	③ -	43L	-	○	f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	-	有	無	35R	-	-	f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	-	有	無	76R	-	-	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	-	有	有	70L	N	-	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	-	有	無	36L	N,RL	-	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	-	有	無	73L	-	-	f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	-	有	無	23L	N,RL	-	f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	-	有	有	60L	-	-	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	-	有	無	84R (不明瞭)	-	-	f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	-	有	無	74L	-	-	f-2-11	参考2-126	
⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	-	無	-	84R	-	-	f-2-12	参考2-126				
H20-②-1	範囲外	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	14	60W	17	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	6	-	有	無	36R	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	-	有	有	65L	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	-	有	有	-	N,RL	-	D-1	参考2-37	
H19-No.3	範囲外	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	-	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	-	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
H19-No.4	範囲外	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	④ 有	50L	-	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	-	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	-	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	-	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	-	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	-	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	-	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	-	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	-	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	-	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	-	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	-	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	-	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127	
⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	-	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90				
⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	-	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127				
⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	-	無	-	20R	-	-	f-6-2	参考2-127				

591(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

592(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

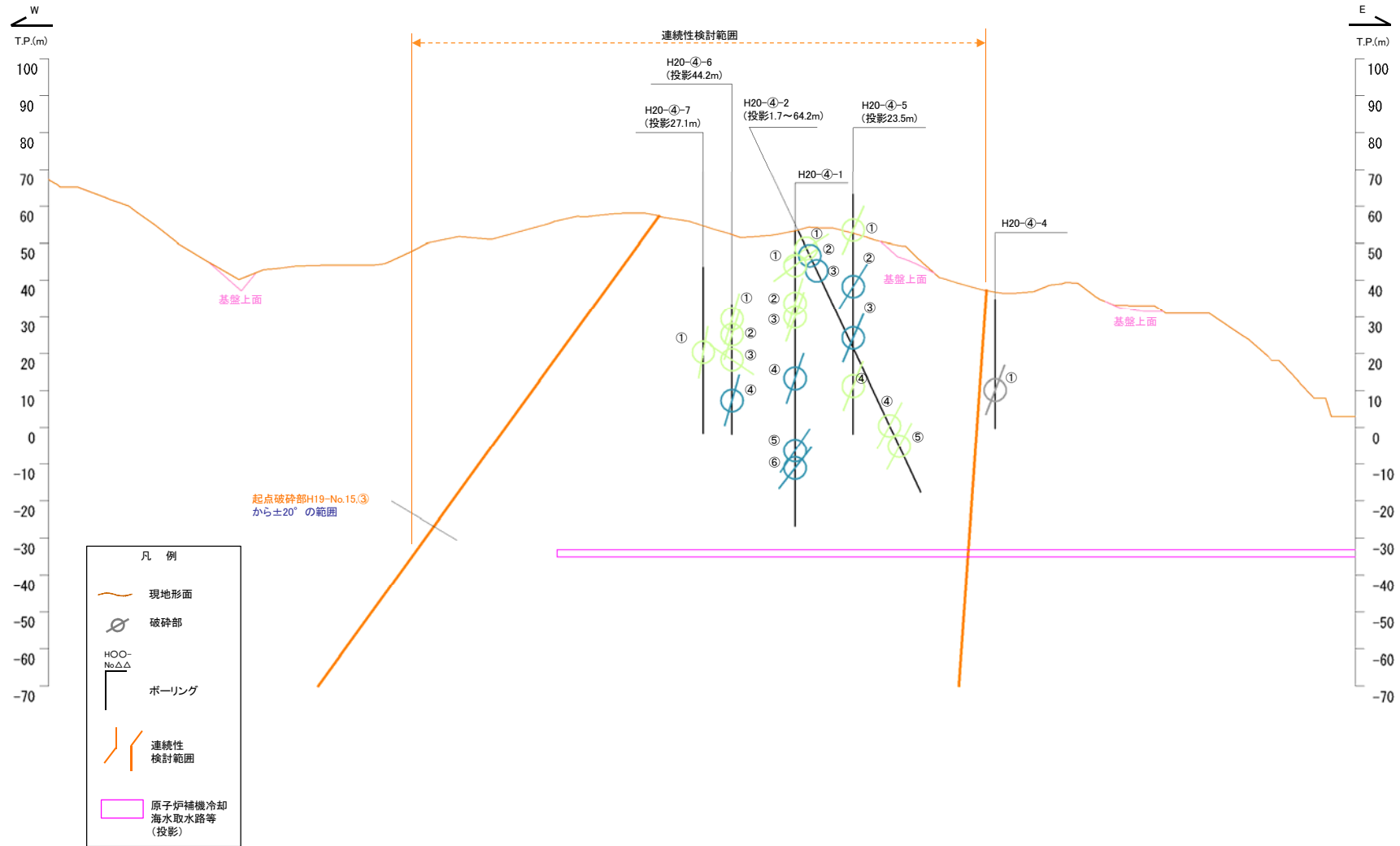
593~596(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

597(分類A)④

明瞭なせん断構造・変形構造の有無について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ③)

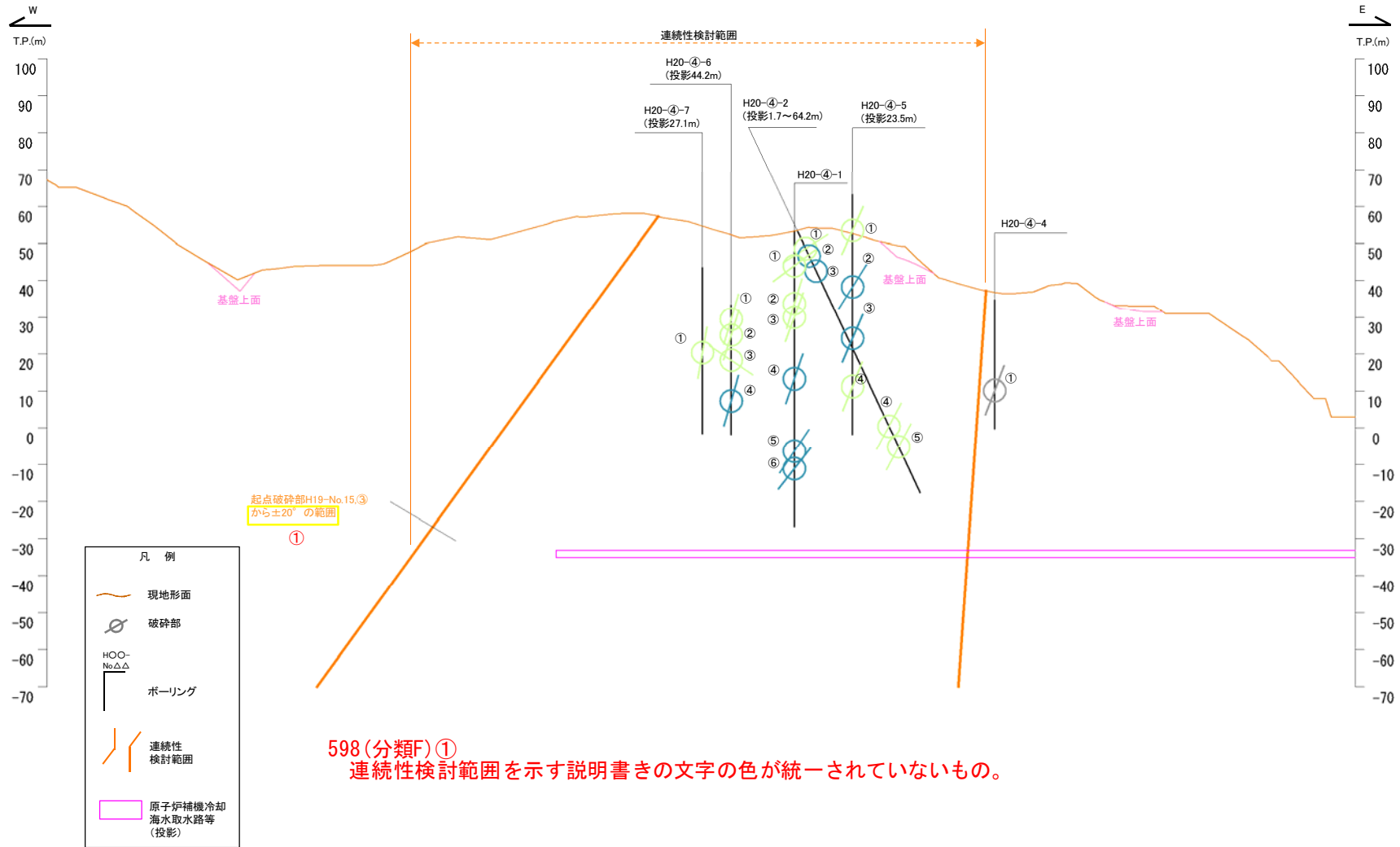


破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



598(分類)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:右横ずれ LL:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.15	-	-	③	46.92	46.93	N20E		74W		無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	78	45S	29	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21.78	N31W	51	73W	1	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	28	73W	1	有	有	47L	N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
			④	39.78	39.98	N11E	9	78W	4	無	-	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	3	70W	4	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	1	68W	6	有	無	80L	-	x	D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲外	①	6.00	6.12	N86W	74	42S	32	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	24	67W	7	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
	H20-④-4	範囲外	①	82.34	82.41	N4W	24	67W	7	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
			②	24.56	24.59	N4E	16	71W	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
			③	7.85	9.71	N56W	76	70S	4	有	有	40L	-		D-20	参考2-100	
	H20-④-5	範囲内	①	24.96	25.12	N11E	9	62W	12	有	無	90	-	x	D-21	参考2-102	
			②	38.73	38.74	N9E	11	70W	4	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			③	51.86	52.16	N11W	31	68W	6	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6	範囲内	①	3.76	4.09	N60W	80	78S	4	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
②			7.94	9.00	N71W	89	79S	5	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144		
③			14.94	14.98	N55E	35	69S	37	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144		
④			25.70	25.80	N18E	2	77W	3	有	無	90	-	x	f-④-6-4	参考2-144	※4	
H20-④-7	-	-	①	22.75	23.53	N53W	73	80S	6	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H19-No.15, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.15	-	-	③	46.92	46.93	N20E		74W		① 有	② 無	73L	-	f-④-3-1	参考2-143		
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	78	45S	29	有	無	-	-	f-④-2-1	⑤参考2-142		
			②	18.03	21.78	N31W	51	73W	1	有	無	65L	N,RL	D-20	参考2-100		
			③	23.27	23.31	N8W	28	73W	1	有	有	47L	N,RL	f-④-1-2	参考2-141		
			④	39.78	39.98	N11E	9	78W	4	③ 無	③ -	75L	-	x	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	3	70W	4	③ 有	③ 無	45R	-	-	f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	1	68W	6	③ 有	③ 無	80L	-	x	D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	74	42S	32	有	無	-	-	f-④-2-1	参考2-142		
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	x	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	x	f-④-1-2	参考2-141	※1
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	16	71W	3	有	無	-	-	非モデル化	参考2-188		
			②	7.85	9.71	N56W	76	70S	4	有	有	40L (不明瞭)	-	-	D-20	参考2-100	
	H20-④-5	範囲内	①	24.96	25.12	N11E	9	62W	12	③ 有	③ 無	90	-	x	D-21	参考2-102	
			②	38.73	38.74	N9E	11	70W	4	③ 有	③ 無	10L	-	-	f-④-9-1	⑤参考2-144	
			③	51.86	52.16	N11W	31	68W	6	有	有	30L	-	-	f-④-5-3	参考2-143	
			④	3.76	4.09	N60W	80	78S	4	有	無	20R	-	-	f-④-6-1	参考2-143	
H20-④-6	範囲内	①	7.94	9.00	N71W	89	79S	5	有	無	65R	-	-	f-④-6-2	参考2-144		
		②	14.94	14.98	N55E	35	69S	37	有	有	36R	N,LL	-	f-④-6-3	参考2-144		
		③	25.70	25.80	N18E	2	77W	3	③ 有	③ 無	90	-	x	f-④-6-4	参考2-144	※4	
H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	73	80S	6	有	有	80L	-	-	f-④-7-1	参考2-144		

599 (分類A) ①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

600 (分類A) ②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

601～605, 607～609 (分類D) ③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

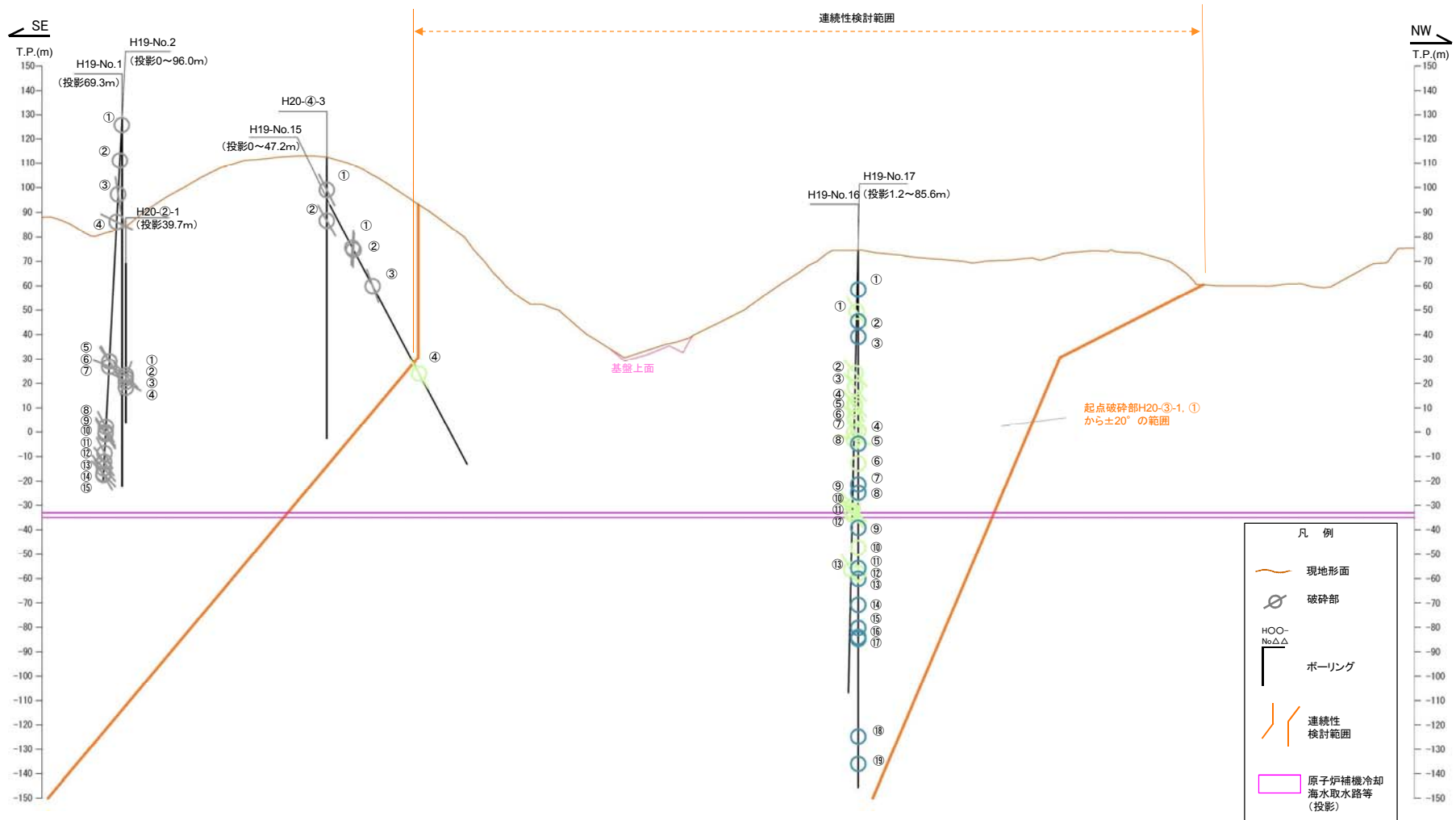
606 (分類E) ④

表の行の高さが足りず、文字が見切れていたもの。

610, 611 (分類A) ⑤

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ①)

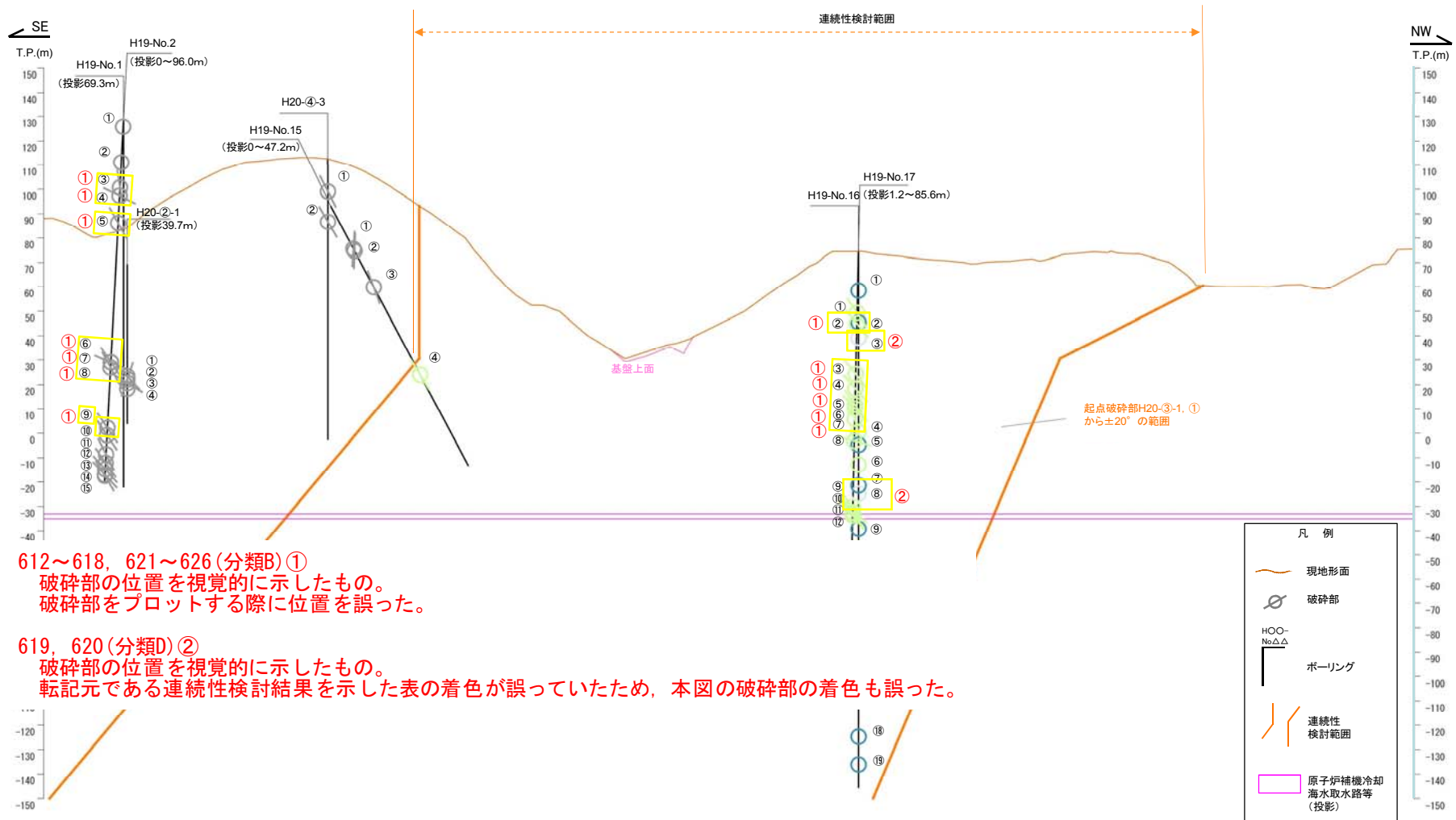


注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	：起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ①)



612~618, 621~626(分類B) ①
破碎部の位置を視覚的に示したものの、
破碎部をプロットする際に位置を誤った。

619, 620(分類D) ②
破碎部の位置を視覚的に示したものの、
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。



注)H19-No.1孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層カワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センサ								
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ					R:逆断層 LL:左横ずれ			
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W	-	73S	-	-	50L	-	-	f-③-1-1	参考2-141						
H19-No.16	範囲内		②	16.01	17.82	-	-	(60)	13	無	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1				
			③	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	-	x	f-③-3-2	参考2-147	※1			
			④	35.33	35.35	-	-	(60)	13	無	-	-	-	-	x	f-17-2	参考2-132	※1			
			⑤	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-	-	-	D-11	参考2-91				
			⑥	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	-	-	D-12	参考2-91	※1			
			⑦	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-	-	-	D-14	参考2-65				
			⑧	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑨	93.75	96.18	-	-	(70)	3	無	-	-	-	-	-	x	D-47	参考2-120	※1		
			⑩	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑪	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185			
			⑫	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1		
			⑬	131.94	133.07	-	-	(49)	24	有	有	32L	N,RL	-	-	D-15	参考2-93				
			⑭	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑮	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑯	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-	-	-	-	-	x	D-16	参考2-93	※1		
			⑰	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-	-	-	-	-	x	D-17	参考2-98	※1		
			⑱	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-	-	-	-	-	x	D-18	参考2-98	※1		
			⑲	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1		
			⑳	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-186	※1		
			H19-No.17	範囲内		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-	20L	-	-	f-③-3-2	参考2-147		
②	32.54	32.75				N35E	66	51W	22	無	-	73R	-	-	f-17-2	参考2-132					
③	55.45	55.46				N39E	62	52W	21	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186				
④	61.89	62.22				N28E	73	50W	23	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186				
⑤	68.84	69.25				N10E	89	62W	11	有	有	38R	-	-	-	D-11	参考2-91				
⑥	70.92	70.94				N18E	83	53W	20	有	無	17R	-	-	-	D-12	参考2-91				
⑦	75.60	75.90				N14E	87	77W	4	有	無	12R	-	-	-	D-14	参考2-65				
⑧	82.83	85.61				N19W	60	36W	37	無	-	-	-	-	-	D-47	参考2-120				
⑨	114.31	115.63				N8W	71	67W	6	有	有	-	N,RL	-	-	D-15	参考2-93				
⑩	117.77	117.79				N11W	68	57W	16	有	無	81R	-	-	-	D-16	参考2-93				
⑪	118.22	118.25				N11E	90	59W	14	有	無	87R	-	-	-	D-17	参考2-98				
⑫	118.66	119.29				N14E	87	57W	16	有	無	1R	-	-	-	D-18	参考2-98				
⑬	144.35	144.37				N10E	89	65W	8	有	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-186			
H19-No.15	範囲外		①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	70L	-	-	f-15-1	参考2-131					
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無	71L	-	-	f-15-2	参考2-131					
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	無	-	73L	-	-	f-④-3-1	参考2-143					
H19-No.2	範囲外		④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	23R	N,LL	-	f-15-3	参考2-132					
			①	2.35	2.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	f-15-2	参考2-131				
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	無	-	59R	-	-	-	f-15-1	参考2-131				
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-	43L	-	-	-	f-14-1	参考2-131				
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	35R	-	-	-	f-2-3	参考2-125				
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	76R	-	-	-	D-20	参考2-101				
			⑧	149.71	149.84	N2W	77	72W	1	有	有	70L	N	-	-	D-1	参考2-37				
			⑨	186.53	186.58	N15E	86	61W	12	有	無	36L	N,RL	-	-	D-2	参考2-87				
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	無	-	73L	-	-	-	f-2-7	参考2-125				
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	23L	N,RL	-	-	f-2-8	参考2-125				
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	60L	-	-	-	D-3	参考2-88				
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	84R (不明瞭)	-	-	-	f-2-10	参考2-125				
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	74L	-	-	-	f-2-11	参考2-126				
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	61W	12	無	-	84R	-	-	-	f-2-12	参考2-126				
			H20-②-1			①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	80L	-	-	f-②-1-1	参考2-140		
						②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無	36R	-	-	-	f-②-1-2	参考2-140	
						③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	65L	-	-	-	f-②-1-3	参考2-140	
						④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	N,RL	-	-	D-1	参考2-37	
H20-④-3			①	13.41	13.45	NSW	74	76W	32	無	-	70R	-	-	f-15-3	参考2-132					
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無	50L	N,RL	-	-	f-④-3-1	参考2-143				

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カワジ・断層角縁の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センサ)が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角縁の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センサが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等, 起点破碎部:H20-③-1, ①)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考			
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス							
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ	R:逆断層 LL:左横ずれ	
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W	-	735	-	-	-	-	-	-	F-③-1-1	参考2-141				
H19-No.16	範囲内		①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	①②	③	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1		
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	無	-	-	-	-	x	F-③-3-2	参考2-147	※1	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	①②	③	②	②	-	-	-	F-17-2	参考2-132	④	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-	-	-	-	D-11	参考2-91		
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	-	-	x	D-12	参考2-91	※1	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-	-	-	-	D-14	参考2-65		
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	有	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	①②	③	②	②	-	-	-	D-47	参考2-120	④	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	-	-	x	非モデル化	参考2-185	※1	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-185	※1	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	①	無	③	-	-	-	-	-	-	-	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無	-	-	-	-	-	-	-	-				
H19-No.17	範囲内		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-	-	-	-	-	-	-			
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-	-	-	-	-	-	-	-		
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-	-	-	-	-	-	-	-		
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-	-	-	-	-	-	-	-		
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有	-	-	-	-	-	-	-		
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無	-	-	-	-	-	-	-		
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	無	-	-	-	-	-	-	-		
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	①	有	③	-	-	-	-	-	-		
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有	-	-	-	-	-	-	-		
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	無	-	-	-	-	-	-	-		
H19-No.15	範囲外		①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	-	-	-	-	-	-			
			②	25.83	25.93	NEE	85	89E	18	有	無	-	-	-	-	-	-			
	範囲内		③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	①	有	③	-	-	-	-	-			
			④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	-	-	-	-	-	-			
H19-No.2	範囲外		①	2.35	2.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	①	有	③	-	-	-	-	-			
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無	-	-	-	-	-	-			
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-	-	-	-	-	-	-			
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	-	-	-	-	-	-			
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	-	-	-	-	-	-			
			⑧	149.71	149.84	N1E	77	80	72W	1	有	有	-	-	-	-	-			
			⑨	186.53	186.58	N21E	77	80	870W	9	③	有	-	-	-	-	-			
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	有	有	-	-	-	-	-				
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	-	-	-	-	-				
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	-	-	-	-	-				
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	-	-	-	-	-				
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	-	-	-	-	-				
H20-③-1	範囲内		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	-	-	-	-	-				
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無	-	-	-	-					
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	-	-	-	-					
H20-④-3	範囲内		④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	-	-	-	-				
			⑤	13.41	13.45	N5E	84	76W	32	無	-	-	-	-	-	-				
			⑥	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無	-	-	-	-					

() の傾斜角: ボアリングコア観察結果による

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

627, 630, 635, 641, 643, 645, 647, 655(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

628, 631, 636(分類D)②
当該破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所着色が変わったもの。

629, 632, 637, 642, 644, 646, 648, 656(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

633, 634, 638, 639(分類D)④
当該破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補から外れたため、連続性検討結果を削除したもの。

640(分類E)⑤
連続性検討結果について、記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。

649, 651(分類A)⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

650, 652(分類D)⑦
当該破碎部の走向の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

653(分類A)⑧
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

654(分類D)⑨
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより、起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。

657(分類A)⑩
走向について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

658(分類D)⑪
当該破碎部の走向の誤りを修正したことにより、起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。

659(分類E)⑫
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため、文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑫)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H19-No.4	-	-	㊸	171.69	174.88	N9E	17	78W	6	有	有	79L	N		D-6	参考2-57		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	※2	
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70	※2	
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	x	非モデル化	参考2-191	※3	
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	N5	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL	○	D-6	参考2-56		
	H19-No.6		範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破砕部:H19-No.4, ⑫)

660(分類)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑫	171.69	174.88	N9E		78W		有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※2
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	※2
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	※3
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	N5	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL	○	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
		②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
		③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70		
		④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	①② N	③ ×	非モデル化	参考2-191	※3 ③	
		⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
	範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1	
H19-No.6	範囲外	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56		
		④	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

661(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

662(分類D)②
当該破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

663, 664(分類D)③
当該破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑰)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W	20	88W	4	無	-	20R	-	x	f-6-2	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	4	有	無	15R	LL	x	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	36	84W	4	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	16	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	36	87E	5	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	40	76W	12	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	28	79W	9	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	37	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	34	82W	6	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	13	69W	19	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑰)[A-A' 断面]

665(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W	20	88W	4	無	-	20R	-	x	f-6-2	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	4	有	無	15R	LL	x	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	36	84W	4	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	16	有	無	70R	⑰ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	36	87E	5	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	40	76W	12	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	28	79W	9	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	37	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	34	82W	6	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	13	69W	19	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-15, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-15	-	-	①	34.65	35.72	N52E		72NW		無	-	-	-		非モデル化	参考2-189	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	60	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	44	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	48	81W	9	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	48	72W	0	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	44	87E	21	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	40	76W	4	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
	H24-B11-2	②	77.48	78.10	NS	52	79W	7	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
		③	80.50	83.93	N9E	43	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-15, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角稜の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B8-15	-	-	①	34.65	35.72	N52E		72NW		① 有	② 有	-	-	非モデル化	参考2-189		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	60	84W	12	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	44	84W	12	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	48	81W	9	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	48	72W	0	有	無	70R	③ N	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	44	87E	21	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			①	71.21	71.24	N12E	40	76W	4	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	52	79W	7	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	43	80W	8	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

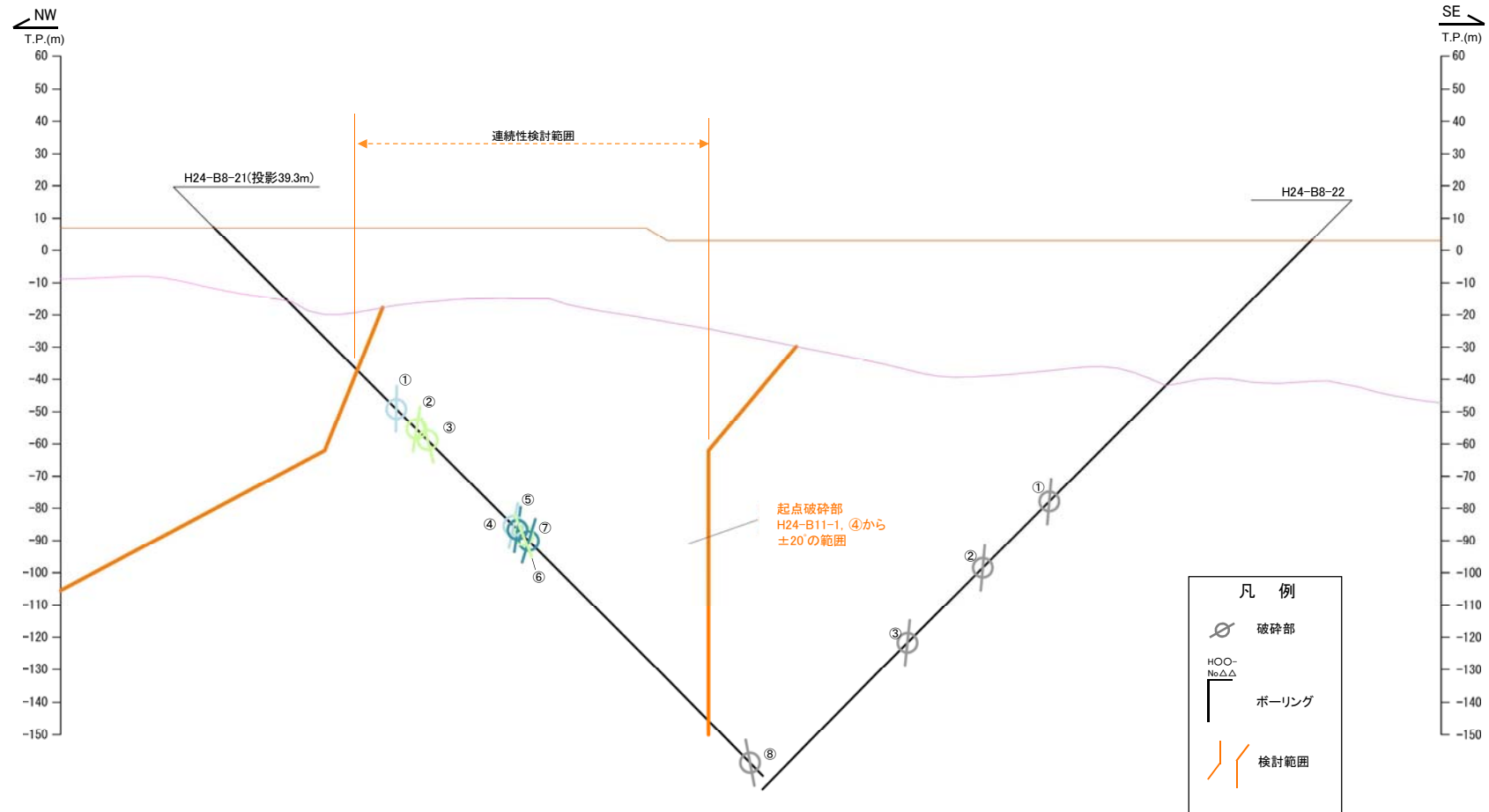
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角稜の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

666(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

667(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

668(分類D)③
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ④)

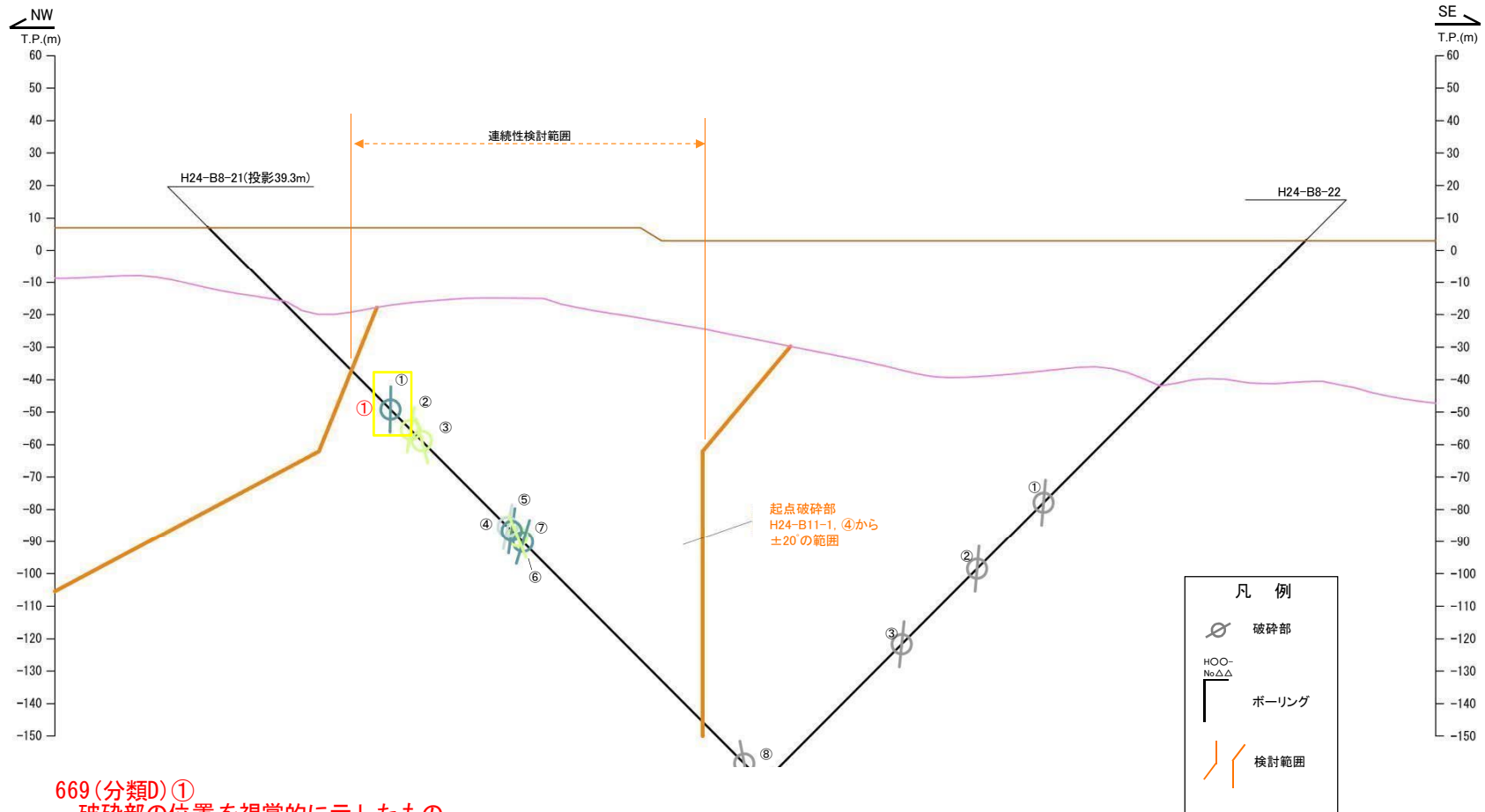


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



669(分類D)①
 破碎部の位置を視覚的に示したものを、
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B11-1	-	-	④	97.87	99.00	N4E		72W		有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-192		
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	17	有	有	35L	N,RL	f-b8-21-1	参考2-160		
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	9	有	無	-	-	f-b8-21-2	参考2-160		
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	26	有	有	-	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	12	無	-	20R	RL	非モデル化	参考2-189		
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	13	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	※3
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	40	有	無	10L	LL	非モデル化	参考2-189		
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	7	有	無	0	LL	非モデル化	参考2-189		
			⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	24	有	無	20L	RL	D-37	参考2-116		
		範囲外	①	114.71	115.13	N3E	1	87W	15	無	-	90	N	D-38	参考2-116		
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	14	有	無	40L	N,RL	D-7	参考2-90		
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	13	有	有	40L	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B11-1	-	-	④	97.87	99.00	N4E		72W		有	無	70R	① N	非モデル化	② 参考2-191		
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	17	有	有	35L	③ N,RL	f-b8-21-1	参考2-160		
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	9	有	無	-	-	-	f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	26	有	有	-	-	N,RL	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	12	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	13	有	無	65R	N,LL	x	非モデル化	参考2-189	※3
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	40	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	7	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
	H24-B8-22	範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	24	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
			①	114.71	115.13	N3E	1	87W	15	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	14	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	13	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

670(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

671(分類A)②
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

672(分類D)③
起点破碎部の変位センスの誤りを修正したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-	D-24	参考2-103		
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	無	-	90	-	D-43	参考2-118		
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	0	無	-	70L	N	D-7	参考2-91		
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	31	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	24	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	10	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	0	85W	2	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	2	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	24	78NW	9	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部: H19-No.7, ①)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-	D-24	参考2-103		
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	① 有	② 無	90	-	D-43	参考2-118		
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	0	① 有	② 有	70L	N	D-7	参考2-91		
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	31	無	-	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	24	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	10	有	無	-	-	非モデル化	参考2-193		
	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	0	85W	2	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	2	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	24	78NW	9	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

673, 675(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

674, 676(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ①)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	3	84W	14	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	19	84W	14	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	15	81W	17	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	15	72W	26	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	19	87E	5	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※2	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	23	76W	22	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	11	79W	19	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	※3	
			③	80.50	83.93	N9E	20	80W	18	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	x	D-38	参考2-116	※2	
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ①)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	3	84W	14	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	19	84W	14	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	15	81W	17	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	15	72W	26	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	19	87E	5	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※2
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	23	76W	22	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	N5	11	79W	19	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	※3
			③	80.50	83.93	N9E	20	80W	18	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	② N	x	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

677(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

678(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ①)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W	-	82E	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-190		
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	18	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	19	有	有	-	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	21	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	31	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			①	10.48	11.53	N4W	7	70W	28	有	有	50L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	36	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	19	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	25	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	25	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	26	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	9	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	4	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	11	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	11	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	20	有	有	79L	N	-	x	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	20	有	無	22R	-	-	x	f-4-9	参考2-127	※2
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	22	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	15	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	24	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127	
	H19-No.5	範囲内	⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	-	x	f-6-2	参考2-127	
			⑱	92.63	92.65	-	-	(12)	70	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑲	96.46	96.49	-	-	(52)	30	有	有	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6	範囲内	⑳	110.93	110.95	-	-	(35)	47	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			㉑	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	-	x	D-38	参考2-116	※2
			㉒	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-	-	-	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7	範囲外	㉓	78.22	79.56	N7E	18	87W	11	有	有	80R	-	-	-	D-24	参考2-103	
		範囲内	㉔	151.35	151.38	N15E	26	86E	4	有	有	20L	-	-	-	f-8-11	参考2-128	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ①)[B-B' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W	-	82E	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-190		
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	18	有	無	90	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	19	有	有	-	-	D-3	参考2-88		
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	21	有	有	75L	-	f-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	31	有	無	-	-	f-2-12	参考2-126		
			①	10.48	11.53	N4W	7	70W	28	有	有	50L	-	D-3	参考2-88		
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	36	有	有	38L	-	f-2-10	参考2-125		
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	19	有	有	2L	-	f-2-11	参考2-126		
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	25	無	-	-	-	f-12-4	参考2-129		
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	25	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126		
	H19-No.4	範囲内	⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	26	有	有	47L	-	f-4-3	参考2-126		
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	9	有	無	80L	-	D-4	参考2-89		
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	4	無	-	38L	-	f-4-5	参考2-126		
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	非モデル化	参考2-184		
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	11	有	有	-	N,RL	D-5	参考2-70		
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	11	有	無	21L	-	f-12-10	参考2-130		
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	20	有	有	79L	N	x	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	20	有	無	22R	-	x	f-4-9	参考2-127	※2
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	22	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	15	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	24	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127	
	H19-No.5	範囲外	⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	x	f-6-2	参考2-127	
			①	92.63	92.65	-	-	(12)	70	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	30	有	有	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
H19-No.6	範囲内	③	110.93	110.95	-	-	(35)	47	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184		
		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	① N	x	D-38	参考2-116	※2	
H19-No.7	範囲外	②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-	-	f-6-2	参考2-127		
		①	78.22	79.56	N7E	18	87W	11	有	有	80R	-	-	D-24	参考2-103		
		範囲内	②	151.35	151.38	N15E	26	86E	4	有	有	20L	-	f-8-11	参考2-128		

()の傾斜角: ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

679(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、
本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-36, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H24-B8-36	-	-	①	24.19	27.68	N31E		88SE		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	39	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	27	81W	11	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	27	72W	20	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	1	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	19	76W	16	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	31	79W	13	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	22	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	10	有	無	75R	-		D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	72	69W	23	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-36, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-36	-	-	①	24.19	27.68	N31E		88SE		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	39	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	27	81W	11	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	27	72W	20	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	1	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	19	76W	16	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	31	79W	13	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	22	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	10	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	72	69W	23	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

680(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

681(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	⑤	131.88	132.82	N1E		85W		有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	4	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	13	有	無	70R	N,LL	x	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	11	76W	9	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	5	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	5	82W	3	有	無	75R	-	x	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角稜の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	⑤	131.88	132.82	N1E		85W		有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	4	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	13	有	無	70R	N	x	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	11	76W	9	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	5	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	5	82W	3	有	無	75R	N	x	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角稜の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

682(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

683(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

684(分類D)③
当該破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-2, ② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ						
				(m)	(m)														
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.10	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159			
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	18	89W	10	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160			
			②	88.67	88.71	N41E	41	81W	2	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160			
			③	92.86	93.53	N5W	5	82E	19	有	有	-	N,RL	x	D-5	参考2-70			
			④	131.03	131.14	N3W	3	84W	5	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189			
			⑤	131.88	132.82	N1E	1	85W	6	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189			
			⑥	135.30	135.52	N58E	58	68S	33	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189			
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	0	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189			
			⑧	234.23	234.38	N3W	3	84E	17	有	無	20L	RL	x	D-37	参考2-116	※3		
			H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
					②	143.52	143.76	N17E	17	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
③	176.68	177.31			N19E	19	85W	6	有	有	40L	N,RL	x	D-6	参考2-56				

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-2, ② -N)

685(分類A)①
傾斜について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向差(°)	傾斜	比較対象との傾斜差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)												N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.10	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	18	89W	10	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
		範囲内	②	88.67	88.71	N41E	41	81NW	2	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	5	82E	19	有	有	-	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	3	84W	5	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	1	85W	6	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	58	68S	33	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	0	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	3	84E	17	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
			⑨	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
		H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116
範囲内	②		143.52	143.76	N17E	17	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90		
			③	176.68	177.31	N19E	19	85W	6	有	有	40L	N,RL	×	D-6	参考2-56	

- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑧ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑦)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	⑦	137.72	138.18	N4E		79W		有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	7	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	14	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	0	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	3	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	45	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断面ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断面ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断面ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断面ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑦)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H24-B8-21	-	-	⑦	137.72	138.18	N4E		79W		有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189		
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	7	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	14	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	0	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6			①	73.43	73.45	N6E	2	82W	3	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	45	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

686(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

687(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-29, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層カウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-29	-	-	②	25.44	26.11	N4W		89W		無	-	90	N		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	16	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	7	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	20	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-29, ②)

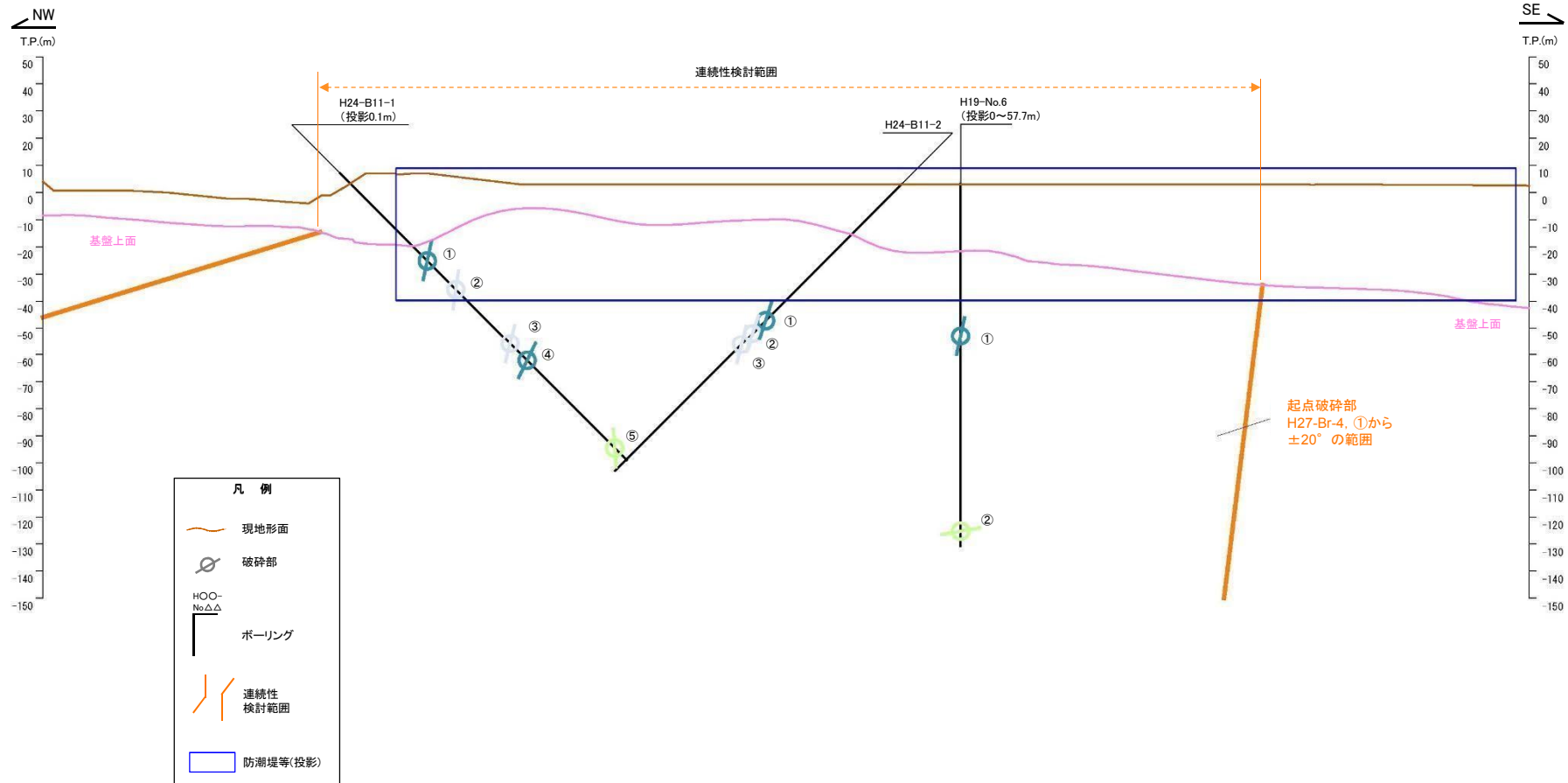
第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-29	-	-	②	25.44	26.11	N4W		89W		無	-	90	N		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	16	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	7	有	無	75R	②③ N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	20	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

- 688(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。
- 689(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
- 690(分類D)③
当該破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

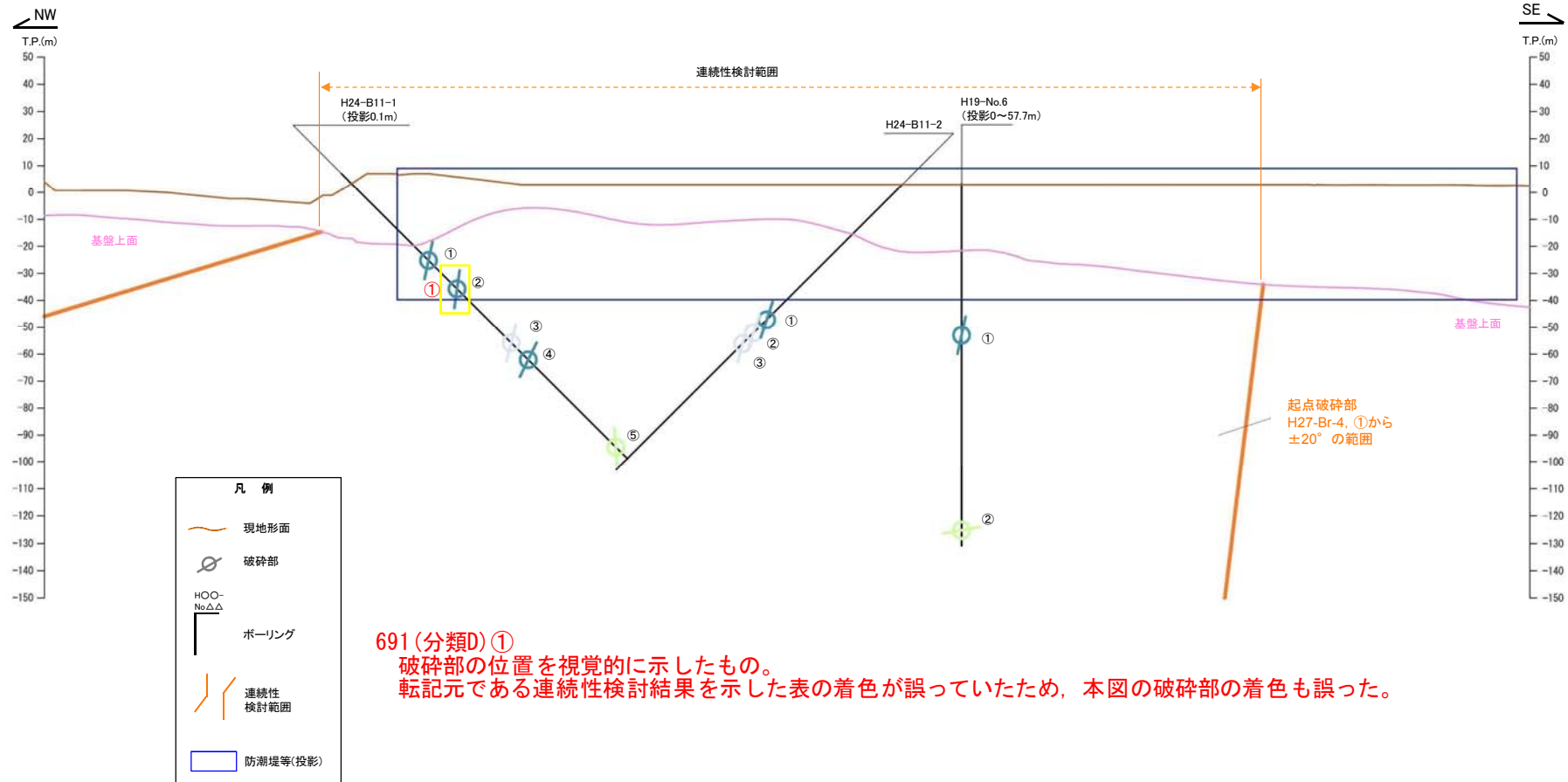
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-4, ①)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-4, ①)



691 (分類D) ①
 破碎部の位置を視覚的に示したものの、
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-4, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1	
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	有	有	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
			H19-No.6	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
				②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-4, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1	
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	① 有	①② 無	① 62R	① N,LL	③ ×	D-39	参考2-117	※4 ③	
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	④ N	×	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	⑤ N	×	D-38	参考2-116	※2	
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

692(分類D)①

当該破碎部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

693(分類A)②

明瞭なせん断構造・変形構造の有無について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

694, 695(分類D)③

当該破碎部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより, 起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため, 連続性を検討した結果を記載したもの。

696(分類D)④

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

697(分類A)⑤

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-23, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断面ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H24-B8-23	-	-	②	30.87	31.32	N4W		81W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-189		
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	3	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	※3	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	0	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	9	有	無	70R	N,LL	x	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	12	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	16	76W	5	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	2	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	1	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	1	有	無	75R	-	x	D-38	参考2-116	※1	
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状（断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-23, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B8-23	-	-	②	30.87	31.32	N4W		81W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-189		
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	3	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	※3	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	0	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	9	有	無	70R	① N	x	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	12	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3	
			H24-B11-2	①	71.21	71.24	N12E	16	76W	5	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90	
				②	77.48	78.10	NS	4	79W	2	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	
				③	80.50	83.93	N9E	13	80W	1	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
			H19-No.6	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	1	有	無	75R	② N	x	D-38	参考2-116	※1
				②	167.53	168.54	N41W	37	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

698(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

699(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-30, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-30	-	-	①	24.60	25.04	N1E		81W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	3	有	無	15R	LL	x	f-b11-1-1	参考2-159	※2
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	9	有	無	70R	N,LL	x	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	12	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	5	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	1	有	無	75R	-	x	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-30, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-30	-	-	①	24.60	25.04	N1E		81W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	3	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※2
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	9	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	1	有	無	75R	② N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

700(分類D) ①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

701(分類A) ②

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ②-S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E	-	84W	-	有	無	62R	N,LL	-	D-39	参考2-117		
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-	-	D-2	参考2-86		
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	N3E	5	53W	31	有	無	57L	-	-	D-2	参考2-86		
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有	有	75L	-	-	D-3	参考2-87		
			③	75.04	75.08	-	-	-	-	-	無	-	25L	-	-	f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-	-	f-12-3	参考2-129		
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	x	f-12-4	参考2-129		
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL	-	-	D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-	-	-	f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-	-	-	f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	x	f-12-8	参考2-130	※1	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	-	無	-	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-7	参考2-90	
	H20-①-5	範囲内	①	31.28	31.44	N33W	41	75W	9	無	-	75L	-	-	D-43	参考2-118		
	②		34.37	34.70	N89W	97	58S	26	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188			
	H20-①-6	範囲内	①	14.41	14.42	N53W	61	60S	24	無	-	66R	-	-	D-43	参考2-118		
			②	14.78	15.13	N81W	89	65S	19	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-188		
H19-No.10	範囲内	①	28.46	28.53	-	-	(63)	21	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
		②	39.09	39.14	-	-	(73)	11	有	無	-	-	x	非モデル化	参考2-184	※1		
H27-Br-5	範囲外	③	73.62	73.63	-	-	(68)	18	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-185			
H27-Br-5	範囲外	①	50.48	51.16	N46E	38	78NW	6	有	有	80R	N	-	f-br-5-1	参考2-177			

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状(断層ガワジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無,条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し,かつ,両者の走向・傾斜の差が±20°以内で,かつ,性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無,せん断構造・変形構造の有無が類似し,条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

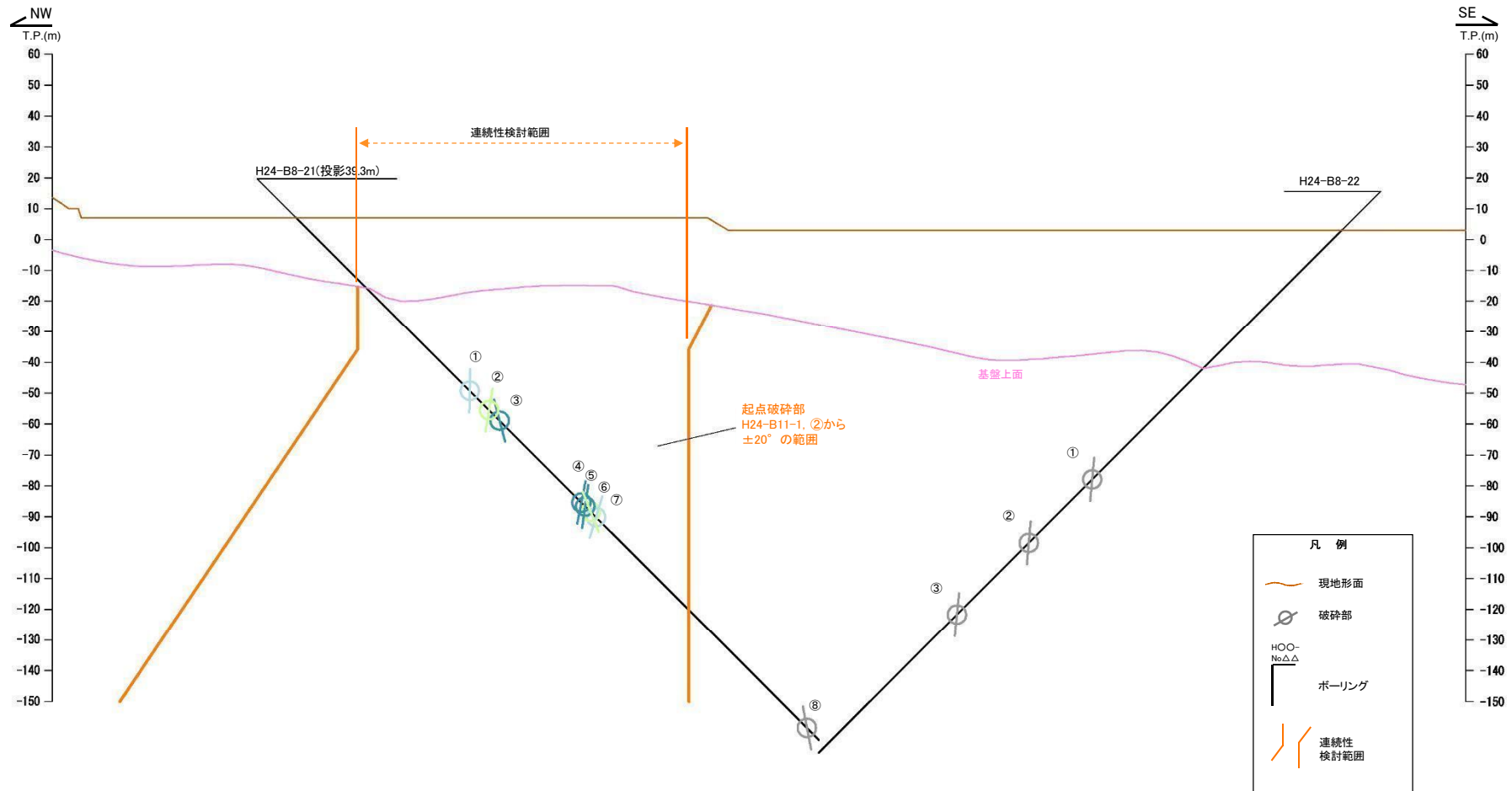
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ②-S)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ						
				(m)	(m)														
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E	-	84W	-	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117			
H19-No.11	-	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-		D-2	参考2-86			
			①	36.35	36.58	①	-	②	-	③	-	④	-		57L	-	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有	有	75L	-		D-3	参考2-87			
			③	75.04	75.08	⑤	N12E	⑥	4	⑦	89W	⑧	5	無	-	25L	-	f-13-3	参考2-130
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129			
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	x	f-12-4	参考2-129			
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89			
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129			
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129			
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	x	f-12-8	参考2-130	※1		
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-5	参考2-70			
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130			
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	x	D-6	参考2-57			
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	x	D-19	参考2-99	※1		
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	⑨⑩	有	⑩⑪	無	-	-	x	f-①-1-3	参考2-138	※1
⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	D-7	参考2-90					

- 702(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
- 703(分類D)②
当該破碎部の走向の修正を反映したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。
- 704(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
- 705(分類D)④
当該破碎部の傾斜の修正を反映したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。
- 706(分類A)⑤
走向について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。
- 707(分類D)⑥
当該破碎部の走向の誤りを修正したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の走向の差が変わったもの。
- 708(分類A)⑦
傾斜について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。
- 709(分類D)⑧
当該破碎部の傾斜の誤りを修正したことにより, 起点破碎部と当該破碎部の傾斜の差が変わったもの。
- 710(分類A)⑨
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
- 711(分類D)⑩
当該破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。
- 712(分類A)⑪
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破碎部の断層ガウジの有無について, 保守的に修正した結果を本表に反映したことによって, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

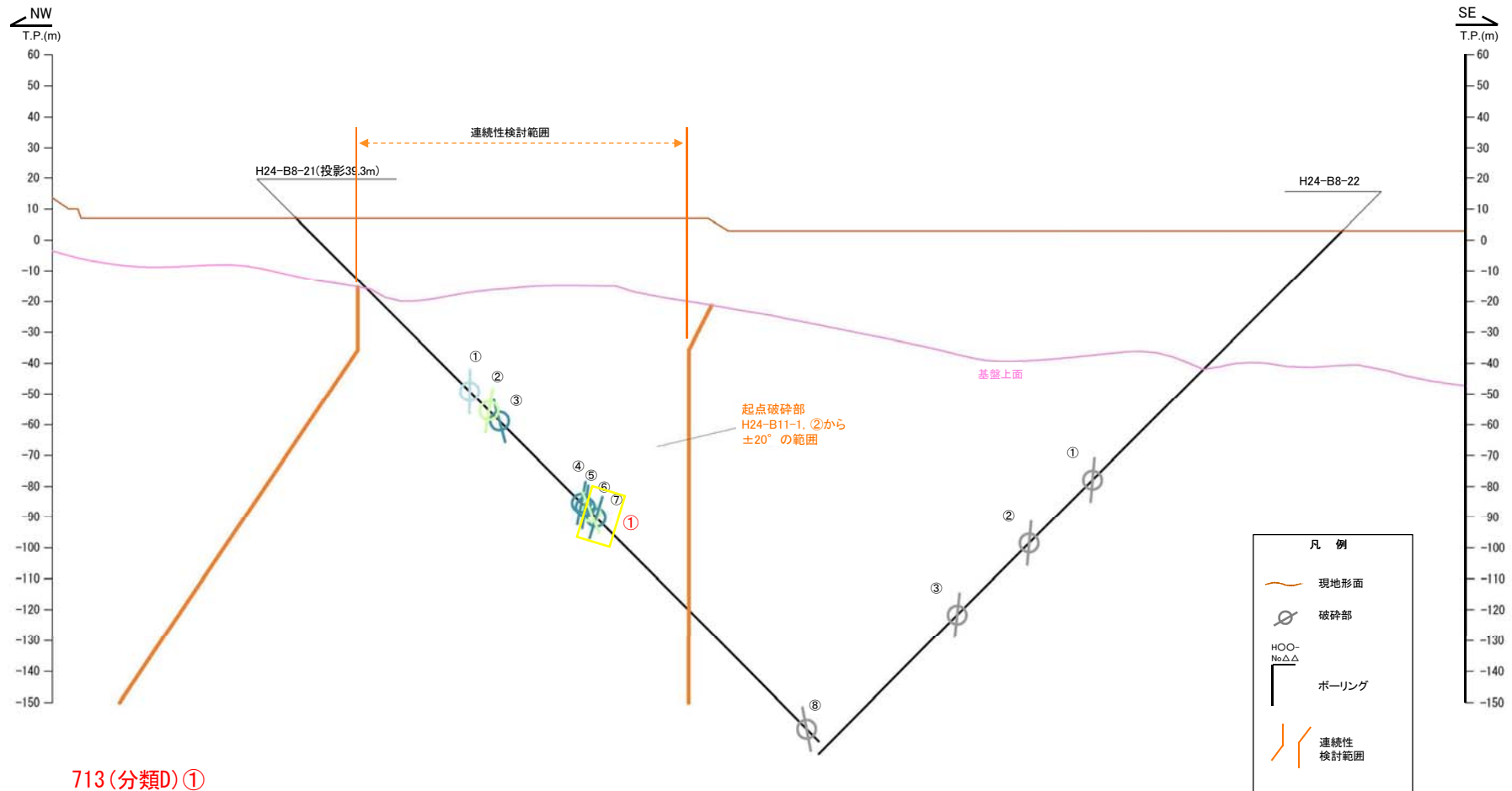
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ②-N)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ②-N)



713(分類D)①
 破碎部の位置を視覚的に示したものの。
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160		
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160		
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	14	有	有	-	-	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	131.03	131.14	N3W	11	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189		
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	1	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189		
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189		
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189		
		⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116			
		H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
				②	143.52	143.76	N17E	9	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
③	176.68			177.31	N19E	11	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ② -N)

714(分類E)①

起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果, 手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが, 誤って着色し忘れた。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160		
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160		
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	131.03	131.14	N3W	11	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189		
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	1	有	無	65R	N,LL	x	非モデル化	参考2-189		
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189		
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	5	有	無	0	① LL		非モデル化	参考2-189		
		⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116			
		H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
				②	143.52	143.76	N17E	9	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
③	176.68			177.31	N19E	11	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑩	172.20	172.45	(N16E)		(87W)		有	有	-	-		D-5	参考2-70	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	※4
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
	H19-No.6	範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

():走向傾斜はH19-No.4における参考値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑩)

715 (分類D) ①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範 囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角縁 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑧	172.20	172.45	(N16E)		(87W)		有	有	-	-		D-5	参考2-70	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,R,L	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	※4
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,R,L		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
	H19-No.6	範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,R,L	×	D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

(): 走向傾斜はH19-No.4における参考値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-27, ③)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス
				(m)	(m)												
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL	非モデル化	参考2-190		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	70	84W	64	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	86	84W	64	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	82	81W	61	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
		④	97.87	99.00	N4E	82	72W	52	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191			
		⑤	143.67	143.77	N8E	86	87E	73	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191			
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	90	76W	56	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	78	79W	59	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	87	80W	60	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	84	82W	62	有	無	75R	-	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	49	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-27, ③)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス
				(m)	(m)												
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL	非モデル化	参考2-190		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	70	84W	64	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	86	84W	64	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	82	81W	61	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
		④	97.87	99.00	N4E	82	72W	52	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191			
		⑤	143.67	143.77	N8E	86	87E	73	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191			
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	90	76W	56	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	78	79W	59	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	87	80W	60	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	84	82W	62	有	無	75R	② N	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	49	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

716(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

717(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-22, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B8-22	-	-	①	114.71	115.13	N3E		87W		無	-	90	N		D-38	参考2-116	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	6	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	11	有	有	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	3	82W	5	有	無	75R	N	○	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-22, ①)

718(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)												
H24-B8-22	-	-	①	114.71	115.13	N3E	87W		無	-	90	N		D-38	参考2-116		
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	6	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	15	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	3	82W	5	有	無	75R	N	○	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑤)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	13	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	13	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	1	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑤)[A-A' 断面]

第657回審査会
机上配付資料1 修正後

719 (分類D) ①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-	f-12-4	参考2-129		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	13	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	13	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
		③	88.93	88.97	N4E	4	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
		④	97.87	99.00	N4E	4	72W	1	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191		
		⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.19, ⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.19	-	-	⑥	147.93	148.12	N13E		68E		有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	28	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	28	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	9	81W	31	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	9	72W	40	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	1	76W	36	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	13	79W	33	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	4	80W	32	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.19, ⑥)

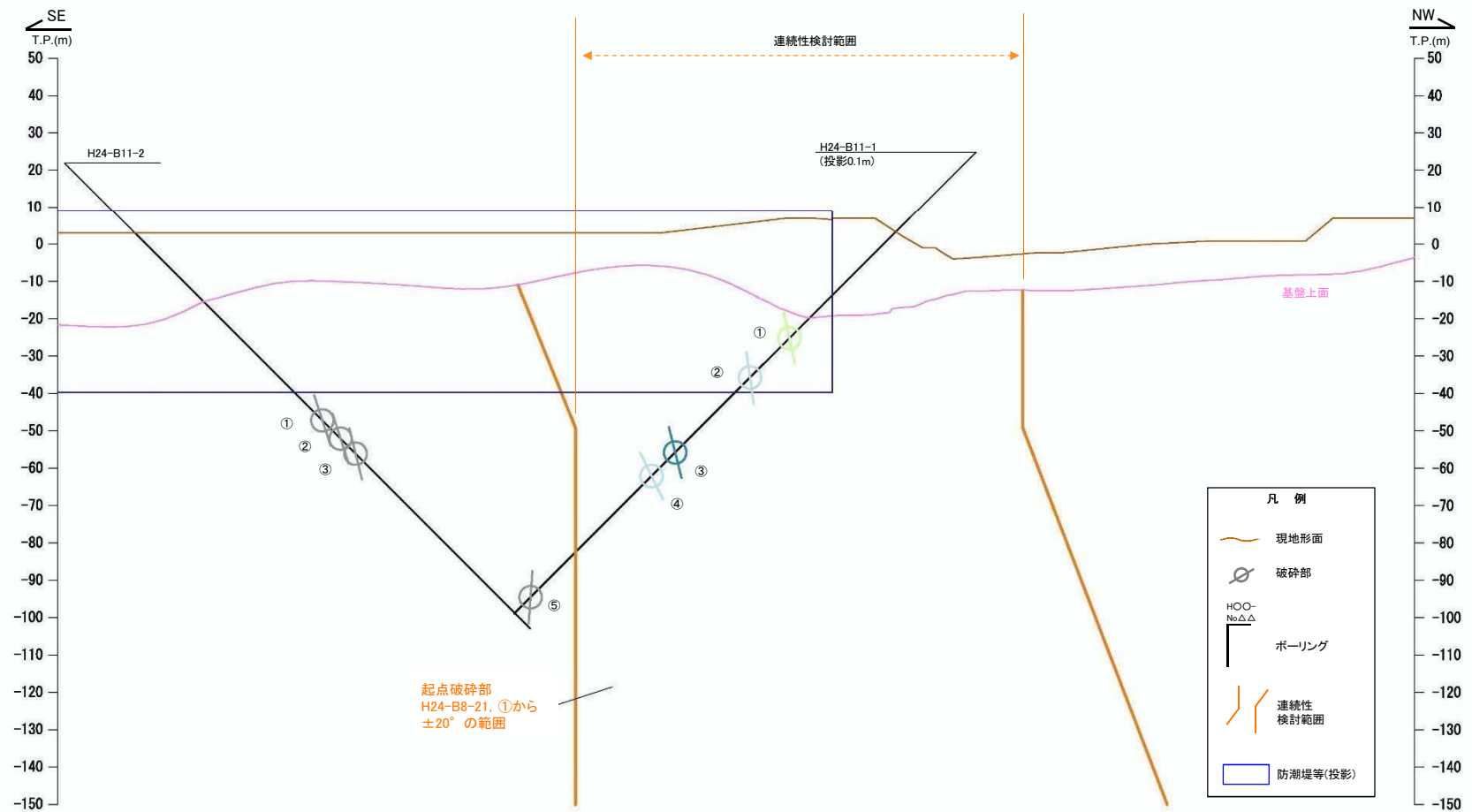
720(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角噪の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.19	-	-	⑥	147.93	148.12	N13E		68E		有	有	-	-	f-19-6	参考2-133		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	28	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	28	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	9	81W	31	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	9	72W	40	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	19	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	1	76W	36	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	13	79W	33	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	4	80W	32	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

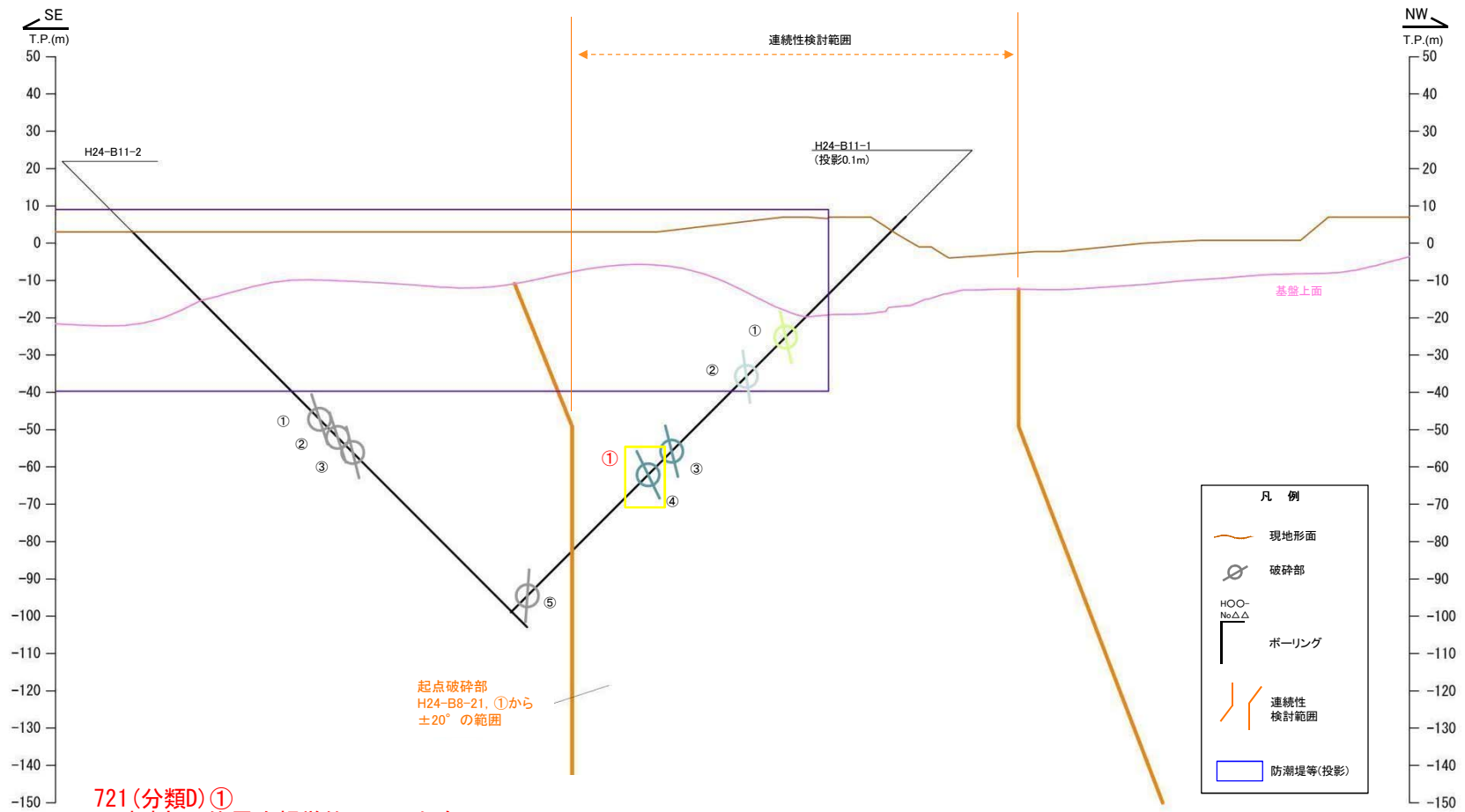
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ①)



	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



721(分類D)①
破碎部の位置を視覚的に示したものの、
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層カウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	①	79.86	80.17	N18E		89W		有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	26	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	10	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	14	81W	8	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	14	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	10	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	6	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	18	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	9	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	①	79.86	80.17	N18E		89W		有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
H24-B11-1	範囲内		①	45.58	45.63	N8W	26	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	10	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	14	81W	8	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	14	72W	17	有	無	70R ① ②	N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	10	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	範囲外		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	18	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	9	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

722(分類)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

723(分類)②
当該破碎部の変位センスの誤りを修正したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ③)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	13	84W	22	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	29	84W	22	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	25	81W	25	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	25	72W	34	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	29	87E	13	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	30	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	27	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	30	80W	26	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ③)[A-A' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	13	84W	22	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	29	84W	22	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	25	81W	25	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	25	72W	34	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	29	87E	13	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	30	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	27	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	30	80W	26	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

724(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

725(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ③)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ						
				(m)	(m)														
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W	-	74E	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-191			
H19-No.3	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	53	80W	26	有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125			
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88		
			③	42.75	42.81	N17E	38	77W	29	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125			
			④	50.35	50.48	N37E	58	67W	39	有	無	-	-	-	f-2-12	参考2-126			
			①	10.48	11.53	N4W	17	70W	36	有	有	50L	-	-	D-3	参考2-88			
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	44	有	有	38L	-	-	f-2-10	参考2-125			
			③	22.20	22.26	N3E	24	79W	27	有	有	2L	-	-	f-2-11	参考2-126			
			④	24.12	24.41	N7W	14	73W	33	無	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129			
			⑤	34.24	34.38	N12E	33	73W	33	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126			
			⑥	46.13	46.38	N29E	50	72W	34	有	有	47L	-	-	f-4-3	参考2-126			
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	17	有	無	80L	-	-	D-4	参考2-89			
			⑧	60.32	60.36	N71W	50	86N	12	無	-	38L	-	-	f-4-5	参考2-126			
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184			
			⑩	107.54	109.94	N16E	37	87W	19	有	有	-	N,RL	-	D-5	参考2-70			
			⑪	159.77	159.88	N15E	36	87W	19	有	無	21L	-	-	f-12-10	参考2-130			
			⑫	171.69	174.88	N9E	30	78W	28	有	有	79L	N	-	D-6	参考2-57			
			⑬	175.27	175.28	N29W	8	78W	28	有	無	22R	-	-	f-4-9	参考2-127			
			⑭	175.64	175.65	N14E	35	76W	30	有	有	64R	-	-	f-4-10	参考2-127			
			H19-No.4	範囲内	⑮	207.69	207.72	N13E	34	83W	23	有	無	-	-	-	D-7	参考2-90	
					⑯	218.73	218.74	N20E	41	74W	32	有	無	64L	-	-	f-4-12	参考2-127	
⑰	234.32	236.15			N28W	7	88W	18	無	-	20R	-	x	f-6-2	参考2-127				
H19-No.5	範囲内	⑱	92.63	92.65	-	-	(12)	62	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
		⑲	96.46	96.49	-	-	(52)	22	有	有	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
		⑳	110.93	110.95	-	-	(35)	39	無	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184				
H19-No.6	範囲内	㉑	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-	-	D-38	参考2-116				
		㉒	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-	-	f-6-2	参考2-127				
H19-No.7	範囲内	㉓	78.22	79.56	N7E	28	87W	19	有	有	80R	-	-	D-24	参考2-103				
		㉔	151.35	151.38	N15E	36	86E	12	有	有	20L	-	-	f-8-11	参考2-128				

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ③)[B-B' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W	-	74E	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-191		
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	53	80W	26	① 有	無	90	-	-	f-2-8	参考2-125		
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	-	有	有	-	-	-	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	38	77W	29	有	有	75L	-	-	f-2-10	参考2-125		
			④	50.35	50.48	N37E	58	67W	39	有	無	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			①	10.48	11.53	N4W	17	70W	36	有	有	50L	-	-	-	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	44	有	有	38L	-	-	-	f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	24	79W	27	有	有	2L	-	-	-	f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	14	73W	33	無	-	-	-	-	-	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	33	73W	33	無	-	-	-	-	-	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	50	72W	34	有	有	47L	-	-	-	f-4-3	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	17	有	無	80L	-	-	-	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	50	86N	12	無	-	38L	-	-	-	f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	-	有	無	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	37	87W	19	有	有	-	N,RL	-	-	D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	36	87W	19	有	無	21L	-	-	-	f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	30	78W	28	有	有	79L	N	-	-	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	8	78W	28	有	無	22R	-	-	-	f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	35	76W	30	有	有	64R	-	-	-	f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	34	83W	23	有	無	-	-	-	-	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	41	74W	32	有	無	64L	-	-	-	f-4-12	参考2-127	
	H19-No.5	範囲内	⑰	234.32	236.15	N28W	7	88W	18	無	-	20R	-	-	×	f-6-2	参考2-127	
			①	92.63	92.65	-	-	(12)	62	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	22	有	有	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6	範囲内	①	110.93	110.95	-	-	(35)	39	無	-	-	-	-	-	非モデル化	参考2-184	
			①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	② N	-	-	D-38	参考2-116	
	H19-No.7	範囲内	②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-	-	-	f-6-2	参考2-127	
①			78.22	79.56	N7E	28	87W	19	有	有	80R	-	-	-	D-24	参考2-103		
			②	151.35	151.38	N15E	36	86E	12	有	有	20L	-	-	-	f-8-11	参考2-128	

()の傾斜角:ボーリングコア観察結果による値

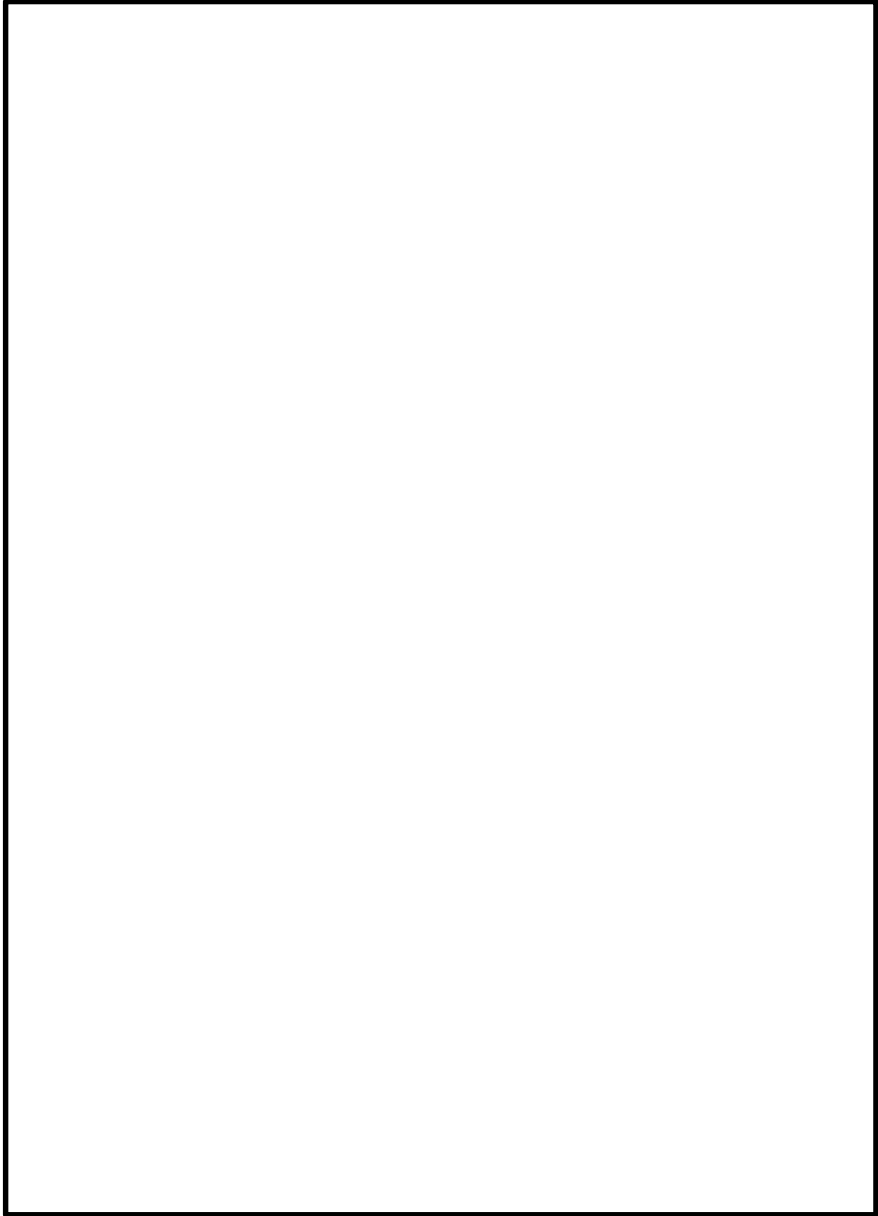
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

726(分類E)①
断層ガウジ・断層角礫の有無を入力した際にタイプミスしたもの。

727(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。










連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部: H27-Br-3, ①)

第657回 審査会合
机上配付資料1 修正前



拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)

凡 例

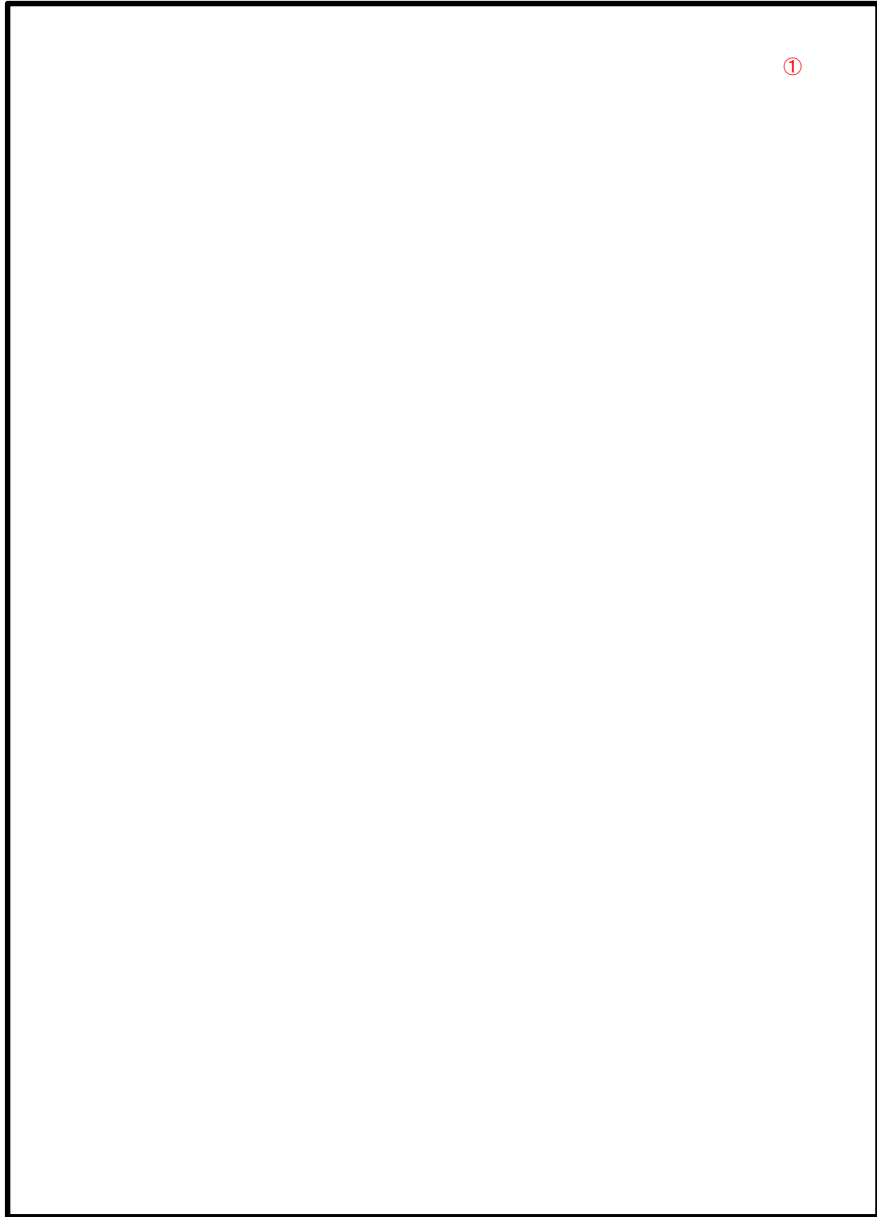
	起点破碎部		検討断面位置		耐震重要施設
	連続性検討範囲内にある破碎部		掘削面観察範囲		常設重大事故等対処施設
	連続性検討範囲外にある破碎部		破碎帯の連続性検討範囲	※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの	
	浦底断層(T.P.-15m)				

※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-3, ①)










第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)

728(分類E)①
方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが、貼り付けを忘れたもの。

凡 例

	起点破碎部		検断断面位置		耐震重要施設
	連続性検討範囲内にある破碎部		掘削面観察範囲		常設重大事故等対処施設
	連続性検討範囲外にある破碎部		破碎帯の連続性検討範囲	<small>※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの</small>	
	浦底断層(T.P.-15m)				

※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検断範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-3, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	92	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
			①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
	H27-Br-12	範囲内	②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H27-Br-3, ①)

729(分類A)①

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	92	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		
			①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177		
	H27-Br-12	範囲内	②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	x	f-br-12-3	参考2-177		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-22, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-22	-	-	②	143.52	143.76	N17E		86W		有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	25	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	9	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	13	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	13	72W	14	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	9	87E	7	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	5	76W	10	有	無	25L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	17	79W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	11	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	58	69W	17	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-22, ②)

730(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-22	-	-	②	143.52	143.76	N17E		86W		有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	25	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	9	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	13	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	13	72W	14	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	9	87E	7	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	5	76W	10	有	無	25L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	17	79W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	11	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	58	69W	17	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-23, ①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-23	-	-	①	29.99	30.16	N3E		72E		有	有	18R	-	D-36	参考2-115		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	24	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	24	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	27	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	36	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	15	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	32	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	29	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	28	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	3	82W	26	有	無	75R	-	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	39	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-23, ①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-23	-	-	①	29.99	30.16	N3E		72E		有	有	18R	-	D-36	参考2-115		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	24	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	24	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	27	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	36	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	15	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	32	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	29	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	28	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
			④	73.43	73.45	N6E	3	82W	26	有	無	75R	② N	D-38	参考2-116		
			⑤	167.53	168.54	N41W	44	69W	39	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		
H19-No.6																	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

731(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

732(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを, 本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	②	122.16	122.35	N6E		87W		有	無	73L	-	f-18-2	参考2-132		
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	6	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

733(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.18	-	-	②	122.16	122.35	N6E		87W		有	無	73L	-	f-18-2	参考2-132		
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	3	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	3	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	6	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	15	有	無	70R	① N	x	非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	6	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)								N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
H24-B8-21	-	-	④	131.03	131.14	N3W		84W		無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	0	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	12	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	9	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	15	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	④	131.03	131.14	N3W		84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	0	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	7	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	12	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	9	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	15	76W	8	有	無	② 25L	N,RL	③ x	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	2	有	無	75R	④ N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

734(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

735(分類E)②

起点破碎部と対比破碎部の連続性検討の結果、手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが、誤って着色し忘れた。

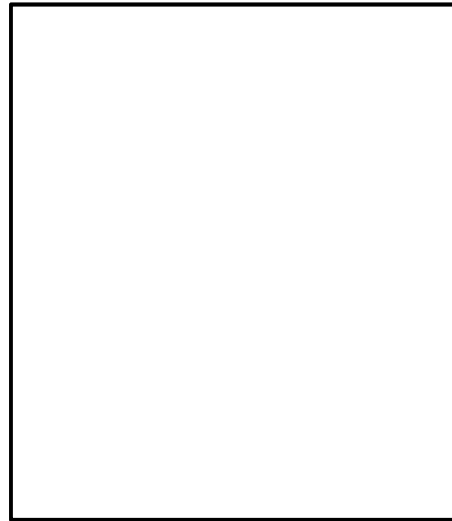
736(分類D)③

当該破碎部の条線方向の着色の誤りを修正したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

737(分類A)④

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑥)[A-A'断面]



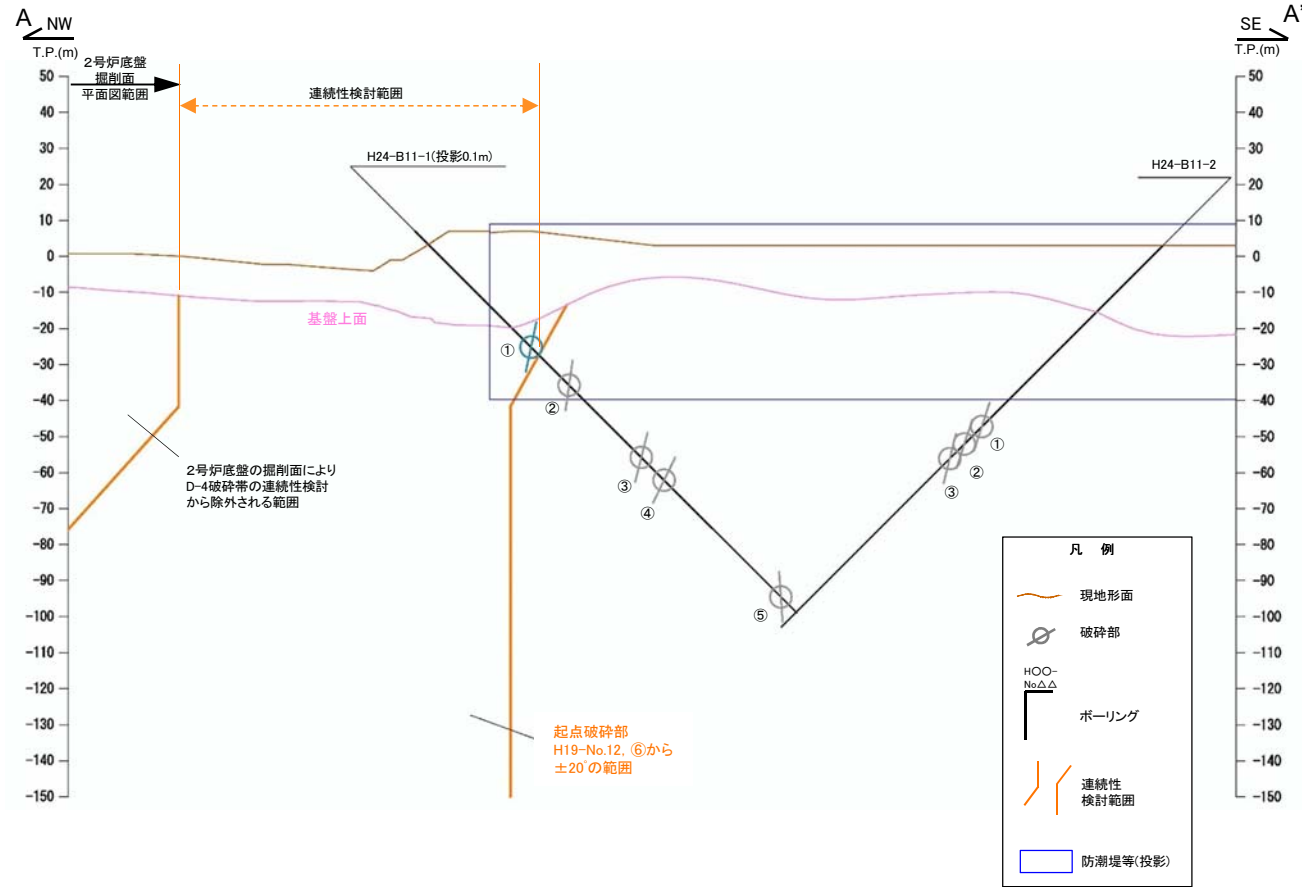
拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)
枠組みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破碎部
- 連続性検討範囲内にある破碎部
- 連続性検討範囲外にある破碎部
- 破碎帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- 掘削面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破碎帯トレース

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

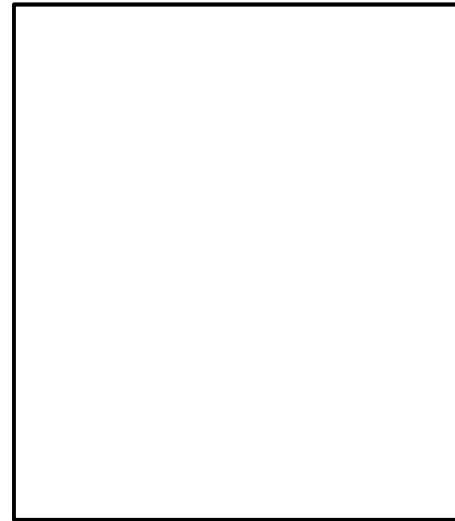
※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



破碎部着色凡例

- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑥)[A-A'断面]



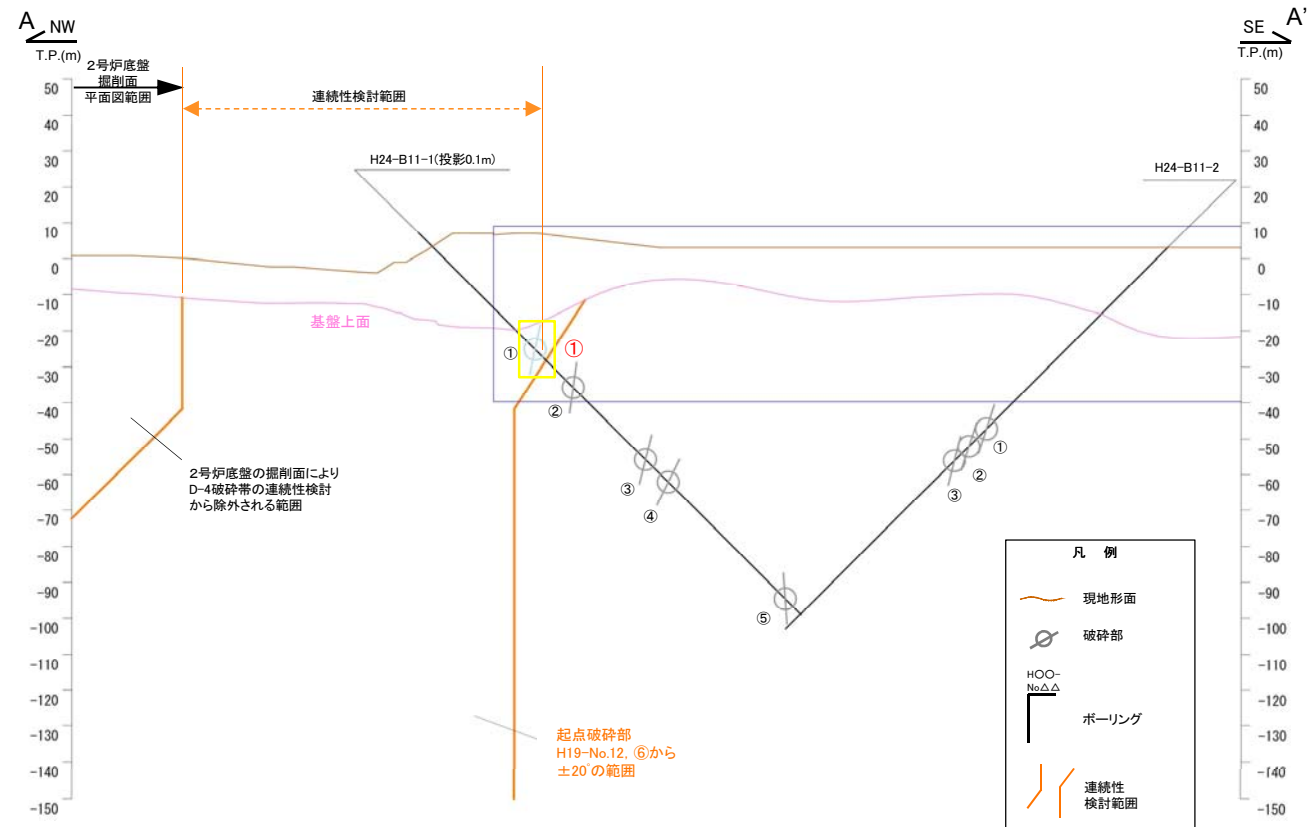
拡大範囲図(破碎帯及び破碎部分布)
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破碎部
- 連続性検討範囲内にある破碎部
- 連続性検討範囲外にある破碎部
- 破碎帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設
- 掘削面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破碎帯トレース

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は、断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり、断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



738(分類D)①
破碎部の位置を視覚的に示したものの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑥)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	-		D-4	参考2-89	
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	11	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	10	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
			①	71.21	71.24	N12E	16	76W	7	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	4	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑥)[A-A'断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	① N,RL		D-4	参考2-89	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	NSW	4	84W	1	有	無	15R	② LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	11	有	無	70R	③ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	10	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	16	76W	7	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	4	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

- 739 (分類A) ①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
- 740 (分類D) ②
起点破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。
- 741 (分類D) ③
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.18	-	-	⑤	164.15	164.25	N9E		78W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-187		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.18, ⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.18	-	-	⑤	164.15	164.25	N9E		78W		無	-	-		非モデル化	参考2-187			
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

742 (分類D) ①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

743 (分類A) ②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ㊸)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	㊸	169.38	169.46	N21E		84W		有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	29	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	13	84W	0	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	17	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	17	72W	12	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	13	87E	9	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	9	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	15	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	62	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ㊸)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H19-No.12	-	-	㊸	169.38	169.46	N21E		84W		有	無	85R	-	f-12-8	参考2-130			
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	29	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	13	84W	0	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	17	81W	3	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	17	72W	12	有	無	70R	① N	x	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	13	87E	9	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	9	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
	H19-No.6	範囲外	範囲外	③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
				①	73.43	73.45	N6E	15	82W	2	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	62	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

744(分類D) ①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

745(分類A) ②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H19-No.4	-	-	⑪	159.77	159.88	N15E		87W		有	無	21L	-	f-12-10	参考2-130			
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	3	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159			
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117			
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	6	有	有	60L	N,RL	x	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	6	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※4	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	11	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	8	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56		
	H19-No.6		範囲外	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W	56	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.4, ⑪)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

746(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考		
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ	
				(m)	(m)													
H19-No.4	-	-	⑪	159.77	159.88	N15E	23	87W	3	有	無	21L	-	f-12-10	参考2-130			
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	7	84W	3	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159			
			②	60.36	60.60	N8E	11	81W	6	有	有	62R	N,LL	D-39	参考2-117			
			③	88.93	88.97	N4E	11	72W	15	有	無	60L	N,RL	D-5	参考2-70			
			④	97.87	99.00	N4E	7	87E	6	有	-	70R	① N	非モデル化	参考2-191			
			⑤	143.67	143.77	N8E	3	76W	11	有	無	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191 ※4		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	79W	8	有	有	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	6	80W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	9	82W	5	有	無	-	N,RL	×	D-6	参考2-56		
			H19-No.6	①	73.43	73.45	N6E	56	69W	18	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
				②	167.53	168.54	N41W						23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ⑤)

起点	対比するボアリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス					
				(m)	(m)													N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
H24-B11-1	-	-	⑤	143.67	143.77	N8E		87E		無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-192		
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	4	有	有	35L	N,RL		F-b8-21-1	参考2-160		
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	12	有	無	-	-		F-b8-21-2	参考2-160		
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	5	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70		
		範囲内	④	131.03	131.14	N3W	11	84W	9	無	-	20R	RL	×	非モデル化	参考2-189		
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	8	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189		
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	19	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189		
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	14	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189		
			⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	3	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3	
		H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	6	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
				②	143.52	143.76	N17E	9	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
③	176.68			177.31	N19E	11	85W	8	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56			

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

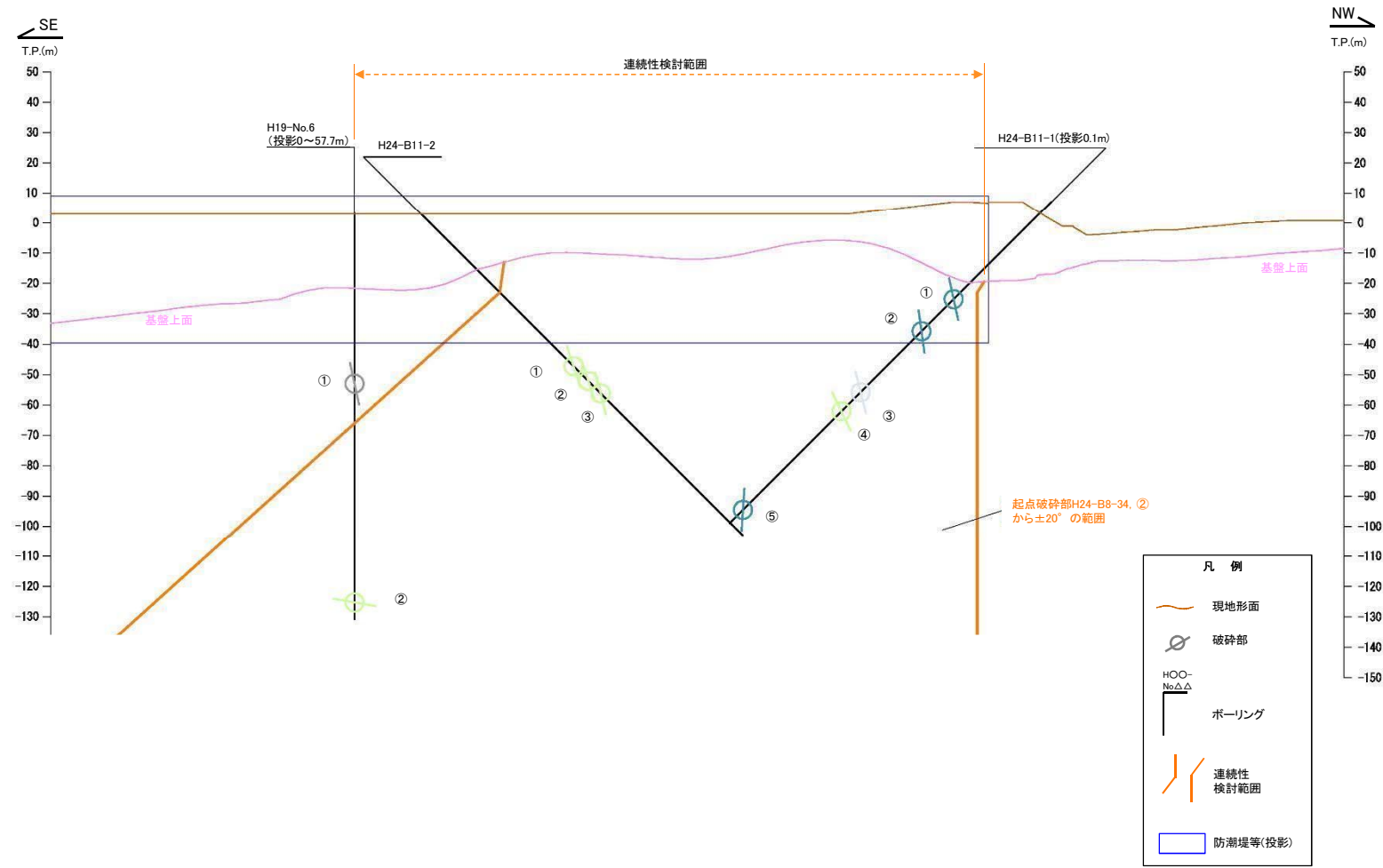
747(分類A)①

性状一覧表を参照するために記載したページ番号について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考				
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ			
				(m)	(m)															
H24-B11-1	-	-	⑤	143.67	143.77	N8E		87E		無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	①			
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	4	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160				
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	12	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160				
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	5	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70				
		範囲内	④	131.03	131.14	N3W	11	84W	9	無	-	20R	RL	x		非モデル化	参考2-189			
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	8	有	無	65R	N,LL			非モデル化	参考2-189			
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	19	有	無	10L	LL			非モデル化	参考2-189			
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	14	有	無	0	LL			非モデル化	参考2-189			
			⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	3	有	無	20L	RL	x			D-37	参考2-116	※3	
			H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	6	無	-	90	N			D-38	参考2-116	
					②	143.52	143.76	N17E	9	86W	7	有	無	40L	N,RL			D-7	参考2-90	
③	176.68	177.31			N19E	11	85W	8	有	有	40L	N,RL			D-6	参考2-56				

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

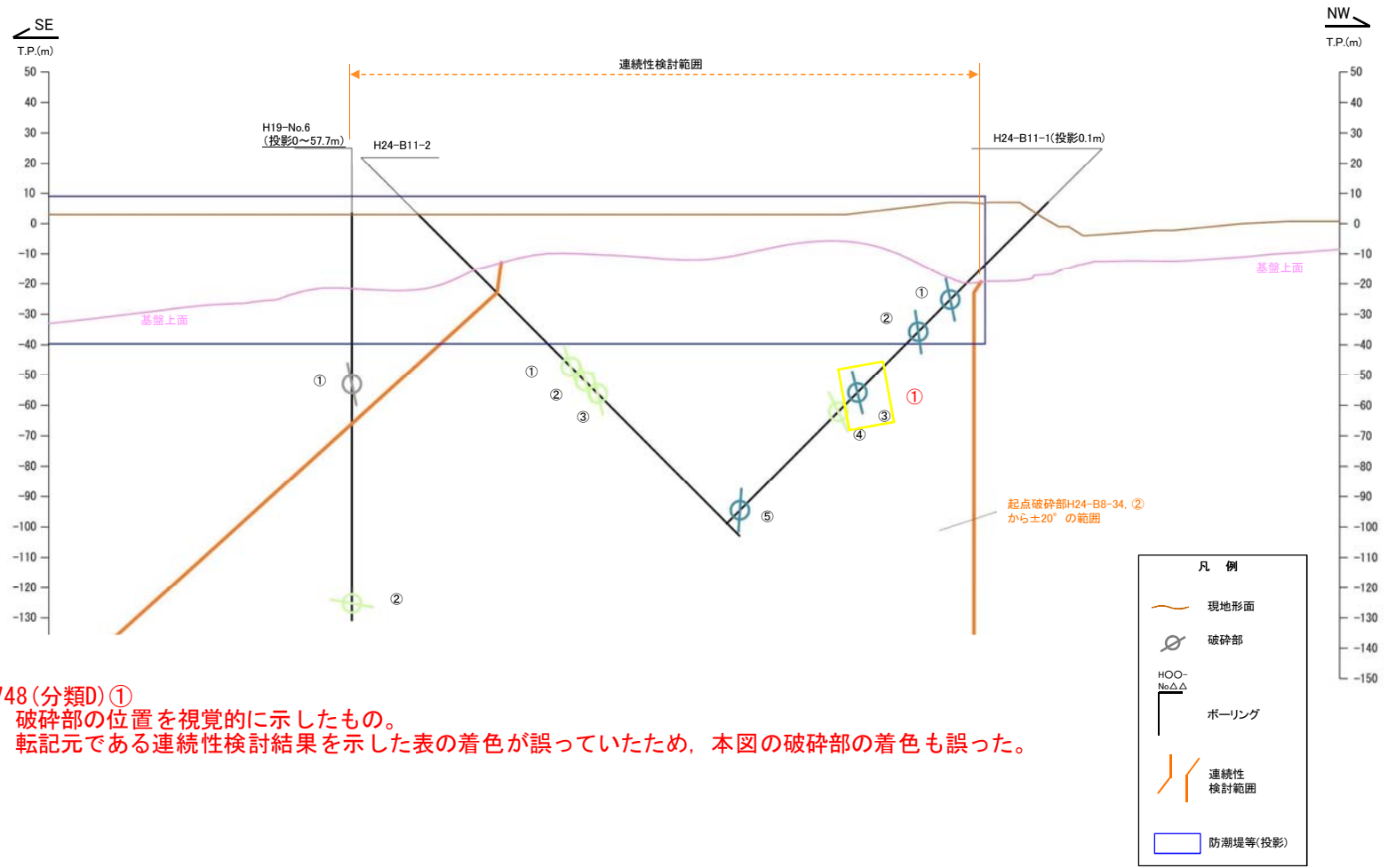
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ②)



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から $\pm 20^\circ$ の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が $\pm 20^\circ$ 以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ②)



748(分類D)①
 破碎部の位置を視覚的に示したもの。
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)													
H24-B8-34	-	-	②	42.86	42.97	N4E		79E		無	-	75L	-	f-b8-34-2	参考2-160			
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	17	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	17	有	無	62R	N,LL	x	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	29	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	25	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	22	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	21	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		範囲外	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	19	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			範囲内	②	167.53	168.54	N41W	45	69W	32	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-34, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状				連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度				断層ガウジ・ 断層角礫 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ					
				(m)	(m)												
H24-B8-34	-	-	②	42.86	42.97	N4E		79E		① 有	② 無	75L	-	f-b8-34-2	参考2-160		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	17	③	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	17	③	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	20	③	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	29		有	無	70R	⑤ N	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	8	⑥	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	25		有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	22		有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	21		有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	19		有	無	75R	N	D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	45	69W	32		有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127	

749(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

750(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

751~753(分類D)③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

754(分類D)④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

755(分類D)⑤

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

756(分類D)⑥

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[A-A' 断面]

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範 囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状			連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角礫 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-	f-8-11	参考2-128		
検討対象範囲に調査無し																	

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[A-A' 断面]

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範 囲	断面図上 の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との 走向の差 (°)	傾斜	比較対象との 傾斜の差 (°)	性状			連続性 検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・ 断層角縁 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		① 有	② 無	30L	-	f-8-11	参考2-128		
検討対象範囲に調査無し																	

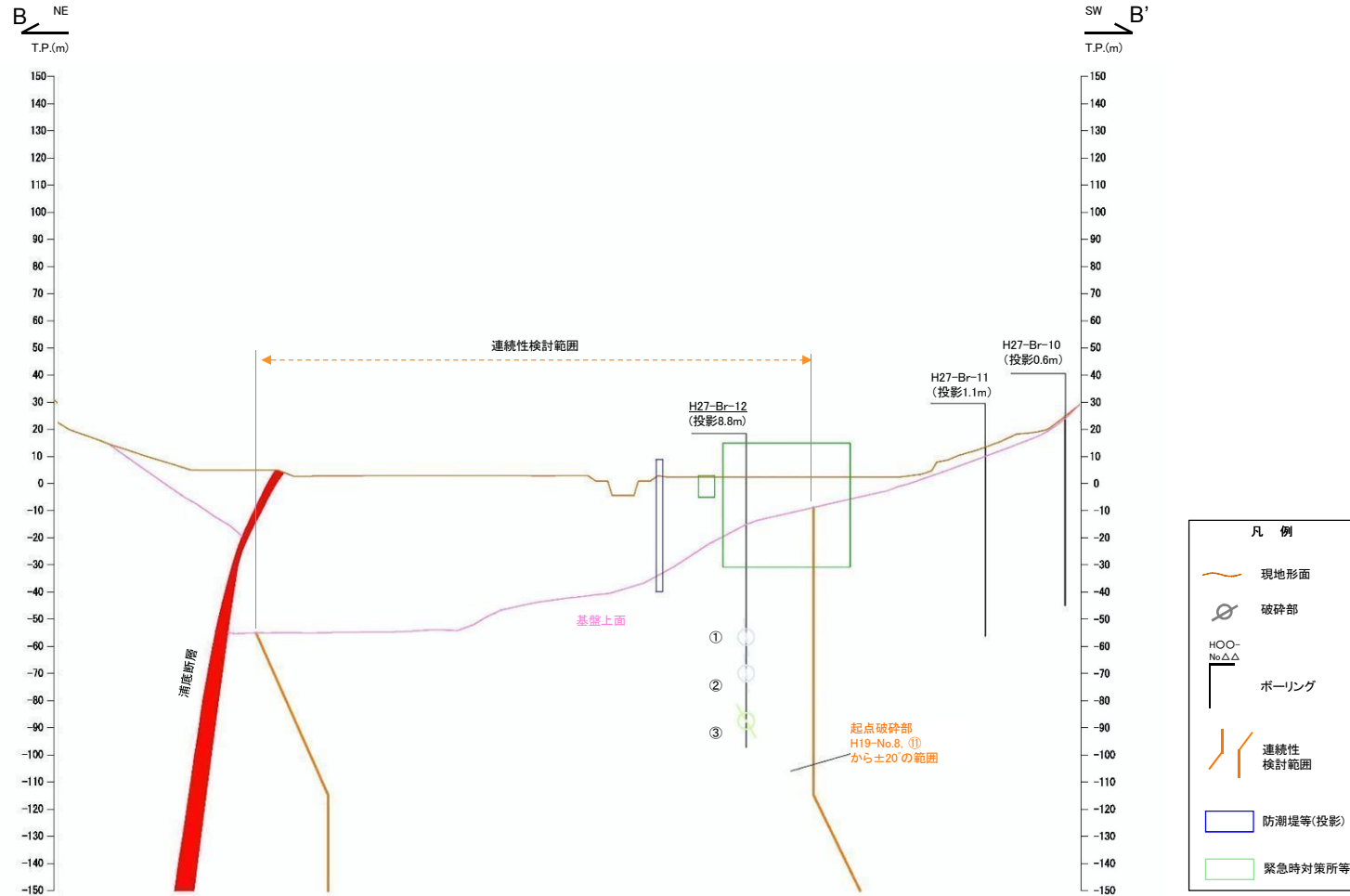
757(分類A)①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

758(分類A)②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

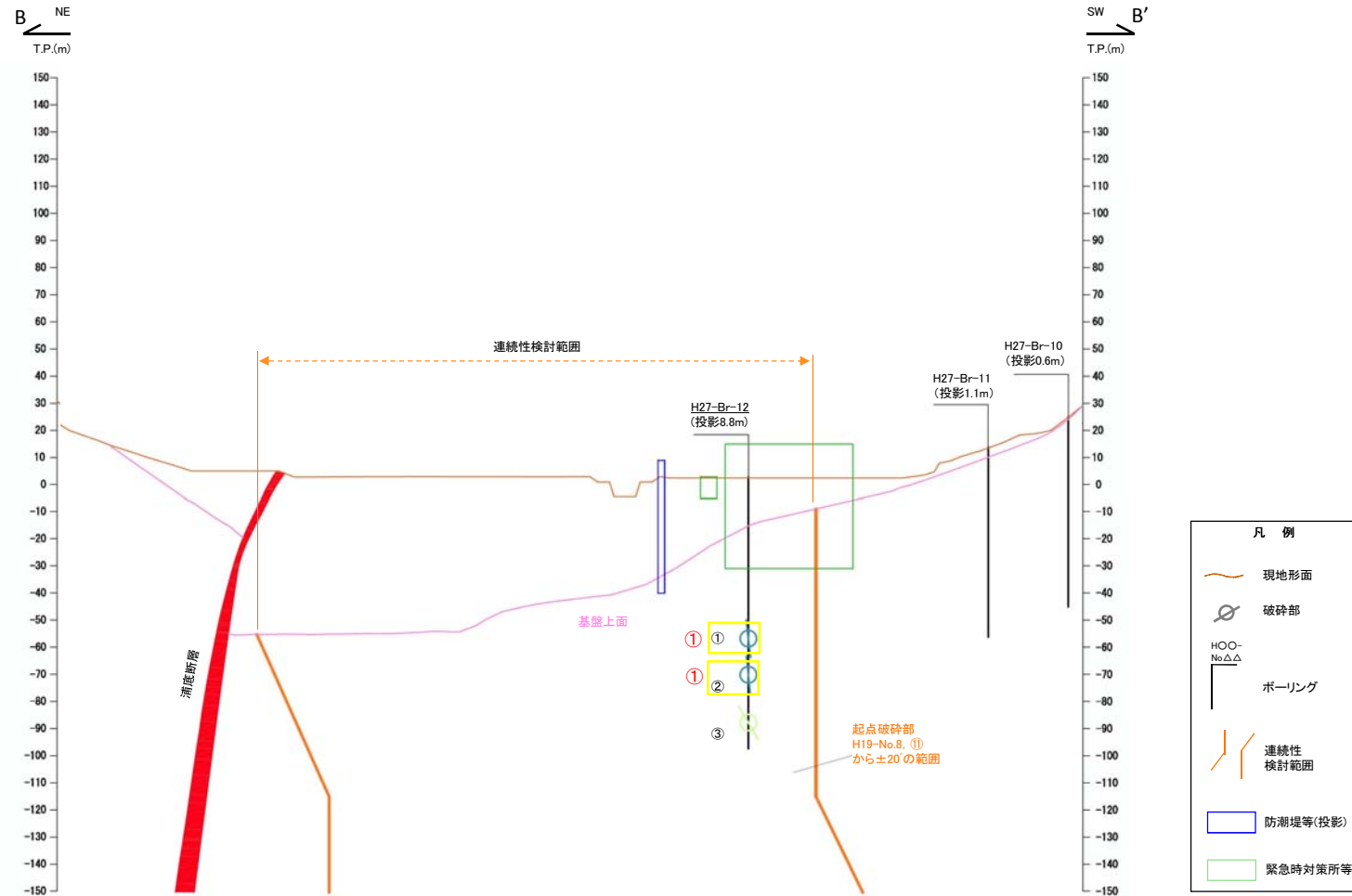
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[B-B'断面]



注)H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例	
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[B-B'断面]



759, 760(分類D)①
 破碎部の位置を視覚的に示したものを。
 転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

注)H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破碎部が確認されていない

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-	f-8-11	参考2-128		
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	19	85W	1	有	有	12L	RL	f-br-12-1	参考2-177		
			②	71.95	72.72	N6W	6	85W	1	有	有	15L	RL	f-br-12-2	参考2-177		
			③	89.68	90.32	N31E	43	78NW	8	有	有	90	N	f-br-12-3	参考2-177		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.8, ⑪)[B-B' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ
				(m)	(m)												
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		① 有	② 無	30L	-	f-8-11	参考2-128		
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	19	85W	1	③	有	有	12L	RL	④ ×	f-br-12-1	参考2-177 ※3 ④
			②	71.95	72.72	N6W	6	85W	1	③	有	有	15L	RL	④ ×	f-br-12-2	参考2-177 ※3 ④
			③	89.68	90.32	N31E	43	78NW	8			有	有	90	N		f-br-12-3

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

761 (分類A) ①

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

762 (分類A) ②

H30年11月30日審査会合にて説明した起点破碎部の断層ガウジの有無について、保守的に修正した結果を本表に反映したことによって、明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

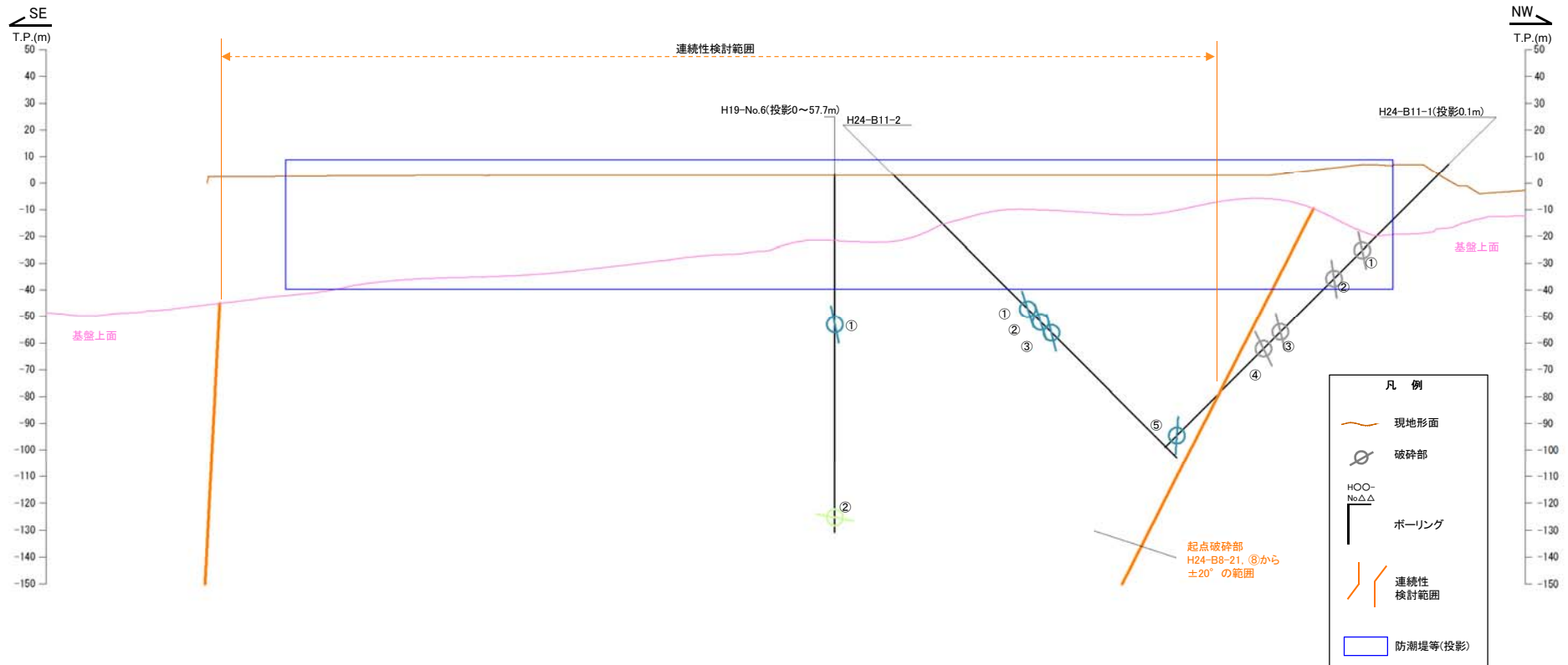
763, 764 (分類D) ③

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

765~768 (分類D) ④

起点破碎部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより、起点破碎部と連続する可能性がある候補の一つとなったため、連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑧)

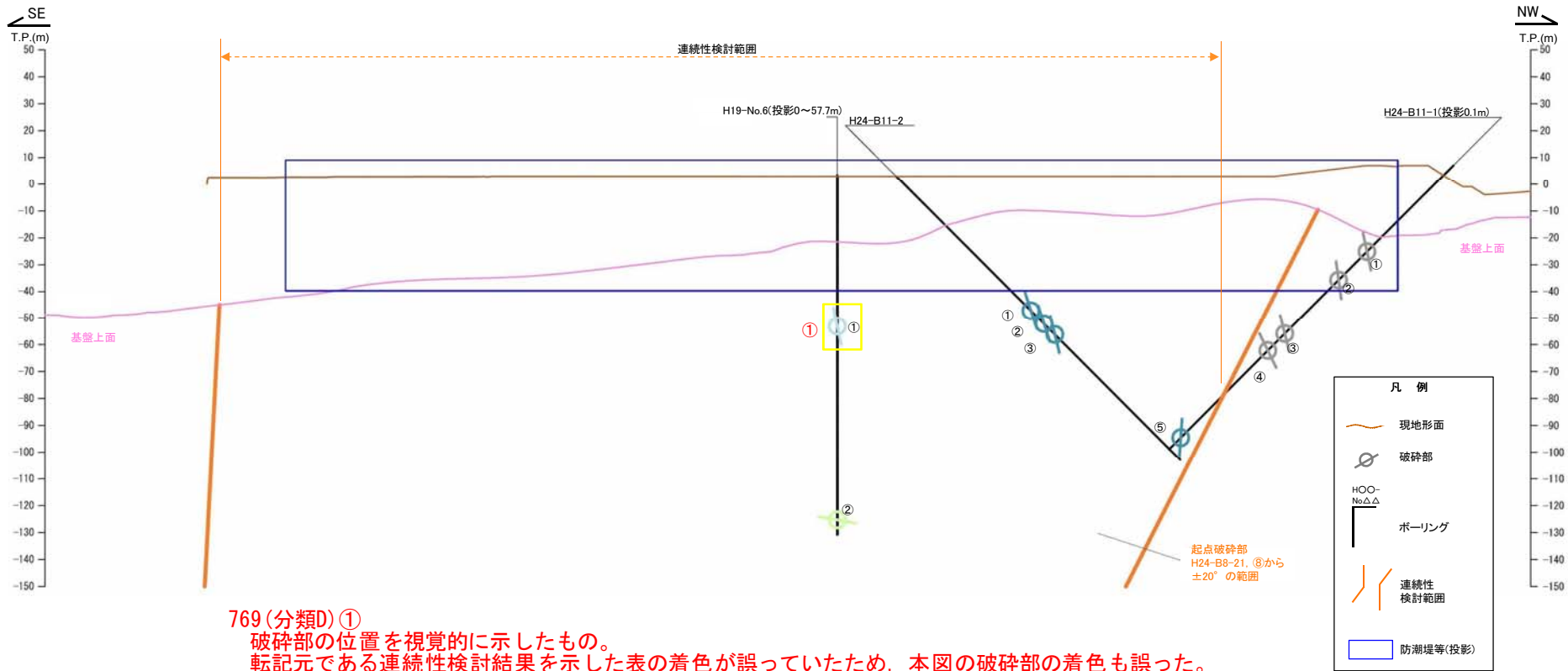


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性のあるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角線の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	⑧	234.23	234.38	N3W		84E		有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	15	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	24	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	3	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	15	76W	20	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	17	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	16	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	14	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	27	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角線の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状			連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向					変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	⑧	234.23	234.38	N3W		84E		有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	15	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	24	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	3	無	-	5L	RL	x	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	15	76W	20	有	無	25L	N,RL	x	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	17	有	有	20L	RL	x	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	16	有	有	-	N,RL	x	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	14	有	無	75R	②③ N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	27	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

- 770(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。
- 771(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
- 772(分類D)③
当該破碎部の変位センスの追加を反映したことにより、表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	②	88.67	88.71	N41E		81NW		有	無	-	-	f-b8-21-2	参考2-160		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	49	84W	3	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	33	84W	3	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	37	81W	0	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	37	72W	9	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	33	87E	12	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	29	76W	5	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	41	79W	2	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	32	80W	1	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-21, ②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		比較対象との走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-21	-	-	②	88.67	88.71	N41E		81NW		有	無	-	-	f-b8-21-2	参考2-160		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	49	84W	3	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	33	84W	3	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	37	81W	0	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	37	72W	9	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	33	87E	12	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	29	76W	5	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	41	79W	2	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	32	80W	1	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- ① : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ② : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ③ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- ④ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ⑤ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ⑥ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ⑦ : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

773 (分類D) ①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

774 (分類E) ②

表の下端の一部にテキストボックスが干渉し、枠線が消えていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破砕部:H19-No.12, ⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑧	152.06	152.09	N40E		71W		有	無	3R (不明線)	-	f-12-7	参考2-129		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	48	84W	13	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	32	84W	13	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	36	81W	10	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	36	72W	1	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	32	87E	22	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	28	76W	5	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	40	79W	8	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	31	80W	9	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	34	82W	11	有	無	75R	-	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	81	69W	2	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の差の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	⑧	152.06	152.09	N40E		71W		有	無	3R (不明瞭)	-	f-12-7	参考2-129		
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	48	84W	13	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	32	84W	13	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	36	81W	10	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	36	72W	1	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	32	87E	22	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
			①	71.21	71.24	N12E	28	76W	5	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	40	79W	8	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
	H19-No.6	範囲外	③	80.50	83.93	N9E	31	80W	9	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		
			①	73.43	73.45	N6E	34	82W	11	有	無	75R	② N	D-38	参考2-116		
			②	167.53	168.54	N41W	81	69W	2	有	無	23R	-	f-6-2	参考2-127		

- ⑤: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ③: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ④: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ①: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- ②: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

775(分類D)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

776(分類A)②

連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ③)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	5	有	無	15R	-	x	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	-		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	0	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	12	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ③)[A-A' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角噪の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N: 正断層 RL: 右横ずれ R: 逆断層 LL: 左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	5	有	無	15R	② LL	x	f-b11-1-1	参考2-159	※ 3
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	① N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	③ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	0	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	12	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガウジ・断層角噪の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

777, 779(分類A)①

変位センスについて, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記を誤ったもの。

778(分類D)②

当該破碎部の変位センスの誤りを修正したことにより, 表の該当箇所の着色が変わったもの。

780(分類D)③

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ①-N)[A-A' 断面]

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
H24-B8-21	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	26	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	49	81W	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	3	82E	14	有	有	-	-	N,RL	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	5	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑤	131.88	132.82	N1E	9	85W	1	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	66	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	12	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	5	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
			①	114.71	115.13	N3E	11	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	25	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	27	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	
H24-B8-22																	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B11-1, ①-N)[A-A' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

781(分類A)①
傾斜について、転記元の性状一覧表から転記したが、転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	26	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	49	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	3	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	5	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑤	131.88	132.82	N1E	9	85W	1	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	66	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	12	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	5	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
			①	114.71	115.13	N3E	11	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	25	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	27	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H19-No.12, ④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガワジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H19-No.12	-	-	④	82.48	82.50	N25E		61W		無	-	56L	-	f-12-3	参考2-129		
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	33	84W	23	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159		
			②	60.36	60.60	N8E	17	84W	23	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117		
			③	88.93	88.97	N4E	21	81W	20	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	21	72W	11	有	無	70R	N,LL	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	17	87E	32	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	13	76W	15	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90		
			②	77.48	78.10	NS	25	79W	18	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	16	80W	19	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56		

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状(断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し, かつ, 両者の走向・傾斜の差が±20°以内で, かつ, 性状のうち断層ガワジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し, 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破砕部:H19-No.12, ④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

782(分類)①

変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度				断層ガワジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)											
H19-No.12	-	-	④	82.48	82.50	N25E	61W		無	-	56L	-	f-12-3	参考2-129		
	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	33	84W	23	有	無	15R	LL	f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	17	84W	23	有	無	62R	N,LL	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	21	81W	20	有	有	60L	N,RL	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	21	72W	11	有	無	70R	① N	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	17	87E	32	無	-	5L	RL	非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	13	76W	15	有	無	25L	N,RL	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	25	79W	18	有	有	20L	RL	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	16	80W	19	有	有	-	N,RL	D-6	参考2-56	

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガワジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガワジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-29, ③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ				
				(m)	(m)												
H24-B8-29	-	-	③	29.51	29.61	N15E		45E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	51	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	51	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	54	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	63	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	42	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	59	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	N5	15	79W	56	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	55	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	9	82W	53	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	66	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
H19-No.6																	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-29, ③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

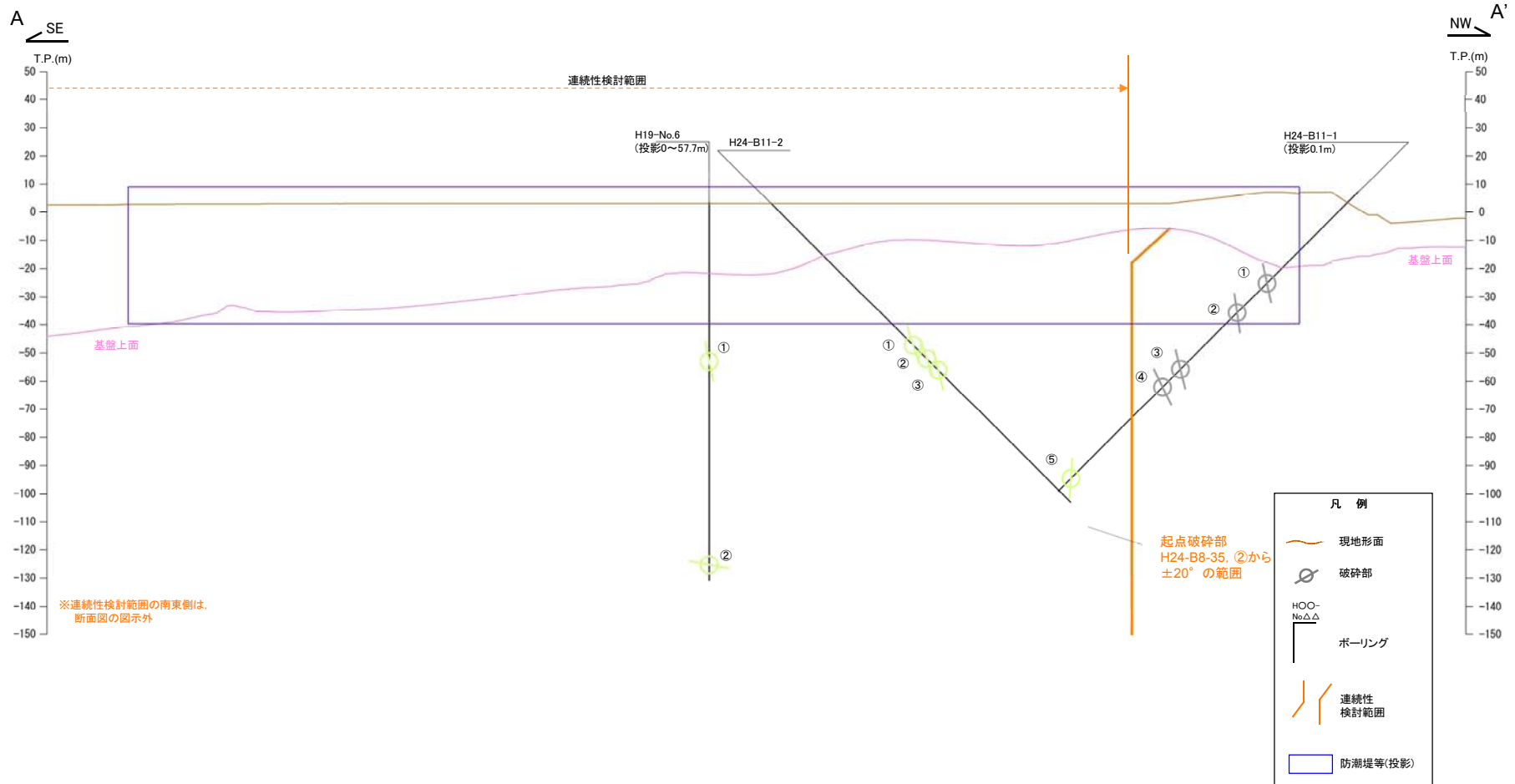
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破碎帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破碎帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度	下端深度					断層ガウジ・断層角縁の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス				
				(m)	(m)												
H24-B8-29	-	-	③	29.51	29.61	N15E		45E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	51	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	51	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	54	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	63	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	42	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	59	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	56	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	55	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
			①	73.43	73.45	N6E	9	82W	53	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	66	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無、条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
- : 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角縁の有無、せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

783(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが、転記元の記載が誤っていたため、正しい記載に修正したもの。

784(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを、本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ②)[A-A' 断面]

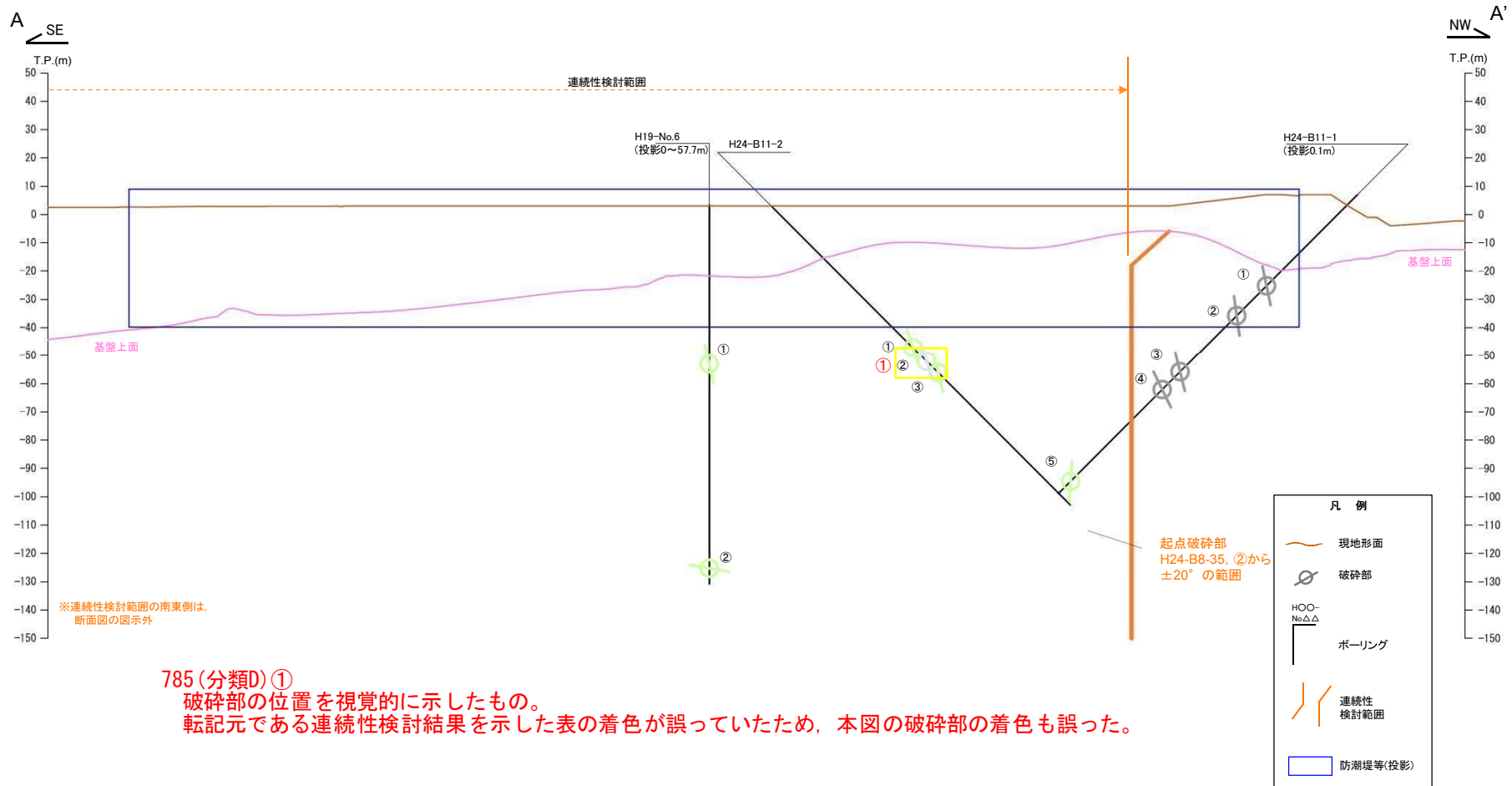


破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等, 起点破碎部:H24-B8-35, ②)[A-A' 断面]

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



785 (分類D) ①

破碎部の位置を視覚的に示したものを。

転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため、本図の破碎部の着色も誤った。

破碎部着色凡例

	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性のあるもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状(断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無, 条線方向もしくは変位センス)が類似するもの
	: 起点の破碎部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し、かつ、両者の走向・傾斜の差が±20°以内で、かつ、性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無, せん断構造・変形構造の有無が類似し、条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの